

目黒区美術館年報 平成21⁽²⁰⁰⁹⁾・22⁽²⁰¹⁰⁾・23⁽²⁰¹¹⁾年度

目黒区美術館年報
平成 21⁽²⁰⁰⁹⁾ ・ 22⁽²⁰¹⁰⁾ ・ 23⁽²⁰¹¹⁾ 年度

目次

I 展覧会

【平成 21(2009)年度】	○上野伊三郎+リチ コレクション展 —ウィーンから京都へ、建築から工芸へ	4
	○線の迷宮〈ラビリンス〉・番外編—響き合い、連鎖するイメージの詩情	11
	○‘文化’資源としての〈炭鉱〉展	14
	○めぐろの子どもたち展	31
	○ベルナール・ビュフェ展—「木を植えた男」の著者 ジャン・ジオノとの出会い 同時開催：藤田嗣治—東京・ニューヨーク・パリ	32 34
【平成 22(2010)年度】	○エミール・ガレの生きた時代—近代生活のエレガンス	37
	○紅心 小堀宗慶展—創作と審美眼の世界—	41
	○遊びのなかの色と形展—クルト・ネフ&アントニオ・ヴィターリ	45
	○鉄を叩く—多和圭三展	50
	○めぐろの子どもたち展	52
	○包む—日本の伝統パッケージ展	53
【平成 23(2011)年度】	○原爆を視る 1945 - 1970【中止】	62
	○ラファエル前派からウィリアム・モリスへ 同時開催：藤田嗣治展 人物と動物	63 67
	○スケッチブックの使い方—描いたり歩いたり、そしてまた描いたり	69
	○DOMA秋岡芳夫展—モノへの思想と関係のデザイン	71
	○めぐろの子どもたち展	82
	○メグロアドレス—都会に生きる作家	83

II 教育普及事業

(1) ワークショップ活動

【平成 21(2009)年度】	①線の迷宮〈ラビリンス〉・番外編—響きあい、連鎖するイメージの詩情	85
	②「木」の言葉を聞く	86
【平成 22(2010)年度】	①遊びのなかの色と形展—クルト・ネフ&アントニオ・ヴィターリ	87
	②春のワークショップ つつむ	89
【平成 23(2011)年度】	①スケッチブックの使い方	89
	②DOMA秋岡芳夫展ワークショップ&セミナー	90
	③中世の華・羊皮紙に描くミニアチュール2	92
	④メグロアドレス—都会に生きる作家	92

(2) アウトリーチ・トイの日	94
(3) ギャラリーツアー (小学校の授業と連携)	95
(4) 目黒区総合庁舎建築ガイドツアー	95
(5) めぐろアートウィーク	96
(6) その他	96

III 入館状況	97
IV 作品等貸出	100
V 刊行	102
VI 区民ギャラリー	103
VII ボランティア	106
VIII 博物館実習	108
IX 名簿	109
X 施設	110
XI 沿革	111
XII 案内	111

I . 展覧会

[平成 21 (2009) 年度]

上野伊三郎+リチ コレクション展

—ウィーンから京都へ、建築から工芸へ

会期：2009年4月11日(土)～5月31日(日) 45日間

会場：展示室 ABC、展示ロビー、エントランスホール、ワークショップ

主催：(財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館

協力：京都国立近代美術館

担当学芸員：佐川夕子

わが国のモダニズム建築の揺籃期に、関西初の建築運動となった「日本インターナショナル建築会」を組織した上野伊三郎(1892-1972)は、ブルーノ・タウトを日本へ招聘した人物として、上野リチ(Felice "Lizzi" Ueno-Rix, 1893-1967)は、伊三郎と1925年に結婚後日本へ渡り、ヨーゼフ・ホフマン率いるウィーン工房で培った創作理念をわが国へもたらした人物として、それぞれ日本の近代建築史やデザイン史に名前が刻まれつつも、これまでふたりの活動の全容はほとんど知られていなかった。本展は、その上野夫妻の知られざる足跡を、4つの章構成で紹介した。

出品作品の核となったのは、2006年度に京都インターアート美術学校から京都国立近代美術館へ寄贈された上野夫妻の全作品・資料群で、この中には、伊三郎が立ち上げた「日本インターナショナル建築会」の機関誌『インターナショナル建築』も全29冊揃って含まれるなど、まさに「幻のコレクション」といえるものであった。

当館では、この「コレクション」に加え、リチがデザインした、日生劇場(村野藤吾設計／1963年竣工)の地下にかつてあったレストラン「アクトレス」の壁紙を一部再現展示し、「アクトレス」の内装空間を3D映像で制作し(河村工房 [河村容治・早川実花])、会場内でモニター上映した。

本展は、「ウィーン＝京都」両都市に開花した上野伊三郎・リチ夫妻による創造実践を、建築・デザイン・工芸などジャンルを横断した視点で再考し、総合的にふりかえる貴重な機会となった。

* 巡回開催：京都国立近代美術館(2009年1月6日(火)～2月8日(日))

●カタログ

寸法：26×18.7×2.2cm／ページ数：216ページ／デザイン：西岡勉／発行：京都国立近代美術館

内容：ごあいさつ／上野伊三郎+リチ コレクション ウィーンから京都へ、建築から工芸へ [山野英嗣]／京都市立美術大学における上野伊三郎先生、リチ先生の指導について [鈴木桂子]／建築家上野伊三郎—その活動の起源 [笠原一人]／日本インターナショナル建築会とブルーノ・タウトの邂逅、得られたもの [川島智生]／【図版】I. 上野伊三郎・リチのウィーン II. 上野伊三郎と「日本インターナショナル建築会」 III. 上野伊三郎・リチの京都 IV. 建築から工芸へ／上野伊三郎+リチ略年譜／「上野伊三郎+リチコレクション展」所蔵先別出品作品リスト／「上野伊三郎+リチコレクション」全作品・資料リスト／「上野伊三郎+リチコレクション」上野伊三郎旧蔵図書リスト

●広報印刷物

ポスター B2 / チラシ A4 ニツ折

●関連催事

* 講演「上野伊三郎+リチ夫妻、その足跡—ウィーン・京都・高崎—」

講師：笠原一人(京都工芸繊維大学大学院助教)

日時：4月18日(土) 午後2時～4時

* 講演「建築と工芸デザイン—上野リチと村野藤吾を中心に—」

講師：長谷川 堯(建築評論家)

日時：4月25日(土) 午後2時～4時

* 講演「壁紙の保存修復—上野リチの壁紙 日生劇場地下レストラン〈アクトレス〉—」

講師：山領まり(修復家・山領絵画修復工房代表)

日時：5月16日(土) 午後2時～3時30分

*ギャラリートour：午後のコース

案内役：目黒区美術館 建築ガイド・スタッフ

日時：4月12日(日)、29日(水祝)、5月3日(日)、6日(水祝)、17日(日)

①午後2時～3時 ②午後4時～5時

*ギャラリートour：夜のコース

案内役：目黒区美術館 建築ガイド・スタッフ

日時：5月15日(金)、29日(金) 午後6時30分～8時



会場風景 撮影：新良太



A4チラシ

上野伊三郎+リチ コレクション展 出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法・素材	所蔵者
■I. 上野伊三郎・リチのウィーン					
I-1	上野リチ	ヨーロッパ最後の港		水彩・紙	
I-2	上野リチ	ホテル・白いカフェテラス	1929年頃	水彩・紙	
I-3	上野リチ	海辺のカフェテラス		水彩・紙	
I-4 (1)-(4)	ダゴベルト・ベッヒェ	テキスタイル・デザイン「オルフェウス」	1911年	水彩・紙	豊田市美術館蔵
I-5 (1)-(5)	ダゴベルト・ベッヒェ	テキスタイル・デザイン「タチジャコソウ」	1911年	水彩・紙	豊田市美術館蔵
I-6	マリア・リカルツ	テキスタイル・デザイン「生意気」	1924年	水彩・紙	豊田市美術館蔵
I-7 (1)-(3)	ユリウス・ジンベル	テキスタイル・デザイン「BAHIA」	1925年	水彩・紙	豊田市美術館蔵
I-8	作家不詳	テキスタイル・デザイン	1920年代	水彩・紙	豊田市美術館蔵
I-9 (1)-(10)	上野リチ	テキスタイル・デザイン「ギザギザバンド」	1922年	水彩・紙	豊田市美術館蔵
I-10	上野リチ	テキスタイル・デザイン「野の花」	1922年	水彩・紙	豊田市美術館蔵
I-11 (1)-(4)	上野リチ	テキスタイル・デザイン「農作物」	1923年	水彩・紙	豊田市美術館蔵
I-12	上野リチ	テキスタイル・デザイン「苔の花」	1924年	水彩・紙	豊田市美術館蔵
I-13 (1)-(9)	上野リチ	テキスタイル・デザイン「ピアリッツ」	1924年	水彩・紙	豊田市美術館蔵
I-14 (1)-(3)	上野リチ	テキスタイル・デザイン「DNJSTR」	1926年	水彩・紙	豊田市美術館蔵
I-15 (1)-(4)	上野リチ	テキスタイル・デザイン「マルタ」	1925年	水彩・紙	豊田市美術館蔵
I-16 (1)-(6)	上野リチ	テキスタイル・デザイン「パリ」	1920年代	水彩・紙	豊田市美術館蔵
I-17 (1)	上野リチ	プリント服地「キャンディー」下絵1	1920年代	水彩・紙	
I-17 (2)	上野リチ	プリント服地「キャンディー」下絵2	1920年代	水彩・紙	
I-18 (1)	上野リチ	プリント服地「ボンボン」下絵1	1920年代	水彩・ペン・紙	
I-18 (2)	上野リチ	プリント服地「ボンボン」下絵2	1920年代	水彩・ペン・紙	
I-18 (3)	上野リチ	プリント服地「ボンボン」下絵3	1920年代	水彩・鉛筆・紙	
I-19	上野リチ	プリント地デザイン(ジャングル)		水彩・鉛筆・紙	
I-20	上野リチ	プリント地デザイン(木立)	1920年代	水彩・鉛筆・紙	
I-21	上野リチ	プリント地デザイン「貝の海辺」	1920年代	水彩・紙	
I-22	上野リチ	プリント地デザイン(野原)	1920年代	水彩・紙	

No.	作家名	作品名	制作年	技法・素材	所蔵者
I - 23	上野リチ	プリント地デザイン(格子柄1)	1920年代	色鉛筆・ コラーージュ・紙	
I - 24	上野リチ	プリント地デザイン(格子柄2)	1920年代	水彩・紙	
I - 25 (1)-(5)	上野リチ	壁紙「夏の平原」(ザルブラ社)	1928年以前	インク・紙	
I - 26 (1)-(5)	上野リチ	壁紙「そらまめ」(ザルブラ社)	1928年以前	インク・紙	
I - 27 (1)-(5)	上野リチ	壁紙「芥子」(ザルブラ社)	1928年以前	インク・紙	
I - 28 (1)	上野リチ	壁紙「花園」(ザルブラ社)	1928年以前	インク・紙	
I - 28 (2)	上野リチ	壁紙「花園」(ザルブラ社)	1928年以前	インク・紙	
I - 28 (3)	上野リチ	壁紙「花園」(ザルブラ社)	1928年以前	インク・紙	
I - 28 (4)	上野リチ	壁紙「花園」(ザルブラ社)	1928年以前	インク・紙	京都市立芸術大学 芸術資料館蔵
I - 28 (5)	上野リチ	壁紙「花園」(ザルブラ社)	1928年以前	インク・紙	
I - 28 (6)	上野リチ	壁紙「花園」(ザルブラ社)	1928年以前	インク・紙	
I - 29 (1)	上野リチ	イースター用ボンボン容れ下絵1	1920年代	水彩・鉛筆・紙	
I - 29 (2)	上野リチ	イースター用ボンボン容れ下絵2	1920年代	水彩・紙	
I - 30	上野リチ	イースター・エッグ飾り下絵	1920年代	水彩・鉛筆・紙	
I - 31	上野リチ	イースター用砂糖菓子「家鳴」下絵	1920年代	水彩・銀・鉛筆・紙	
I - 32	上野リチ	木製独楽デザイン		水彩・紙	
I - 33 (1)	上野リチ	クリスマス・オーナメント・デザイン(天使)1		鉛筆・紙	
I - 33 (2)	上野リチ	クリスマス・オーナメント・デザイン(天使)2		鉛筆・紙	
I - 33 (3)	上野リチ	クリスマス・オーナメント・デザイン(天使)3		鉛筆・紙	
I - 34 (1)	上野リチ	クリスマス・オーナメント「雪だるま」下絵1		鉛筆・紙	
I - 34 (2)	上野リチ	クリスマス・オーナメント「雪だるま」下絵2		鉛筆・紙	
I - 34 (3)	上野リチ	クリスマス・オーナメント「雪だるま」下絵3		鉛筆・紙	
I - 35 (1)	上野リチ	クリスマス・オーナメント・デザイン(星)1		鉛筆・紙	
I - 35 (2)	上野リチ	クリスマス・オーナメント・デザイン(星)2		鉛筆・紙	
I - 36	上野リチ	ウィーンのクリスマス市	1955年	水彩・墨・色鉛筆・ 鉛筆・紙	
I - 37	上野伊三郎	郊外住宅〈ヴィラ・スキヴァ〉図面 (設計者：不詳)	1924年	インク・トレー シングペーパー	京都市立芸術大学 デザイン研究室蔵
I - 38	上野伊三郎	列状集合住宅平面図 (設計：カール・シャルテルミュラー)	1924年	インク・トレー シングペーパー	京都市立芸術大学 デザイン研究室蔵
I - 39	上野伊三郎	ジードルング住宅平面図 (設計：オーストリア・ジードルング・小 規模庭園連合会事務所)	1924年頃	インク・トレー シングペーパー	京都市立芸術大学 デザイン研究室蔵
I - 40	上野伊三郎	ジードルング住宅設計図 (設計：ヨーゼフ・フランク)	1924年頃	インク・トレー シングペーパー	京都市立芸術大学 デザイン研究室蔵

■ II. 上野伊三郎と「日本インターナショナル建築会」

II - 1 (1)-(29)	発行：日本インターナショナル建築会	『インターナショナル建築』全29巻	1929-33年		
II - 2 (1)-(4)	発行：日本インターナショナル建築会	『デザイン』No. 1～4	1927年		
II - 2 (5)-(6)	発行：日本インターナショナル建築会	『デザイン』第2年1月号、2月号	1928年		
II - 2 (7)	発行：日本インターナショナル建築会	『デザイン』第2年11月号	1928年		
II - 2 (8)	発行：創生社	『デザイン』第3年4月号	1929年		
II - 3	中尾保(発行：改善社)	『インターナショナル建築』	1932年		
II - 4	上野(伊三郎)建築事務所	上野建築事務所所賀葉書	1928・29年		
II - 5 (1)	上野伊三郎	高津邸(西宮市)：室内計画図1	1933年	水彩・銀・墨・ 鉛筆・紙	
II - 5 (2)	上野伊三郎	高津邸(西宮市)：室内計画図2	1933年	水彩・銀・墨・ 鉛筆・紙	
II - 5 (3)	上野(伊三郎)建築事務所	高津邸(西宮市)：新築設計図	1933年	鉛筆・紙	京都市立芸術大学 デザイン研究室蔵
II - 5 (4)	上野(伊三郎)建築事務所	高津邸(西宮市)：新築設計図：断面図	1933年	鉛筆・紙	京都市立芸術大学 デザイン研究室蔵
II - 5 (5)	上野(伊三郎)建築事務所	高津邸(西宮市)：新築設計図： 一階日本間詳細図	1933年	鉛筆・紙	京都市立芸術大学 デザイン研究室蔵
II - 5 (6)	上野(伊三郎)建築事務所	高津邸(西宮市)：新築設計図： 二階東側寝室・書斎詳細図	1933年	鉛筆・紙	京都市立芸術大学 デザイン研究室蔵
II - 5 (7)	上野(伊三郎)建築事務所	高津邸(西宮市)：新築設計図： 一階居間食堂詳細図	1933年	鉛筆・紙	京都市立芸術大学 デザイン研究室蔵

No.	作家名	作品名	制作年	技法・素材	所蔵者
■Ⅲ. 上野伊三郎・リチの京都					
III - 2 (1)	上野(伊三郎)建築事務所	玉の湯(芝野邸湯屋)：計画図		鉛筆・紙	京都市立芸術大学 デザイン研究室蔵
III - 2 (2)-(3)	上野(伊三郎)建築事務所	玉の湯(芝野邸湯屋)：改築設計図	1928年	インク・紙	京都市立芸術大学 デザイン研究室蔵
III - 3	上野伊三郎	上野伊三郎：比叡山週末住宅	1929年	鉛筆・紙	京都市立芸術大学 デザイン研究室蔵
III - 4	上野(伊三郎)建築事務所	中尾邸：新築工事：平面・建図	1932年	インク・紙	
III - 5	上野(伊三郎)建築事務所	京都薬學専門學校實驗室：新築設計図	1935年	鉛筆・紙	京都市立芸術大学 デザイン研究室蔵
III - 6	上野(伊三郎)建築事務所	丸竹醤油株式会社：工場新築設計図	1935年	鉛筆・紙	京都市立芸術大学 デザイン研究室蔵
III - 7 (1)-(2)	上野伊三郎	白波瀬邸：応接室計画図1、2	1935年	水彩・銀・鉛筆・紙	
III - 8	上野リチ	中国・白城子 巡回芝居(詩：上野伊三郎)	1940～50年代	水彩・ペン・墨・ 鉛筆・紙	
III - 9	上野リチ	中国・白城子 風物画卷	1940～50年代	水彩・ペン・墨・ 鉛筆・紙	
III - 10	上野リチ	中国・穆稜 風物画卷	1940～50年代	水彩・墨・鉛筆・紙	
III - 11	上野リチ	銀漆地螺鈿煙草容れ「源氏香」下絵 (群馬県工芸所)	1937年	水彩・鉛筆・紙	
III - 12	上野リチ	竹製ボタン下絵(群馬県工芸所)	1937年	水彩・墨・鉛筆・紙	
III-13(1)-(3)	上野リチ	プリント服地「スイートピー」(小野木織 維加工)	1955年頃 [再製作:1987年]	コットンサテン	
III-14(1)-(3)	上野リチ	プリント服地「野菜」(吉忠株式会社)	1955年頃 [再製作:1987年]	木綿	
III-15(1)-(4)	上野リチ	プリント服地「あじさい」	1955年頃	木綿	
III - 16	上野リチ	プリント服地「蒼い花」	1955年頃	合成繊維	
III - 17	上野リチ	プリント・ハンカチ「果物」	1950年頃	絹	
III - 18	上野リチ	プリント・ハンカチ「エーデルワイス」	1950年頃	絹	
III - 19	上野リチ	プリント地デザイン(ビーズ)		鉛筆・紙	
III - 20	上野リチ	プリント地デザイン(花草の鎖)		鉛筆・紙	
III - 21	上野リチ	プリント地デザイン(木の葉1)		鉛筆・紙	
III - 22	上野リチ	プリント地デザイン(撫子2)		鉛筆・紙	
III - 23	上野リチ	プリント地デザイン(スイートピー)		鉛筆・紙	
III - 24	上野リチ	プリント地デザイン(花模様1)		鉛筆・紙	
III - 25 - 28	上野リチ	プリント地デザイン	1950年代	顔料・和紙	京都市立芸術大学 芸術資料館蔵
III - 29	上野リチ	パラソル用プリント地下絵1		水彩・紙	
III - 30	上野リチ	織地ショール		麻	
III - 31	上野リチ	絨毯用織地下絵		水彩・色鉛筆・紙	
III - 32	上野リチ	織地デザイン1		水彩・色鉛筆・紙	
III - 33 - 34	上野リチ	織地デザイン2、3		水彩・ペン・ 鉛筆・紙	
III - 35	上野リチ	スカーフ用織地デザイン		水彩・ペン・ 鉛筆・紙	
III - 36	上野リチ	夏物ショール織地下絵		色鉛筆・紙	
III - 37	上野リチ	飾箱「花(すずらん)」	1950年頃	七宝	
III - 38	上野リチ	飾箱「花(すずらん)」下絵1		水彩・紙	
III - 39	上野リチ	飾箱「草叢の虫」(稲葉七宝)	1950年頃 [再製作:1987年]	七宝	
III - 40	上野リチ	飾箱「草叢の虫」下絵1		水彩・紙	
III - 41	上野リチ	飾箱「馬のサーカスI」(稲葉七宝)	1950年頃 [再製作:1987年]	七宝	
III - 42	上野リチ	飾箱「馬のサーカスI」下絵1		水彩・紙	
III - 43	上野リチ	飾箱「馬のサーカスII」(稲葉七宝)	1950年頃 [再製作:1987年]	七宝	
III - 44(1)-(2)	上野リチ	飾箱「馬のサーカスII」下絵1、2		水彩・紙	
III - 45	上野リチ	飾箱「結婚式」(稲葉七宝)	1950年頃 [再製作:1987年]	七宝	
III - 46	上野リチ	飾箱「結婚式」下絵1		水彩・ペン・銀・ 紙	

No.	作家名	作品名	制作年	技法・素材	所蔵者
III - 47	上野リチ	飾箱「中国芝居」(稲葉七宝)	1950年頃 [再製作:1987年]	七宝	
III - 48(1)-(3)	上野リチ	飾箱「中国芝居」下絵1～3		水彩・ペン・鉛筆・紙	
III - 49	上野リチ	飾箱「中国一紙の龍」(稲葉七宝)	1950年頃 [再製作:1987年]	七宝	
III - 50(1)-(2)	上野リチ	飾箱「中国一紙の龍」下絵1、2		水彩・鉛筆・紙	
III - 51 (1)	上野リチ	宝石箱「娘たち I」下絵1		水彩・ペン・鉛筆・紙	
III - 51 (2)	上野リチ	宝石箱「娘たち I」下絵2		ペン・鉛筆・紙	
III - 51 (3)	上野リチ	宝石箱「娘たち I・II」下絵		水彩・鉛筆・紙	
III - 52	上野リチ	飾箱「花の筐」下絵		水彩・紙	
III - 53	上野リチ	飾箱「源氏香」下絵		水彩・鉛筆・紙	
III - 54	上野リチ	飾りプレート「石竹」	1950年頃	七宝	
III - 55	上野リチ	飾りプレート「石竹」下絵1		水彩・ペン・紙	
III - 56	上野リチ	飾りプレート「ブーケ I」(稲葉七宝)	1950年頃 [再製作:1987年]	七宝	
III - 57 (1)	上野リチ	飾りプレート「ブーケ I」下絵1		水彩・ペン・鉛筆・紙	
III - 57 (2)	上野リチ	飾りプレート「ブーケ I」下絵4		水彩・ペン・紙	
III - 58	上野リチ	飾りプレート「ブーケ II」(稲葉七宝)	1950年頃 [再製作:1987年]	七宝	
III - 59	上野リチ	飾りプレート「ブーケ II」下絵1		水彩・ペン・紙	
III - 60	上野リチ	飾りプレート「二羽の孔雀」	1950年頃	七宝	
III - 61	上野リチ	飾りプレート「二羽の孔雀」下絵1		水彩・ペン・紙	
III - 62	上野リチ	皿「構成」	1950年頃	七宝	
III - 63	上野リチ	皿「ひなぎく」	1950年頃	七宝	
III - 64	上野リチ	皿「アイリス」	1950年頃	七宝	
III - 65	上野リチ	マッチ箱カバー「マッチ棒」	1950年頃	七宝	
III - 66	上野リチ	マッチ箱カバー「紳士」	1950年頃	七宝	
III - 67	上野リチ	マッチ箱カバー「淑女 I」	1950年頃	七宝	
III - 68	上野リチ	マッチ箱カバー「淑女 II」	1950年頃	七宝	
III - 69	上野リチ	マッチ箱カバー・デザイン1		水彩・鉛筆・紙	
III - 70	上野リチ	喫煙具・煙草容れ	1950年頃	七宝	
III - 71(1)-(5)	上野リチ	喫煙具・煙草容れデザイン1～5		水彩・銀・鉛筆・紙	
III - 72	上野リチ	喫煙具・灰皿	1950年頃	七宝	
III - 73(1)-(5)	上野リチ	喫煙具・灰皿デザイン1～5		水彩・紙	
III - 74	上野リチ	髪飾り「バタフライ」下絵		水彩・ペン・紙	
III - 75	上野リチ	ブレスレット・デザイン		水彩・ペン・紙	
III - 76	上野リチ	ブレスレット・デザイン(コサージュ)		水彩・ペン・紙	
III - 77	上野リチ	ブローチ・デザイン		水彩・ペン・紙	
III - 78	上野リチ	ハート型ペンダント・デザイン		水彩・ペン・紙	
III - 79 - 81	上野リチ	クリップ下絵「金魚」・「鳩 I」・「鳩 II」		水彩・鉛筆・紙	
III - 82	上野リチ	ハットピン・デザイン(鳩)		水彩・鉛筆・紙	
III - 83	上野リチ	クリップ・デザイン(花卉)		水彩・ペン・鉛筆・紙	
III - 84	上野リチ	クリップ「花鉢」下絵		水彩・ペン・鉛筆・紙	
III - 85	上野リチ	ブローチ・デザイン(蕾)		水彩・ペン・鉛筆・紙	
III - 86	上野リチ	ブローチ・デザイン(クリスタル)		水彩・ペン・鉛筆・紙	
III - 87	上野リチ	ブローチ・デザイン(葡萄)		水彩・鉛筆・紙	
III - 88	上野リチ	クリップ・デザイン(水晶玉)		水彩・鉛筆・紙	
III - 89	上野リチ	ハンドバック「蘭の花」下絵		水彩・鉛筆・紙	
III - 90	上野リチ	キャビネット扉絵デザイン(1/5縮尺)		顔料・和紙	京都市立芸術大学 芸術資料館蔵
III - 91	上野リチ	図案「縞馬とワニ」		顔料・和紙	京都市立芸術大学 芸術資料館蔵

No.	作家名	作品名	制作年	技法・素材	所蔵者
■IV. 建築から工芸へ					
IV - 1 (1)	上野(伊三郎)建築事務所	寺町錦スター食堂：改造設計図	1929年	鉛筆・紙	
IV - 1 (2)	上野(伊三郎)建築事務所	寺町錦スター食堂：一階食堂：展開図	1929年	青焼	京都市立芸術大学デザイン研究室蔵
IV - 1 (3)	上野(伊三郎)建築事務所	寺町錦スター食堂：二階ボックス：詳細図	1929年	鉛筆・インク・紙	京都市立芸術大学デザイン研究室蔵
IV - 2 (1)	上野(伊三郎)建築事務所	スター食堂：改造工事：正面図・透視図	1930年	鉛筆・紙	京都市立芸術大学デザイン研究室蔵
IV - 2 (2)	上野(伊三郎)建築事務所	スター食堂出町分(支)店：設計図：建図・断面図	1930年	インク・紙	京都市立芸術大学デザイン研究室蔵
IV - 2 (3)	上野(伊三郎)建築事務所	スター食堂祇園分(支)店：新築設計図：各階平面図	1931年	インク・紙	京都市立芸術大学デザイン研究室蔵
IV - 2 (4)	上野(伊三郎)建築事務所	スター食堂祇園分(支)店：椅子・テーブル	1932年	鉛筆・紙	京都市立芸術大学デザイン研究室蔵
IV - 2 (5)	上野(伊三郎)建築事務所	スター食堂西陣北店：新築工事：平面図・建図	1935年	鉛筆・紙	京都市立芸術大学デザイン研究室蔵
IV - 3 (1)	上野(伊三郎)建築事務所	スターソーダファウンテン：改築設計図	1932年	鉛筆・紙	京都市立芸術大学デザイン研究室蔵
IV - 3 (2)	上野(伊三郎)建築事務所	スター食堂西陣北店：増築工事：一般図	1934年	鉛筆・紙	京都市立芸術大学デザイン研究室蔵
IV - 3 (3)	上野(伊三郎)建築事務所	スターソーダファウンテン：改築工事：各階平面・伏・姿図	1932年	鉛筆・紙	
IV - 3 (4)	上野(伊三郎)建築事務所	スターソーダファウンテン：改築工事：一・二階展開図	1932年	鉛筆・紙	
IV - 4 (1)	上野(伊三郎)建築事務所	スター食堂：五条店改造設計図：透視図	1933年	鉛筆・紙	
IV - 4 (2)	上野(伊三郎)建築事務所	スター食堂：ショウウィンドウ改造設計図	1951年	鉛筆・紙	京都市立芸術大学デザイン研究室蔵
IV - 5 (1)	上野リチ	スターバー：壁面装飾下絵「果物」	1930年	水彩・紙	
IV - 5 (2)	上野リチ	スターバー：壁面装飾下絵「秋の実り」	1930年	水彩・紙	
IV - 5 (3)-(4)	上野伊三郎・上野リチ	スターバー：内装デザイン1、2	1930年	水彩・鉛筆・紙	
IV - 5 (5)	上野伊三郎・上野リチ	スターバー：内装デザイン3	1930年	水彩・色鉛筆・鉛筆・紙	
IV - 5 (6)	上野伊三郎・上野リチ	スターバー：内装デザイン4	1930年	色鉛筆・鉛筆・紙	
IV - 5 (7)	上野(伊三郎)建築事務所	スターバー：改造設計図		鉛筆・紙	京都市立芸術大学デザイン研究室蔵
IV - 5 (8)	上野(伊三郎)建築事務所	スターバー：大修繕設計図：プラン・建図・断面図	1955年	インク・紙	京都市立芸術大学デザイン研究室蔵
IV - 5 (9)	上野(伊三郎)建築事務所	スターバー：大修繕設計図：スタンド詳細	1955年	インク・紙	京都市立芸術大学デザイン研究室蔵
IV - 5 (10)	上野(伊三郎)建築事務所	スターバー：改造設計図：ボックス用家具	1955年	インク・紙	京都市立芸術大学デザイン研究室蔵
IV - 5 (11)	上野(伊三郎)建築事務所	スターバー：改造設計図：室内家具配置図	1955年	インク・紙	京都市立芸術大学デザイン研究室蔵
IV - 6 (1)	上野伊三郎・上野リチ	京都市役所貴賓室：内装デザイン	1950年代	水彩・鉛筆・紙	
IV - 6 (2)	上野リチ	京都市役所貴賓室：壁画下絵	1950年代	水彩・紙	
IV - 6 (3)	上野(伊三郎)建築事務所	京都市役所貴賓室：改造設計図：南窓下飾棚	1951年	鉛筆・紙	
IV - 6 (4)	上野(伊三郎)建築事務所	京都市役所貴賓室：改造設計図(2面)	1951年	鉛筆・紙	
IV - 7 (1)	上野伊三郎	クラブみち代：入り口周り	1950年代	青焼	京都市立芸術大学デザイン研究室蔵
IV - 7 (2)	上野伊三郎	クラブみち代：平面図	1950年代	青焼	京都市立芸術大学デザイン研究室蔵
IV - 7 (3)	上野伊三郎	クラブみち代：家具設計図	1950年代	青焼	京都市立芸術大学デザイン研究室蔵
IV - 7 (4)-(6)	上野リチ	クラブみち代：内装デザイン1～3	1950年代	水彩・鉛筆・紙	
IV - 8	上野リチ	プリント地デザイン(カーネーション)		水彩・鉛筆・紙	
IV - 9	上野リチ	プリント地デザイン(矢車草1)		水彩・墨・ペン・鉛筆・紙	
IV - 10	上野リチ	プリント地デザイン(アネモネ1)		水彩・紙	
IV - 11	上野リチ	都ホテル京都(現ウエスティン都ホテル京都)貴賓室壁用クロス「花鳥」	1970年	合成繊維	
IV - 12	上野リチ	都ホテル京都(現ウエスティン都ホテル京都)貴賓室壁用クロス「花木」	1970年	合成繊維	
IV - 13(1)-(3)	上野リチ	壁用クロス「野の花と鳥」	1960～70年代	合成繊維	

No.	作家名	作品名	制作年	技法・素材	所蔵者
IV - 14(1)-(2)	上野リチ	壁用クロス「野の花」	1960～70年代	ビニールプリント	
IV - 15(1)-(3)	上野リチ	壁用クロス「花鳥1」	1960～70年代	ビニールプリント	
IV - 16(1)-(2)	上野リチ	壁用クロス「花鳥2」	1960～70年代	ビニールプリント	
IV - 17	上野リチ	日生劇場レストラン〈アクトレス〉壁画(部分)	1963年	顔料・襖紙	個人蔵
IV - 18	上野リチ	日生劇場レストラン〈アクトレス〉壁画デザイン	1960年代	顔料・和紙	京都市立芸術大学 芸術資料館蔵
IV-19(1)-(12)	上野リチ	壁面装飾デザイン1～12	1960年代	顔料・和紙	京都市立芸術大学 芸術資料館蔵
IV - 20 (1)	大林組日比谷日生ビル工事事務所	日本生命日比谷ビル：新築工事：B1食堂展開 其ノ2	1963年	青焼	京都市立芸術大学 デザイン研究室蔵
IV - 20 (2)	大林組日比谷日生ビル工事事務所	日本生命日比谷ビル：新築工事：B1食堂曲面壁展開図	1963年	青焼	京都市立芸術大学 デザイン研究室蔵

参考出品(目黒会場のみ)

III - 1 (1)	上野(伊三郎)建築事務所	柳本邸：新築設計投影図	1929年	青焼	個人蔵
III - 1 (2)	上野(伊三郎)建築事務所	柳本邸：新築設計図1	1929年	青焼	個人蔵
III - 1 (3)	上野(伊三郎)建築事務所 京都市立芸術大学学生	柳本邸：新築設計図2 上野リチ指導「色彩構成」集団制作	1929年 1961年	青焼 色紙・水彩	個人蔵 京都市立芸術大学 デザイン研究室蔵
		高津邸新築設計図面 1階平面図(原図)	1933年(京都府建築認可證印)	インク・紙	個人蔵
		高津邸新築設計図面 1階・地階平面図	1933年(京都府建築認可證印)	青焼	個人蔵
	上野リチ	二又フォーク	1936～39年(群馬工芸所時代)	竹	群馬県立歴史博物館蔵
	上野リチ	三又フォーク	1937～39年(群馬工芸所時代)	竹	群馬県立歴史博物館蔵
	上野リチ	両耳把手付き籠(サンドイッチ・トレイ)	1938～39年(群馬工芸所時代)	竹	群馬県立歴史博物館蔵
	上野リチ	ナブキン立て	1939～39年(群馬工芸所時代)	竹皮巻	群馬県立歴史博物館蔵
		『日本生命相互保険会社本社屋竣工パンフレット』			個人蔵
	発行：株式会社 日本生命館	『日生劇場パンフレット』	1964年9月30日		個人蔵
		日生劇場レストラン〈アクトレス〉壁画(部分)	1963年		個人蔵
		旧千代田生命本社ビル(現目黒区総合庁舎)応接室 埋め込み時計 時計設計：村野藤吾(村野・森建築事務所)	1966年	時計	目黒区美術館蔵
		旧千代田生命本社ビル(現目黒区総合庁舎)応接室内装(撮影：新 良太) 設計：村野藤吾(村野・森建築事務所) 上野伊三郎愛用品	1966年	写真	目黒区美術館蔵

所蔵：無記名のものは、京都国立近代美術館

線の迷宮<ラビリンス>・番外編

—響き合い、連鎖するイメージの詩情

会期：2009年8月1日(土)～9月27日(日) 51日間

会場：展示室 ABC、展示ロビー、エントランスホール、ワークショップ

主催：(財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館

担当学芸員：降旗千賀子

目黒区美術館ではこれまで、「線の迷宮<ラビリンス>」と題し、線の魅力と可能性に迫る企画を2002年「細密版画の魅力」展、2007年「鉛筆と黒鉛の旋律」とシリーズで展開してきた。今回はそのシリーズの番外編として、当館がこれまで所蔵してきた版画集、版画による詩文集を紹介した。当館は、準備室時代から1987年の開館までに集中して版画集を集めてきた。この時代に収集した版画集のほとんどは、1970年代に発行されたもので、この時期は日本が経済的に豊かな時代を迎え、美術の中でも版画が独自に発展し、銅版画、木版画、石版画、シルクスクリーンなどが、活発に制作された時期で、海外からも熱い視線を集めていた。版画集タイトルは44件の版画で会場を構成し、版画が輝いていた70年代の版画集、詩文集を再考した。版画家と詩人のコラボレーションとして生まれた詩文集の魅力や、繊細な刷りの技術やタトウなどの箱にいたるまで、丁寧に計画された出版としての版画集の魅力を紹介した。同時に、版画に関するワークショップを会期中開催した。

●カタログ

寸法：22.5×22.5×1.0cm / ページ数：112ページ / デザイン：中嶋佐和子

内容：カラー図版、謝辞、ごあいさつ、目次、モノクロ図版・データ、版画の時代—眼で知るたのしみ(降旗千賀子)、版画集作品リスト、カラー図版

●広報印刷物

ポスターB2(2色) / チラシA4

●関連催事

ワークショップは教育普及の項参照(p.85)



A4 チラシ

出品リスト

No.	版画集名	作家名	出版年	寸法(タテ×ヨコcm)	主な技法/紙	ed. no.	発行	
01	『女・時の過ぎゆくま まに』	相笠昌義	1979年	8点	39.5×42.0	エッチング、ア クアチント/ ハーネミューレ 紙	69/77	77ギャラリー
02	『地の上で』	麻田 浩	1978年	7点	33.7×25.4	エッチング、ア クアチント/紙	38/60	大阪フォルム画廊
03	『觸視空間』	東 貞美	1974-75年 /1975年	10点	31.5 ×30.0	エンブレイヴィ ング/BFK 紙	A.P./75	ウナック・トウキョ ウ
04	『山の呼ぶ声』	畦地梅太郎	1963年	5点	26.2×19.9	木版/紙	A.P.12/20 ed.100	創文社
05	『クロマトポイエマ』	飯田善國	1972年	22点(18点+ 4点フロント ピース)	75.0×55.0	シルクスクリー ン/紙、透明フィ ルム	48/50	南天子画廊、詩：西 脇順三郎(共作)、賛： 瀧口修造
06	『天使が私を攪乱する』	池田満寿夫	1969年	9点	見開き21.5× 35.5	メゾチント、エッ チング、ルーレ ット、レリーフ・ エッチング/紙	87/99	Giorgio Upiglio & C. Edizioni d'arte Grafica Uno, Milano

No.	版画集名	作家名	出版年		寸法(タテ ×ヨコ cm)	主な技法/紙	ed. no.	発行
07	『Surface is the Between - Lotus Sutra -』	井田照一	1979年	11点	50.3×35.6		12/100	スタジオ風、星田ス クリーンプリントス スタジオ
08	Portfolio『Profile』顔	宇佐美圭司	1973-74年	7点	74.5×55.3	シルクスクリー ン/紙	14/50	南画廊 文：宇佐美圭司
09	『VARIATION A』	小作青史	1974年	25点	29.2×24.3	リトグラフ/紙	13/15	大阪フォルム画廊
10	『VARIATION B』	小作青史	1974年	17点	30.7×25.0	リトグラフ/紙	6/15	大阪フォルム画廊
11	『VARIATION C(単一 から転写による軌跡)』	小作青史	1976年	14点	39.0×33.0	リトグラフ/紙	8/30	大阪フォルム画廊
12	『VARIATION D(群よ り一転写による軌跡)』	小作青史	1976年	14点	38.8×32.8	リトグラフ/紙	9/30	大阪フォルム画廊
13	『ギリシア神話より』	小作青史	1968年	11点	39.7×56.0	エッチング、ア クアチント/紙	23/50	大阪フォルム画廊
14	『塩の柱、あるいは 舞台衣装のための CODEX』block notes 3	加納光於	1978年	10点(蛇腹 折2分冊)(多 色)	34.8×20.0	カラーインタリ オ/アルシュ紙	44/97	林グラフィックプレ ス
15	<肖像 part 1>	柄澤 齊 *単品による制作。 作家同意の上、版 画集の形で受け入 れた。	1981-83年	17点		木口木版、雁皮 刷/紙		受入先：シロタ画廊
16	『燭罪領<「七つの大 罪」による>』	柄澤 齊	1975年	16点	38.3×28.5	木口木版、雁皮 刷/アルシュ紙	A.P./8 ed.55	シロタ画廊
17	『死と転生』	木原康行	1977年	10点(6-10 多色)	46.8×38.0	エングレーヴィ ング/紙	47/100	大阪フォルム画廊
18	『木 林 そして森』	木村 茂	1971年	15点(1.9単色 カラー)	33.0×25.0	エッチング/紙	H.C./60	大阪フォルム画廊
19	<自己消滅>	草間彌生 *単品による制作 で、作家同意の上、 版画集の形で受け 入れた。	1982-83年 /1985年	9点(多色)		シルクスクリー ン、コラージュ /紙	A.P.	受入先：フジTV ギャラリー
20	『中國』	黒崎 彰	1980年	10点(多色)	56.0×42.8	木版、シルクス クリーン/越前 特濃奉書紙	69/75	シロタ画廊
21	『AMERICA Love & Peace』	黒崎 彰	1975年	10点(多色)	34.0×49.2	木版、写真凸版 (亜鉛)/越前特 濃厚奉書紙	49/75	シロタ画廊
22	『Composition de la Nuit』	駒井哲郎	1970年	11点(10点+ 1点、フロン トピース)	50.2×32.8	エッチング、雁 皮刷/紙	21/37	青地社
23	『人それを呼んで反歌 という』	駒井哲郎	1965-66年 /1966年	16点	32.6×50.6	シュガーアクア チント、エッチ ング、エンボス ほか/BFK 紙	15/60	エスパース画廊
24	『遠心分離』	高橋 秀	1981年	8点	36.5×34.5	ドライポイント、 アクアチント、 エンボス、ソフ トグラウンド・エッ チングほか/紙	25/55	現代版画工房
25	『arc』block notes 5	中西夏之	1978年	8点(蛇腹折)	35.0×20	凸版・エッチン グ/アルシュ紙	22/80	刷・林グラフィック プレス
26	『剝離される日々』	中林忠良	1973年	15点	45.0×34.2	エッチング、ア クアチント、メ ゾチント、ド ライポイント、 ディープエッチ ングほか/紙	4/14特装版 ed.50	シロタ画廊
27	『イリュミナシオンー 大洪水の後 神秘 花々 野蛮』	野中ユリ	1975年	5点	59.3×44.1	リトグラフ、コ ロタイプ/紙	16/50	青画廊
28	『見える人』	浜田知明	1974-75年 /1975年	8点	41.3×31.7	エッチング、ア クアチント、雁 皮刷/紙	40/50	大阪フォルム画廊
29	『わらべ唄』	秀島由己男	1972年/ 1974年	6点	48.0×40.8	メゾチント、エッ チング、雁皮刷 /BFK 紙	11/60	南天子画廊

No.	版画集名	作家名	出版年		寸法(タテ ×ヨコ cm)	主な技法/紙	ed. no.	発行
30	『彼岸花』	秀島由己男	1973年/ 1974年	8点	47.8×25.0	メゾチント、エツ チング、アクア チント、ドライ ポイント、雁皮 刷/BFK紙	2/60	南天子画廊
31	『卵』	日和崎尊夫	1970年	10点	42.0×68.0二 ツ折	木口木版/越前 福井鳥ノ子紙	29/50	シロタ画廊
32	『宮沢賢治「春と修羅」 より』	深沢幸雄	1970年	10点	29.7×23.7	エッチング、ア クアチント、ド ライポイント、 ルーレット、雁 皮刷/紙	36/50	株式会社フジ美術
33	『アルチュール・ラン ポー「酔いどれ船」よ り』	深沢幸雄	1982年	11点	41.0×32.0	メゾチント/紙	42/75	番町画廊
34	『PSALM 1』(詩篇)	村上友晴	1979年	8点	30.5×24.5	ドライポイント /紙	5/10	雅陶堂ギャラリー
35	『ここにギリシア語で 表記(YPOGEION)』	保田春彦	1975年	5点	25.0×25.0	シルクスクリー ン、エンボス/ 紙	1/35	南画廊
36	『愛の動物誌』	矢柳 剛	1972年	10点	79.0×54.6	シルクスクリー ン/紙	36/50	矢柳 剛
37	『愛の動物誌第二集』	矢柳 剛	1973年	10点	79.0×54.6	シルクスクリー ン/紙	29/50	矢柳 剛
38	『LONDON II』	吉田克朗	1975年	12点	31.0×43.5	フォトエッチ ング/紙	8/20	吉田克朗
39	『点より・線より』	李 禹煥	1977年	8点	50.0×65.8	リトグラフ/ア ルシュ紙	36/50	シロタ画廊
40	『FROM LINE』	李 禹煥	1981年	12点	46.0×56.0	ドライポイント /アルシュ紙	8/50	康画廊
41	『ノート・鮭の尾鱗』	若林 奮	1977年/ 1978年	14点	26.5×35.0	ドライポイント、 エッチング/ア ルシュ紙	24/27	林グラフィックプレ ス
42	『21.34- VALENCE』	若林 奮	1974年/ 1975年	10点	48.0×65.0	リトグラフ/ア ルシュ紙	1/21	Print house OM
43	『余白の侵蝕』	若林 奮	1973年	6点	32.0×47.0	亜鉛凸版/印刷 局紙	H.C.9/10 ed.55	株式会社エディシ オン エンバーヴ
44	『52記』	若林 奮	1988-93年 / 1995年	52点	38.5×28.5	エッチング、エ ングレーヴィン グ/アルシュ水 彩紙	9/52	林グラフィックプレ ス

所蔵：すべて目黒区美術館

‘文化’資源としての〈炭鉱〉展

会期：2009年11月4日(水)～12月27日(日) 47日間

会場：展示室 ABC、展示ロビー、エントランスホール、ワークショップ、区民ギャラリー

主催：(財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館

共催：目黒区、目黒区教育委員会、東京新聞、ポレポレ東中野

後援：北海道、福島県、福岡県、長崎県／歌志内市、美咲市、三笠市、夕張市、いわき市、嘉麻市、田川市、長崎市
／北海道新聞、西日本新聞／文化資源学会、美学校

助成：芸術文化振興基金、アサヒビール芸術文化財団、企業メセナ協議会

協賛：朝倉不動産、資生堂

企画協力：夕張市美術館、夕張市石炭博物館、美咲市教育委員会、三笠市教育委員会(ミカサ・モダンアート・ミュージアム)、いわき市立美術館、嘉麻市教育委員会、田川市石炭・歴史博物館、田川市美術館、田川市立図書館

協力：NPO 法人炭鉱の記憶推進事業団、常盤炭田史研究会、公立大学法人福岡県立大学(世界遺産をめざす田川再生事業事務局)、山本作兵衛さんをく読む会、NPO 法人軍艦島を世界遺産にする会

企画委員：川俣正(美術家)＋菊畑茂久馬(美術家)＋本橋成一(写真家)＋Jesty Justin(エール大学特別研究員、日本戦後思想史)＋正木基(本展担当学芸員)

担当学芸員：正木 基

共催上映：Part.3－特集上映＜映像の中の炭鉱＞ 主催・会場：ポレポレ東中野

戦後の経済復興、高度経済成長を支えた産業の一つが石炭産業だった。本展は、炭鉱の人々の生きざまや採炭による自然と街の変容、戦後の炭鉱の様々な諸相を、マス・メディアによらない様々な視覚芸術が、いかなる限差しで捉えてきたか、また現在にどのようなイメージをもたらしたのか、炭鉱と視覚表現の歴史的な関わりを検証した。展覧会は、3部構成とし、「part-1 <ヤマ>の美術・写真・グラフィック」は、約60作家・400余点の油彩、日本画、水彩、版画、彫刻、素描、写真、ポスターなどグラフィックで、炭鉱と戦後視覚芸術の展開をたどった。「Part-2 川俣正コールマイン・プロジェクト」は、10余年、筑豊・田川でのCoalmine(炭鉱)プロジェクトに取り組んだ川俣正の仕事に着目し、新作インスタレーションとドキュメントの個展を開催した。「Part-3 映像の中の炭鉱」は、民間の映画館「ポレポレ東中野」との共同企画で、戦後間もなくから現在までの、炭鉱を主題にした劇映画、記録映画に加え、炭鉱会社・炭鉱労働組合の宣伝映画など、日頃、レンタルビデオ等で見ることのできない作品を中心に約10作品を、展覧会会期に合わせてプログラム上映した。また、会期中、出品作家や炭鉱・産炭地文化の関係者等と語り合い、多様なテーマを孕む炭鉱問題、炭鉱主題の多彩な表現を読み解く『夜の美術館大学 コールマイン・アート学科』も開催した。

●カタログ

サイズ：29.7×21.0×2.2cm / ページ数：416ページ / カタログ・コンセプト&構成：正木 基 / カタログ装丁・レイアウト：辻 耕

内容：ごあいさつ / 目次 / 謝辞 / 【第1章】< 解説 > [正木基] / 千田梅二論 [Justin Jesty、徳永恵太 共著] / 山本作兵衛「炭鉱記録画 [森本弘行] / 切羽で乾杯—作兵衛と英信 [上野朱] / インタビュー：うえだひろし + Justin Jesty + 徳永恵太 / インタビュー：野見山眺治 + 正木基「『廃坑』を描いた頃」 / 北海道・炭鉱・美術 [佐藤友哉] / 北海道炭鉱労働者の共同制作 1950年の『人民裁判事件記録画』をめぐって [Justin Jesty] 【第二章】< 解説 > [正木基] / 九州派とサークル村—その関係性をめぐるノート— [山口洋三] / インタビュー：富山妙子 + 正木基「炭鉱から広げた『美術』と『世界』」 / インタビュー：池田龍雄 + 正木基「炭鉱とルポルタージュ・アート」 / インタビュー + コメント：菊畑茂久馬(画家) + 正木基「美学校での山本作兵衛作品模写壁画制作のこと」 / インタビュー：滝純一 + 正木基「風と軍艦島」 / インタビュー：多田美波 + 正木基「建築・美術・炭鉱—炭労働者の作品『炭鉱』」 / イ・バル(その口)としての夕張 [中森敏夫] / インタビュー：岡部昌生 + 吉岡宏隆 + 正木基「炭鉱の被膜として掘り出される日本近代」 / インタビュー：吉増剛造 + 正木基「石狩河口に坐し、夕張で『女坑夫』に出遭った頃」 / 【第3章】< 解説 > [正木基] / インタビュー：中山陽 + 正木基「筑豊に住み、筑豊を撮る」 / 企画された「不親切」としての記録集—『写真万葉録・筑豊』 [土屋誠一] / インタビュー：宮松宏至 + 正木基「上野英信とく約東の楽土」 / インタビュー：大橋弘「1972年、軍艦島で・・・」 / インタビュー：萩原義弘 + 正木基「1980年代夕張から見えてくる炭鉱写真」 / 【第4章】< 解説 > [正木基] / 炭鉱・ポスター・デザイン考 [肴倉陸子] / 【第5章】< 解説 > [正木基] / 映像作品における炭鉱というモチーフ [石川翔平] / インタビュー：本橋成一 + 正木基「炭鉱で写真を撮る・炭鉱の映画を見る」 / あとがきにかえて [正木基]

●広報印刷物

ポスターB3(2種) / チラシA4(三ツ折)

●関連催事

夜の美術館大学コールマイン・アート学科

- 1 出張 C a f e talk 今野勉+川俣正 炭鉱イメージの諸相
講師：今野勉(演出家・脚本家、テレビマン・ユニオン副会長)+川俣正(美術家、本展企画委員)
日時：11月7日(土) 午後6時30分～8時 31名
- 2 上野英信の眼を射抜いたもの ～炭鉱を視覚で伝達すること
講師：上野朱(エッセイスト、古書店経営、上野英信氏子息)+本橋成一(写真家、本展企画委員)
日時：11月8日(日)午後6時30分～8時 24名
- 3 空知、ルール、ウェールズ ～炭鉱を楽しみ、味わい尽くす方法
講師：吉岡宏高(NPO 法人炭鉱の記憶推進事業団理事長/札幌国際大学准教授)
日時：11月14日(土)午後6時30分～8時 18名
- 4 軍艦島を世界遺産に！
講師：坂本道徳(NPO 法人軍艦島を世界遺産にする会理事長/九州伝承遺産ネットワーク会長/長崎近代化遺産研究会事務局長)
日時：11月17日(火) 午後6時30分～8時 14名
- 5 対談シリーズ①：私の炭鉱と絵画
講師：野見山晁治、聞き手：正木基(本展担当学芸員)
日時：11月19日(木) 午後6時30分～8時 26名
- 6 参加する文化とアマチュアの問題 ～炭鉱の美術をどう鑑賞すべきか
講師：ジェスティ・ジャスティン(エール大学招聘研究員、ウィリアム&メリー大学教員、本展企画委員)
日時：11月21日(土)午後6時30分～8時 31名
- 7 現在進行形「岡部昌生炭鉱プロジェクト」～その後の夕張、釧路のいま
講師：岡部昌生(美術家、札幌大谷大学教授)
日時：11月22日(日) 午後6時30分～8時 26名
- 8 菊畑茂久馬・特別出張講義「山本作兵衛～筑豊に吹き狂う夢」
講師：菊畑茂久馬(美術家、本展企画委員)
日時：11月28日(土)午後6時30分～8時 39名
- 9 木下直之「炭鉱を文化資源として読み解けば・・・」
講師：木下直之(東京大学大学院文化資源学教授、文化資源学会会長)
日時：12月1日(火)午後6時30分～8時 32名
- 10 対談シリーズ②：常磐の美術と文化を語る
講師：杉浦友治(いわき市美術館学芸員)、聞き手：本展担当学芸員"
日時：12月3日(木)午後6時30分～8時 6名
- 11 萩原義弘の「すかぶら」長あ～談義*すかぶら=筑豊弁で怠け者のこと
講師：萩原義弘(写真家)
日時：12月8日(火)午後6時30分～8時 20名
- 12 対談シリーズ③：炭都・夕張の美術、文化の再生に向けて
講師：源藤隆一(元・夕張市美術館学芸員、現・夕張市教育委員会)
+佐藤時啓(美術家、東京芸術大学先端芸術表現科教授)
聞き手：正木基(本展担当学芸員)
日時：12月10日(木)午後6時30分～8時 23名
- 13 対談シリーズ④：軍艦島で、凝視めた青春
講師：大橋弘(写真家)+聞き手：正木基(本展担当学芸員)
日時：12月17日(木)午後6時30分～8時 24名
- 14 対談シリーズ⑤：座談編「文化」資源としての<炭鉱>展を視る、語る
参加者全員+正木基(本展担当学芸員)
日時：12月19日(土)午後6時30分～8時 9名
- 15 吉増剛造のパフォーマンス ～女坑夫さんの夕張から
内容：ヴォイス・パフォーマンスと映像「石狩シーツ」
+対話 正木基(本展担当学芸員)
日時：12月13日(日)午後2時～4時 43名 会場：目黒区民センターホール



A4チラシ

‘文化’資源としての<炭鉱>展 出品リスト

○原則的に「No. 作家名 作品名 制作年 寸法 (cm) 技法・素材 所蔵先」の順に記載した。

○本展覧会のために新たにつけた仮題には「*」を付した

Part.1 - <ヤマ>の美術・写真・グラフィック (会場：目黒区美術館本館)

■1章. ~炭鉱と美術. ~掘る 生きる 描く

1)記録作家・上野英信の眼 Part.1 - 筑豊の <炭坑夫美術家>たち

No.	作家名	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	所蔵先
1-01	千田梅二	ボタ山 日炭高松一坑	1950	37.5 × 45.5	木炭・紙	田川市美術館蔵
1-02	千田梅二	ボタ山 日炭高松一坑	1950	37.5 × 45.5	油彩・キャンバス	田川市美術館蔵
1-03-1	千田梅二	『地下戦線』(創刊号表紙)		19.4 × 23.6	木版・紙	田川市美術館蔵
1-03-2	千田梅二	『地下戦線』(創刊号 1953年5月 筑豊炭坑労働者文芸工作集団)				
1-04-1	千田梅二	『地下戦線』(第2号表紙)		21.4 × 28.9	木版・紙	田川市美術館蔵
1-04-2	千田梅二	『地下戦線』(第2号 1953年7月 筑豊炭坑労働者文芸工作集団)				
1-05-1	千田梅二	『地下戦線』(第4号表紙)		22.8 × 42.6	木版・紙	田川市美術館蔵
1-05-2	千田梅二	『地下戦線』(第4号 1953年12月 筑豊炭坑労働者文芸工作集団)				
1-05-3	千田梅二	『ルポルタージュ日本の証言7 せんぶりせんじが笑った!』(表紙 著:上野英信 1955年4月 柏林書房)				
1-06-1	千田梅二	煙突	1955年	45.5 × 37.5	木版・紙	田川市美術館蔵
1-06-2	千田梅二	『まっくら』(表紙 著:森崎和江 1961年 理論社)				
1-07-1	千田梅二	女坑夫	1956年	53.3 × 44.6	木版・紙	田川市美術館蔵
1-07-2	千田梅二	『どきゅめんと筑豊』(表紙 著:上野英信 1969年 社会新報)				
1-08-1	千田梅二	カンテラをもつ坑夫	1953年	26.5 × 20.5	木版・紙	田川市美術館蔵
1-08-2	千田梅二	『原点が存在する』(表紙 著:谷川雁 1958年 弘文堂)				
1-09	千田梅二	星空の下のボタ山	1956年	39.5 × 45.0	木版・紙	田川市美術館蔵
1-10	千田梅二	月と炭住	1956年	42.0 × 49.7	木版・紙	田川市美術館蔵
1-11	千田梅二	『サークル村』(創刊号表紙)	1958年	34.0 × 25.7	木版・紙	田川市美術館蔵
1-12	千田梅二	『炭坑仕事唄板画巻』(表紙1点 表題1点 作品28点)	1956年			田川市美術館蔵
(0) -1		表紙				
(0) -2		表題		21.6 × 16.1	木版・紙	
(1)		七つ八つから カンテラさげて 坑内さがるも親の罰		22.0 × 19.0	木版に着色・紙	
(2)		赤い煙突 目あてにゆけば 米のまんまがあげられ食い		24.2 × 16.8	木版に着色・紙	
(3)		文句ぬかすと セナ棒でどたま さらし手ぬぐい血で染める紙		25.3 × 20.4	木版に着色・紙	
(4)		坑夫六年 溶鉱夫八年 嬢ばかりは五十年		25.4 × 20.4	木版・紙	
(5)		ひとは夢のなか わしゃくどのまえ ほんに三時の汽笛にくや		25.9 × 19.9	木版・紙	
(6)		あなた一番方 わしゃ二番方 あがりさかりで逢うばかり		22.0 × 16.8	木版に着色・紙	
(7)		汽車は炭ひく せっちん虫や尾ひく 川筋下罪人はスラを曳く		23.4 × 19.1	木版・紙	
(8)		せくな棹取 さわぐな馬丁 せいて物事しそんじる		22.1 × 19.0	木版・紙	
(9)		わしの先山さんは 久留米のお方 いつも切羽はかすり緋		23.4 × 17.3	木版に着色・紙	
(10)		わしを後山につれんかなあんたさん 函に不自由はさせやせぬ		24.5 × 21.2	木版に着色・紙	
(11)		米はあがるし 切賃はさがる 五銭バットも吸いかねる		18.7 × 22.1	木版に着色・紙	
(12)		たばこどころか 今日このごろは くさい三等飯も食いかねる		21.8 × 16.7	木版に着色・紙	
(13)		おれもなりたや 小頭さんに いつも笹部屋で寝てござる		21.2 × 26.2	木版に着色・紙	
(14)		いやな人繰り 邪慳な勘場 なさけ知らずの納屋頭		24.8 × 20.1	木版に着色・紙	
(15)		蒸気おろしの曲片磐で いっちょさせたが けちのもと		25.0 × 19.9	木版・紙	
(16)		いっちょさせたら 小頭めの奴が 特別切羽をやるというた		23.5 × 17.3	木版・紙	
(17)		坑夫坑夫と けいべつするな 石炭は畑にはえはせぬ		15.2 × 13.9	木版・紙	
(18)		おまえ十五か 十五にゃこまい まるでカルイがあるくよだ		27.2 × 18.7	木版・紙	
(19)		卸底から 百斤籠セナで 唄でくる人わしがサマ		24.3 × 18.7	木版・紙	

No.	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	技法・素材	所蔵先
(20)		惚れちゃいけない 棹取さんじゃ 末は一本剣の蹴りわかれ		14.5 × 17.8	木版に着色・紙	
(21)		伊達の道楽 自慢の借り着 好いたことして死ねばチョン		16.0 × 13.7	木版・紙	
(22)		社宅「おくさん」大納屋「おかさん」小納屋「ごりょん」とは誰がきめた		20.8 × 17.0	木版に彩・紙	
(23)		お母ン銭くれ 切符はいらん 町でフジクラ草履かう		20.8 × 17.0	木版・紙	
(24)		勘定祝に ぞらそうじゃないかと言うて コケーコーの首ひねる		24.7 × 19.7	木版に着色・紙	
(25)		炭はちよん函でも 時間さえたてば 上りや二合半が腕まくり		22.2 × 18.1	木版に着色・紙	
(26)		ままになるなら あの煙突に わしの思いを吐かせたい		14.7 × 13.5	木版・紙	
(27)		バクチャ目がでず 切羽にやなぐれ 二足わらじで遠賀くんだり		15.3 × 13.9	木版・紙	
(28)		娘やるなよ坑夫の嫁に 硬がどんとくりや 若後家女		24.4 × 21.6	木版・紙	
1-13-1	千田梅二	『せんぶりせんじが笑った!』(表紙)(文:上野英信)				田川市美術館蔵
1-13-2	千田梅二	(参考)『せんぶりせんじがわらった』(幻灯)				個人蔵
1-13-2-1	千田梅二	幻灯『せんぶりせんじが笑った!』(1955年 2007年DVD化)(脚本:上野英信 人形:勢満雄 撮影:菊池利夫 製作:日本炭鉱労組)				
1-13-2-2	千田梅二	『せんぶりせんじがわらった』幻灯シナリオ				
1-13-2-3	千田梅二	『せんぶりせんじがわらった』幻灯フィルム				
2-01	山本作兵衛	低炭層の採炭 (2)	1958 ~ 63年頃	21.2 × 29.9		田川市石炭歴史博物館蔵
2-02	山本作兵衛	むかしヤマの女 12 (カンテラを下げて入坑する母子) (134)	1958 ~ 63年頃	20.5 × 29.1		田川市石炭歴史博物館蔵
2-03	山本作兵衛	むかしヤマの女 18 バッテラ (竹ショウケ) (69)	1958 ~ 63年頃			田川市石炭歴史博物館蔵
2-04	山本作兵衛	むかしのヤマの女 4 (スラを押す女の後山) (68)	1958 ~ 63年頃	20.6 × 29.0		田川市石炭歴史博物館蔵
2-05	山本作兵衛	ガス爆発 (26)	1958 ~ 63年頃	21.2 × 30.4		田川市石炭歴史博物館蔵
2-06	山本作兵衛	昔のヤマ カネカタ (山片) (67)	1958 ~ 63年頃	21.2 × 29.9		田川市石炭歴史博物館蔵
2-07	山本作兵衛	むかしのヤマの人びと 16 手動巻き上げ信号 (95)	1958 ~ 63年頃	20.6 × 29.1		田川市石炭歴史博物館蔵
2-08	山本作兵衛	昔のヤマ人 混浴 (135)	1958 ~ 63年頃	25.4 × 35.7		田川市石炭歴史博物館蔵
2-09	山本作兵衛	昔のヤマ (ヤマ人の喧嘩・イレズミ・抜刀) (259)	1958 ~ 63年頃	21.2 × 30.3		田川市石炭歴史博物館蔵
2-10	山本作兵衛	ヤマと狐 (焼き傷のカサはぎ) (176)	1958 ~ 63年頃	21.0 × 31.0		田川市石炭歴史博物館蔵
2-11	山本作兵衛	鉾山法三百九十五条古洞 (U-1)	1967年	38.0 × 54.0		個人蔵
2-12	山本作兵衛	金山坑夫とアゲアナくり (U-2)	1967年	38.0 × 54.0		個人蔵
2-13	山本作兵衛	明治卅年前期 採炭法マイトなし (U-3)	1967年	38.0 × 54.0		個人蔵
2-14	山本作兵衛	ヤマの癌 食違い バッテラ (U-4)	1967年	38.0 × 54.0		個人蔵
2-15	山本作兵衛	明治だけのセナ (U-5)	1967年	38.0 × 54.0		個人蔵
2-16	山本作兵衛	明治 大正 昭和 小ヤマの炭函 (U-6)	1967年	38.0 × 54.0		個人蔵
2-17	山本作兵衛	アサガオ (U-7)	1967年	38.0 × 54.0		個人蔵
2-18	山本作兵衛	明治筑豊 入坑する母子 (U-8)	1974年	38.0 × 54.0		個人蔵
2-19	山本作兵衛	明治 大正 昭和 安全灯・坑内姿 (U-9)	1967年	38.0 × 54.0		個人蔵
2-20	山本作兵衛	坑外設備クリッパー (U-10)	1968年	38.0 × 54.0		個人蔵
2-21	山本作兵衛	大正以後 ヤマの洗炭機 (U-11)	1968年	38.0 × 54.0		個人蔵
2-22	山本作兵衛	鉄道と川舟船頭 (U-12)	1969年	38.0 × 54.0		個人蔵
2-23	山本作兵衛	明治筑豊ヤマの浴場 (U-13)	1974年	38.0 × 54.0		個人蔵
2-24	山本作兵衛	明治 ヤマの坑夫ナヤ (U-14)	1967年	38.0 × 54.0		個人蔵
2-25	山本作兵衛	時計 (U-15)	1967年	38.0 × 54.0		個人蔵
2-26	山本作兵衛	朝鮮人の船売り (U-16)	1980年	38.0 × 54.0		個人蔵
2-27	山本作兵衛	豊前会社のケンカ 明治卅二年頃 (U-17)	1969年	38.0 × 54.0		個人蔵
2-28	山本作兵衛	イノチを泡の如くに思っているヤカラのつどい (U-18)	1969年	38.0 × 54.0		個人蔵
2-29	山本作兵衛	明治中期 ヤマのミセシメ (U-19)	1967年	38.0 × 54.0		個人蔵

No.	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	技法・素材	所蔵先
2-30	山本作兵衛	ヤマ人と入墨 はばをきかした刺青イレズミ (u-1)	1969年	21.0 × 31.0		個人蔵
2-31	山本作兵衛	明治 スラ曳く後山 バンガヤリ (u-2)	1969年	21.0 × 31.0		個人蔵
2-32	山本作兵衛	明治 セナ (u-3)	1970年	21.0 × 31.0		個人蔵
2-33	山本作兵衛	明治 バラスラ (u-4)	1970年	21.0 × 31.0		個人蔵
2-34	山本作兵衛	明治中期 狸掘り后山スラ (u-5)	1969年	21.0 × 31.0		個人蔵
2-35	山本作兵衛	明治ヤマの飲み水 (u-6)	1969年	21.0 × 31.0		個人蔵
2-36	山本作兵衛	明治中期 長刀と刺青 (u-7)	1974年	21.0 × 31.0		個人蔵
2-37	山本作兵衛	探炭 立掘り (Y-1)	1973年	38.0 × 54.0		個人蔵
2-38	山本作兵衛	低層 先山後山 (Y-2)	1973年	38.0 × 54.0		個人蔵
2-39	山本作兵衛	明治筑豊 セナ (Y-3)	1973年	38.0 × 54.0		個人蔵
2-40	山本作兵衛	明治筑豊 バラ スラ (Y-4)	1973年	38.0 × 54.0		個人蔵
2-41	山本作兵衛	明治筑豊 ばんがやり (Y-5)	1973年	38.0 × 54.0		個人蔵
2-42	山本作兵衛	明治筑豊 仕操方 (Y-6)	1973年	38.0 × 54.0		個人蔵
2-43	山本作兵衛	明治坑内馬 (Y-7)	1973年	38.0 × 54.0		個人蔵
2-44	山本作兵衛	明治ヤマの浴場 (Y-8)	1973年	38.0 × 54.0		個人蔵
2-45	山本作兵衛	明治中期 入坑する母子 (y-1)	1967年	27.3 × 39.3		個人蔵
2-46	山本作兵衛	明治筑豊 寝掘り (77)	1973年	38.0 × 54.0	水彩・紙	嘉麻市蔵
2-47	山本作兵衛	大正初め 選炭機 (85)	1977年	38.0 × 54.0	水彩・紙	嘉麻市蔵
2-48	山本作兵衛	明治 大正 昭和 ヤマのハコナグレ (80)	1977年 制作年 不明	38.0 × 54.0	水彩・紙	嘉麻市蔵
2-49	山本作兵衛	明治筑豊 狸掘式小ヤマ (40)	1978年	38.0 × 54.0	水彩・紙	嘉麻市蔵
2-50	山本作兵衛	ありし日の佛げ忍ぶヤマの人 (15)	1973年	38.0 × 54.0	水彩・紙	嘉麻市蔵
2-51	山本作兵衛	ピラミッド型ボタ山 (96)	1977年	38.0 × 54.0	水彩・紙	嘉麻市蔵
2-52	山本作兵衛	明治筑豊 坑外捲機 (46)	1977年	38.0 × 54.0	水彩・紙	嘉麻市蔵
2-53	山本作兵衛	明治 大正 昭和 ヤマの通気 (81)	1978年	38.0 × 54.0	水彩・紙	嘉麻市蔵
2-54	山本作兵衛	ワイヤーロープ (38)	1971年	53.0 × 74.0	水彩・紙	嘉麻市蔵
2-55	山本作兵衛	ワイヤーロープの継ぎかた (18)	1969年	38.0 × 54.0	水彩・紙	嘉麻市蔵
2-56	山本作兵衛	クリップのいろいろ (37)	制作年 不明	53.0 × 74.0	水彩・紙	嘉麻市蔵
2-57	山本作兵衛	炭坑の道具いろいろ (103)	1976年	38.0 × 54.0	水彩・紙	嘉麻市蔵
2-58	山本作兵衛	明治 炭坑の子供の遊び (21)	1979年	27.0 × 38.0	水彩・紙	嘉麻市蔵
2-59	山本作兵衛	明治 ヤマを訪ずれる行商人 (13)	1975年	38.0 × 54.0	水彩・紙	嘉麻市蔵
2-60	山本作兵衛	明治中期 ヤマの救済法 (82)	1977年	38.0 × 54.0	水彩・紙	嘉麻市蔵
2-65	山本作兵衛	明治 ヤマの訪問者 カルワザ師 (51)	1978年	38.0 × 54.0	水彩・紙	嘉麻市蔵
2-62	山本作兵衛	ヤマを訪れしノゾキ (49)	1977年	38.0 × 54.0	水彩・紙	嘉麻市蔵
2-63	山本作兵衛	ヤマの災禍 (99) 1979年		38.0 × 54.0	水彩・紙	嘉麻市蔵
2-64	山本作兵衛	明治 坑夫のケツワリ (90)	1979年	38.0 × 54.0	水彩・紙	嘉麻市蔵
2-65	山本作兵衛	ミセシメ (ヤマの圧制) (17)	1979年	38.0 × 54.0	水彩・紙	嘉麻市蔵
2-66	山本作兵衛	ウケスラ (35)	1975年	41.0 × 33.0	鉛筆・紙	嘉麻市蔵
2-67	山本作兵衛	スラセスラ (32)	1975年	41.0 × 33.0	鉛筆・紙	嘉麻市蔵
2-68	山本作兵衛	明治 低層卸しキリハ専用 (28)	1975年	41.0 × 33.0	鉛筆・紙	嘉麻市蔵
2-69	山本作兵衛	明治 母子入坑 (30)	1975年	41.0 × 33.0	水彩・紙	嘉麻市蔵
2-70	山本作兵衛	むかしのヤマの人々 (34)	1975年	41.0 × 33.0	水彩・紙	嘉麻市蔵
3-01	上田博	「世界をよこせ」(雑誌「サークル村」挿絵)	1958年	37.5 × 28.5	木版・紙	個人蔵
3-02	上田博	村	1960年	91.3 × 116.5	水彩・キャンバス	作家蔵
3-03	上田博	洗炭場	1964年	50.0 × 65.0	水彩・紙	作家蔵
3-04	上田博	ボタ山	1970年	52.0 × 62.5	木版・紙	作家蔵
3-05	上田博	カッベ探炭	1985年	74.0 × 168.0	木版・紙	水巻市役所蔵
3-06	上田博	カッベ探炭 (小版)	1985年	38.0 × 85.0	アルミ鋳造	作家蔵
4-01	井上為次郎	明治時代の炭坑風俗 (「炭坑風俗」全13点より)	制作年 不明	18.5 × 25.7	墨・紙	個人蔵
4-02	井上為次郎	水飲み 制作年不明 (「炭坑風俗」全13点より)		18.0 × 24.5	墨・水彩・紙	個人蔵

No.	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	技法・素材	所蔵先
4-03	井上為次郎	先山・後山（「炭坑風俗」全13点より）	制作年不明	14.0 × 23.5	墨・水彩・紙	個人蔵
4-04	井上為次郎	スラ引き（「炭坑風俗」全13点より）	制作年不明	17.0 × 26.0	墨・水彩・紙	個人蔵
4-05	井上為次郎	抗内出産（「炭坑風俗」全13点より）	制作年不明	16.5 × 25.3	墨・水彩・紙	個人蔵
4-06	井上為次郎	非常（火災）（「炭坑風俗」全13点より）	制作年不明	16.5 × 24.0	墨・水彩・紙	個人蔵
4-07	井上為次郎	ケツワリ（「炭坑風俗」全13点より）	制作年不明	22.3 × 16.0	墨・水彩・紙	個人蔵
5-01	上野英信	無題（ボタ拾い）	1956年 （刷り： 上田博 1995 年）	39.2 × 21.2 （イメージ・ サイズ）	木版・紙	個人蔵
5-02	上野英信	無題（昇坑）	1956年 （刷り： 上野朱 2005 年）	37.0 × 25.8 （イメージ・ サイズ）	木版・紙	個人蔵
2)筑豊の<美術家>たち						
1-01	野見山暁治	廃坑（A）	1951年	112.5 × 145.5	油彩・キャンバス	福岡県立美術館所蔵
1-02	野見山暁治	廃坑（D）	1951年頃	73.0 × 90.9	油彩・キャンバス	作家蔵
1-03	野見山暁治	廃坑（II）		55.0 × 72.0	油彩・キャンバス	個人蔵
1-04	野見山暁治	坑内の男	1952年	129.5 × 96.3	油彩・キャンバス	北九州市立美術館所蔵
1-05	野見山暁治	群像（室内）	1952年	193.5 × 130.5	油彩・キャンバス	作家蔵
1-06	野見山暁治	遠賀川	1992年	97.2 × 130.5	油彩・キャンバス	直方市蔵
1-07	野見山暁治	はくの生まれた川オンガ	1992年	89.4 × 130.3	油彩・キャンバス	田川市美術館所蔵
2-01	立花重雄	ボタ山と炭住	1956年	162.1 × 130.3	油彩・キャンバス	直方谷尾美術館蔵
2-02	立花重雄	立坑の槽	1950年 第後半	162.1 × 130.3	油彩・キャンバス	直方谷尾美術館蔵
3-01	築山節生	煙突	1957年	100.0 × 80.0	油彩・キャンバス	田川市美術館蔵
4-01	立石大河亞	香春岳対サント・ピクトワール山	1992年	194.0 × 261.0	油彩・キャンバス	田川市美術館蔵
3)常磐の<炭坑夫美術家>と炭鉱の<美術家>たち						
1-01	熊坂太郎	休む坑夫	1947年	33.0 × 24.0	油彩・板	個人蔵
2-01	若松光一郎	坑口からあがる坑夫たち	1948年	112.0 × 146.3	油彩・キャンバス	(株)カサノ特級保険統括本部／保険グループ本社
2-02	若松光一郎	綴坑	1951年	49.0 × 61.0	水彩・紙	個人蔵
3-01	鈴木新夫	炭鉱風景	制作年不詳	38.0 × 58.6	鉛筆・コンテ・水彩・紙	いわき市立美術館蔵
3-02	鈴木新夫	洗炭する女	制作年不詳	35.2 × 25.1	鉛筆・水彩・コンテ・紙	いわき市立美術館蔵
4-01	いわき市立御厩小学校生徒 （共同制作）	私たちの炭鉱（ズリ山）	1956年	180 × 90	木版・紙	いわき市立御厩小学校蔵
4-02	いわき市立御厩小学校生徒 （共同制作）	私達の炭鉱	1959年	90 × 180	木版・紙	いわき市立御厩小学校蔵
5-01	稲川敏之	廃鉱の春	1976年	53.0 × 65.2	油彩・キャンバス	個人蔵

No.	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	技法・素材	所蔵先
4) 空知の<炭鉱美術家>たち						
1-01	三菱美唄美術サークル(白田良夫 坪川光男 平山康勝 前田常男 鷺見哲彦)	「習作 人民裁判事件記録画」	1950年	193.9 × 130.3	油彩・キャンバス	美唄市教育委員会蔵
2-01	倉持吉之助	「二番方入坑時繰込」	1950年代	58 × 73	絹・岩彩	夕張市蔵(夕張市石炭博物館)
2-02	倉持吉之助	「十尺ロング上添粘土巻保安」	1950年代	58 × 73	絹・岩彩	夕張市蔵(夕張市石炭博物館)
2-03	倉持吉之助	「福住地区鳥瞰絵図」	1950年代	166 × 97.3 × 2枚対	絹・岩彩	夕張市蔵(夕張市石炭博物館)
2-04	倉持吉之助	千屯ビン	1950年代	81.0 × 101.0	絹・岩彩 日本画	夕張市蔵(夕張市石炭博物館)
3-01	畠山哲雄	工場春日	1952年	90.9 × 116.7	油彩・キャンバス	夕張市蔵(夕張市美術館)
3-02	畠山哲雄	残雪工場(工場春寒)	1957年	90.9 × 116.7	油彩・キャンバス	夕張市蔵(夕張市美術館)
3-03	畠山哲雄	炭鉱のまち	1960年	112.1 × 162.1	油彩・キャンバス	夕張市蔵(夕張市美術館)
3-04	畠山哲雄	ずり山のある部落	1963年	112.1 × 145.5	油彩・キャンバス	夕張市蔵(夕張市美術館)
4-01	小林政雄	鉄塔	1955年	72.7 × 100.0	油彩・キャンバス	夕張市蔵(夕張市美術館)
4-02	小林政雄	捨石の山	1957年	80.3 × 100.0	油彩・キャンバス	夕張市蔵(夕張市美術館)
4-03	小林政雄	切羽	制作年不明	130.3 × 162.1	油彩・キャンバス	夕張市蔵(夕張市石炭博物館)
5-01	木下勘二	入坑する人	1956年	145.5 × 97.0	油彩・キャンバス	夕張市蔵(夕張市美術館)
5-02	木下勘二	人車	1956年	130.3 × 162.0	油彩・キャンバス	夕張市蔵(夕張市美術館)
5-03	木下勘二	鉱夫	1958年	92.0 × 162.0	油彩・キャンバス	夕張市蔵(夕張市美術館)

■2章. ~炭鉱と美術. ~都市の<美術家>たちのまなざし

1) 筑豊への共感

1-01	池田龍雄	腕	1953年	72.7 × 60.6	油彩・キャンバス	第6回日本アンデパンダン展 板橋区立美術館蔵
1-02	池田龍雄	坑口	1955年	38.0 × 29.1	油彩・インク・紙	板橋区立美術館蔵
1-03	池田龍雄	ぼた山	1954年	29.2 × 37.6	インク・水彩・コンテ・紙	広島市現代美術館蔵 調川(つきのかわ)炭鉱
1-04	池田龍雄	地圧(化物の系譜シリーズ)	1955年	29.1 × 36.7	インク・画用紙	山梨県立美術館蔵 調川(つきのかわ)炭鉱
1-05	池田龍雄	地熱 - 三池の構図 -	1960年	30.5 × 41.2	インク・コンテ・紙	福岡市美術館蔵 三池闘争
2-01	富山妙子	炭鉱災害	制作年不明	16.9 × 17.2	固形水彩・インク・紙	作家蔵
2-02	富山妙子	松葉杖	制作年不明	14.8 × 13.3	固形水彩・インク・紙	作家蔵
2-03	富山妙子	石炭ストーブ	制作年不明	22.8 × 26.7	固形水彩・インク・紙	作家蔵
2-04	富山妙子	炭坑夫	1959年	21.0 × 21.8	固形水彩・インク・紙	作家蔵
2-05	富山妙子	掘る(モデル1)		35.2 × 24.9	水彩・インク・紙	作家蔵

No.	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	技法・素材	所蔵先
2-06	富山妙子	掘る (モデル2)		35.2 × 24.5	水彩・インク・紙	作家蔵
2-07	富山妙子	帽子の坑夫		12.5 × 15.4	固形水彩・インク・紙	作家蔵
2-08	富山妙子	後ろ向きの坑夫		10.8 × 12.2	固形水彩・インク・紙	作家蔵
2-09	富山妙子	坑道		17.5 × 28.7	固形水彩・インク・紙	作家蔵
2-10	富山妙子	筑豊 - 失われた風景に	1957年頃	145.8 × 228.0	油彩・キャンバス	作家蔵
2-11	富山妙子	筑豊のアンダーグラウンド (「地の底の恨 (ハン)」)	1984年	193.5 × 129.0	油彩・キャンバス	作家蔵
2-12-1	富山妙子	炭坑物語 - 移民「化石」(写真:本橋成一)	2000年	35.1 × 45.7	ミクストメディア	作家蔵
2-12-2	富山妙子	炭坑物語 - 移民「軍手」(写真:本橋成一)	2000年	35.1 × 45.7	ミクストメディア	作家蔵
2-12-3	富山妙子	炭坑物語 - 移民「朝鮮人強制連行・家族写真」(写真:本橋成一)	2000年	35.1 × 45.7	ミクストメディア	作家蔵
2-12-4	富山妙子	炭坑物語 - 移民「炭住 ゴーストタウン」(写真:本橋成一)	2000年	35.1 × 45.7	ミクストメディア	作家蔵
2-12-5	富山妙子	炭坑物語 - 移民「ボタ山」(写真:本橋成一)		45.7 × 35.1 35.1 × 45.7	ミクストメディア	
2-12-6	富山妙子	炭坑物語 - 移民「炭住と顔 (移民労働者)」(写真:本橋成一)		35.1 × 45.7	ミクストメディア	
3-01	松井源右衛門	炭坑の人々	1956年	130.4 × 162.0	油彩・キャンバス	福岡市美術館蔵
4-01	尾花成春	自画像 c.	1958 - 59	32.0 × 40.0	アスファルト・板	福岡市美術館蔵
5-01	谷口利夫	人工島	1960年	93.3 × 122.5	油彩・アスファルト・麻布・板	福岡市美術館所蔵
6-01	風間完	夕日の香春岳 *6-01~10 複製 (画集「青春の門」から、五木寛之『青春の門 第一部 筑豊編』挿画)	1969~70年			
6-02	風間完	少年のやさしさ	1969~70年			
6-03	風間完	夏の日の秘密	1969~70年			
6-04	風間完	針谷の黒富士	1969~70年			
6-05	風間完	鬼火 複製	1969~70年			
6-06	風間完	炭鉱住宅の午後	1969~70年			
6-07	風間完	木陰	1969~70年			
6-08	風間完	故郷に帰る	1969~70年			
6-09	風間完	中元治川風景	1969~70年			
6-10	風間完	象牙色の谷間	1969~70年			
7-01~09	現代思潮社美術学校・菊畑茂久馬描写教場 (壁画制作者:相川みどり 野口春江 境野信也 村井民子 沢井憲治 上野良和 菅原加代 武田恵理子 佐津間研 白沢唯司 久保田和子 中川広邦 藤田正義 広瀬光代 松川恵美子 古木良一 山田泰司 東垣和夫 鈴木裕 釘宮和博 谷充夫 小林利子 高山信男 立山恵美子 老子英夫 岡田美幸 橋本真理子 栗田隆幸 大谷純代 南伸宏 高岡治美 小出計英 橋岡賢治/指導:菊畑茂久馬/企画:川仁宏 今泉省彦/協力:坪内一忠)	ヤマの生活・地底の叫び 第一部「炭住生活」	1971年3月	259.5 × 193.9	油彩・キャンバス	田川市立図書館所蔵
7-02		ヤマの生活・地底の叫び 第二部「炭住生活」	1971年3月	259.5 × 193.9	油彩・キャンバス	田川市立図書館所蔵
7-03		ヤマの生活・地底の叫び 第三部「けんか出入り」	1971年3月	259.5 × 193.9	油彩・キャンバス	田川市立図書館所蔵

No.	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	技法・素材	所蔵先
7-04		ヤマの生活・地底の叫び 第四部「リンチ」	1971年 3月	259.5 × 193.9		田川市立図書館 所蔵
7-05		ヤマの生活・地底の叫び 第五部「地下労働」	1971年 3月	259.5 × 193.9	油彩・キャンバス	田川市立図書館 所蔵
7-06		ヤマの生活・地底の叫び 第六部「地下労働」	1971年 3月	259.5 × 193.9	油彩・キャンバス	田川市立図書館 所蔵
7-07		ヤマの生活・地底の叫び 第七部「米騒動」	1971年 3月	259.5 × 193.9	油彩・キャンバス	田川市立図書館 所蔵
7-08		ヤマの生活・地底の叫び 第八部「婦人労働」	1971年 3月	259.5 × 193.9	油彩・キャンバス	田川市立図書館 所蔵
7-09		ヤマの生活・地底の叫び 第九部「炭坑器具」	1971年 3月	259.5 × 193.9	油彩・キャンバス	田川市立図書館 所蔵
8-01	黒田征太郎	ゴットン・ゴットン画 (8点組)	2009年	85.0 × 930.0 (46.0mm × 60.0mm × 8点)	グアッシュ・塩化ビニール・アスファルト・フイング	作家蔵
2) 軍艦島への共感						
1-01	滝純一	風巢	1987年	300.0 × 162.0	リキテック・ステンペラ・麻布・和紙	個人蔵
3) 常磐への共感						
1-01	向井潤吉	湯本坑眺望	1947年	60.6 × 72.7	油彩・キャンバス	常磐興産所蔵
1-02	向井潤吉	老坑夫	1947年	72.7 × 60.6	油彩・キャンバス	常磐興産所蔵
2-01	鈴木賢二	つるはし	1948年 頃	23.6 × 18.0	木版・色刷	鈴木賢二版画館 如輪房
2-02	鈴木賢二	茨城高萩炭鉱	1948年	32.0 × 23.0	木版	鈴木賢二版画館 如輪房
2-03	鈴木賢二	落盤事故(高萩炭鉱)	1964年	48.0 × 32.0	木版・紙	鈴木賢二版画館 如輪房
2-04	鈴木賢二	運び出される犠牲者	1963年	32.0 × 48.0	木版・紙	鈴木賢二版画館 如輪房
2-05	鈴木賢二	犠牲者を囲んで	1963年	48.0 × 32.0	木版・紙	鈴木賢二版画館 如輪房
4-01	佐藤忠良	母子像	1952年	51.0 × 13.5 × 20.0	ブロンズ	いわき市立総合 磐城共立病院蔵
4-02	佐藤忠良	常磐の大工	1956年	21.5 × 14.5 × 23.0	セメント	いわき市立美術 館蔵
4-03	佐藤忠良	坑夫・常磐	1956年	28.4 × 14.5	鉛筆・紙	いわき市立美術 館蔵
4-04	佐藤忠良	常磐炭鉱・洗炭場風景	1956年	21.0 × 20.0	コンテ・水彩・紙	いわき市立美術 館蔵
4-05	佐藤忠良	炭坑(ヤマ)への道	1956年	30.7 × 25.2	鉛筆・紙	いわき市立美術 館蔵
5-01	吉井忠	イワキ炭坑(昼)	1956年	25.0 × 30.0	鉛筆 紙	いわき市立美術 館蔵
5-02	吉井忠	イワキ炭鉱(坑内1)	1956年	25.0 × 30.0	鉛筆 紙	いわき市立美術 館蔵
5-03	吉井忠	イワキ炭鉱(切羽)	1956年	30.0 × 25.0	鉛筆 紙	いわき市立美術 館蔵
5-04	吉井忠	小田炭坑3	1956年	32.2 × 40.7	鉛筆・紙	いわき市立美術 館蔵
6-01	森芳雄	坑内にて切羽	1956年	20.3 × 27.8	鉛筆・紙	いわき市立美術 館蔵
7-01	西常雄	坑夫	1956年	40.8 × 31.7	サインペン・紙	いわき市立美術 館蔵
7-02	西常雄	大工	1956年	40.8 × 31.7	サインペン・紙	いわき市立美術 館蔵

No.	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	技法・素材	所蔵先
8-01	竹谷富士雄	炭鉱長屋・いわき	1956年	39.3 × 53.8	木炭・コンテ・クレパス・油彩・紙	いわき市立美術館蔵
9-01	中谷泰	炭坑にて2	1956年	32.0 × 40.8	鉛筆・紙	いわき市立美術館蔵
9-02	中谷泰	炭坑にて3	1956年	32.0 × 40.8	鉛筆・紙	いわき市立美術館蔵
9-03	中谷泰	炭鉱町	1956年	91.0 × 100.0	油彩・キャンバス	いわき市立美術館蔵
9-04	中谷泰	老工夫	制作年不明	72.7 × 53.0	油彩・キャンバス	個人蔵
10-01	鳥居敏文	炭鉱の町にて	1956年	50.0 × 60.6	油彩・キャンバス	いわき市立美術館蔵
11-01	若松光一郎	石炭をはこぶ女たち	1956年	42.2 × 32.6	鉛筆・コンテ・紙	いわき市立美術館蔵
11-02	若松光一郎	石炭をはこぶ女たち	1956年	145.5 × 118.0	油彩・キャンバス	いわき市立美術館蔵
12-01	鈴木新夫	炭鉱・洗濯物のある風景	1956年	36.0 × 26.5	コンテ・水彩・パステル・紙	いわき市立美術館蔵
12-02	鈴木新夫	炭鉱長屋	1956年	38.0 × 58.6	鉛筆・サインペン・水彩・紙	いわき市立美術館蔵
13-01	佐藤忠良	古河炭坑・ズリ山	1956年	29.0 × 24.5	鉛筆・コンテ・紙	いわき市立美術館蔵
13-02	中谷泰	春雪	1957-58年	65.2 × 100.0	油彩・キャンバス	いわき市立美術館蔵
13-03	鳥居敏文	雪のズリ山	1956年	24.5 × 35.7	鉛筆・コンテ・水彩・紙	いわき市立美術館蔵
13-04	西常雄	ズリ山1	1956年	31.7 × 40.8	サインペン・水彩・紙	いわき市立美術館蔵
13-05	若松光一郎	ズリ山雪景	1956年	64.0 × 145.5	油彩・キャンバス	いわき市立美術館蔵
13-06	若松光一郎	古川好間ズリ山風景	1956年	25.8 × 36.0	コンテ・水彩・インク・紙	いわき市立美術館蔵
4) 空知への共感						
1-01	山内壮夫	労働のモニュメント	1950年	186.5 × 108.5	ブロンズ	夕張市蔵(夕張市美術館)
2-01	スズキケンジ	女ひとり大地を行く(パンフレット表紙)	1952年	20.7 × 14.6	凸版・本	
2-02	スズキケンジ	石炭ほり(『女ひとり大地を行く』(パンフレット中表紙作品))	1952年	12.0 × 16.5	切り絵	鈴木賢二版画館如輪房蔵
3-01	横山操	夕張	1958年	180.0 × 454.5	布彩色	見附市蔵(見附市図書館)
4-01	浮田克躬	北の炭鉱町		131.0 × 234.0	油彩・キャンバス	東原俊郎蔵
5-01	新海覚雄	タイトル不明(炭労会館緞帳原画)	1957年	80.5 × 183.0	油彩・キャンバス	夕張市蔵(石炭の歴史村夕張市石炭博物館)
5-02	新海覚雄	炭労会館緞帳原画エスキース1	1957年	37.4 × 48.6	水彩・紙	個人蔵
5-03	新海覚雄	炭労会館緞帳原画エスキース2	1957年	37.1 × 48.6	水彩・紙	個人蔵
6-01	多田美波	レリーフ「炭鉱」(旧・炭労会館壁画)	1957年	215.6 × 472.2	鉄	夕張市蔵(石炭の歴史村夕張市石炭博物館)
7-01	佐藤忠良	夕張本町2丁目 坂の家	1998年	30.0 × 27.0	鉛筆・紙	夕張市蔵(夕張市美術館)
7-02	佐藤忠良	夕張 ハイカラ坂から	1998年	27.0 × 30.0		夕張市蔵(夕張市美術館)
5) 詩人・吉増剛造を巡る夕張への共感						
1-01	畠山哲雄	待春・夕張	1970年	112.1 × 145.5	油彩・キャンバス	北海道立近代美術館蔵

No.	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	技法・素材	所蔵先
2-01	岡部昌生	ユウバリマトリックスー旧北炭・真谷地碓電力所燃焼炉跡	1994-95年	300.0 × 450.0 (110.0 × 75.0 × 30点組)	フロッター・ジュ・鉛筆・紙・額	テンポラリー・スペース個展 作家蔵
3-01	佐藤時啓	Yubari#155 Mayachi	1992年	50.8 × 60.96	ゼラチンシルバープリント	夕張市蔵 (夕張市美術館)
3-02	佐藤時啓	Yubari#156 mayachi	1992年	50.8 × 60.96	ゼラチンシルバープリント	夕張市蔵 (夕張市美術館)
3-03	佐藤時啓	Yubari #165 Mayachi	1992年	50.8 × 60.96	ゼラチンシルバープリント	夕張市蔵 (夕張市美術館)
3-04	佐藤時啓	Yubari #161 Shimizusawa	1992年	50.8 × 60.96	ゼラチンシルバープリント	夕張市蔵 (夕張市美術館)
3-05	佐藤時啓	Yubari #170 Manji	1992年	50.8 × 60.96	ゼラチンシルバープリント	夕張市蔵 (夕張市美術館)
4-01	吉増剛造	イ・パロ 夕張の入口 女坑夫さん 01	1994年 10月			作家蔵
4-02	吉増剛造	イ・パロ 夕張の入口 女坑夫さん 02	1994年 10月			作家蔵
4-03	吉増剛造	イ・パロ 夕張の入口 女坑夫さん 03	1994年 10月			作家蔵
4-04	吉増剛造	イ・パロ 夕張の入口 女坑夫さん 04	1994年 10月			作家蔵
4-05	吉増剛造	イ・パロ 夕張の入口 女坑夫さん 05	1994年 10月			作家蔵
4-06	吉増剛造	イ・パロ 夕張の入口 女坑夫さん 06 (P.W.-18)	1994年 10月			作家蔵
4-07	吉増剛造	イ・パロ 夕張の入口 女坑夫さん 07 (P.W.-19)	1994年 10月			作家蔵
4-08	吉増剛造	イ・パロ 夕張の入口 女坑夫さん 08 (P.W.-22)	1994年 10月			作家蔵
4-09	吉増剛造	火の映画	1996年	25.2 × 19.1	銅版	作家蔵
4-10	吉増剛造	漲水御嶽	1996年	24.8 × 19.2	銅版	作家蔵
4-11	吉増剛造	?? 雑神	1997年	25.2 × 19.3	銅版	作家蔵
4-12	吉増剛造	雛菊	1998年	25.2 × 19.2	銅版・紙・網紐	作家蔵
4-13	吉増剛造	妖精	1999年	25.5 × 19.1	銅版	作家蔵
4-14	吉増剛造	沖縄の炭坑夫		25.1 × 19.0	銅版	作家蔵
4-15	吉増剛造	雑車		24.9 × 19.0	銅版	作家蔵
4-16	吉増剛造	鯨 疲れた・・・		25.0 × 19.1	銅版・紙	作家像
4-17	吉増剛造	CD「石狩シーツ」				

■3章. ~炭鉱と写真

1) 筑豊炭田にて. ~土門拳の衝撃

1-01	土門拳	写真集『筑豊のこどもたち』(表紙)				
1-02	土門拳	写真集『るみえちゃんはお父さんが死んだ』(表紙)				土門拳記念館蔵
1-03	土門拳	抗口 p.12-13				土門拳記念館蔵
1-04	土門拳	紙芝居 (p.30-31)				土門拳記念館蔵
1-05	土門拳	ボタ拾い (p.37)				土門拳記念館蔵
1-06	土門拳	母のない姉妹 (p.56-57)				土門拳記念館蔵
1-07	土門拳	ボタ山 (p.10)				土門拳記念館蔵
1-08	土門拳	溝のあるボタ山 (p.11)				土門拳記念館蔵
1-09	土門拳	朽ちたトロッコ (p.14)				土門拳記念館蔵
1-10	土門拳	風呂 (p.27)				土門拳記念館蔵
1-11	土門拳	ボタ拾いの手 (p.38-39)				土門拳記念館蔵
1-12	土門拳	ニコヨンに出る父 (p.59-1)				土門拳記念館蔵
1-13	土門拳	羽目板の出入り (p.62)				土門拳記念館蔵

No.	作家名	作品名	制作年	技法・素材	所蔵先
1-14	土門拳	家材道具 (p.65)			土門拳記念館蔵
1-15	土門拳	剣乳児院 (p.82-82)			土門拳記念館蔵
1-16	土門拳	闘争激励と陣中見舞い (p.95)			土門拳記念館蔵
2-01	中山陽	豊前炭礦内で (昭和 44 年 7 月)			作家蔵
2-02	中山陽	豊前炭礦内で (昭和 44 年 7 月)			作家蔵
2-03	中山陽	貝島大之浦坑露天堀り跡・断層 (昭和 50 年 8 月)			作家蔵
2-04	中山陽	田川市の豆炭製造工場で (昭和 32 年 4 月)			作家蔵
2-05	中山陽	田川市児童相談所で (昭和 35 年 11 月)			作家蔵
2-06	中山陽	田川市児童相談所で (昭和 39 年 10 月)			作家蔵
2-07	中山陽	瓜生カツヨ	1980 年頃		作家蔵
2-08	中山陽	三井炭礦ボタ山 (田川市大藪在住元女坑婦)			作家蔵
2-09	中山陽	住友忠隅坑 (昭和 48 年 6 月)			作家蔵
2-10	中山陽	漆生炭礦 (昭和 43 年 5 月)			作家蔵

2)記録作家・上野英信の眼 Part. 2. ～筑豊文庫の写真家たちと<炭坑夫写真家>たち

1-01	本橋成一	遺影*			
1-02	本橋成一	担架*			
1-03	本橋成一	遺族*			
1-04	本橋成一	葬儀*			
1-05	本橋成一	南米移住募集張り紙*			
1-06	本橋成一	ボタ山と炭住*			
1-07	本橋成一	採炭*			
1-08	本橋成一	坑道*			
1-09	本橋成一	坑夫たち*			
1-10	本橋成一	家族*			
1-11	本橋成一	兄妹*			
2-01	藤川清	ボタ山*			
2-02	藤川清	入坑*			
2-03	藤川清	ボタ拾い*			
2-04	藤川清	小ヤマーはつる*			
2-05	藤川清	小ヤマー運ぶ*			
2-06	藤川清	小ヤマーくつろぐ*			
3-01～ 38		『追われゆく坑夫たち』(上野英信 1960年 岩波新書)、『写真万葉録・筑豊』(編:上野英信+趙根在(チョ・クンジェ) 1984-86年 葦書房)の<炭坑夫写真家>たちと<写真家>たち			
3-01	山口勲(日炭高松写真サークル)	高松一坑	1963年		
3-02	山口勲(日炭高松写真サークル)	日炭高松炭住*			
3-03	山口勲(日炭高松写真サークル)	ヤマ生まれ*			
3-04	山口勲(日炭高松写真サークル)	一家で袋作りの内職(日炭高松)	1963年		
3-05	山口勲(日炭高松写真サークル)	水浸しの炭住街(日炭高松)	1959年		
3-06	山口勲(日炭高松写真サークル)	炭車*			
3-07	山口勲(日炭高松写真サークル)	排気坑道口での落石除去作業			
3-08	山口勲(日炭高松写真サークル)	もの言わぬ帰宅(日炭高松)	1964年		

No.	作家名	作品名	制作年	技法・素材	所蔵先
3-09	山口勲(日炭高松写真サークル)	アリラン峠	1962年		
3-10	山口勲(日炭高松写真サークル)	ヤマの子ども*			
3-11	庄田明(日炭高松写真サークル)	小ヤマのサキヤマ*			
3-12	庄田明(日炭高松写真サークル)	小ヤマトテボ(石炭背負籠)*			
3-13	庄田明(日炭高松写真サークル)	小ヤマの炭車*			
3-14	庄田明(日炭高松写真サークル)	組む*			
3-15	庄田明(日炭高松写真サークル)	休む*			
3-16	庄田明(日炭高松写真サークル)	元坑夫*			
3-17	山崎富士雄(日炭高松写真サークル)	おんなの労働者*			
3-18	山崎富士雄(日炭高松写真サークル)	「山の神」神社から日炭高松炭住街を望む*	1950年代後半		
3-19	山崎富士雄(日炭高松写真サークル)	日炭高松一鉦桜町炭住と堀川*	1952年		
3-20	山崎富士雄(日炭高松写真サークル)	炭住と堀川(2)*	1953年頃		
3-21	山崎富士雄(日炭高松写真サークル)	犬と少年3-			
3-22	山崎富士雄(日炭高松写真サークル)	路地のダンス*			
3-23	斐昭	三菱炭坑に強制連行の朝鮮人青年たち			
3-24	斐昭	ボタ製の朝鮮人墓標(日向峠)			
3-25	斐昭	朝鮮人炭坑犠牲者の放置遺骨			
3-26	斐昭	朝鮮人に持たせた協和会手帳(今の外国人登録)			
3-27	斐昭	朝鮮人炭坑夫名簿			
3-28	斐昭	朝鮮人炭坑夫逃亡を「處分解雇」と記載			
3-29	宮松宏至	約束の楽土・平山さん一家 ソロカバ	ブラジル 1974年	(『写真万葉録・筑豊』第5・6巻)	鞍手歴史民俗資料館蔵
3-30	宮松宏至	約束の楽土・佐原氏一家・カイカヤ	ブラジル 1974年	(『写真万葉録・筑豊』第5・6巻)	鞍手歴史民俗資料館蔵
3-31	宮松宏至	約束の楽土・高近氏と夫人 バストス	ブラジル 1974年	(『写真万葉録・筑豊』第5・6巻)	鞍手歴史民俗資料館蔵
3-32	宮松宏至	約束の楽土・故建部氏夫人 バストス	ブラジル 1974年	(『写真万葉録・筑豊』第5・6巻)	鞍手歴史民俗資料館蔵
3-33	宮松宏至	約束の楽土・木屋氏一家 ジョッタカ移住地	ブラジル 1974年	(『写真万葉録・筑豊』第5・6巻)	鞍手歴史民俗資料館蔵
3-34	宮松宏至	約束の楽土・首藤さん一家 ジョッタカ移住地	ブラジル 1974年	(『写真万葉録・筑豊』第5・6巻)	鞍手歴史民俗資料館蔵
3-35	宮松宏至	約束の楽土・桑原さん一家 アルトパラナ移住地	パラグアイ 1974年	(『写真万葉録・筑豊』第5・6巻)	鞍手歴史民俗資料館蔵
3-37	宮松宏至	約束の楽土・山本さん一家 アルトパラナ	パラグアイ 1974年	(『写真万葉録・筑豊』第5・6巻)	鞍手歴史民俗資料館蔵
3-38	宮松宏至	約束の楽土・長谷氏夫妻 サンファン移住地	ボリビア 1974年	(『写真万葉録・筑豊』第5・6巻)	鞍手歴史民俗資料館蔵

No.	作家名	作品名	制作年	技法・素材	所蔵先
4-01	田嶋雅巳	能美シズコ (大正2年7月14日生れ) * 4-01~08 『炭坑美人』築地書館 2000年より	1987-91年		
4-02	田嶋雅巳	西嶋ヒサエ (明治42年1月10日生れ)	1987-91年		
4-03	田嶋雅巳	井出こずえ (明治36年1月28日生れ)	1987-91年		
4-04	田嶋雅巳	柿本リツ (明治42年1月4日生れ)	1987-91年		
4-05	田嶋雅巳	今村タツヨ (明治39年2月25日生れ)	1987-91年		
4-06	田嶋雅巳	津村セツ (明治32年5月28日生れ)	1987-91年		
4-07	田嶋雅巳	花崎キヌヨ (明治43年9月10日生れ)	1987-91年		
4-08	田嶋雅巳	菊地ウル (明治33年9月11日生れ)	1987-91年		
5-01	渡辺耕史 (制作協力：田嶋雅巳)	「炭坑美人 - 闇を灯す女たち」 (KBS 毎日放送) 映像放映	2002年		
3)軍艦島にて					
1-01	奈良原一高	軍艦島全景	1954-57年		東京都写真美術館蔵
1-02	奈良原一高	岩壁 (ペトン)	1954-57年		東京都写真美術館蔵
1-03	奈良原一高	時化 (しけ)	1954-57年		東京都写真美術館蔵
1-04	奈良原一高	地下道 (トンネル)	1954-57年		東京都写真美術館蔵
1-05	奈良原一高	地下道 (トンネル)	1954-57年		東京都写真美術館蔵
1-06	奈良原一高	浴場	1954-57年		東京都写真美術館蔵
1-07	奈良原一高	作業場と浮桟橋 夜景	1954-57年		東京都写真美術館蔵
1-08	奈良原一高	アパート俯瞰 夜景	1954-57年		東京都写真美術館蔵
1-09	奈良原一高	アパート俯瞰 昼景	1954-57年		東京都写真美術館蔵
1-10	奈良原一高	アパート俯瞰 昼景	1954-57年		東京都写真美術館蔵
1-11	奈良原一高	端島神社	1954-57年		東京都写真美術館蔵
1-12	奈良原一高	夕陽の軍艦島	1954-57年		東京都写真美術館蔵
2-01	大橋弘	地下道 (トンネル)			
2-02	大橋弘	クレーン運転席から			
2-03	大橋弘	クレーンと水面			
2-04	大橋弘	木造家屋と住人			
2-05	大橋弘	護岸壁			
2-06	大橋弘	害防御			
2-07	大橋弘	火事			
2-08	大橋弘	渡島の親友たち			
2-09	大橋弘	30号棟一階自室にて			
2-10	大橋弘	30号棟の家族			
3-01	萩原義弘	端島炭鉱 (軍艦島)	1995		

No.	作家名	作品名	制作年	技法・素材	所蔵先
3-02	萩原義弘	端島炭鉱（軍艦島）（テレビ）	2001		
3-03	萩原義弘	端島炭鉱（軍艦島）（ミシン）	2001		
3-04	萩原義弘	端島炭鉱（軍艦島）（パチンコ）	2001		
3-05	萩原義弘	端島炭鉱（軍艦島）（計算機）	2001		
4-01	電通大阪	「人影なし（軍艦島）」（テーマ「資源」）	1982年3月		公共広告（新聞・雑誌・テレビ） TV用映像放映

4)常盤炭田にて

1-01	丹野清志	小野田炭鉱のボタ山			
1-02	丹野清志	鎌田商店			
1-03	丹野清志	共同風呂			
1-04	丹野清志	共同洗濯場			
1-05	丹野清志	水場			
1-06	丹野清志	閉山後のトロッコ			
1-07	丹野清志	食後			
1-08	丹野清志	テレビ			
1-09	丹野清志	壁紙			
1-10	丹野清志	お呼ばれ			
2-01	鈴木清	炭鉱の町 筑豊4			
2-02	鈴木清	炭鉱の町 筑豊8			
2-03	鈴木清	炭鉱の町 常磐1			
2-04	鈴木清	炭鉱の町 常磐3			
2-05	鈴木清	炭鉱の町 常磐5			
2-06	鈴木清	炭鉱の町 常磐7			
2-07	鈴木清	炭鉱の町 常盤高萩・学生寮2			
2-08	鈴木清	炭鉱の町 常盤高萩・学生寮3			
2-09	鈴木清	炭鉱の町 常盤高萩・学生寮4			
2-10	鈴木清	炭鉱の町 筑豊・貝島炭鉱1			
2-11	鈴木清	炭鉱の町 筑豊・貝島炭鉱4			

5)石狩炭田にて

1-01	安藤文雄	鹿ノ谷映劇	1957年		
1-02	安藤文雄	野球1	1957年		
1-03	安藤文雄	ボクシング	1959年		
1-04	安藤文雄	チャンバラ	1959年		
1-05	安藤文雄	紙芝居	1959年		
1-06	安藤文雄	末広炭住共同水道場と黒い雪	1959年		
1-07	安藤文雄	炭山祭りのシャボン	1960年		
1-08	安藤文雄	末広炭住のソリ遊び	1961年		
1-09	安藤文雄	政策転換反対デモ	1960年		
1-10	安藤文雄	ヤマの夜景	1970年頃		
2-01	萩原義弘	夕張新炭鉱・繰り込所にて	1982年		
2-02	萩原義弘	夕張定点観測 1983-2008. ～社光（ズリ捨て線トンネルから）	1983 & 2008年		
2-03	萩原義弘	夕張定点観測 1983-2008. ～千代田（炭住から養護施設へ）	1983 & 2008年		
2-04	萩原義弘	夕張定点観測 1983-2008. ～夕張駅と石炭の歴史村	1983 & 2008年		
2-05	萩原義弘	夕張定点観測 1983-2008. ～末広（ズリ山と炭住）	1983 & 2008年		
2-06	萩原義弘	SNOWY 夕張（1）	2002年		
2-07	萩原義弘	SNOWY 夕張（2）	2008年		
2-08	萩原義弘	SNOWY 夕張（3）	2008年		
2-09	萩原義弘	SNOWY 夕張（4）	2009年		

■4章. ～炭鉱とグラフィック

1)記録作家・上野英信の眼. ～「サークル村」のデザイン

No.	資料名	(発行年月)	作品種別=作家名	(発行)	所蔵先
1-01	雑誌『サークル村』1巻第1号	(1958年9月)	版画=千田梅二	(発行:九州サークル研究会)	個人蔵
1-02	雑誌『サークル村』1巻第2号	(1958年10月)	画=桜井浩一	(発行:九州サークル研究会)	個人蔵
1-03	雑誌『サークル村』1巻第3号	(1958年11月)	画=千田梅二	(発行:九州サークル研究会)	個人蔵
1-04	雑誌『サークル村』1巻第4号	(1958年12月)	絵=桜井浩一	(発行:九州サークル研究会)	個人蔵
1-05	雑誌『サークル村』2巻第1号	(1959年1月)	写真=庄田明	(発行:九州サークル研究会)	個人蔵
1-06	雑誌『サークル村』2巻第2号	(1959年2月)	版画=上田博	(発行:九州サークル研究会)	個人蔵
1-07	雑誌『サークル村』2巻第3号	(1959年3月)	版画=松川和博	(発行:九州サークル研究会)	個人蔵
1-08	雑誌『サークル村』2巻第4号	(1959年4月)	絵=杉田昭一郎	(発行:九州サークル研究会)	個人蔵
1-09	雑誌『サークル村』2巻第5号	(1959年5月)	構成=上野英信 田村和雅	谷川雁 (発行:九州サークル研究会)	個人蔵
1-10	雑誌『サークル村』2巻第6号	(1959年6月)	版画=黒田節子	(発行:九州サークル研究会)	個人蔵
1-11	雑誌『サークル村』2巻第7号	(1959年7月)	画=桜井浩一	(発行:九州サークル研究会)	個人蔵
1-12	雑誌『サークル村』2巻第8号	(1959年8月)	絵=増田明治	(発行:九州サークル研究会)	個人蔵
1-13	雑誌『サークル村』2巻第9号	(1959年9月)	絵=上田博	(発行:九州サークル研究会)	個人蔵
1-14	雑誌『サークル村』2巻第10号	(1959年10月)	画=木村康成	(発行:九州サークル研究会)	個人蔵
1-15	雑誌『サークル村』2巻第11号	(1959年11月)	絵=坂田勝	(発行:九州サークル研究会)	個人蔵
1-16	雑誌『サークル村』2巻第12号	(1959年12月)	絵=寺田健一郎	(発行:九州サークル研究会)	個人蔵
1-17	雑誌『サークル村』3巻第1号	(1960年1月)	絵=桜井浩一	(発行:九州サークル研究会)	個人蔵
1-18	雑誌『サークル村』3巻第2号	(1960年2月)	絵=上田博	(発行:九州サークル研究会)	個人蔵
1-19	雑誌『サークル村』3巻第3号	(1960年3月)	制作=庄田明、上田博	(発行:九州サークル研究会)	個人蔵
1-20	雑誌『サークル村』3巻第4号	(1960年4月)	絵=坂田勝 谷川雁	(発行:九州サークル研究会)	個人蔵
1-21	雑誌『サークル村』3巻第5号	(1960年5月)	絵=上田博	(発行:九州サークル研究会)	個人蔵
1-22	雑誌『サークル村』3巻第6号	(1960年9月)	記載無し	(発行:九州サークル研究会)	個人蔵
1-23	雑誌『サークル村』3巻第7号	(1960年10月)	記載無し	(発行:九州サークル研究会)	個人蔵
1-24	雑誌『サークル村』3巻第8号	(1960年11月)	表紙カット=上田博?	(発行:九州サークル研究会)	個人蔵
1-25	雑誌『サークル村』3巻第9号	(1960年12月)	記載無し	(発行:九州サークル研究会)	個人蔵
1-26	雑誌『サークル村』4巻第1号	(1961年1月)	記載無し	(発行:九州サークル研究会)	個人蔵
1-28	雑誌『サークル村』4巻第2号	(1961年2・3月合併)		(発行:九州サークル研究会)	個人蔵
1-29	雑誌『サークル村』4巻第3号	(1961年4月)	記載無し	(発行:九州サークル研究会)	個人蔵
1-30	雑誌『サークル村』4巻第4号	(1961年5月)	記載無し	(発行:九州サークル研究会)	個人蔵
1-31	雑誌『サークル村』4巻第5号	(1961年7月)	記載無し	(発行:九州サークル研究会)	個人蔵
1-32	雑誌『サークル村』4巻第6号	(1961年10月)	記載無し	(発行:九州サークル研究会)	個人蔵
2-01	寺田健一郎 断片	1968年不明	41.5 × 53.0	油彩・キャンバス	個人蔵 (上野英信旧蔵)

2)石炭会社のデザイン

No.	資料名	制作年	寸法	発行元等	所蔵先
01	矢乃倉炭鉱鉱員募集	制作年不明	76.7 × 53.9cm		みろく沢炭鉱資料館蔵

3)炭鉱美術展ポスター

01	第9回炭鉱絵画展	1957年6月	36.7 × 51.8cm	(札幌丸善ギャラリー)	夕張市蔵(夕張市美術館)
02	第10回炭鉱絵画展	1958年9月	73.0 × 52.0cm	(札幌三越8階)	夕張市蔵(夕張市美術館)
03	第11回炭鉱絵画展	1959年10月	71.5 × 49.4cm	(札幌三越6階)	夕張市蔵(夕張市美術館)

4)労組系ポスター

01	「国家公務員法改悪絶対反対」(原画:ユリ)	1948年8月	37.5 × 52.5cm		全日本石炭産業労働組合
----	-----------------------	---------	---------------	--	-------------

No.	資料名	制作年	寸法	発行元等	所蔵先
02	「他に頼む前に先ずやろう 会社貯金から3000円を労金へ」	不明	37.7 × 53.0cm	日本炭鉱労働組合	法政大学大原社会問題研究所蔵
03	「この力をメーデーへ」	不明	36.2 × 51.8cm	日本炭鉱労働組合	法政大学大原社会問題研究所蔵
04	「こんなことがゆるさされていいだろうか」	195x年	39.5 × 55.2cm	日本労働組合総評議会	法政大学大原社会問題研究所蔵
05	「外国資本によりかかったエネルギー計画を検討せよ」	195x年	37.9 × 52.7cm	日本労働組合総評議会	法政大学大原社会問題研究所蔵
06	「黒い羽運動」	1959年9-12月	53.7 × 38.5cm	黒い羽運動本部	法政大学大原社会問題研究所蔵
07	「第3回北海道炭鉱のうたごえ」	1958年	53.5 × 37.8cm	道炭労	法政大学大原社会問題研究所蔵
08	「生産復興は働く者の手で」	不明	73.9 × 52.9cm	北労会議	法政大学大原社会問題研究所蔵
09	「この事実をみよ」	不明	76.2 × 53.3cm	日本炭鉱労働組合	法政大学大原社会問題研究所蔵
10	「戦争と失業のない日本を！（新海覚雄）」	1960年	75.7 × 52.3cm	日本炭鉱労働組合	法政大学大原社会問題研究所蔵
11	「われわれも人間だ 過重な労働に見合う賃金を！」	不明	52.2 × 72.9cm	日本労働組合総評議会	法政大学大原社会問題研究所蔵
12	「無責任な首切り政策はやめろ！」	不明	52.5 × 73.1cm	日本労働組合総評議会	法政大学大原社会問題研究所蔵
13	「物価引上げ政策をやめろ！」	1962(?)年	51.5 × 73.1cm	日本労働組合総評議会	法政大学大原社会問題研究所蔵
14	「ゼネ・スト！大動員！」	不明	72.5 × 51.5cm	日本労働組合総評議会	法政大学大原社会問題研究所蔵
15	「弥次喜多炭山めぐり双六（炭鉱の友新年号附録）」	1949年1月	54.4 × 76.8cm	炭鉱文化出版社	法政大学大原社会問題研究所蔵
16	「第6回北海道炭鉱のうたごえ」	不明	72.7 × 52.0cm	日本炭鉱労働組合北海道地方本部	法政大学大原社会問題研究所蔵
17	「生産復興はわれらの手で」	不明	78.5 × 54.1cm	経済復興会議	法政大学大原社会問題研究所蔵
18	「炭鉱労働者はこれをがまんできない 私たちは要求する」	不明	59.0 × 88.2cm	日本労働組合総評議会	法政大学大原社会問題研究所蔵
19	「ゴマ化し希望退職にのるな！」（新海覚雄）」	不明		日本鍛冶労働組合	個人蔵
20	「再軍備反対平和憲法を守れ！ 平和か！戦争か！63日ストの恨みを晴らせ」（新海覚雄）」	1953年	38.4 × 26.0cm	炭鉱労働者政治研究会	個人蔵

Part.2 - 川俣正コールマイン・プロジェクト. ～筑豊、空知、ルールでの展開(会場:目黒区美術館区民ギャラリー)

1 川俣正 <景> 2009年 インスタレーション(紙・木材ほか)

Part.3 - 映像の中の炭鉱(会場:ポレポレ東中野)

No.	タイトル(制作年)／長さ／形態	監督等
1	女ひとり大地を行く(1953年／132分／16mm)	監督: 亀井文夫
2	浮草日記 市川馬五郎一座顛末記(1955年／106分／35mm)	監督: 山本薩夫
3	にあんちゃん(1959年／101分／35mm)	監督: 今村昌平
4	炭鉱(ヤマ) 政策転換の戦い(1961年／33分／16mm)	演出・脚本: 徳永瑞夫
5	おとし穴(1962年／98分／35mm)	監督: 勅使河原宏
6	日本女侠伝 血斗乱れ花(1971年／107分／35mm)	監督: 山下耕作
7	爆裂都市 BURST CITY(1982年／116分／35mm)	監督・脚本・音楽監督・編集: 石井聰互
8	はじけ鳳仙花—わが筑豊わが朝鮮(1984年／48分／16mm → DV-CAM)	監督: 土本典昭
9	プ(1994年／92分／35mm)	監督・脚本: 山崎幹夫
10	三たびの海峡(1995年／123分／35mm)	監督: 神山征二郎
11	闇を掘る(2001年／105分／16mm)	監督: 藤本幸久
12	炭鉱(ヤマ)に生きる(2004年／70分／35mm)	監督: 萩原吉弘
13	三池 終わらない炭鉱(ヤマ)の物語(2005年／103分／DV-CAM)	監督: 熊谷博子
14	荒木栄の歌が聞こえる(2009年／95分／DV-CAM)	監督・構成: 港健二郎

めぐろの子どもたち展

平成21年度目黒区立幼稚園、小・中学校連合展覧会

会期：2010年1月16日(土)～1月31日(日) 14日間

会場：展示室 ABC、展示ロビー、エントランスホール、ワークショップ、区民ギャラリー

主催：目黒区立幼稚園長会、目黒区立小学校長会、目黒区立中学校長会、目黒区特別支援学級設置校長会、目黒区教育会、(財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館、目黒区教育委員会

担当学芸員：山田敦雄

本展は、区立幼稚園、小学校・中学校(特別支援学級を含む)の幼児・児童・生徒が平成21年度に授業中に創作した作品を展示し、区立学校における美術教育の成果を区民の方々に紹介するとともに、この鑑賞を介して子どもたちの情操を育むことを目的に開催した。

また、同時開催として、米国ジョージア州チェロキー郡の児童・生徒の絵画作品展を開催した。

●リーフレット

寸法：A3(六ツ折)

内容：ごあいさつ(主催者)／特別支援学級／幼稚園／小学校・図工／小学校・書写／中学校・美術／中学校・書写／米国ジョージア州チェロキー郡 児童・生徒絵画作品展／展示室案内

●広報印刷物

ポスターB3

●出品数

3,703点



リーフレット

ベルナール・ビュフェ展

—「木を植えた男」の著者ジャン・ジオノとの出会い

会期：2010年2月11日(木)～4月11日(日) 52日間

会場：展示室 ABC、展示ロビー、エントランスホール

主催：(財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館

特別協力：ベルナール・ビュフェ美術館

担当学芸員：矢内みどり

同時開催：「藤田嗣治—東京・ニューヨーク・パリ」所蔵作品を中心に

この「ベルナール・ビュフェ展」は、静岡県ベルナール・ビュフェ美術館の特別協力により開催した。ベルナール・ビュフェは(1928～1999年)は、20歳の時に批評家賞を受賞して、第二次世界大戦後のフランス美術界の時代の寵児となった。しかし、戦争の悲惨さや都会の荒廃に傷ついた心を抱えて、23歳の時に突然、「木を植えた男」の原作者、55歳の反骨の文学者ジャン・ジオノの住むプロヴァンスを訪れ、彼の家滞りした後も約5年間この地に住み続けた。本展に出品された挿画本「純粹の探求」は、ジオノがかつて「純粹に平和を探求しよう」と主張し反戦的として出版禁止になった文章に、15年後の1953年、ビュフェが23点の挿画をつけたもので二人の精神の交流の深さを示すものであった。「木を植えた男」も同年執筆され、やがて世界的に知られる感動のストーリーとなっていったのである。その他にもこの時期の深い精神性や宗教性を示す多数の初期油彩により、ビュフェの創造の原点を見ることができた。

同時開催の「藤田嗣治—東京・ニューヨーク・パリ」展は、当館所蔵の藤田作品を中心に構成した。第二次大戦後に藤田が日本からニューヨーク経由でパリに戻っていった時代を再確認した。

●カタログ

寸法：外箱25×20.5×3.5cm 内寸14.7×10.7cm / ページ数：作品はがき71枚と10折パンフレット / デザイン：矢萩喜徳郎

内容：図録 ご挨拶 / 「ベルナール・ビュフェの初期作品とジャン・ジオノ」矢内みどり / ベルナール・ビュフェ略年譜 / 出品リスト

●広報印刷物

ポスターB2、B3 / チラシA4

●関連催事

* 講演会「ベルナール・ビュフェの生涯と作品」木村由香(ベルナール・ビュフェ美術館学芸員)3月7日(日)午後2時～

* 目黒区アートウィーク参加催事「新井満さんの文学と美術のお話 ビュフェとジオノ」新井満 2月28日

●主要関連記事

『朝日新聞』2010年3月10日夕刊 美の履歴書146「キリストの十字架からの降下」ベルナール・ビュフェ 小川雪



A4 チラシ

ベルナル・ビュフェ展 出品リスト

No.	作品名	制作年	技法、素材	寸法(cm)	仏題	所蔵先
1	父と息子	1945年	油彩、カンヴァス	110×67.5	Père et fils	huile sur toile
2	自画像	1946年	油彩、カンヴァス	83×89	Autoportrait	huile sur toile
3	波	1946年	油彩、カンヴァス	78×118	Les vagues	huile sur toile
4	果実と野菜	1946年	油彩、カンヴァス	68×80	Les fruits et le légumes	huile sur toile
5	アトリエ	1947年	油彩、カンヴァス	149×200	Atelier	huile sur toile
6	肘をつく男	1947年	油彩、カンヴァス	117×160	Homme accoudé	huile sur toile
7	化粧台	1947年	油彩、カンヴァス	208×100	La toilette	huile sur toile
8	化粧する女	1947年	油彩、カンヴァス	148×89	Femme à sa toilette	huile sur toile
9	部屋	1947年	油彩、カンヴァス	142×194	Chambre	huile sur toile
10	風景	1947年	油彩、カンヴァス	114×146	Paysage	huile sur toile
11	風景	1947年	油彩、カンヴァス	113×170	Paysage	huile sur toile
12	キリストの十字架からの降架	1948年	油彩、カンヴァス	180×270	Déposition de Croix	huile sur toile
13	自画像	1948年	油彩、カンヴァス	190×89	Autoportrait	huile sur toile
14	画家とモデル	1948年	油彩、カンヴァス	200×94	Le peintre et son modèle	huile sur toile
15	自画像	1948年	油彩、カンヴァス	209×103	Autoportrait	huile sur toile
16	裸婦	1948年	油彩、カンヴァス	200×95	Nu	huile sur toile
17	コーヒーミルと座る女	1948年	油彩、カンヴァス	180×180	Femme assise et moulin à café	huile sur toile
18	ギ・ウェーレンの肖像	1948年	油彩、カンヴァス	215×100	Portrait de Guy Weelen	huile sur toile
19	魚のある静物	1948年	油彩、カンヴァス	96×95	Nature morte au poisson	huile sur toile
20	二羽のひな鶏	1948年	油彩、カンヴァス	119×123	Les deux poulets	huile sur toile
21	コンロのある静物(表)アイロンのある静物(裏)	1948年	油彩、カンヴァス	60×73	Nature morte au réchaud à alcool (recto) Nature morte au fer à repasser (verso)	huile sur toile
22	えい	1948年	油彩、カンヴァス	115×81	La raie	huile sur toile
23	兎	1948年	油彩、カンヴァス	50×65	Le lapin	huile sur toile
24	肉屋の少年	1949年	油彩、カンヴァス	200×300	Le garçon boucher	huile sur toile
25	自画像	1949年	油彩、カンヴァス	98×57	Autoportrait	huile sur toile
26	アトリエの裸婦	1949年	油彩、カンヴァス	200×145	Nu debout dans l'atelier	huile sur toile
27	海辺の家	1949年	油彩、カンヴァス	50×65	Maison au bord de la mer	huile sur toile
28	ある街角	1949年	油彩、カンヴァス	130.5×89.5	Une rue	huile sur toile
29	静物	1949年	油彩、カンヴァス	60×80	Nature morte	huile sur toile
30	パンと皿のある静物	1949年	油彩、カンヴァス	50.5×110.5	Nature morte aux pain et compotier	huile sur toile
31	テーブルの上の皿	1949年	油彩、カンヴァス	106×94	Assiette sur la table	huile sur toile
32	女の顔	1950年	油彩、カンヴァス	65×50	Tête de femme	huile sur toile
33	ポートレート I	1950年	油彩、カンヴァス	46×27	Portrait I	huile sur toile
34	椅子	1950年	油彩、カンヴァス	146×97	La chaise	huile sur toile
35	三隻の船	1950年	油彩、カンヴァス	50×65	Trois bateaux	huile sur toile
36	黒いダリア	1950年	油彩、カンヴァス	65×50	Les dahlias noir	huile sur toile
37	ボアを纏った仮装者	1951年	油彩、カンヴァス	198×120	Travesti au boa	huile sur toile
38	風景	1951年	油彩、カンヴァス	114×146	Paysage	huile sur toile
39	ナンスの農場	1951年	油彩、カンヴァス	114×146	Nanse	huile sur toile
40	鳥のいる静物	1951年	油彩、カンヴァス	27×46	Nature morte aux oiseaux	huile sur toile
41	プロヴァンスの画家の台所	1953年	油彩、カンヴァス	162×130	Cuisine du peintre provençal	huile sur toile
42	花	1953年	油彩、カンヴァス	50×65	Fleurs	huile sur toile
43	アトリエ	1954年	油彩、カンヴァス	162×97	L'atelier	huile sur toile
44	ピエロ	1955年	油彩、カンヴァス	230×150	Pierrot	huile sur toile
45	サーカス	1955年	油彩、カンヴァス	259×295	Le Cirque	huile sur toile *
46	ブルターニュの港	1955年	油彩、カンヴァス	97×130	Port de Bretagne	huile sur toile
47	百合の花	1955年	油彩、カンヴァス	81.5×60	Lis	huile sur toile
38	赤い鳥	1959年	油彩、カンヴァス	188.5×248.5	L'oiseau rouge	huile sur toile
49	戦争の惨禍(1)	1954年	水彩	65×100	Horreur de la guerre I	aquarelle sur papier *
50	戦争の惨禍(2)	1954年	水彩	65×50	Horreur de la guerre II	aquarelle sur papier
51(1)	挿画本『純粋の探究』より21点	1953年	ドライポイント	38.0×25.5	Recherche de la Pureté	pointe sèche

所蔵：*印はギャラリーためなが蔵、そのほかすべてベルナル・ビュフェ美術館蔵

藤田嗣治—東京・ニューヨーク・パリ 所蔵作品を中心に

会期：2010年2月11日(木)～4月11日(日) 52日間

会場：展示室 B

主催：(財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館

担当学芸員：矢内みどり

同時開催：ベルナール・ビュフェ展—「木を植えた男」の著者ジャン・ジオノとの出会い

「藤田嗣治展 東京、ニューヨーク、パリ」は、藤田嗣治の当館所蔵作品を中心に構成。第二次大戦後にGHQの関係で来日したフランク・シャーマンが旧蔵した「シャーマン・コレクション」の中の絵手紙は、1949～50年に藤田夫妻がアメリカ経由でフランスに渡る時に、先にニューヨークに到着した藤田が、まだ日本にいる君代夫人を急いでニューヨークに送り出してほしいという内容で、日本にいるシャーマンに送った手紙である。戦争画を描いたそしりを受け、藤田が東京、ニューヨークを巡って、永住の国フランスのパリに至る時代を追った。

●カタログ

寸法：26×19cm / ページ数：63ページ / デザイン：矢萩喜徳郎

内容：ごあいさつ / 「藤田嗣治 東京、ニューヨーク、パリ」矢内みどり / 図版 / 略年譜 / 出品リスト

●広報印刷物

ベルナール・ビュフェ展と共通

●関連催事

* 対談「日本帰国時の藤田嗣治」藤田嗣隆(平野政吉美術館理事・学芸員)×矢内みどり

出品リスト

No.	作品名	制作年	技法・素材	寸法(cm)	所蔵先
1	動物群	1924	油彩・キャンバス	97.0×145.5	
2	家族	1948	油彩・キャンバス	45.0×37.0	
3	接吻	1904	水彩・紙	15.0×11.5	
4	赤毛の女	1917	水彩・紙	26.5×20.0	
5	鶴	c.1918	水彩・金箔・紙	20.0×17.0	
6	メキシコの少年	1933	水彩・紙	93.5×61.0	
7	殉教者	1934	水彩・金箔・紙	51.0×32.0	
8	房州白浜にて	1935	水彩・紙	34.5×28.5	
9	君代のプロフィール	c.1938	水彩・紙	23.0×18.5	
10	シャーマン氏像	1948	水彩・紙	30.0×20.0	
11	西瓜	1948	水彩・紙(軸装)	27.0×40.0	
12	眼	1948	水彩・紙	45.0×51.0	
13	人形を持った少女	1951	水彩・紙	21.5×16.0	
14	芸者と泥棒		水彩・紙(額)	34.0×41.0	
15	猫		水彩・紙	17.0×13.0	
16	シェロン氏像	1917	コンテ・紙	30.5×23.5	
17	レスリング	1927	鉛筆・紙	60.0×122.0	
18	裸婦(キキ・ド・モンバルナス)	1929	鉛筆・紙	71.5×128.5	
19	少女		鉛筆・紙	42.5×23.0	

No.	作品名	制作年	技法・素材	寸法(cm)	所蔵先
20	女性のプロフィール		鉛筆・紙	25.0×18.5	
21	小鳥と少女		インク・紙	16.5×9.5	
22	立っている裸婦	1920/29	銅版・紙	56.0×37.0	
23	横たわる裸婦	1920/29	銅版・紙	37.0×56.0	
24	裸婦と猫	1920/29	エッチング・紙	44.5×34.5	
25	裸婦	c.1923-34	ドライポイント・紙	26.5×36.5	
26	カフェ・ドゥ・ラ・ロトンド	1925	銅版・紙	19.0×14.5	
27	スカーフを巻いた女	1925	リトグラフ・紙	13.5×13.0	
28	二人の少女のプロフィール	1925	リトグラフ・紙	20.0×17.5	
29	裸婦	1925	リトグラフ・紙	17.5×24.0	
30	裸婦	1925	リトグラフ・紙	43.0×33.0	
31	静物(インク壺)	c.1926	銅版・紙	27.0×34.5	
32	静物(糸巻)	c.1926	銅版・紙	27.0×34.5	
33	猫のいる自画像	c.1926	ドライポイント・紙	32.5×24.5	
34	少年像	c.1929	銅版・紙	34.5×24.5	
35	二匹の猫	1931	リトグラフ・紙	27.0×37.5	
36	自画像	c.1934	木版・紙	21.5×15.5	
37	人形	1946	木版・紙	23.0×17.0	
38	グッバイ・ニューヨーク	1950	木版・コラージュ	21.5×22.0	
39	帽子をかぶった少女		銅版・紙	16.0×17.0	
40	スパニッシュ (1)		フロッタージュ・紙	13.0×9.5	
41	スパニッシュ (2)		フロッタージュ・紙	13.0×9.5	
42	自画像		カルコグラフィー・紙	44.4×34.0(画面)	
43	顔(8枚組絵皿)	1947	陶器	各φ23.0	
44	エッフェル塔(皿)	1947	陶器	φ30.5	
45	アダムとイヴ(皿)	1947	陶器	φ30.5	
46	燭台女(壺)	1947	陶器	φ15.5× (h)25.5	
47	猫とネズミ	1947	陶器	20.0×33.0× 6.0	
48	キス・ミー (人形, 頭)	c.1946	彩色・木	8.5×19.0×4.5	
49	キス・ミー (人形, 全身)	1946	彩色・木	24.5×16.0× 4.5	
50	円形テーブル		象がん・木	φ50.5× (h)60.0	
51	書簡(フランク・シャーマン宛)1949年3月5日	1949年3月5日(藤田が日本を発ったのが3月10日なのでこの日付は誤記と思われる。)	インク・紙	21.2×14.0	
52	書簡(フランク・シャーマン宛)1949年3月22日	1949年3月22日	インク・水彩・紙	21.4×27.7	
53	書簡(フランク・シャーマン宛)1949年3月24日	1949年3月24日	インク・紙	10.5×27.5	
54	書簡(フランク・シャーマン宛)1949年3月28日	1949年3月28日	インク・紙	12.8×20.2	
55	書簡(フランク・シャーマン宛)1949年3月28日	午後9時 1949年3月28日	インク・紙	12.8×20.4	
56	書簡(フランク・シャーマン宛)1949年3月30日	1949年3月30日	インク・水彩・紙	20.4×12.8	
57	書簡(フランク・シャーマン宛)1949年3月31日	1949年3月31日	インク・水彩・紙	20.0×25.0	
58	書簡(フランク・シャーマン宛)1949年4月2日	1949年4月2日	インク・紙	21.3×27.5	
59	書簡(フランク・シャーマン宛)1949年4月6日	1949年4月6日	インク・紙	20.2×12.8	
60	書簡(フランク・シャーマン宛)1949年4月3日	1949年4月3日	インク・水彩・紙	21.2×27.5	
61	書簡(フランク・シャーマン宛)1949年4月10日	日曜日 1949年4月10日(本文中日付は誤記)	インク・水彩・紙	12.8×20.0	
62	書簡(フランク・シャーマン宛)1949年4月11日	月曜日 1949年4月11日	インク・水彩・紙	12.8×20.2	
63	書簡(フランク・シャーマン宛)1949年4月14日	1949年4月14日	インク・水彩・紙	21.2×27.5	
64	書簡(フランク・シャーマン宛)1949年4月15日	1949年4月15日	インク・水彩・紙	23.7×22.2	
65	書簡(フランク・シャーマン宛)1949年4月17日	1949年4月17日	インク・水彩・紙	19.8×22.2	
66	書簡(フランク・シャーマン宛)1949年4月18日	1949年4月18日	インク・水彩・紙	22.8×23.5	
67	書簡(フランク・シャーマン宛)(1949年4月18日)	1949年4月18日	インク・水彩・紙	12.5×22.2	

No.	作品名	制作年	技法・素材	寸法(cm)	所蔵先
68	書簡(フランク・シャーマン宛)1949年4月20日	1949年4月20日	インク・水彩・紙	10.2×25.0	
69	書簡(フランク・シャーマン宛)1949年4月23日	1949年4月23日	インク・木版・紙	19.0×10.7	
70	書簡(フランク・シャーマン宛)1949年4月23日	1949年4月23日	インク・水彩・木版・紙	19.0×20.8	
71	書簡(フランク・シャーマン宛)1949年4月26日	1949年4月26日	インク・水彩・紙	(左)19.3×13.8 (右)12.0×13.0	
72	書簡(フランク・シャーマン宛)1949年5月5日	1949年5月5日	インク・水彩・紙	(左)27.0×17.0 (右)27.0×18.0	
73	書簡(フランク・シャーマン宛)1949年5月12日	1949年5月12日	インク・水彩・紙	25.0×20.0	
74	書簡(フランク・シャーマン宛)1949年5月13日	1949年5月13日	インク・水彩・紙	(上)25.0×20.0 (下)14.0×16.2	
75	書簡(フランク・シャーマン宛)1949年5月21日	1949年5月21日	インク・水彩・紙	25.0×20.0	
76	書簡(フランク・シャーマン宛)日付不明	1949-50年	インク・水彩・紙	(左)27.0×16.5 (右)27.2×19.0	
77	書簡(フランク・シャーマン宛)日付不明	1949-50年	インク・水彩・紙	(左)20.2×12.8 (右)18.6×13.3	
78	書簡(フランク・シャーマン宛)日付不明	1949-50年	インク・紙	12.5×20.0	
79	葉書(澤鑿治宛)1905年3月23日	1905年3月23日	水彩・紙	9.2×14.2	
80	葉書(澤鑿治宛)1905年6月4日	1905年6月4日	水彩・紙	9.0×14.2	
81	葉書(澤鑿治宛)1905年6月11日	1905年6月11日	水彩・紙	9.0×14.0	
82	葉書(澤鑿治宛)1905年6月15日	1905年6月15日	水彩・紙	9.2×14.1	
83	葉書(澤鑿治宛)1905年6月18日	1905年6月18日	水彩・紙	9.0×14.1	
84	葉書(澤鑿治宛)1905年6月26日 夜	1905年6月26日	水彩・紙	9.1×14.2	
85	葉書(澤鑿治宛)1905年9月10日	1905年9月10日	水彩・紙	9.1×14.2	
86	葉書(澤鑿治宛)1905年9月17日	1905年9月17日	水彩・紙	9.1×14.1	
87	葉書(澤鑿治宛)1905年9月19日	1905年9月19日	水彩・紙	9.2×14.2	
88	葉書(澤鑿治宛)1905年9月29日	1905年9月29日	水彩・紙	9.0×14.1	
89	葉書(澤鑿治宛)1906年2月18日	1906年2月18日	水彩・紙	9.0×14.4	
90	葉書(澤鑿治宛)日付不明	1905-6年	水彩・紙	9.1×14.0	
91	ポスター (1)マドレーヌ	1936年	オフセット印刷・彩色・紙	85.0×52.5	
92	ポスター (2)現代画家展(ギャラリー・ドウ・ロテル・ドユ・バルク)	1956年	リトグラフ・紙	61.5×44.0	
93	ポスター (3)時代の証人・画家展(ガリエラ美術館)	1960年	リトグラフ・紙	72.5×47.5	
94	ポスター (4)フジタ展(ペトリアス画廊)	1964年	リトグラフ・紙	67.0×48.4	
95	トランク(遺品)			40.5×65.5× 22.5	
96	10人の子どもたち	1924年	油彩・キャンバス	114.4×144.3	
97	馬図	1934年	墨・紙本(屏風)	168.0×169.2	個人蔵
98	鯨と蛙の図		墨・紙本(屏風)	68.5×163.2	個人蔵
99	横顔		インク・紙	25.5×20.6	個人蔵

所蔵：記載のないものは全て目黒区美術館

エミール・ガレの生きた時代—近代生活のエレガンス

会期：2010年4月17日(土)～5月30日(日) 39日間

会場：展示室 ABC、展示ロビー、エントランスホール、ワークショップ

主催：(財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会

協賛：ライオン、清水建設、大日本印刷

特別協力：黒壁美術館

協力：MEGURO INTERIOR SHOPS COMMUNITY

担当学芸員：石崎尚

アール・ヌーヴォーの巨匠エミール・ガレの作品を中心とした展覧会を開催した。多種多様な価値観が共存する19世紀半ばに生まれたガレは、当時身の回りにあった美意識から多くを学び、遠く異国への憧れを抱きながら、自らの感性を磨いていった。後年、自らのスタイルを確立したガレは、アール・ヌーヴォーという一大潮流を築き上げ、美術の歴史に大きな足跡を残した。この展覧会では、19世紀後半のネオロココ様式から出発したガレが、歴史主義やジャポニスムの影響を受け、ついには植物や虫の形を大胆に取り入れたアール・ヌーヴォー様式に至るまでの軌跡を、滋賀県長浜市の黒壁美術館の所蔵作品によって辿った。展覧会の後半部分ではガレと同時期のアール・ヌーヴォー作家を多数紹介し、19世紀末から20世紀初頭にかけての時代の中でガレの作品を見つめ直した。

●カタログ

寸法：25.7×18.5cm / ページ数：156ページ / デザイン：水野英樹(大成功)

内容：ごあいさつ / 黒壁美術館と黒壁スクエアについて / 思考する形象 エミール・ガレとその時代 [鈴木潔] / カタログ 第1章 ガレを育んだ揺籃—歴史主義と異国主義 第2章アール・ヌーヴォーという時代精神 ガレと同時代の作家たち 第3章アール・ヌーヴォーの生活空間—彫刻・家具・調度品 [石崎尚] / エミール・ガレ略年譜 [石崎尚] / 器と彫刻のはざま—エミール・ガレの立体デザイン [石崎尚] / 作品リスト・解説

●広報印刷物

ポスターB2 / チラシA4

●関連催事

*講演会「エミール・ガレの軌跡」講師：鈴木潔(黒壁美術館館長、本展監修者)

4月24日(土)午後2時～

*「ガレ生誕記念ナイトツアー」石崎尚 5月4日(火・祝)午後6時30分～



A4 チラシ

出品リスト

No.	作家名	作品名	寸法(cm)	制作年	所蔵先
1-01	J. & L. ロブマイヤー	蓋付ゴブレット	高33.0、幅9.8	1893年	
1-02	J. & L. ロブマイヤー	人物文蓋付ゴブレット	高35.0、幅15	1880年頃	
1-03	J. & L. ロブマイヤー	蓋付ゴブレット	高60.0、幅12.5	1880-90年	
1-04	J. & L. ロブマイヤー	人物文ゴブレット	高17.3、幅8	1900年	
1-05	J. & L. ロブマイヤー	すみれ文ゴブレット	高15.1、幅8	1900年頃	
1-06	J. & L. ロブマイヤー	人物文脚付杯	高11.0、幅13.5	1880年頃	

No.	作家名	作品名	寸法(cm)	制作年	所蔵先
1-07	J. & L. ロブマイヤー	アラベスク文皿	高3.0、幅29.0	1880年頃	
1-08	J. & L. ロブマイヤー	エナメル彩鉢	高6.8、幅14.0	1880年頃	
1-09	J. & L. ロブマイヤー	花文花器	高18.3、幅11.0	1880年頃	
1-10	ブクォイ工房	保温用食器(受皿)と杯	皿：高 5.5、幅16.0 / 杯：高7.6、幅7.3	1825-30年頃	
1-11	ヨーゼフ・ツイッヒ	金彩風景皿	高3.0、幅17.3	1830-35年頃	
1-12	サンルイ	リキュールグラス	各 高18.5、幅7.8	1900年頃	
1-13	バカラ	草花文リキュールグラス	各 高18.5、幅7.5	1900年頃	
1-14	エミール・ガレ	湖水風景文花器	高20.0、幅15.0	1867-84年頃	
1-15	エミール・ガレ	狩猟文香水瓶	高17.0、幅7.4	1878年頃	
1-16	エミール・ガレ	唐草文ジョッキ	高11.0、幅9.0	1884-89年	
1-17	エミール・ガレ	中世人物文リキュールセット	トレイ：高3.5、幅31.0 / デキャンター：各 高23.0、幅13.0 / リキュールグラス：各 高7.5、幅4.8	1884-89年	
1-18	エミール・ガレ	トランプ文リキュールセット	トレイ：高4.0、幅30.0 / デキャンター(クラブ)：高21.0、幅11.0 / デキャンター(ハート)：高20.5、幅22.0 / デキャンター(ダイヤ)：高22.0、幅11.0 / デキャンター(スペード)：高20.5×幅11.0 / グラス：各 高3.6、幅6.0	1878-89年	
1-19	エミール・ガレ	アブサンリキュールセット	ワイングラス：各 高16.2、幅6.8、 / デキャンター：各 29.0、幅10.7 / リキュールグラス：各 高6.3、幅4.7 / グラス：各 高10.8、幅7.2 / ピッチャー：各 高20.0、幅16.0 / シャンパングラス：各 高9.8、幅10.5	1880年代	
1-20	エミール・ガレ	アラベスク文花器	高29.0、幅20.0	1884-89年頃	
1-21	エミール・ガレ	アラベスク文耳付壺	高22.8、幅19.0	1884-89年頃	
1-22	エミール・ガレ	騎馬人物文香水瓶	高13.5、幅9.3	1884-89年頃	
1-23	エミール・ガレ	睡蓮文花器	高16.0、幅24.5	1890-1920年	
1-24	エミール・ガレ	睡蓮文花器	高25.8、幅15.5	1900-10年頃	
1-25	エミール・ガレ	菊花文花器	高72.5、幅24.7	1900年頃	
1-26	エミール・ガレ	唐草文小鉢	高8.5、幅12.5	1890-97年	
1-27	エミール・ガレ	草花文杯	高14.5、幅9.0	1879年頃	
1-28	エミール・ガレ	風景文双耳花器	高18.0、幅13.0	1880-84年頃	
1-29	エミール・ガレ	風景文耳付花器	高15.5、幅27.0	1885年頃	
1-30	エミール・ガレ	蓮文鉢	高11.0、幅22.0	1900年頃	
1-31	エミール・ガレ	蜻蛉文花器	高9.5、幅7.5	1889年頃	
1-32	エミール・ガレ	蛙文花器	高9.5、幅7.5	1889年頃	
1-33	エミール・ガレ	薊と蜂文杯	高9.5、幅9.2	1889年頃	
1-34	エミール・ガレ	鐔文花器	高16.0、幅9.0	1900年	
2-01	エミール・ガレ	プリムラ文花器	高14.0、幅5.7	1889-1900年頃	
2-02	エミール・ガレ	プリムラ文花器	高13.0、幅9.1	1889-1900年頃	
2-03	エミール・ガレ	カンパヌラ文花器	高30.7、幅10.8	1890-1900年頃	
2-04	エミール・ガレ	蘭文花器	高22.3、幅13.5	1900年頃	
2-05	エミール・ガレ	オダマキ文花器	高28.0、幅12.5	1900年頃	
2-06	エミール・ガレ	芥子文花器	高19.8、幅9.8	1900年頃	
2-07	エミール・ガレ	花器「ソーダ」	高20.0、幅11.7	1903年	
2-09	エミール・ガレ	花器「アルプスのアザミ」	高27.0、幅20.5	1900年頃	
2-10	エミール・ガレ	セリ文ランプ	高40.0、幅18.0	1902-04年頃	
2-11	エミール・ガレ	葡萄文ランプ	高54.5、幅29.0	1902-14年頃	
2-12	エミール・ガレ	風景文ランプ	高64.0、幅30.0	1902-14年頃	
2-13	ドーム兄弟	酒器セット	デキャンタ：各 高28.0、幅9.0 / 水差し：各 高21.5、幅11.5 他	1890年頃	
2-14	ドーム兄弟	風景文鶴首花器	高31.0、幅9.5	1898年頃	
2-15	ドーム兄弟	イヌサフラン文花器	高38.0、幅20.0	1897-1900年	
2-16	ドーム兄弟	藤文花器	高35.2、幅9.5	1900-10年	
2-17	ドーム兄弟	芥子文花器	高49.5、幅15.0	1914-23年	

No.	作家名	作品名	寸法(cm)	制作年	所蔵先
2-18	ドーム兄弟	崎嶇文花器	高30.0、幅7.5	1904年頃	
2-19	ドーム兄弟	マロニエ文花器	高41.0、幅15.0	1908年頃	
2-20	ドーム兄弟	ヤブガラシに蜘蛛の巣文花器	高64.0、幅21.0	1910年頃	
2-21	ドーム兄弟	冬景色文花器	高43.0、幅17.5	1900-10年頃	
2-22	ドーム兄弟	冬景色文ランプ	高34.0、幅19.5	1900-10年頃	
2-23	ドーム兄弟	冬景色文ランプ	高30.5、幅10.0	1900-10年頃	
2-24	ドーム兄弟	雪景文花器	高71.0、幅17.5	1900-10年	
2-25	ドーム兄弟	雪景色文花器	高30.0、幅15.0	1900年頃	
2-26	ドーム兄弟	芥子文ランプ	高47.5、幅20.0	1910-20年頃	
2-27	ドーム兄弟	薔薇の実文ランプ	高38.5、幅12.5	1910-13年頃	
2-28	ドーム兄弟	梨花文ランプ	高39.0、幅12.0	1910-12年頃	
2-29	ルイス・カムフォート・ティファニー	花文花瓶	高42.8、幅23.5	1900-10年	
2-30	ルイス・カムフォート・ティファニー	花文花器	高11.0、幅9.0	1900-05年	
2-31	ルイス・カムフォート・ティファニー	花器	高31.0、幅18.0	1900年頃	
2-32	ルイス・カムフォート・ティファニー	虹彩花器	高16.3、幅9.1	1900年頃	
2-33	ルイス・カムフォート・ティファニー	虹彩花器	高20.3、幅8.0	1900年頃	
2-34	ルイス・カムフォート・ティファニー	虹彩花器	高12.0、幅8.7	1900年頃	
2-35	ルイス・カムフォート・ティファニー	虹彩酒器	ジョッキ：高16.8、幅13.8 / コップ：各 高9.5、幅6.5 / リキュールグラス：各 高14.5、幅6.8	1900年頃	
2-36	ルイス・カムフォート・ティファニー	葉文三つ耳花器	高15.5、幅16.3	1900-05年頃	
2-37	ルイス・カムフォート・ティファニー	芥子文ランプ	高62.0、幅51.0	1900-10年頃	
2-39	ヨハン・レッツ・ヴィトヴェ工房	花器「チューリップ」	高14.5、幅10.0	1899年	
2-40	ヨハン・レッツ・ヴィトヴェ工房	木の葉花器	高26.5、幅17.0	1902-04年	
2-41	ヨハン・レッツ・ヴィトヴェ工房	虹彩花器	高19.0、幅11.0	1910年頃	
2-42	ヨハン・レッツ・ヴィトヴェ工房	虹彩瓢型花器	高31.5、幅10.5	1902-03年	
2-43	ヨハン・レッツ・ヴィトヴェ工房	花文花器	高20.5、幅8.0	1912年	
2-44	ヨハン・レッツ・ヴィトヴェ工房	花文鉢	高7.0、幅19.0	1914年	
3-01	エミール・ガレ	獅子型燭台	各 高53.5、幅34.0	1880年代	
3-02	エミール・ガレ	花器「白鳥」	高29.0、幅36.0	1880年代	
3-03	エミール・ガレ	陶製置物「フクロウ」	高33.0、幅16.5	1889年	
3-04	エミール・ガレ	陶製置物「兎」	高35.5、幅23.0	1880年代	
3-05	セーヴル窯	マリー・アントワネット	高75.0、幅51.0	磁器	19世紀
3-06	オーギュスト・ロダン	シュボン	高40.6、幅18.4	ブロンズ	1873年(原型制作)
3-07	ジャン＝バティスト・カルポー	ナポリの漁師の少年	高89.0、幅56.0	ブロンズ	1858年頃
3-08	エマニュエル・ピラニ	イヴ	高52.0、幅42.0		19世紀後半-20世紀初頭
3-09		木彫飾棚	218×122×49.5		19世紀中頃
3-10		シリンダー型書き物机	高111.0×幅93.5×奥行58.0		18世紀中頃-19世紀初頭
3-11		書き物机	高88.0×幅141.0×奥行83.0		19世紀中頃
3-12		飾棚	高193.0×幅127.5×奥行50.0		19世紀

No.	作家名	作品名	寸法(cm)	制作年	所蔵先
3-13	エミール・ガレ	グラジオラス文楽譜棚	高88.5×幅 61.0×奥行39.0	1900年頃	
3-14	エミール・ガレ	花文棚	高143.0×幅81.0×奥行52.0	1900年頃	
3-15	エミール・ガレ	麦と芥子文ティーテーブル	高86.0×幅86.0×奥行61.0	1900年頃	
3-16	エミール・ガレ	ボケ文キャビネット	高107.0×幅67.0×奥行40.0	1895年頃	
3-17	ルイ・マジヨレル	タンポポ文食堂セット 食器棚(小)	高140.0×幅133.0×奥行48.0	1900-05年	
3-18	ルイ・マジヨレル	タンポポ文食堂セット 食器棚(大)	高198.0×幅185.0×奥行57.0	1900-05年	
3-19	ルイ・マジヨレル	タンポポ文食堂セット テーブルと椅子	高76.0×幅149.0×奥行128	1900-05年	
3-20	ルイ・マジヨレル	海藻文食堂セット 食器棚(小)	高138.0×幅140.5×奥行46.5	1914年	
3-21	ルイ・マジヨレル	海藻文食堂セット 食器棚(大)	高214.5×幅223.5×奥行53.0	1914年	
3-22	ルイ・マジヨレル	海藻文食堂セット テーブルと椅子	高72.5×幅130.0×奥行173.0	1914年	
3-24		タペストリー 人物風景図	縦131.0、横192.0	19世紀	
3-25		草花図屏風	六曲一双 縦125.5×横289.5	江戸時代	*
参考出品		衝立	高220.0×幅145.5	18世紀中頃 -19世紀初頭	
参考出品		銀器		19世紀	
参考出品	オーギュスト・モロー	サランボー	高80.0、幅44.0	1900年頃	
参考出品	オーギュスト・ロダン	壺	高28.0	1882-87年	
参考出品	セーヴル窯	色絵青釉金彩 カップ&ソーサー 「ルイ16世と花文」		不詳	
参考出品	セーヴル窯	色絵ピンク釉金彩 カップ&ソーサー 「犬と戯れる男女絵」		不詳	
参考出品	マイセン窯	バゴダ	高27.0	18世紀	
参考出品	マイセン窯	人物群像飾り時計	高60.0	19世紀中頃	
参考出品	マイセン窯	陽気なテラー	高44.0、幅42.0	19世紀	
参考出品	ルイス・カムフォート・ティファニー	葉文花器		1900年頃	
参考出品	ルーアン窯	天使文片手壺	高27.0 cm、幅17.0	18世紀	
参考出品		飾ケース	高84.0×幅91.0×奥行56.0	19世紀	
参考出品		木彫飾棚(一对)	各 高182.0×132.0×59.0	19世紀	
参考出品		七宝スプーン		19世紀	
参考出品		透胎七宝 食器		19世紀	
参考出品	高野三三男	静物 2		1949年頃	**
参考出品	エミール・ガレ	薔薇文ランプ	高69.0、幅32.5	1902-14年頃	***

所蔵：*3-25 有限会社ニシマサ郷土資料館蔵
**参考出品 静物 2 目黒区美術館蔵
*** 個人蔵
上記以外はすべて黒壁美術館蔵

紅心 小堀宗慶展—創作と審美眼の世界—

会期：2010年6月5日(土)～7月11日(日) 32日間

会場：展示室 ABC、展示ロビー、エントランスホール、ワークショップ

主催：(財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館、朝日新聞社

助成：芸術文化振興基金

協力：遠州茶道宗家

後援：財団法人小堀遠州顕彰会、茶道遠州会

担当学芸員：矢内みどり

目黒区美術館では内外の近現代の美術、デザイン、建築、書、など様々な展覧会を独自の視点で取り上げてきた。本展では、総合芸術である茶道を極めた芸術家として、また優れた目利としての小堀宗慶が自ら制作した作品と選んだ名品により構成した。

小堀宗慶は、1923(大正12)年、東京で生まれ、東京美術学校(現東京藝術大学)で日本画を専攻したが、学徒出陣により満州に従軍、終戦時にシベリアに抑留された。1949(昭和24)年に復員して、翌年に「宗慶」の雅号を襲名し、1962(昭和37)年に、江戸時代の大名家である小堀遠州(1579～1647年)から続く遠州茶道宗家12世家元を継承して、「国民皆茶」を提唱し、日本文化の普及・発展に尽くした。2001(平成13)年、長男宗実に13世家元を譲り、雅号「紅心」と称し、現在も茶道は勿論、茶花、定家様の書、日本画、裂の研究などに深く通じ、美術工芸などの指導に活躍したが、2011年4月24日逝去。本展では小堀宗慶が、優れた審美眼によって選定した茶道具など古美術16点、その中には、かつて選定した「名碗十選」から宗慶とのゆかりの深い作品が出品された。

また、東京美術学校で学んだ日本画の作品、屏風絵、軸、絵付け着物、定家様の書や、自作の茶道具、その他、美術館蔵の名品からインスピレーションを得て宗慶が意匠を起こし、国内外の名工によって制作された工芸品など豊かな創造力に満ちた作品により、伝統を現代に生かした宗慶の美の世界を紹介した。

●カタログ

寸法：29.5×22.7cm / ページ数：142ページ / デザイン：矢萩喜従郎

内容：「私の制作原点」紅心小堀宗慶 / 「真の茶の湯者に捧ぐ」林屋晴三 / 「小堀遠州の茶の湯と宗慶宗匠」熊倉功夫 / 眼と、手と、心—紅心小堀宗慶の創り出す芸術—河合正朝 / 「紅心小堀宗慶の現代性」矢内みどり / 作品図版 / 出品目録 / 解説 / 年譜

●広報印刷物

ポスターB2、B3 / チラシA4

●関連催事

*講演会「父紅心小堀宗慶の綺麗さび」講師：遠州茶道宗家13世小堀宗実家元

6月13日午後1時～ 定員80名

*ワークショップ「茶道こども塾」5～8歳限定 各20名 指導：遠州茶道宗家13世小堀宗実家元

6月19日午後1時～ / 午後2時～

*呈茶(立礼席、干菓子と薄茶)

6月5日、6日、12日、13日、19日、20日、26日、27日、7月3日、4日 午後1～5時

茶道遠州会

●主要関連記事

河合正朝「紅心小堀宗慶展 創作と審美眼の世界 綺麗さび現代に 「かざる美」の創始者」『朝日新聞』6月3日夕刊

「紅心小堀宗慶展 創作と審美眼の世界」美の探訪『陶業時報』6月25日号

「遠州茶道宗家 小堀宗慶の回顧展」『和楽』6月号



A4 チラシ

紅心 小堀宗慶展 出品リスト

■ I. 紅心 小堀宗慶 想いの深い茶道具

No.	作品名	付属品	年代	素材・技法	寸法(cm)	所蔵先
I -1	一山一壺 墨跡一行書「一 箭中紅心」		鎌倉時代(14世紀)	紙本墨書	縦99.5 横21.1	三井記念美術館蔵
I -2	「胡銅 大曾呂利 花生」		南宋時代(13世紀)		高30.5 口径3.4 胴径9.1 底径5.3	五島美術館蔵
I -3	「古銅 桃底花入 伝利休 所持」				高18.4 口径2.5 胴径7.9 底径3.0	三井記念美術館蔵
I -4	重要文化財 大名物「唐物 仕覆(2点) 肩衝茶入 銘 初花」		南宋 - 元時代(13 - 14世紀)		高8.5 胴径8.0 底径4.7	徳川記念財団蔵
I -5	大名物「唐物肩衝茶入 銘 遊桜」		南宋時代(12 - 13世紀)		高8.9 口径4.8 胴径8.0 底径4.1	三井記念美術館蔵
I -6	中興名物「瀬戸茶入 銘 四方盆付、仕覆(5点) 飛鳥川」		室町～桃山時代		高8.2 口径3.1 胴径6.2 底径4.0	湯木美術館蔵
I -7	中興名物「丹波茶入 銘 仕覆(4点) 生野(生埜)」				高9.2 口径2.6 胴径5.7 底径3.1	湯木美術館蔵
I -8	重要文化財「青磁茶碗 銘 付属文書：伊藤東涯『馬蝗 馬蝗絆」	銘 付属文書：伊藤東涯『馬蝗 絆茶甌記』(享保十二年)	南宋時代(13世紀)		高9.6 口径15.4 高台径4.5	東京国立博物館蔵
I -9	国宝「大井戸茶碗 銘 喜 左衛門」		李朝時代(15 - 16世紀)		高9.1 口径15.5 高台径5.5	孤篷庵蔵
I -10	重要文化財「青井戸茶碗 銘 柴田」		朝鮮時代(16世紀)		高6.8 - 7.0 口径 14.3 - 14.6 高台 径4.8	根津美術館蔵
I -11	「小井戸茶碗 銘 六地 蔵」		朝鮮時代(16世紀)		高7.9 口径13.7 高台径5.3	泉屋博古館分館蔵
I -12	「蕎麦茶碗 銘 花曇」		李朝時代			個人蔵
I -13	「ととや茶碗 銘 かす み」		李朝時代(16世紀)		高6.8 口径13.2 高台径5.3	三井記念美術館蔵
I -14	「彫三鳥茶碗 外花」		朝鮮王朝時代(17世紀)		高7.2 口径14.7 - 15.0 高台径5.4	三井記念美術館蔵
I -15	重要文化財「鼠志野茶碗 銘 山の端」		桃山時代(16 - 17世紀)		高8.2 - 8.8 口径 13.1 - 14.3 高台 径5.5 - 6.1	根津美術館蔵
I -16	「丹波茶碗 銘 雪間草」		桃山時代		高7.9 口径12.5 高台径6.6	個人蔵

■ II. 紅心 小堀宗慶 作品

No.	作品名	作家名	制作年	素材・ 技法	寸法[作品/表具](cm)	所蔵先
II -1	唐獅子牡丹 屏風 (四曲一双)	小堀宗慶	1956年		各縦172.0 横250.0	広徳禅寺蔵
II -2	磐梯山・秋元湖 屏風 (六曲一双)	小堀宗慶	1967年		各縦175.0 横381.0	個人蔵
II -3	紅白梅 屏風 (二曲一双)	小堀宗慶	1971年		各縦156.0 横166.0	個人蔵
II -4	旅のつれづれ(タヒチ 中南米)	小堀宗慶	1975年		縦31.2 横981.5/(全長)縦31.2 横1018.5	個人蔵
II -5	遠州公の「書捨ての文」	小堀宗慶	1987年6月6日		縦24.8 横57.0	個人蔵
II -6	東海道道の記(上り)	参考出品 小堀遠州筆			(全長)横290.0	個人蔵
II -7	自筆 藤原定家卿 筆道	小堀宗慶			縦25.0 横247.0/(全長)縦25.0 横279.0	個人蔵
II -8	紀貫之(佐竹本・三十六歌仙絵)	小堀宗慶(模写)			縦38.0 横53.0/(軸装)縦133.0 横67.5	個人蔵
II -9	斎宮女御(佐竹本・三十六歌仙絵)	小堀宗慶(模写)			縦41.5 横71.5/(軸装)縦148.0 横89.5	個人蔵
II -10	内裏雛 絵賛	小堀宗慶	1989年		縦43.5 横52.0/(軸装)縦139.0 横66.0	個人蔵
II -11	団扇 卯の花車 絵賛	小堀宗慶			縦37.0 横45.0/(軸装)縦133.0 横58.5	個人蔵
II -12	犬と毬	小堀宗慶	1958年		縦34.2 横48.8/(軸装)縦125.5 横62.8	個人蔵
II -13	団扇 軒の菖蒲 [あやめ]	小堀宗慶			縦40.0 横31.5/(軸装)縦128.0 横43.0	個人蔵
II -14	梶の葉に七夕の歌	小堀宗慶			縦56.8 横38.1/(軸装)縦118.0 横38.1	個人蔵

No.	作品名	作家名	制作年	素材・技法	寸法[作品/表具](cm)	所蔵先
II -15	扇面 織女 絵賛	小堀宗慶	1954年		縦15.5 横48.0/(軸装)縦111.0 横54.0	個人蔵
II -16	本性物語	小堀宗慶	1963年		縦40.5 横47.5/(軸装)縦135.0 横61.3	個人蔵
II -17	扇面 夕顔	小堀宗慶			縦27.5 横56.0/(軸装)縦118.0 横65.5	個人蔵
II -18	狐の絵賛	小堀宗慶			縦30.5 横48.5/(軸装)縦112.0 横51.0	個人蔵
II -19	日光暮秋 絵賛	小堀宗慶	1964年		縦36.0 横103.0/(軸装)縦142.0 横107.0	個人蔵
II -20	荒磯(岩手・浄土ヶ浜)	小堀宗慶	1966年9月		縦40.6 横83.0/(軸装)縦148.0 横97.0	個人蔵
II -21	瀟湘八景 全景	小堀宗慶	1967年		縦31.0 横105.0/(軸装)縦150.0 横116.5	個人蔵
II -22	福寿林 お多福 絵賛	小堀宗慶			縦83.7 横28.2/(軸装)縦167.0 横40.0	個人蔵
II -23	岩上弁才天像	小堀宗慶			縦84.0 横28.5/(軸装)縦175.0 横41.5	個人蔵
II -24	薬玉 [くすだま]	小堀宗慶	1952年		縦90.0 横27.2/(軸装)縦165.0 横39.0	個人蔵
II -25	龍門登鯉	小堀宗慶	1956年	絹本墨画	縦124.8 横38.8/(軸装)縦206.0 横42.0	個人蔵
II -26	白花秋海棠 絵賛	小堀宗慶			縦107.0 横33.0/(軸装)縦195.0 横45.5	個人蔵
II -27	歳暮(南部鼻曲り鮭)	小堀宗慶			縦110.0 横32.5/(軸装)縦198.0 横45.0	個人蔵
II -28	雲破りて月茶碗に来る 絵賛	小堀宗慶			縦48.0 横14.5/(軸装)縦125.0 横24.0	個人蔵
II -29	イグアス大滝	小堀宗慶	1975年		縦182.0 横93.0/(軸装)縦236.0 横112.0	個人蔵
II -30	アルプスの峰々	小堀宗慶	1971年		縦100.0 横32.0/(軸装)縦184.0 横42.8	個人蔵
II -31	日光霧降 [きりふり] の滝	小堀宗慶	1968年		縦111.7 横32.4/(軸装)縦198.0 横45.0	個人蔵
II -32	鷗舟	小堀宗慶	1955年		縦20.0 横55.4/(軸装)縦103.0 横58.2	個人蔵
II -33	シベリアの早春	小堀宗慶			縦29.0 横67.5	個人蔵
II -34	シベリアの初夏を想い画く 1	小堀宗慶			縦30.0 横25.0	個人蔵
II -35	シベリアの初夏を想い画く 2	小堀宗慶			縦30.0 横43.0	個人蔵
II -36	傘寿自詠和歌	小堀宗慶			縦35.5 横22.8/(軸装)縦120.5 横34.5	個人蔵
II -37	小堀遠州 茶三昧 詠歌	小堀宗慶	1989年		縦24.5 横35.8/(軸装)縦112.5 横49.2	個人蔵
II -38	小堀遠州 元旦試筆	小堀宗慶	1975年12月		縦31.6 横29.8/(軸装)縦118.8 横41.2	個人蔵
II -39	松平不味筆意	小堀宗慶			縦31.5 横54.0/(軸装)縦118.0 横57.7	個人蔵
II -40	楽の一字に小堀遠州詠歌	小堀宗慶 / 小堀宗実			縦22.5 横58.5/(軸装)縦121.0 横70.0	個人蔵
II -41	月雲	小堀宗慶			縦31.5 横60.0/(軸装)縦117.0 横63.4	個人蔵
II -42	如意	小堀宗慶			縦31.0 横62.0/(軸装)縦124.0 横65.0	個人蔵
II -43	花開天下春	小堀宗慶	1967年		縦30.0 横60.0/(軸装)縦124.0 横73.5	個人蔵
II -44	八角磨盤空裡走	小堀宗慶	1993年		縦100.0 横32.0/(軸装)縦184.0 横44.5	個人蔵
II -45	自浄・其意 (双福)	小堀宗慶	1993年4月13日	紙本墨書	縦127.0 横58.0/(軸装)縦217.0 横74.0	個人蔵
II -46		小堀宗慶	1993年	紙本墨書	縦127.0 横58.0/(軸装)縦217.0 横74.0	個人蔵
II -47	鶴呼萬歳声	小堀宗慶	1986年		縦102.0 横26.0/(軸装)縦183.5 横37.0	個人蔵
II -48	韓国広州窯 山水図 花入	小堀宗慶			高28.0 胴径13.0 口径5.8	個人蔵
II -49	韓国広州窯 遠州詠歌 直書 瓢箪 花入	小堀宗慶			高29.0 胴径12.0	個人蔵
II -50	小色紙貼交 [はりませ] 風炉先	色紙: 小堀宗慶 / 風炉先: 山田花香堂製作			高59.8 幅88.0	個人蔵
II -51	桐木地 霞扇棚	蒔絵: 小堀宗慶 / 井川信齊作			高35.0 幅52.0 側面長36.5	個人蔵
II -52	三不点茶箱	書・絵: 小堀宗慶 / 井川信齊作	1976年	桐	高16.4 幅21.0 奥行14.8	個人蔵
II -53	韓国広州窯 松の絵 水指	小堀宗慶			高17.0 径17.0	個人蔵
II -54	高取焼 葡萄の絵 水指	小堀宗慶			高14.0 径14.0	個人蔵
II -55	眉山焼 水仙絵 水指	小堀宗慶			高14.0 幅18.5	個人蔵
II -56	木地 紅梅文 蓋置	小堀宗慶			高4.5 径6.0	個人蔵
II -57	木地 白梅文 蓋置	小堀宗慶			高4.5 径6.0	個人蔵
II -58	桐木地 藤の絵 茶器	小堀宗慶	1978年		高7.5 径7.0	個人蔵
II -59	桐木地 八ッ橋の絵 茶器	小堀宗慶	1978年		高7.5 径7.0	個人蔵

No.	作品名	作家名	制作年	素材 技法	寸法[作品/表具](cm)	所蔵先
II -60	桐木地 菊の絵 茶器	小堀宗慶	1982年		高7.5 径7.0	個人蔵
II -61	萩焼 岩橋の絵 茶碗	小堀宗慶			高7.0 径14.0	個人蔵
II -62	九谷焼光仙窯 水仙の絵 茶碗	小堀宗慶			高7.0 径12.5	個人蔵
II -63	韓国広州窯 波二鸞の絵 茶碗	小堀宗慶			高9.0 径13.0	個人蔵
II -64	高取焼 栗の絵 茶碗	小堀宗慶			高7.5 径12.5	個人蔵
II -65	朝日焼 山葡萄の絵 茶碗	小堀宗慶			高8.0 径13.0	個人蔵
II -66	二作三鳥茶碗	参考出品			高6.2 口径13.0	個人蔵
II -67	滝の白糸 歌銘 茶杓	小堀宗慶	1974年		長18.5	個人蔵
II -68	和 句銘 茶杓	小堀宗慶	1980年		長18.0	個人蔵
II -69	数寄の歌銘 茶杓	小堀宗慶	1992年		長17.7	個人蔵
II -70	目利 [めとき] の箒 手辛 [てから] の鋤	小堀宗慶		桐	箒: 長75.5/ 箒の台: 幅33.5 高29.8/ 鋤: 幅70.0 高24.0	個人蔵
II -71	藤に光琳波模様 きもの	小堀宗慶			丈158.5 裾64.0	個人蔵
II -72	秋の実り(栗)帯	小堀宗慶			幅30.5	個人蔵
II -73	草花文蒔絵 絵具箱	参考出品			縦33.7 横15.0 高24.8	個人蔵
II -74	裂帖「錦繡帖」	参考出品			(外寸) 縦22.2 横16.0 高7.8	個人蔵
II -75	立礼卓(好み 佳扇卓)	参考出品				

■Ⅲ. 紅心小堀宗慶 意匠による作品

No.	作品名	作家名(意匠)	制作	寸法(cm)	所蔵先
Ⅲ -1	朱金地八角鳳凰草花文食籠	小堀宗慶	坂一哉	幅24.9 高21.7	林原美術館蔵
Ⅲ -2	蜀江錦獅子文鬘帶文二段蒔絵重	小堀宗慶	林糸次郎工房	幅30.5 高12.5	林原美術館蔵
Ⅲ -3	慶雲棚	小堀宗慶	井川信斉	幅54.5 高60.0	林原美術館蔵
Ⅲ -4	太閤消息及び大名花押古判張合 料紙箱	小堀宗慶	中谷光哉	縦32.5 横26.0 高27.0	林原美術館蔵
Ⅲ -5	桐鳳凰文鬘帶文二重陶篋(瑠璃色)	小堀宗慶	澤村陶哉	幅29.0 高13.0	林原美術館蔵
Ⅲ -6	ラスター彩花鳥文六方器	小堀宗慶	加藤卓男	径31.0 高23.5	林原美術館蔵
Ⅲ -7	紅葉狩之図壺	小堀宗慶	蔡曉芳	径24.0 高40.0	林原美術館蔵
Ⅲ -8	瀧山水繪壺	小堀宗慶	十三代 中里太郎右衛門	径29.5 高36.5	林原美術館蔵
Ⅲ -9	布目糸象嵌鍛鉄鶴首花入	小堀宗慶	井伏圭介	径11.2 高38.0	林原美術館蔵
Ⅲ -10	麤脂義山梅月文花瓶	小堀宗慶	ドレスデン	径17.0 高27.0	林原美術館蔵
Ⅲ -11	ベネチアングラス 六角鬘帶文義山水指	小堀宗慶	アルキメデ・セグーソ / 蓋: 井川信斉	幅23.5 高10.5	林原美術館蔵
Ⅲ -12	金彩藤鳥文花瓶	小堀宗慶	ヘキスト	径24.5 高40.0	林原美術館蔵
Ⅲ -13	草花文扇ちらし長四方皿	小堀宗慶	デルフト	縦37.0 横57.0	林原美術館蔵
Ⅲ -14	鷺に葦文黒地帯	小堀宗慶	蘇州	長452.0 幅31.0	林原美術館蔵
Ⅲ -15	鳶雪輪文色糸入金地帯	小堀宗慶	蘇州	長452.0 幅31.0	林原美術館蔵
Ⅲ -16	変り巖島組帯締	小堀宗慶	道明	長155.4 幅1.7	林原美術館蔵
Ⅲ -17	唐組遠山柄帯締	小堀宗慶	道明	長158.4 幅1.6	林原美術館蔵

遊びのなかの色と形展—クルト・ネフ&アントニオ・ヴィターリ

会期：2010年7月24日(土)～9月12日(日) 44日間

会場：展示室 ABC、展示ロビー、エントランスホール、ワークショップ

主催：(財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館

助成：財団法人 地域創造

協力：チューリッヒデザイン美術館、ネフ社、パストリーニ玩具店、(株)アトリエニキティキ

後援：スイス大使館

担当学芸員：降旗千賀子

目黒区美術館では、スイスやドイツを中心に内外のすぐれた構成玩具を、トイ・コレクション、ワークショップ・コレクションとして収集し、これまでに、トイコレクションボランティアチームが中心になって、トイを活用し、アウトリーチなどの活動に役立ててきた。デザインの、造形的にすぐれたこのトイの大部分を占めるのは、スイスのネフ社の製品である。ネフ社の創設者、クルト・ネフ氏は、2006年に死去。ネフ氏が育てたトイの再評価を期待する声も近年高まりつつあり、ネフ氏の類まれな造形センスについての展覧会を企画した。さらにネフ氏と同じ時期に活躍した同じスイスの造形作家、2008年に逝去したヴィターリ氏のオブジェが、このほどスイスのチューリッヒデザイン美術館に寄贈され、2009年に展覧会が開催され今回の展覧会で借用することができた。ネフとヴィターリの対照的であり、トイデザインの一時代を創造したすぐれた造形を同時に見られる展覧会となった。大人から子供までが楽しめる会場には、遊びの広場も設け、多くの人に楽しんでいただいた。関連ワークショップも開催した。

●カタログ

寸法：26.0×18.3×1.0cm / 2冊組み+カバー / ページ数：クルト・ネフ&アントニオ・ヴィターリ編 48ページ / トイ・コレクション、ワークショップ・コレクション編 72ページ / デザイン：中野デザイン事務所

内容：〔クルト・ネフ&アントニオ・ヴィターリ編〕：ごあいさつ / アントニオ・ヴィターリとクルト・ネフ—日本へ [及部克人] / 図版・クルトネフの世界、アントニオ・ヴィターリの世界 / ネフとヴィターリ 玩具をつくる手の喜び [小柳帝] / 手の内側の出来事—ネフとヴィターリ [降旗千賀子] / 出品構成、〔トイ・コレクション、ワークショップ・コレクション編〕：ごあいさつ / 「手」によるデザインの時代 [降旗千賀子] / トイ・コレクション&ワークショップ・コレクション図版 / コレクションリスト / 索引

●広報印刷物

ポスターB2(4C) / チラシA4 / DM(はがきサイズ) / デザイン：中野デザイン事務所

●関連催事

ワークショップは教育普及の項参照(p.87)

* play コーナー

ネフ社の代表作はじめ、美しいトイで自由に遊べるコーナーを設けた。

開催日：会期中毎週 火曜日～日曜日 午前10時～午後6時

* トイ・デモンストレーション

会場内で、ハンズオンスタッフによるトイのデモンストレーションを行った。触れないトイは動いているところを見てはじめてわかる数々の魅力がある。多くの来館者が、じっくり眺めていった。

開催日：会期中毎週 土曜日・日曜日



A4 チラシ

遊びのなかの色と形展 出品リスト

■クルト・ネフの世界

○凡例：no. 製品名(欧文)の順。ネフとヴィターリ展について、1の初期資料については制作年を記載。6、の作家とのコラボレーション、|の後は作家名。所蔵先の記載がないものは、(株)アトリエ・ニキティキ蔵

1 ネフスピールの秘密

- 1-1,2 Naef-Spiel(初期タイプ1,2) 1958年 | 個人蔵
- 1-3 Naef-Spiel(5色タイプ)1958年 | 個人蔵
- 1-4 Naef-Spiel (工程見本一式)1 | Naef AG
- 1-5 制作工程写真一式

2 クルト・ネフのデザインによる玩具

- 2-1 Naef-Spiel
- 2-2 Kreisel gross2-3 Naef-Puzzle2-4 Kugelbau
- 2-5 Tastspiel
- 2-6 Post-Auto
- 2-7 Rolli 1,3
- 2-8 Signa
- 2-9 Domo
- 2-10 Pyrami
- 2-11 Diski
- 2-12 Quatro2-13 Suri
- 2-14 Genios Plus (Holz-kiste)

3 ネフ社初期の仕事

- 3-1 Ornabo
- 3-2 Fischfang
- 3-3 Quadron
- 3-4 Bau-Bau
- 3-5 Faxlibutz
- 3-6 Trigon
- 3-7 Cubicus
- 3-8 3-D-Muhle
- 3-9 Zahnkloze
- 3-10 Ordino
- 3-11 Animal puzzle(1)
- 3-12 Klettermannli
- 3-13 Conus
- 3-14 Primo(1)
- 3-15 Schnurpeltier
- 3-16 Seiltanzer
- 3-17 Turn von hanoi
- 3-18 Ziehwalze
- 3-19 Angular
- 3-20 Contura (1)
- 3-21 Labyrinth3-22 Multi-labyrinth
- 3-23 Arcus
- 3-24 Rondo
- 3-25 Xylona

4 ペア・クラークセンとの出会い

- 4-1 Cubicus
- 4-2 Prisma
- 4-3 Quadra
- 4-4 Ordino
- 4-5 Angular
- 4-6 Puppen Möbel

- 4-7 Binom
- 4-8 Drehbares Etagenpuppenhaus
- 4-9 Gym
- 4-10 Pan tao
- 4-11 Plura
- 4-12 Pac
- 4-13 Ixs
- 4-14 Cella
- 4-15 Diamant
- 4-16 Rhombus 3
- 4-17 Oktasom
- 4-18 Arcubus
- 4-19 Tria (2)
- 4-20 Carree (2)
- 4-21 Prenus4-23 Carree (1)
- 4-24 Tria (1)
- 4-24 Ordo
- 4-25 Hexagon
- 4-27 Combiono
- 4-28 Diagon

5 最初に出会う玩具

- 5-1 Kauring
- 5-2 Baby-balls
- 5-3 Ball Game
- 5-4 Bi-bi
- 5-5 3-Ring-Spiel
- 5-6 Dolio
- 5-7 Pari
- 5-8 Ubi
- 5-9 Ringli-ring
- 5-10 Trulla
- 5-11 Bola
- 5-12 Tinni
- 5-13 Luna(1)
- 5-14 Stella
- 5-15 Balance(3)
- 5-16 Lingla
- 5-17 Pisa
- 5-18 Ringo(1)
- 5-19 Ringo(2)
- 5-20 Tetra
- 5-21 Kyma
- 5-22 Olo
- 5-23 Samo
- 5-24 Fibula
- 5-25 Niki
- 5-26 Rulo
- 5-27 Bugi
- 5-28 Tiki
- 5-29 Kaumi
- 5-30 Duo

6 クリエイターとのコラボレーション

- 6-1 Ligno | Peter Schmid
- 6-2 Intasco | Patrick Ryland
- 6-3 Joupi | ♪
- 6-4 Muh | ♪
- 6-5 Animal-Puzzle (2) | Aoi Huber
- 6-6 Motivo | ♪
- 6-7 Ente | Helga Brehme
- 6-8 Grosser Hund | ♪
- 6-9 Kleiner Hund | ♪
- 6-10 Krokodil | ♪
- 6-11 Mann | ♪
- 6-12 Pferd | ♪
- 6-13 Contura(1) | Johannes Sharfestein
- 6-14 Grand prix | ♪
- 6-15 Multi-tri | ♪
- 6-16 Last schlepper | ♪
- 6-17 Last wagen | ♪
- 6-18 Last-zug | ♪
- 6-19 Xylona | ♪
- 6-20 Flugzeug | ♪
- 6-21 Tri-plan | ♪
- 6-22 Swiss-car(1) (2) (3) | Peter Schweizer-Sclari
- 6-23 Swiss-plane | ♪
- 6-24 Penalty | ♪
- 6-25 Curli | ♪
- 6-26 Malus | ♪
- 6-27 Swiss-heli | ♪
- 6-28 Zollo | ♪
- 6-29 Pantonaef | Verner Panton
- 6-30 Ellipso | Xavier de Clippeleir
- 6-31 Juba | ♪
- 6-32 Pingo | ♪
- 6-33 Zita | ♪
- 6-34 Abc | ♪
- 6-35 Rhombic | ♪
- 6-36 Modulon | Jo Niemeyer
- 6-37 Quartus | ♪
- 6-38 Mosaik(大) | Kathrin Kiener
- 6-39 Mosaik(小) | ♪
- 6-40 Rainbow | Heiko Hillig
- 6-41 Katzenfamilie | 小黒三郎
- 6-42 Löwenfamilie | ♪
- 6-43 Pinguinfamilie | ♪
- 6-44 Schweinefamilie | ♪
- 6-45 Tierpuzzle | ♪
- 6-46 Meertiere | ♪
- 6-47 Tierblock | ♪
- 6-48 Tier-mann | ♪
- 6-49 Bloc | 別宮利昭
- 6-50 Gemini | ♪
- 6-51 Dodeka | ♪
- 6-52 Favus | ♪
- 6-53 Picto | 和久洋三
- 6-54 Picto gross | ♪
- 6-55 Jo-joptik | 田尻裕敏
- 6-56 Bird | 武山忠道
- 6-57 Nullus | 田松昌三
- 6-58 Toptic | ♪
- 6-59 Tam Top | ♪

- 6-60 Satum | ♪
- 6-61 Star | ♪
- 6-62 Cyclon | 水上喜行
- 6-63 Isomo | 相沢康夫
- 6-64 Vivo | ♪
- 6-65 Arena | ♪
- 6-66 Via-kugelbahn | ♪

7(1) 積み木・パズル(積む形)

- 7-1 Ligno
- 7-2 Ornavo
- 7-3 Flächenspiel (1)、(2)
- 7-4 Casino
- 7-5 City
- 7-6 Village(1)
- 7-7 Kaskado
- 7-8 Hexagramm
- 7-9 Ronda
- 7-10 Agon

7(2) 積み木・パズル(平面パターン)

- 7-11 Multi-Tri
- 7-12 Pentalbi
- 7-13 Cordo-linea
- 7-14 Hex-eck
- 7-15 Punktum
- 7-16 Fischdomino
- 7-17 Tangens
- 7-18 Fabdomino
- 7-19 Village(2)

7(3) 積み木・パズル(素木と黒)

- 7-20 Intasco
- 7-21 Managon
- 7-22 Discon
- 7-23 Discus
- 7-24 Ankor
- 7-25 Ikono
- 7-26 Canpanile
- 7-27 Kniff
- 7-28 One way-puzzle
- 7-29 Holzarten domino
- 7-30 Holzkollektion
- 7-31 Zita
- 7-32 Escalon
- 7-33 Inragon
- 7-34 Dimagon
- 7-35 Circolo

7(4) 積み木・パズル(白と黒)

- 7-36 Ellipso
- 7-37 Circubus
- 7-38 Linus
- 7-39 Rhombic
- 7-40 Quadrigo
- 7-41 Quadrigo fractale
- 7-42 Quadrigo midi
- 7-43 Diavo
- 7-44 Zeta

8 Bauhaus復刻など

- 8-1 Bauhaus optischer farbmischer
- 8-2 Bauhaus Bauspiel
- 8-3 Bauhaus Schachbret
- 8-4 Bauhaus Hampelmann
- 8-5 Bauhaus Steckpuppe
- 8-7 Quartus
- 8-8 Modulon

9(1) 遊びの形(ボールゲーム)

- 9-1 Corona
- 9-2 Nona
- 9-3 Labyrinth
- 9-4 Kugulona
- 9-5 Spiralbahn
- 9-6 Kugelbahn(1)
- 9-7 Sorto
- 9-8 Rollbahn

9(2) 遊びの形(乗り物)

- 9-9 Cabriolet
- 9-10 Caravan
- 9-11 Dampfschiff
- 9-12 Eurobus

9(3) 遊びの形(その他)

- 9-13 Knick
- 9-14 Maxi-knick
- 9-15 Mister stepper
- 9-16 Louis
- 9-17 Rico large, small
- 9-18 Flop
- 9-19 Hand-spieltiere
- 9-20 Uhr
- 9-21 Schnurpf
- 9-22 Telefon
- 9-23 Mass
- 9-24 Pedi

■アントニオ・ヴィターリの世界

○凡例： no. 製品名(欧文)の順。ヴィターリ展について、1の初期資料については制作年と所蔵先を記載。そのほか、所蔵先について記載がないもの、断り書きのないものは、(株)アトリエ・ニキティキ蔵。4(1)(2)は、チューリッヒデザインミュージアム所蔵。

1 ヴィターリのフォルム1

- 1-1 Pull-horse | 1940年代 | 個人蔵
- 1-2 Family | 1954年頃 | 個人蔵
- 1-3 Figure(1) | 1950年代 | 個人蔵
- 1-4 Bison | 1950年代 | 個人蔵
- 1-5 Giraffe | 1950年代 | 個人蔵
- 1-6 House | 1950年頃 | 個人蔵
- 1-7 Figure(2) | 1961 - 67年 | 個人蔵
- 1-8 Building Box | 1967 - 76年 | 個人蔵
- 1-9 Glucke | 1967 - 76年 |
- 1-10 Farm | 1967 - 76年 | 個人蔵
- 1-11 Two Elephants | 1974年
- 1-12 Vitali Building Blocks | 1961 - 67年 | 個人蔵
- 1-13 Noah's Ark | 1984年 | | 1950年代 | Pastorini Spielzeug蔵
- 1-14 Figure(3) | 1961- 67年 | 個人蔵

2 ヴィターリのフォルム2

< シャーフ社料より >

- 2-1 Small pair
- 2-2 Woman
- 2-3 Man
- 2-4 Gymnast
- 2-5 Hen with chickens
- 2-6 Chickens
- 2-7 Rocking duck
- 2-8 Little duck
- 2-9 Hen
- 2-10 Cock
- 2-11 Sheep
- 2-12 Lamb
- 2-13 Fish
- 2-14 Bird

3 ヴィターリの動きのあるかたち、パズル、教育玩具、その他

< シャーフ社資料より >

- 3-1 Dog to Pull
- 3-2 Duck to Pull
- 3-3 Little duck to pull
- 3-4 Train with Tunnel
- 3-5 Boat(with Man)
- 3-6 Airplane(with Man)
- 3-7 Fish(with Man)
- 3-8 Sportwargen
- 3-9 Ring puzzle
- 3-10 Two bears
- 3-11 Animalpuzzle (elephant,cat,horse,giraffe,bear,cow)
- 3-12,13 Counting and calculating figures1,2
- 3-14 Educational toy 1
- 3-15 Puzzle trimino
- 3-16 Puzzle domino
- 3-17 Farm puzzle
- 3-18 Musical toy
- 3-19 Small rocking-horse
- 3-20 金型
- 3-21 制作工程

4(1) ヴィターリ生誕100年展

※チューリッヒデザイン美術館蔵

- 4-1 Fox
- 4-2 Dog
- 4-3 Hen with chickens
- 4-4 Little duck to pull
- 4-5 Goose looking back
- 4-6 Goose1(金型)
- 4-7 Man
- 4-8 Man(金型)
- 4-9 Man

4-10 Woman
 4-11 Woman(金型)
 4-12 Woman(金型)
 4-13 Man(木型)
 4-14 Man(金型)
 4-15 Elephant1
 4-16 Elephant1
 4-17 Horse
 4-18 Cow
 4-19 House
 4-20 2 trees
 4-21 Forest tree
 4-22 1 family member
 4-23 3 fowl
 4-24 1 big animal
 4-26 1 Little animal
 4-27 2 Coatis(Puzzle)
 4-28 Girl with two piglets(Puzzle)
 4-29 Seesaw boy
 4-30 Packing box(Otto Maier Verlag,Ravensburg)
 4-31 Train with tunnel
 4-32 Omnibus with wooden People
 4-33,34 Family car with 4 wooden figures
 4-35 Postman
 4-36 Postman(石膏型)
 4-37,38 Seesaw Ducks
 4-39 Giraffe(Puzzle)
 4-40 People and animal
 4-41 Car and Ramp(Puzzle)
 4-42 Airplane (with man)

4-43 Boat-fish (with 3 men)
 4-44 Maching Forms
 4-45 Puzzle Domino
 4-46 Seriation of Tubes
 4-47 Puzzle Family
 4-48 Puzzle Cats with packaging (Puzzle)
 4-49 Swimmings Ducks (Puzzle)
 4-59 "The fox and the geese"(16 mm film)Noah's Ark

4(2) ヴィターリのフォルム 3

< チューリッヒデザイン美術館蔵 >

4-50 Evas wooden Doll | 1938年
 4-51 Sheep to Pull | 1943年
 4-52 Jumping Jack(1) | 1946年
 4-53 Jumping Jack(2)
 4-54 Dwarf | 1951年
 4-55 House with horseman
 4-56 Sketching Book Nr .1
 4-57 Sketching Book Nr .4
 4-58 Sketching Book "Piaget-Programm"

5 ヴィターリ製品パンフレット類

5-1 カタログ1 | 1961-67年 | 個人蔵
 5-2,3 カタログ2,3 | 1967-76年 | 個人蔵
 5-4 Max Bill "form" | 1952年 | 東京造形大学付属図書館蔵
 5-5 玩具カタログ(クリエイティブ) | 1968-70年
 5-6 玩具カタログ | 1968年
 5-7 『美術手帖』増刊特集おもちゃ | 1965年4月 | 美術出版社 | 個人蔵

■トイ・コレクション&ワークショップ・コレクション

○凡例: no. 作品名・製品名 | 作家名 | 制作年・デザイン年

*所蔵: すべて目黒区美術館

1 チューリップ | 古渡章 | 1988年
 2 コントラクトツリー | 吉崎元造 | 1982年
 3 根っこの樹 | 吉崎元造 | 1982年
 4 Orimals | 田代耕司 | 1980年
 5 自由への目論見 | 菅沼緑 | 1988年
 6 デコイ | 中川久嗣 | 1985年
 7 自由の種類 | 菅沼緑 | 1988年
 8 トレーラーと組立て家屋 | 中川久嗣 | 1985年
 9 引き出し自動車 | 中川久嗣 | 1985年
 10 5匹の仔ブタ | 小黒三郎 | 1979年
 11 ネコの家族 | 小黒三郎 | 1979年
 12 30の動物 | 小黒三郎 | 1978年
 13 Sedici Animali(16の動物) | Enzo Mari | 1957年
 14 Sedici Pesci(16の魚) | Enzo Mari | 1974年
 15 Il Gioco delle Favole(童話あそび) | Enzo Mari | 1965年
 16-18 The Yoshimoto Cube No.1-3 | 吉本直貴 | 1971年
 19 Log Chateau(木のお城) | Mario Pfister | 1984-93年
 20 House of Cards | Charles & Ray Eames | 1952年
 21 陶器のパズル 立方体 | 有岡進 | 1986年
 22 陶器のパズル 円錐 | 有岡進 | 1986年
 23 イタヤキツネ | 秋田県仙北市館野郡伝承玩具
 24 6本 組木 | 山中成夫 | 1960年
 25 19本 組木 | 山中成夫 | 1966年

26 かめ | 柳宗理 | 1965年
 27 鳩笛 | 柳宗理 | 1968年
 28 STONE | 飛山裕幸 | 1988年
 29 ダイスボックス | 加藤裕三 | 1983年
 30 Pteranodon | 平野友一 | 1990年
 31 Tyrannosaurus | 平野友一 | 1985年
 32 Protoceratops | 平野友一 | 1985年
 33I Prelibri 本に出会う前の本 | Bruno Munari | 1979年
 34 Cabriolet 幌付きカー
 35 Lastauto トラック
 36 Pi'u e Meno プラス・マイナス | Bruno Munari | 1970年
 38 Candy Ship | 広井敏通 | 1985年
 39 Cubicus | Peer Clahsen | 1968-1993年
 40 K30 (大) | 遠藤裕 | 1984年
 41 紫陽花 | 遠藤裕 | 1993年
 42 Cubic Animal Ostrich | 梅田素博 | 1983年
 43 Cubic Animal Bear くま | 梅田素博 | 1983年
 44 Plenus | 21/Q acr | | 1992年
 45 Zig World | 飛山裕幸 | 1986年
 46 卵の中の6羽の鳥 | 福田繁雄 | 1966年
 47 ホーム | 福田繁雄 | 1967年
 48バード ツリー | 福田繁雄 | 1965年

鉄を叩く—多和圭三展

会期：2010年11月13日(土)～2011年1月9日(日)

会場：展示室 ABC、展示ロビー、エントランスホール、ワークショップ

主催：多和圭三展実行委員会、目黒区美術館

助成：財団法人地域創造

担当学芸員：山田敦雄

瀬戸内海の愛媛県・大三島に生まれた多和圭三(1952～)は、鉄を素材に独自の彫刻をつくり続けてきた作家である。作品の多くは、ハンマーによって鉄の表面を直接叩き、その痕跡によって表面を覆い尽くして、存在感あふれるユニークなものとなっている。本展は、足利市立美術館(栃木県・足利市)、町立久万美術館(愛媛県・久万町)との三館巡回展として構想され、財団法人地域創造の助成により、多和圭三の代表的な作品を1980年前後から本展のための最新作まで集めたものである。

多和の作品の多くは数十センチもある鉄板を用いて、視覚的な量感だけでなく、実際にも数トン以上の重さに及ぶものが少なくない。そのため、本展は、作家はじめての大規模な回顧展となり、この多和のユニークで、重量感溢れる作品をまとめて展観する前例のないものとなった。三会場では、多和自身とそれぞれの美術館によって、それぞれ異なった展示空間が作りだされたが、目黒区美術館では、三会場中でもっとも作品点数を絞り込み、彫刻としての力を最も大胆に、強く放つ展覧会場となり好評だった。

開館共同で出版した展覧会カタログは愛媛県出版文化大賞を受賞。三会場での会期終了後は、各会場での展示風景を示す「鉄を叩く—多和圭三展 ドキュメント」を別に出版した。

●カタログ

寸法：29.6×23.1×1.8 / ページ数：168ページ / 制作：コギト / デザイン：桑畑吉伸

内容：「ごあいさつ」高木貞重(多和圭三展実行委員会委員長) / 「あてどなくゆっくりと」多和圭三 / 「始まり、あるいは遠さについて—多和圭三展によせて」市川政憲 / 「叩く、固めるという労働—多和圭三の寡黙な鉄塊のために」田中惇 / 「多和さんは、かなぐる」原田光 / 図版 / 所沢野外美術展 / 「多和圭三、展覧会の記録」山田敦雄・江尻潔・神内有里編 / 「うつ」から「うつろ」へ / 江尻潔 / 「撮影と録音の記」山田敦雄 / 「ただ「もの」であるために—多和圭三に聞く」神内有里 / 「打つ／叩く」「こと」たにあらた(再録) / 出品リスト

●ドキュメント

寸法：31.0×22.6×0.3 / ページ数：40ページ / 制作：コギト / デザイン：桑畑吉伸

内容：「多和圭三論 反復の意味2010-1977」小泉晋弥 / 会場記録写真(足利市立美術館・町立久万美術館・目黒区美術館)山本紘 / 「メートル原器」市川政憲 / 「染み出す生氣、広がる波動」三田晴夫(毎日新聞より再録) / 「植跡が喚起する自己存在」中村英樹(東京新聞より再録) / 「多和圭三展—3つのインスタレーション」山田敦雄 / 関連事業記録

●広報印刷物

ポスター B 2 / チラシ A 4

●関連催事

* 講演会「鉄をつくる—製鉄の今と昔」

講師：永田和宏(工学博士、東京藝術大学教授・東京工業大学名誉教授)

日時：12月12日(日)午後2時～4時 30名

* 講演会「多和圭三と私」

講師：多和圭三

日時：12月19日(日)午後2時30分～4時 25名

* 参加型公開制作 多和圭三「砂鉄を溶かす」

講師：多和圭三

日時：12月22日(水)～23日(木)2日間 午前10時～午後5時(目黒区民センター内特設会場)、不特定多数

* その他、会期中にギャラリートツアー(4回)および会場内特設上映場で映画「死なない子供、荒川修作」を上映(11月19日(金)・20日(土))



A 4 チラシ

鉄を叩くー多和圭三展 出品リスト

No.	作品名	制作年	寸法(縦×横×高、cm)	技法・素材等	所蔵先
1(1)	無題	1978	10.0×29.0×10.0	鉄	個人蔵
2(2)	無題	1978	46.2×90.3×1.5	鉛	個人蔵
3(3)	無題	1978	51.0×径16.5	鉄	足利市立美術館蔵
4(4)	ブロックシート	1980年代 初頭	7.0×48.1×28.5	鉛・木	河上健郎蔵
5(5)	弛緩	1981	20.0×160.0×70.0	鉄	個人蔵
6(6)	弛緩	1981	1.2×160.0×70.0	鉄	個人蔵
7(7)	無題	1984	60.0×100.0×30.0	鉄	個人蔵
8(9)	無題	1984	36.2×27.3	和紙	河上健郎蔵
9(10)	無題	1987	50.0×500.0×20.0	鉄	個人蔵
10(14)	無題	1989	15.0×10.0(5点組)	パルプ紙	個人蔵
11(15)	無題	1990	45.0×45.0×5.0	鉛筆・木炭紙	尾崎真人蔵
12(16)	無題	1990	79.0×64.0×1.0	鉛筆・水彩紙	ギャラリーー川船蔵
13(17)	無題	1990	95.0×49.0×1.0	鉛筆・水彩紙	個人蔵
14(18)	無題	1990	55.0×105.0×1.0	鉛筆・水彩紙	個人蔵
15(19)	無題	1990	70.0×35.0×1.0	和紙	個人蔵
16(20)	無題	1991	35.0×120.0×95.0 / 43.0×10.0×10.0(2個組)	鉄	個人蔵
17(21)	無題	1991	14.5×37.0×25.0	鉄	神奈川県立近代美術館蔵
18(22)	無題	1991	14.0×12.0×12.0	鉄	ギャラリーー現 梶山洵子蔵
19(23)	無題	1991	24.5×70.0×50.0	鉄	東京国立近代美術館蔵
20(26)	無題	1992	18.5×20.5×14.5	鉄	個人蔵
21(28)	無題	1994	9.5×14.8×12.5	鉄	個人蔵
22(29)	無題	1995	34.5×48.0×33.0 / 84.5×53.0×63.0(2個組)	鉄	個人蔵
23(32)	無題	1999	198.0×47.5×47.5(×4個組)	鉄	個人蔵
24(33)	無題	1999	108.0×91.0×36.0	鉄	ギャラリーー現 梶山洵子蔵
25(36)	沼	2002	49.8×91.2×91.0	鉄	個人蔵
26(38)	原器ー正六面体 B	2005	10.1×10.0×10.1	鉄	ヒノギャラリー蔵
27(39)	無題ー正六面体	2006	50.0×50.0×50.0	鉄	文化庁蔵
28(40)	景色	2007	9.8×50.3×26.5	鉄	足利市立美術館蔵
29(41)	深度	2007	11.8×21.0×12.7	鉄	足利市立美術館蔵
30(42)	無量	2007	49.0×68.0×54.0	鉄	個人蔵
31(43)	ハッチング	2008	50.5×51.0×50.5	鉄	個人蔵
32(44)	景色ー境界ー	2008	10.1×291.5×298.5 / 12.5×291.5×298.5(2個組)	鉄	目黒区美術館蔵
33(45)	景色ー蠢動ー	2008	62.0×124.0×102.0	大谷石	個人蔵
34(48)	景色	2008	45.5×37.7	パステル・紙	個人蔵
35(50)	景色	2008	38.5×26.7	インク・鉛筆・紙	個人蔵
36(58)	景色ー里ー	2009	18.3×49.0×40.0	チーク材	個人蔵
37(60)	景色ー伝承ー	2010	2.5×300.0×240.0 / 80.0×80.0×80.0(2個組)	鉄	個人蔵
38(67)	景色	2010	90.5×63.2	インク・パステル・紙	個人蔵
39(68)	景色	2010	90.5×63.2	パステル・紙	個人蔵

めぐろの子どもたち展

平成22年度目黒区立幼稚園、小・中学校連合展覧会

会期：2011年1月15日(土)～1月30日(日) 14日間

会場：展示室 ABC、展示ロビー、エントランスホール、ワークショップ、区民ギャラリー

主催：目黒区立幼稚園長会、目黒区立小学校長会、目黒区立中学校長会、目黒区特別支援学級設置校長会、目黒区教育会、(財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館、目黒区教育委員会

担当学芸員：正木 基

本展は、区立幼稚園、小学校・中学校(特別支援学級を含む)の幼児・児童・生徒が平成22年度に授業中に創作した作品を展示し、区立学校における美術教育の成果を区民の方々に紹介するとともに、この鑑賞を介して子どもたちの情操を育むことを目的に開催した。

また、同時開催として、中国北京市東城区(旧崇文区)の児童・生徒書画作品展および米国ジョージア州チェロキー郡の児童・生徒の絵画作品展を開催した。

●リーフレット

寸法：A3(六ツ折)

内容：ごあいさつ(主催者)／特別支援学級／幼稚園／小学校・図工／小学校・書写／中学校・美術／中学校・書写／中国北京市東城区(旧崇文区)児童・生徒書画作品展／米国ジョージア州チェロキー郡 児童・生徒絵画作品展／展示室案内

●広報印刷物

ポスターB3

●出品数

3,982点



リーフレット

包むー日本の伝統パッケージ展

会期：2011年2月10日(木)～5月22日(日) 89日間

会場：展示室 ABC、展示ロビー、エントランスホール、ワークショップ

主催：(公財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館

協力：株式会社プローブ、パナソニック株式会社、AVC ネットワークス社、株式会社ピコハウス

担当学芸員：佐川夕子

同時開催：2011年春のワークショップ つつむ [中止]

戦前に、今で言う総合デザイン事務所の先駆けとなるデザイン事務所「オカ・スタジオ」を立ち上げ、戦後はデザインの職能団体の設立に尽力するなど、デザイン業界の基盤づくりに貢献したアート・ディレクター 岡秀行(1905～1995)によって、1960年代に着目され、その後、国際巡回展「TSUTSUMU(包む)」と発展し、世界各地の人々を魅了した岡秀行のパッケージ・コレクション。日本の公立美術館での紹介は、1988年に当館で開催した「5つの卵はいかにして包まれたか 日本の伝統パッケージ展」が初めてのこととなったが、これを機に、当館は展覧会終了後に出品作品のほとんどを譲り受けることとなった。

本展では、この岡秀行旧蔵の<包む>コレクションを約23年ぶりに一堂に並べ、岡が見いだしたパッケージの造形的な美しさとその背後に流れる日本人の「美意識」や「心」を、岡の言葉(著書より抜粋)とともに展覧した。展示室では、第1室(A展示室)と第2室(C展示室)で、「木」・「竹」・「笹(その他自然素材、布等も含む)」・「土」・「藁」・「紙」と素材別に展示し、第3室(B展示室)は“伝統”と“生活”の中の造形美を取り上げた。最後の第4室(展示ロビー)では、3D映像『包』(監督：押切隆世／2011年)を特別展示した。また、各室に展示した写真パネルは、岡が生前手がけた出版物のために、酒井道一が撮影した写真より抜粋したもの。

当初は4月3日で会期終了の予定であったが、3月11日の東日本大震災を受け、中止となった「原爆を視る」展の代替展として、5月22日まで開催を延長。開催日数88日間というロングランとなった。

●カタログ

寸法：25.8×18.5×1.8cm / ページ数：208ページ / アートディレクション：大西隆介(direction Q) / デザイン：野条友史(direction Q)

内容：ごあいさつ(主催者) / 謝辞 / はじめに / 目次 / [再録(一部省略)] 包装の原点(岡秀行) / 木 / 竹 / 笹 / 藁 / 土 / 紙 / 雑 / 【資料編】

「<包む>コレクションについて」佐川夕子、「日本の伝統パッケージと美意識の源流」矢内みどり、図版解説、List of Plates、目黒区美術館所蔵 岡秀行旧蔵<包む>コレクション目録

●広報印刷物

ポスターB2(2種) / チラシB5(6種)

●関連催事

予定していたワークショップは教育普及の項参照(p.89)

●主要関連記事

マイク・エーブルソン「『包む』という喜び」[art news]『芸術新潮』2011年4月号

(編集部)「包むかたち 包むころ」『包むー日本の伝統パッケージ』『いけ花龍生』2011年4月号



B5 チラシ



会場風景

撮影：S&Tフォト

包むー日本の伝統パッケージ展 出品リスト

●出品番号(No.)のアルファベットは、以下の素材を表わしている。

A = 木、 B = 竹、 C = その他自然素材、 D = 土、 E = 藁、 F = 紙、 G = 布、 H = その他

●パッケージの名称は、当館所蔵の「岡秀行旧蔵〈包む〉コレクション目録」の名称を使用した。したがって、実際の商品名等と異なる場合がある。

●備考には、パッケージ資料のラベル、外箱等から判別できる店舗名、製造元名等を記載した。

No.	名称	種別(内容物)	都道府県	備考	Cat. no.
E-24	澤之鶴	酒(清酒)	兵庫県	沢の鶴株式会社	
E-25	惣譽	酒(清酒)	栃木県	惣譽酒造株式会社	
特別出品	沢の鶴	酒(清酒)	兵庫県	沢の鶴株式会社	
■木 Wood (木の皮、幹など自然素材をそのままいかした容器や菓子・食品の容れもの)					
A-01	利休齋	菓子	岐阜県	松月堂	
A-02	和三盆おちよぼ	菓子	愛知県	名古屋 万年堂	1-17
A-03	祇園ちご餅	菓子	京都府	三條若狭屋	1-26
A-04	大徳寺饅頭	菓子	東京都	菊廻舎	1-29
A-05	二人静	菓子	愛知県	両口屋是清	
A-06	千両	菓子	愛知県	千両屋	1-18
A-07	真盛豆(利休井筒)	菓子	京都府	金谷正廣	1-20
A-10	金千両	その他(つまようじ)	東京都	さるや	1-31
A-11	御雲丹	食品	福井県	天たつ	1-15
A-13	福ハ内	菓子	京都府	鶴屋吉信	
A-14	京のよすが	菓子	京都府	亀末廣	1-22
A-16	丹波大納言羊羹	菓子	佐賀県	村岡総本舗	
A-17	虎屋饅頭	菓子	東京都	虎屋	
A-19	羊羹	菓子	東京都	虎屋	1-28
A-21	氷室	菓子	京都府	鶴屋吉信	
A-22	京氷室	菓子	京都府	柏屋光貞	1-23
A-23	霰三盆	菓子	徳島県	小男鹿本舗富士屋	1-21
A-27	ますのすし	食品	富山県		
A-28	釣瓶鮓	食品	奈良県	釣瓶鮓本家弥助	1-9
特別出品	釣瓶鮓	食品	奈良県	釣瓶鮓本家弥助/ 安曇野東山包美術館 蔵	
A-29	お千代宝	菓子	京都府	亀末廣	1-19
A-32	久方味噌	食品	東京都	天野屋	1-16
A-34	奈良漬	食品	奈良県	森奈良漬店	
A-37	小鯛のささ漬こんぶめ	食品	福井県	田村長	
A-44	熊野古道	酒(清酒)	和歌山県	中勝酒造株式会社	
A-46	鮎鮓	食品	奈良県	釣瓶鮓本家弥助	1-10
A-47	笹乃雪	食品	東京都	笹乃雪	1-14
A-48	稲庭饅頭	食品	秋田県	稲庭饅頭所稲庭吉左衛門	1-13
A-50	老木	菓子	岐阜県	澤田屋	
A-51	御用林	菓子	長野県	澤田屋	
A-53	深山漬	食品	岡山県		1-7
A-54	お水取行法味噌	食品	奈良県	龍美堂	
A-57	きゃらぶき・芽山椒	食品	長野県		1-6
A-65	甘納豆	菓子	東京都	銀座 鈴屋	1-27
写真パネル					
参考(A-59)	椿餅	菓子			1-2
参考	柏餅	菓子			1-4
参考	桜餅	菓子			1-3
参考(A-60)	朴葉巻	菓子	長野県		1-1
参考(A-52)	朝倉山椒	食品(薬味)			1-5
参考(A-53)	深山漬	食品	岡山県		1-7
参考	柚子甘	菓子	山形県		1-8

No.	名称	種別(内容物)	都道府県	備考	Cat. no.
参考(A-33)	雀桶詰	食品	大阪府	小鯛雀 すし萬	1-11
参考	京おんな	菓子	京都府	吉水園	1-24
■竹 Bamboo (竹筒、竹皮、竹かごを使ったもの)					
B-02	博多小女郎	酒(焼酎)	福岡県	光酒造株式会社	
B-03	今年竹	菓子	京都府	亀屋良永	2-6
B-04	彩の香	菓子	京都府		2-4
B-06	海蔵貝しぐれ煮	食品	新潟県	富留川	
B-07	苔清水	菓子			
B-08	梅が香	その他(香)	東京都	鳩居堂	2-3
B-09	西京漬目鯛	食品	東京都	薦の家	
B-10	星まつり	菓子	神奈川県		
B-11	竹の翁	菓子	京都府	駿河屋	
B-13	やげん堀	食品(薬味)	東京都	やげん堀	2-5
B-14	竹に小豆	菓子	京都府	仙太郎	
B-15	黒方	その他(香)	東京都	鳩居堂	
B-16	柿羊羹	菓子	岐阜県	槌谷	2-9
B-17	ささらあめ	菓子	宮城県	熊谷屋	2-8
B-18	笹の露	菓子	京都府	鎌善良房	2-11
B-19	山づと	菓子	静岡県		
B-20	羊羹 鶴の玉子	菓子	岐阜県	鶴飼堂総本舗	2-14
B-21	やっとかあめ	菓子	愛知県	升半茶店	
B-22	十三里	菓子	京都府	鎌善良房	2-16
B-23	あづみ野みそ	食品	長野県	やまと屋	2-15
B-24	干魚	食品	瀬戸内地方		2-26
B-25	炭火煉新茶	食品	京都府		
B-26	山牛蒡味噌漬	食品	山梨地方		2-10
B-27-a	松月のかおり笹	その他(香)	京都府	松月堂	
B-27-b	松月のかおり笹	その他(香)	京都府	松月堂	
B-28	仙台味噌	食品	宮城県	佐々重	
B-29	山さと	菓子	滋賀県		
B-30	せた志じ味	菓子	滋賀県	たねや	
B-31	真盛豆	菓子	京都府	竹濱義春老舗	2-22
B-32	真盛豆	菓子	京都府	金谷正廣	2-20
B-33	たちばなのあゆ	菓子	東京都	たちばな	
B-34	山里柿	菓子	愛媛県		2-23
B-35	阿闍梨餅	菓子	京都府	満月	
B-36	水羊羹 花しほり	菓子	東京都	光輪堂	
B-38	だんご	菓子	愛知県	大正軒	2-21
B-39	やきもち	菓子	京都府	神馬堂	2-18
B-40	豆腐羹	菓子	京都府	松本豆腐羹	2-19
B-41	濱焼桜鯛	食品	岡山県	株式会社鯛惣	2-24
B-44	栗蒸羊羹	菓子	東京都	虎屋	
B-45	しそもろみ、きのこもろみ	食品	福島県	会津天宝醸造株式会社	
B-55	西京漬目鯛	食品	東京都	薦の家	
B-62	べこっこ	食品	宮城県	かとう	
B-64	御所の華	食品	京都府	松前屋	
B-65	比呂女	食品	京都府	松前屋	
B-68	丸柿餅子	菓子	大阪府	桃林堂	
B-71	竹の酒徳利	その他			
B-73	薬味入れ	食品(薬味)			
B-77	家喜芋	菓子	京都府	二條若狭屋	2-13

No.	名称	種別(内容物)	都道府県	備考	Cat. no.
写真パネル					
参考(B-12)	御香煎	食品	京都府	原了郭	2-2
参考	鱧寿し	食品	京都府	辻留	2-7
参考	ザボン漬	菓子	大分県		2-12
参考(B-40)	豆腐羹	菓子	京都府	松本豆腐羹	2-19
参考	火の山せんべい	菓子	熊本県		2-25
参考	のし梅	菓子	山形県		2-17

■笹, その他自然素材, 布等 Bamboo grass & Others (笹の葉を使った容れものと“よしず”や“貝殻”など)

B-56	ささあめ	菓子	新潟県		3-5
B-60	おけさもなか	菓子	新潟県	大杉屋惣兵衛	3-10
B-61	祇園祭 厄除ちまき	その他(縁起物)	京都府		
C-05	瓢丹の薬味入れ	食品(薬味)			
C-06	冬ごもり	菓子	愛知県	東泉堂	
C-07	菰かむり	菓子	愛知県	本陣	
C-08	白虎、紫雲、青龍	菓子	大阪府	菊屋	7-8
C-09	のぼりあゆ	菓子	東京都	龍昇亭 西むら	7-1
C-10	お水取行法味噌	食品	奈良県	龍美堂	
C-12	どなん	酒(泡盛)	沖縄県	国泉泡盛合名会社	
C-13	パパイア漬	菓子	沖縄県		7-5
C-17	福男	菓子	岡山県	清月	7-6
C-18	養生糖	菓子	新潟県	長尾本店	
C-22	かご	菓子			
C-23	ちまき	その他			
D-082	ひとはな	菓子	佐賀県	村岡総本舗	
G-01	はたおりむすめ	菓子	福岡県	久留米おこし本舗	7-2
G-02	小袖香	その他(香)	大阪府	桃林堂	7-9
G-03	ねじり香合	その他(香)			
G-04	誰が袖 おもい出	その他(香)	京都府	松栄堂	
G-10	扇入れ	その他			
G-12	風呂敷(酒びん)	その他			
H-02	よしなのもろみ粕漬	食品	富山県		
H-03	みょうがのもろみ粕漬	食品	富山県		
H-04	あだん	酒(泡盛)	沖縄県		

《 Pick Up 》 お弁当箱、駅弁の容れものなどを各素材から

A-24	弁当箱	その他	秋田県		
A-25	おもてなし弁当	その他	秋田県		
A-55	蕉水亭 弁当	食品	岐阜県	蕉水亭	1-12
B-53	弁当箱	その他			
B-54	駿河竹千筋細工	その他	静岡県		
D-086	静(善光寺べんとう)	食品	長野県		5-19
D-087	花笠こけし	食品	山形県		5-18
D-088	釜めし	食品	群馬県		5-17
D-089	弁当入れ	その他			

写真パネル

参考	ちまき	食品	山形地方		3-9
参考	ちまき	食品	福島地方		3-6
参考	ちまき	食品	山形県		3-7
参考	ちまき	食品	新潟県		3-8
参考	笹ゆべし	菓子	山形地方		3-3
参考	笹だんご	菓子	山形地方		3-4
参考(B-56)	ささあめ	菓子	新潟県		3-5

No.	名称	種別(内容物)	都道府県	備考	Cat. no.
参考(B-58)	道喜ちまき(献上)	菓子	京都府	川端道喜	3-1
■土 Soil	(お酒の瓶、食品の容器など)				
特別出品	十六味地黄保命酒	酒(薬味酒)	広島県	個人蔵	5-11
特別出品	やきはま弁当	食品	千葉県	個人蔵	
D-001	木曾の酒 七笑	酒(清酒)	岐阜県		
D-002	もっこす	酒(焼酎)	熊本県	松の泉酒造合資会社	
D-003	山車	酒(清酒)	岐阜県	原田醸	
D-005	おにたおし	酒(焼酎)	熊本県	(資)大石酒造場	
D-006	猿壺	酒	山形県	鹿間	5-3
D-007	古丹波	酒(焼酎)	兵庫県	西山酒造場	
D-009	琉球泡盛	酒(泡盛)	沖縄県	沖縄県酒造協同組合	
D-010	宝壺	酒(焼酎)	福岡県	博多焼酎組合	
D-011	山吹味噌	食品	長野県	信州味噌株式会社	
D-012	仙台味噌	食品	宮城県	株式会社佐々重	
D-013	十六味地黄保命酒	酒(薬味酒)	広島県	鞆酒造株式会社	
D-016	十六味地黄保命酒	酒(薬味酒)	広島県	鞆酒造株式会社	
D-018	澤之鶴	酒(清酒)	兵庫県	沢の鶴株式会社	
D-020	十六味地黄保命酒	酒(薬味酒)	広島県		5-11
D-021	梅酢	食品(酢)	神奈川県	ちんりう本店	
D-022	日本海	酒	新潟県		
D-024	雲山	酒	長野県		
D-025	喜界島	酒(焼酎)	鹿児島県	喜界島酒造株式会社	
D-027	丸大豆醤油	食品(醤油)			
D-029	御むぎみそ	食品	埼玉県		
D-030	御玄米みそ	食品	埼玉県		
D-031	山車	酒(清酒)	岐阜県	原田醸	
D-032	越の磯 漁師徳利	酒(清酒)	福井県	株式会社越の磯	
D-033	博多小女郎 古代壺	酒(焼酎)	福岡県	光酒造株式会社	
D-034	東光	酒(清酒)	山形県	株式会社小嶋総本店	
D-036	おでさん	酒(焼酎)	熊本県	河津酒造合名会社	
D-037	弥右衛門酒	酒(原酒)	福島県	合資会社大和川酒造店	
D-038	深山菊	酒(原酒)	岐阜県	有限会社船坂酒造店	
D-040	八重桜の舟とくり	酒(焼酎)	宮崎県	古沢醸造合名会社	
D-041	やままん醤油	食品(醤油)	静岡県		
D-042	十六味地黄保命酒	酒(薬味酒)	広島県	鞆酒造株式会社	
D-043	舞	酒(焼酎)	岩手県	喜久盛酒造株式会社	
D-044	天盃	酒(焼酎)	福岡県	株式会社天盃	
D-045	野田の醤油	食品(醤油)	千葉県	亀甲萬野田工場謹製	
D-046	西の関	酒(清酒)	大分県	萱島酒造有限会社	
D-047	福正宗 かなざわ	酒(清酒)	石川県		
D-049	かまくら	酒(清酒)	秋田県	阿桜酒造株式会社	
D-050	天岩戸神社	酒			
D-051	山の光	酒(原酒)	岐阜県	株式会社平田酒造	
D-053	さつま小鶴	酒(焼酎)	鹿児島県	小正醸造有限会社	
D-054	浜千鳥	酒(焼酎)	鹿児島県	奄美大島酒造株式会社	
D-055	ひむか寿	酒(焼酎)	宮崎県	寿海酒造協業組合	
D-056	桑酒	酒	京都府	八木酒造有限会社	
D-057	さつま五代	酒(焼酎)	鹿児島県	山元酒造合資会社	
D-058	黄桜	酒(清酒)			
D-059	松盛 慶	酒(清酒)	茨城県	岡部合名会社	
D-060	ちりめんもろみ	食品	愛媛県	篠原家/ヤマキ株式会社 YG	
D-061	かつおみそ	食品	愛媛県	篠原家/ヤマキ株式会社 YG	
D-062	みがきみそ	食品	北海道	木綿屋男山本家	

No.	名称	種別(内容物)	都道府県	備考	Cat. no.
D-063	鮎のうるか	食品	大分県	株式会社魚福	
D-064	鮎のうるか(子うるか)	食品	大分県	株式会社魚福	
D-066	黒方	その他(香)	東京都	鳩居堂	
D-067	樽	食品	東京都	三河屋綾部靴店	
D-068	柚子味噌	食品	東京都	笹乃雪	5-16
D-069	鯛のわた塩辛	食品	岡山県	株式会社鯛惣	5-13
D-070	鮎うるか	食品	岐阜県		5-7
D-071	晩菊	食品	山形県		
D-072	茶漬鱒	食品	大阪府		5-10
D-073	大徳寺納豆	食品	京都府	大徳寺 一久	5-8
D-074	葉師糖	菓子	京都府	俵屋吉富	
D-075	七いろの味(金雲)	食品	京都府	七味家本舗	
D-076	七いろの味(新イラボ)	食品	京都府	七味家本舗	
D-077	七いろの味(木ノ葉)	食品	京都府	七味家本舗	
D-078	七いろの味(たじ)	食品	京都府	七味家本舗	
D-079	きざみ奈良漬	食品	奈良県	森奈良漬店	5-6
D-080	あまさけ	飲料	東京都	天野屋	5-4
D-081	あま酒	飲料	東京都	三河屋綾部靴店	5-5
D-085	うなぎ山椒煮	食品			
D-090	土岐川羊羹	菓子	岐阜県	美園軒	5-14
D-092	紫香楽	菓子	滋賀県		
D-094	鬼ヶ島	酒(焼酎)	長崎県	壱岐焼酎協業組合	
D-095	巖	酒(清酒)	群馬県	高井株式会社	
D-096	なまはげ	酒(清酒)	秋田県		
D-097	大天狗	酒(清酒)	福島県		
D-098	からす天狗	酒(清酒)	福島県		
D-099	岩戸神楽(男)	酒(焼酎)	宮崎県	神楽酒造株式会社	
D-100	岩戸神楽(女)	酒(焼酎)	宮崎県	神楽酒造株式会社	
D-101	都錦	酒(清酒)	島根県	都錦酒造株式会社	
D-102	まねき猫	酒(清酒)	群馬県	群馬酒造	
D-103	李白	酒(清酒)	島根県	田中酒造有限会社	
D-104	李白	酒(清酒)	島根県	田中酒造有限会社	
D-105	都錦	酒(清酒)	島根県	都錦酒造株式会社	
D-106	都錦	酒(清酒)	島根県	都錦酒造株式会社	
D-107	石仏	酒(焼酎)	大分県	合名会社久家本店	
D-108	はにわのいも焼酎	酒(焼酎)	宮崎県	外山酒造株式会社	
D-109	雪ン子 白馬錦	酒(清酒)	長野県	株式会社薄井商店	
D-110	ゆき	酒(清酒)	新潟県	白瀧酒造株式会社	
D-111	鳳山	酒(清酒)	宮城県	鳳山酒造株式会社	
D-115	岡山獅子	菓子	岡山県	中尾正栄堂	5-1
D-116	開運夫婦獅子頭	酒(清酒)	愛知県	割田屋株式会社	
D-118	多良川	酒(焼酎)	沖縄県		
D-119	櫻正宗 寅	酒(清酒)	兵庫県	山邑酒造株式会社	
D-123	和仁	酒(焼酎)	熊本県	合名会社神田酒造	
D-125	みえ名酒会 原酒	酒	三重県		
D-127	むつごろう	酒(焼酎)	福岡県	富安本家酒造株式会社	
D-128	すっぽん酒	酒(清酒)	大分県	縣屋酒造株式会社(製造元)、 大分銘醸株式会社(発売元)	
D-129	くま川下り	酒(焼酎)	熊本県	合資会社松本酒造場	
D-130	おどり壺	酒(泡盛)	沖縄県	有限会社比嘉酒造	
D-131	兼六 金沢城	酒(清酒)	石川県	株式会社金谷酒造店	
D-132	肥後路	酒(焼酎)	熊本県	合資会社宮元酒造場	
D-133	種子島	酒(焼酎)	鹿児島県	久岡産業株式会社	
D-134	雲丹	食品	山口県	岡本商店	

No.	名称	種別(内容物)	都道府県	備考	Cat. no.
D-136	たこつぼ	食品	広島県	福原製陶株式会社	
D-137	志そ香煎、梅香煎	食品	大阪府	桃林堂	
D-138	柚味噌	食品	京都府	八百三	5-15
写真パネル					
参考	桃香爐	菓子	岡山県		5-2
参考	八兵衛さん	食品(佃煮)			5-12
参考	弥二郎からし	食品(薬味)	大分県		5-9
参考	茶容器	菓子			5-20
参考	やきはま井	食品	千葉県		5-23
参考	五島椿	その他	長崎県		5-24
■藁 Straw (稲藁を包装に用いたもの)					
特別出品	惣譽	酒(清酒)	栃木県	惣譽酒造株式会社	
E-10	十津川ゆべし	食品	奈良県		
E-17	西の関	酒(清酒)	大分県	萱島酒造有限公司	
E-18	十六味地黄保命酒	酒(薬味酒)	広島県	鞆酒造株式会社	4-18
E-19	甘露醤油	食品	山口県	柳井醤油有限公司	
E-20	自然郷	酒(清酒)	福島県		
E-21	一人娘 いなほ	酒	茨城県		
E-22	十六味地黄保命酒	酒(薬味酒)	広島県	鞆酒造株式会社	4-19
E-23	甘露醤油	食品	山口県	株式会社佐川醤油店	
E-27	澤之鶴	酒(清酒)	兵庫県	沢の鶴株式会社	4-20
E-32	老緑	酒(清酒)	三重県	辻井酒造株式会社	
E-33	月桂冠	酒(清酒)	京都府	大倉酒造株式会社	
E-42	千歳くるみ	菓子	石川県	彩霞堂	4-13
E-43	山牛蒡味噌漬	食品	長野地方		4-16
E-44	巻柿	食品			
写真パネル					
参考	山ごほう味噌漬	食品	奈良県		4-14
参考	山芋	食品	群馬地方		4-4
■紙 Paper (お菓子の箱、袋、包みものなど)					
F-04	一保堂包装紙	食品	京都府	一保堂茶舗	6-15
F-05	塩芳軒包装紙	菓子	京都府	塩芳軒	6-17
F-06	白外良	菓子	京都府	駿河屋	6-10
F-07	古都	菓子	京都府	亀末廣	6-7
F-09	どら焼	菓子	京都府	笹屋伊織	6-18
F-10	くぢら餅	菓子	山形県		
F-11	文楽人形かしら集	菓子	大阪府		6-12
F-12	四君子	菓子	京都府	甘泉堂	6-14
F-13	夕月	菓子	京都府	亀屋良永	6-13
F-14	不老泉	菓子	京都府	二條若狭屋	
F-15	鬼づら	菓子	香川県	鬼づら本舗	6-9
F-16	太鼓	菓子	香川県	鬼づら本舗	6-8
F-17	玉姫	菓子	滋賀県	たねや	
F-18	ふみづかい	菓子	東京都		
F-20	福神漬	食品	東京都	京傳正舗	
F-25	たがね	菓子	三重県	たがねや	
F-26	いろり豆	菓子	新潟県	たかの	6-21
F-27	文楽人形焼	菓子	東京都	上野 亀井堂	6-11
F-28	きざみ奈良漬	食品	奈良県	森奈良漬店	6-20
F-29	うみやまのつと	食品	東京都		

No.	名称	種別(内容物)	都道府県	備考	Cat. no.
F-30	ひじき	食品	神奈川県	高橋商店	
F-31	鹿膠	その他(画材)	東京都	妻屋膠研究所	6-19
F-33	香調合用詰合	その他	京都府		
F-34	二人静	菓子	愛知県	両口屋是清	6-2
F-36	御干菓子(亀甲箱)	菓子	京都府	塩芳軒	
F-37	五色豆	菓子	京都府	豆政	6-4
F-38	江戸菓子 駒下駄	菓子	東京都	評判堂	
F-39	江戸菓子 羽子板	菓子	東京都	評判堂	
F-40	御干菓子	菓子	京都府	塩芳軒	
F-42	仙台駄菓子	菓子	宮城県	熊谷屋	
F-43	せんだいだがし	菓子	宮城県	日立家	
F-44	會津駄菓子	菓子	福島県	長門屋	
F-50	紫野	菓子	京都府	本家玉寿軒	
F-81	かやぼうろ	菓子	大阪府	桃林堂	
F-82	菁々	菓子	大阪府	桃林堂	6-6
F-84	箱	その他			

写真パネル

参考	加賀らくがん	菓子	石川県		6-5
参考	折りひな	その他			6-27

《Pick up》 伝統の美、生活の美 (「結納目録」を中心に、「ハレ」の行事等のなかに見られる造形美)

F-22	結納目録 一式	その他	石川県	作者：津田梅	
A-41	角樽(鶴)	酒	石川県	作者：津田梅	1-33
A-42	角樽(亀)	酒	石川県	作者：津田梅	1-34
F-32	千歳飴	菓子			6-22
A-08	文明堂かすてら	菓子	東京都	文明堂	1-25
A-26	千木筥	その他(縁起物)	東京都	芝大神宮	1-35
A-43	日本盛 祝い樽	酒(清酒)	兵庫県	日本盛株式会社	
A-45	桃紅李白	菓子	大阪府	桃林堂	1-30
A-69	野菜独楽	その他(玩具)	宮城県		
C-04	貝あわせ	菓子	東京都		1-32
C-15	大ぬさ	その他(香)	東京都	鳩居堂	
D-113	福達磨	酒(清酒)	群馬県	群馬酒造	
D-114	福達磨	酒(清酒)	群馬県	群馬酒造	
F-03	大ぬさ	その他(香)	東京都	鳩居堂	6-29
F-23	祝儀袋	その他			6-25
F-24	たんきりあめ	菓子	愛知県	安久美神戸神明社	6-23
F-45	宮まいり	その他			
F-46	初参扇	その他			
F-47	薩摩糸びな	その他	鹿児島県		
F-67	雛井籠	菓子	東京都	虎屋	
F-78	犬張子(子ども祝い用)	その他			
F-79	屠蘇	その他	大阪府	桃林堂	6-28
F-80-a	大福帳	その他			
F-80-b	大入袋	その他			6-24
F-80-c	寿(袋)	その他			
F-80-d	ボチ袋	その他			
F-85	祝儀袋	その他			

■「卵つと」を中心に、生活の知恵から自然と生みだされてきた造形美

A-64	流しびな	その他(縁起物)	鳥取県	柳屋本店	
E-01	卵つと	食品	山形県	製作者：石川清治	4-1
E-08	納豆つと	食品	東京都		

No.	名称	種別(内容物)	都道府県	備考	Cat. no.
E-34	米俵	食品			4-17
E-35	炭俵	その他			
E-36	炭俵	その他			
E-02	寒餅つと	食品			4-6
E-04	高野豆腐つと	食品			
E-05	八ッ目うなぎ塩干	食品	新潟県		
E-03	魚つと	食品			
E-09	献上野菜つと	食品	京都府		4-3
E-12	巻鱈	食品	石川県		4-11
E-13	巻柿	菓子	大分県		
E-14	つるし魚	食品			4-7
E-37	流し雛(さんだわら)	その他	鳥取県		4-12
E-38	猫ちぐら	その他	新潟県		
E-39	いづめこ	その他	山形県		
E-40	メシツグラ	その他	新潟県		
E-41	塩つぼ	食品	新潟県		
E-46	つるしみそ	食品			
写真パネル					
参考	切干し大根	食品	山形地方		4-2
参考	高野豆腐	食品	宮城地方		4-10
参考	出平鰯(つんこ)	食品	山形地方		4-8
参考	車海老	食品	鹿児島地方		4-9

映像コーナー

3D映像 『包 TSUTSUMU』(約8分) 監督:押切隆世、製作=株式会社プローブ
1979年に16mm映画『包』を監督した映像作家・押切隆世さんが、最新の3D機材により本展のためのオリジナル映像として制作したもの

[平成 23 (2011) 年度]

原爆を視る 1945—1970 【中止】

会期：2011年4月9日(土)～5月29日(日)

会場：展示室 ABC、展示ロビー、ワークショップ、エントランスホール

主催：(公財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館

担当学芸員：正木基

終戦も間近い1945年8月、広島と長崎に米軍が投じた二発の「新型爆弾＝原子爆弾」は筆舌に尽くしがたい惨禍を残した。本展はこの原爆投下直後から1970年代まで、繰り返しさまざまな方法で行われた原爆のイメージ化がどんなものだったのか、それらのイメージは一体何を伝えようと意図され、実際に伝えた得たのかを、絵画作品・美術作品やデザインをはじめ、さらに広く一般的なものまで、視覚的イメージとして定着された膨大な実例をとりあげて検証する試みとして企画された。

本展は、開催直前に東日本大震災がおこり、その影響に鑑み、開催を中止した。目黒区美術館ではその後も実現を模索し続けたが、財政的な問題からやむなく中止に至った。

ラファエル前派からウィリアム・モリスへ

会期：2011年6月4日(土)～7月14日(木) 35日間

会場：展示室 ABC、展示ロビー、エントランスホール

主催：(公財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館

後援：プリティッシュ・カウンシル

企画：株式会社ブレントラスト

協力：株式会社ブレントラスト

担当学芸員：矢内みどり

同時開催：藤田嗣治展 人物と動物 (所蔵作品より) 会場：ワークショップ

巡回先：2010年9月～いわき市立美術館 2010年10月～横須賀美術館 2011年2月～美術館「えき」KYOTO 2011年7月～
鹿児島市立美術館

「ラファエル前派からウィリアム・モリスへ」展は、当館を含めて5館を巡回した。
産業革命後の19世紀中葉のイギリスでは、物の豊かさと引きかえに精神性が失われて行くことに不安を覚えて、中世に憧れた。思想家ラスキン(1819～1900)は「自然の教えを思い出す」ことをとなえ、これに共鳴したハント、ミレー、ロセッティなどロイヤルアカデミーの若い画家たちから「ラファエル前派同盟」を結成し絵画の革命を目指した。それは当時の画壇による16世紀イタリアの様式の模倣を捨て、「巨匠ラファエロより前」の、初期ルネッサンスの素朴で自然に忠実な絵画を志したもので、聖書や古代神話、中世の物語に画想を得た。後期はウィリアム・モリス、バーン＝ジョーンズなど加わり、象徴性を高め、世紀末芸術、アール・ヌーヴォーの源流となり、また明治時代の日本の美術界、文学界に清新な刺激をあたえてもいる。

経済の効率性に重きをおいた時代を省みて、惰性を見直し原点に帰り真の人間性の回復をはかることが叫ばれる現代社会において、この展覧会は重要な美の指標をもたらしてくれた。

巡回途中の2011年3月11日に東日本大震災、その直後に福島第一原発の事故が起きたために開館時間の短縮などがあった。

同時開催の「藤田嗣治展 人物と動物」は、当館所蔵の藤田嗣治作品から、人物と動物を出品したものであった。

●カタログ

寸法：29.5×22.5cm / ページ数：160ページ / デザイン：亀井伸二(W.O.design) / 発行：「ラファエル前派からウィリアム・モリスへ」展実行委員会

内容：ラファエル前派その再構築の試み [ジョン・クリスチャン] 訳：門田牧子 / ラファエル前派の装飾・応用美術 [ピーター・コーマック] 訳：橋本啓子 / カタログ / 作家略歴 / 関連年表 / 邦語参考文献 / 論文原文テキスト

●広報印刷物

ポスターB2 / チラシB4 ニツ折

●関連催事

*学芸員によるギャラリートーク

6月11日、6月18日、6月19日 午後2時～

●主要関連記事

矢内みどり「ラファエル前派からウィリアム・モリスへ 真摯で心ある美の指標」『新美術新聞』2011年6月号



2011.6.4(土) - 7.14(木)
目黒区美術館
目黒区美術館
目黒区美術館
目黒区美術館
目黒区美術館

The Pre-Raphaelites and William Morris
Artists, Designers and Craftsmen

B4 ニツ折チラシ

ラファエル前派から
ウィリアム・モリスへ

ラファエル前派からウィリアム・モリスへ 出品リスト

凡例：カタログ番号、作家名 | 作品名 | 制作年 | 技法・材質 | 寸法(cm) | 所蔵先

1. ウィリアム・ダイス | 聖母子 | 1845年頃 | 油彩・板 | 75.4×52 | ノッティンガム市立美術館

2. ウィリアム・ダイス | ヤコブとラケルの出会い | 1850-53年 | 油彩・カンヴァス | 70.4×91.1 | レスター美術館

4. ウィリアム・ベル・スコット | 海景 | 1863年 | 油彩・カンヴァス | 36.2×51.4 | ウィリアム・モリス・ギャラリー

5. ウィリアム・ベル・スコット | 水門と湿地のある風景 | 1865年 | 水彩、顔料・紙 | 25×35.2 | メイドストーン美術館

6. ジョン・ラスキン | 出版：スミス・エルダー社 | 『建築の七燈』 | 1849年 | (1)18×26.7×3 / (2)18×25.7×2.1 | ハスラム & ホワイトウエイ

7. ジョン・ラスキン | 出版：スミス・エルダー社 | 『ヴェネツィアの石』第一巻「基礎」、第二巻「海上階」、第三巻「凋落」 | 1851-53年 | 書籍 | (1)18×26×4 / (2)18×26×3.5 / (3)18×26×3 | ハスラム & ホワイトウエイ

8. ジョン・ラスキン | ルーアン大聖堂西玄関口 | 制作年不詳 | 鉛筆(セピアの着色)、水彩・紙 | 76.2×62.3 | ウィリアム・モリス・ギャラリー

9. フォード・マドックス・ブラウン | 狩人小屋の中のマンフレッド | 1840年 | 油彩・カンヴァス | 56.8×47.6 | ノッティンガム市立美術館

11. フォード・マドックス・ブラウン | 牢獄のジャコポ・フォスカリ | 1870年 | 水彩・紙 | 61×44 | ウィリアム・モリス・ギャラリー

12. フォード・マドックス・ブラウン | クロムウェル、ワルドー派の庇護者 | 1878年 | 油彩・カンヴァス | 78.7×96.5 | ノッティンガム市立美術館

13. ジェームス・スメザム | ダンテとウェルギリウス | 1864年 | 油彩・パネル | 17.1×31.8 | 個人蔵

15. トーマス・セドン | ヨシャパテの谷から望むエルサレム | 1855-56年 | 水彩、顔料・紙 | 24.1×30.2 | 個人蔵

16. ウィリアム・ホルマン・ハント | キリストと二人のマリア | 1847年、1897年 | 油彩・カンヴァス、パネル | 117.5×94 | 南オーストラリア州立美術館

17. ウィリアム・ホルマン・ハント | 月明かりのエルサレム | 1854-55年 | 鉛筆、水彩(部分的に白の顔料)・紙 | 20×35.3 | オールダム美術館

18. ウィリアム・ホルマン・ハント | ビアンカ | 1869年 | 油彩、テンペラ・カンヴァス | 87.3×67 | ワーキング美術館

19. ウィリアム・ホルマン・ハント | 幼いキリストと寺院の博士

たち | 1886-90年 | 水彩(部分的に白の顔料)・紙 | 64.8×125.7 | レスター美術館

20. ウィリアム・ホルマン・ハント | ストラトフォード=オン=エーヴォン | 1890年 | 水彩(部分的に白の顔料)・紙 | 44.5×54.6 | ハーバート美術館

21. ウォルター・ハウエル・デヴァレル | アーデンの森のロザリンドとシーリア | 1850-51年 | 油彩・パネル | 70.5×91.9 | シプリー美術館

22. デザイン：ウィリアム・バージェス(制作者不詳) | 椅子：人魚 | 1860年頃 | 各81.3×43.2×38.1 | ウィリアム・モリス・ギャラリー

23. ダンテ・ゲイブリエル・ロセッティ | 山上の垂訓 | 1861年 | 黒チョーク、セピアの着色・紙 | 72.4×53.3 | ウィリアム・モリス・ギャラリー

24. ダンテ・ゲイブリエル・ロセッティ | ブドウ園のたとえ：ブドウの木への植えつけ | 1861-62年 | 黒チョーク、グレーの着色(部分的に白の顔料)・紙 | 61.6×60.9 | ウィリアム・モリス・ギャラリー

25. ダンテ・ゲイブリエル・ロセッティ | ブドウ園のたとえ：王の息子の殺害 | 1861-62年 | 黒チョーク、グレーの着色(部分的に白の顔料)・紙 | 60.9×91.4 | ウィリアム・モリス・ギャラリー

29. ダンテ・ゲイブリエル・ロセッティ | ルネ王のハネムーン：音楽 | 1862年 | 黒チョーク、インクの着色・紙 | 42.5×33.6 | ウィリアムソン美術館

31. ダンテ・ゲイブリエル・ロセッティ | レディ・リリス | 1867年 | 水彩、顔料・紙 | 52×43 | 個人蔵

32. ダンテ・ゲイブリエル・ロセッティ | 愛の杯 | 1867年 | 水彩・紙 | 52.7×35.6 | ウィリアム・モリス・ギャラリー

33. デザイン：おそらくダンテ・ゲイブリエル・ロセッティ、モリス・マーシャル・フォークナー商会 | 椅子：ロセッティ・チェア | 1863年頃 | 88.9×49.5×47 | ハスラム & ホワイトウエイ

34. ダンテ・ゲイブリエル・ロセッティ | マイケル・スコットの求婚 | 1870年頃 | 赤チョーク、黒チョーク・紙 | 73 × 75.6 | ウィリアム・モリス・ギャラリー

35. ダンテ・ゲイブリエル・ロセッティ | アレクサ・ワイルディングの習作 | 1872年 | 黒チョーク、赤チョーク・紙 | 84.5×59.1 | ウィリアム・モリス・ギャラリー

36. ダンテ・ゲイブリエル・ロセッティ | マリゴールド | 1874年 | 油彩・カンヴァス | 114×73.5 | ノッティンガム市立美術館

38. ダンテ・ゲイブリエル・ロセッティ | 「祝福されし乙女」のためのアレクサ・ワイルディングの習作 | 1875年頃 | 赤チョーク、

黒チョーク・紙 | 44×39 | ウィリアム・モリス・ギャラリー

39. ダンテ・ゲイブリエル・ロセッティ | 「海の呪文」のための習作(「ダルシマー」) | 1875年頃 | 黒チョーク・薄緑色の紙 | 76×89 | 個人蔵

40. ダンテ・ゲイブリエル・ロセッティ | 「アスタルテ・シリアカ(シリアの神アスタルテ)」のための頭部習作 | 1875-76年頃 | 黒チョーク・紙 | 各50×35.5 | 個人蔵

41. ジョン・エヴァレット・ミレイ | めざめ | 1865年 | 油彩・カンヴァス | 99×84 | パース美術館

42. フレデリック・サンズ | ベレニケ、エジプト女王 | 1867-68年 | 油彩・カンヴァス | 60.3×35.6 | レイトン・ハウス美術館

43. フレデリック・サンズ | ワルキューレ | 1868-73年 | 油彩・カンヴァス | 76.2×38.1 | ウィリアムソン美術館

45. ジョン・ウィリアム・インチボルド | 収穫期の畑、ストラトフォード=オン=エーヴォン | 1874年頃 | 油彩・紙 | 17.1×25.1 | リーズ美術館

46. デザイン: フィリップ・ウェップ、モリス・マーシャル・フォークナー商会 | 燭台 | 1863年 | 銅 | 高26.7×径17.8 | ウィリアム・モリス・ギャラリー

47. デザイン: フィリップ・ウェップ、モリス・マーシャル・フォークナー商会 | テーブル・ミラー | 1862年頃 | 木(カシ材) | 79×54.5×39 | 個人蔵

48. デザイン: フィリップ・ウェップ、モリス・マーシャル・フォークナー商会 | トランプ・テーブル | 1865年頃 | 木(黒化したクルミ材) | 70×92×46 | ハスラム & ホワイトウエイ

49. デザイン: おそらくフィリップ・ウェップ、モリス商会 | サセックス・シリーズの肘掛け椅子 | 1911年頃 | 木(黒化したブナ材)、イグサ座 | 85×50×44 | 個人蔵

50. アーサー・ヒューズ | 彼は蘇る: 最初の復活祭 | 1896年 | 油彩・カンヴァス | 84×113 | ウィリアム・モリス・ギャラリー

51. エドワード・コリー・バーン=ジョーンズ | ルネ王のハネムーン: 絵画 | 1861年 | 水彩、顔料・紙 | 40.6×30.5 | プリ=ラファエライト・インコーポレイティッド

52. エドワード・コリー・バーン=ジョーンズ | モーガン・ル・フェイ | 1862年 | 水彩、顔料・紙 | 96.5×48.2 | ハマスミス・フラム行政区

54. デザイン: エドワード・コリー・バーン=ジョーンズ、ウィリアム・モリス、モリス・マーシャル・フォークナー商会 | 4枚のタイル: ヒュベルムネストラ、ディド、ティスベ、ピロメラ(チョーサー著『善女列伝』より) | 1862-73年 | 各25×12.5 | デイヴィッド・C・ミリング・コレクション

56. デザイン: エドワード・コリー・バーン=ジョーンズ、絵付: おそらくケイト・フォークナー、モリス・マーシャル・フォークナー商会 | タイル: 聖セシリア | 1864年頃 | 15×15 | デイヴィッド・C・ミリング・コレクション

57. エドワード・コリー・バーン=ジョーンズ | ティスベ | 1864年 | 黒チョーク、水彩、顔料・紙 | 140×70 | ウィリアム・モリス・ギャラリー

58. エドワード・コリー・バーン=ジョーンズ | ピロメラ | 1864年 | 鉛筆、水彩、顔料・紙 | 134.6×67.3

59. エドワード・コリー・バーン=ジョーンズ | 嘆き | 1865-66年 | 水彩、顔料・紙 | 47.5×79.5 | ウィリアム・モリス・ギャラリー

60. エドワード・コリー・バーン=ジョーンズ | 花環 | 1866年 | 水彩、顔料・紙 | 76.2×45.7 | ハマスミス・フラム行政区

61. エドワード・コリー・バーン=ジョーンズ | プシケを救出すクピッド | 1867年 | 油彩・カンヴァス | 80×91.5 | ハマスミス・フラム行政区

62. エドワード・コリー・バーン=ジョーンズ | ドラゴンを退治する聖ゲオルギウス | 1868年 | 水彩、顔料・紙 | 60.6×47.3 | ウィリアム・モリス・ギャラリー

63. エドワード・コリー・バーン=ジョーンズ | 宵の星 | 1880年頃 | 油彩・カンヴァス | 69×60 | ウィリアム・モリス・ギャラリー

64. エドワード・コリー・バーン=ジョーンズ | キリストの降誕 | 1872年 | 鉛筆、水彩、顔料、セピアの着色・紙 | 105×100 | ウィリアム・モリス・ギャラリー

65. エドワード・コリー・バーン=ジョーンズ | 東方三博士の礼拝 | 1872年 | 鉛筆、水彩、顔料、セピアの着色・紙 | 105.5×100 | ウィリアム・モリス・ギャラリー

66. エドワード・コリー・バーン=ジョーンズ | エジプトへの逃避 | 1872年 | 鉛筆、水彩、顔料、セピアの着色・紙 | 105.5×100 | ウィリアム・モリス・ギャラリー

67. デザイン: エドワード・コリー・バーン=ジョーンズ、モリス商会 | ステンドグラス: アベル | デザイン1872年、制作1909年 | 146×45 | ハスラム & ホワイトウエイ

68. エドワード・コリー・バーン=ジョーンズ | 聖カタリナの復讐する天使 | 1878年 | 水彩(部分的に金彩)・紙 | 42.5×23.5 | ハマスミス・フラム行政区

69. デザイン: エドワード・コリー・バーン=ジョーンズ、モリス商会 | ステンドグラス: ラケル | デザイン1878年、制作1909年 | 122×44 | ハスラム & ホワイトウエイ

70. エドワード・コリー・バーン=ジョーンズ | ペリカンの献身 | 1880年以降 | 鉛筆、蠟チョーク、金彩・紙 | 172.7×57.2 | ウィ

リアム・モリス・ギャラリー

71. エドワード・コリー・バーン=ジョーンズ | 別天地ヴィンランドへの船出 | 1883-84年 | 鉛筆・紙 | 77×77.2 | テュリー・ハウス美術館

72. デザイン: エドワード・コリー・バーン=ジョーンズ、花・地面のデザイン: ジョン・ヘンリー・ダール、モリス商会 | タペストリー: 東方三博士の礼拝 | デザイン1887年、制作1900-02年 | ウール、絹 | 251.2×372.5 | 南オーストラリア州立美術館

73. エドワード・コリー・バーン=ジョーンズ | 薔薇の心 | 1890年頃 | 色チョーク・茶色の紙 | 84×130 | ウィリアム・モリス・ギャラリー

74. ウィリアム・モリス | 船に乗るイゾルデ(?) | 1861年頃 | 鉛筆、インク・紙 | 51×41 | ウィリアム・モリス・ギャラリー

75. ウィリアム・モリス | イヴと聖母マリア | 1864年 | 鉛筆、セピアの着色・紙 | 74.9×55.9 | ウィリアム・モリス・ギャラリー

76. デザイン: ウィリアム・モリスまたはフィリップ・ウェップ、モリス・マーシャル・フォークナー商会 | タイル: 白鳥 | 1864年頃 | 錫釉に青の上絵付け | 15.2×15.2 | ダンスタン=スミス・コレクション

77. デザイン: おそらくフィリップ・ウェップ、モリス商会 | タイル: ロングデン | 1870年頃 | 錫釉に青の上絵付け | 15.2×15.2 | ダンスタン=スミス・コレクション

78. デザイン: フィリップ・ウェップ、おそらくラヴェステイン、モリス商会 | タイル: 動物(野うさぎとカラス)1組 | 1872年頃 | オランダ製タイルに青の絵付け | 15.2×15.2 | ダンスタン=スミス・コレクション

79. デザイン: ウィリアム・モリス、モリス商会 | タイル: ピーターハウスの草むら | 1873年頃 | 錫釉に青の上絵付け | 15.2×15.2 | ダンスタン=スミス・コレクション

80. デザイン: ウィリアム・モリスまたはケイト・フォークナー(1842-1898)、モリス商会 | タイル: 花模様 | 1875年頃 | 錫釉に青の上絵付け | 15.2×15.2 | ダンスタン=スミス・コレクション

81. デザイン: ウィリアム・モリス、モリス・マーシャル・フォークナー商会 | 壁紙: 柘榴あるいは果実 | 1866年頃 | 木版、色刷り | 85.5×56 | 個人蔵

83. デザイン: ウィリアム・モリス、モリス商会 | 壁紙のためのデザイン: 百合と柘榴 | 1886年 | 水彩・紙 | 117×83 | ウィリアム・モリス・ギャラリー

84. デザイン: ウィリアム・モリス、モリス商会 | ステンドグラス: シンバルとリュートの奏者 | 1875年頃 | 75×84 | 個人蔵

85. デザイン: ウィリアム・モリス、モリス商会 | 内装用ファブリッ

ク | 孔雀と竜 | 1878年 | ウール(ジャガード織) | 226×138 | 個人蔵

86. モリス商会 | カーベットののためのデザイン: 孔雀と小鳥 | 1885年頃 | 鉛筆、筆・紙 | 66×69.2 | ウィリアム・モリス・ギャラリー

87. モリス商会、縁のデザイン: ジョン・ヘンリー・ダール | カーベット | 1895年頃 | ウール、綿、ジュート | 360×265 | 南オーストラリア州立美術館

88. デザイン: ウィリアム・モリスまたはジョン・ヘンリー・ダール | ソファ用タペストリーのためのデザイン | 制作年不詳 | 水彩・紙 | 73×115 | ウィリアム・モリス・ギャラリー

90. デザイン: ウィリアム・モリス | パネルのためのデザイン | 1896年 | 鉛筆、水彩・茶色の紙 | 90.5×57.5 | ウィリアム・モリス・ギャラリー

91. 木版: ウィリアム・モリス、挿絵: エドワード・コリー・バーン=ジョーンズ、印刷: ケルムスコット・プレス | 『世界の果の泉』 | 1896年 | 書籍 | 30×22 | ハスラム & ホワイトウエイ

93. デザイン: ウィリアム・ド・モーガン | ラスター彩手付き花器: 孔雀と鷲 | 1880年頃 | 陶器 | 高18.4×径16.5 | ド・モーガン財団

94. デザイン: ウィリアム・ド・モーガン | ラスター彩皿: 白鳥と樹木 | 制作年不詳 | 陶器 | 径21.6 | ド・モーガン財団

95. デザイン: ウィリアム・ド・モーガン、チャールズ・パッセンジャー | ラスター彩皿: 鹿 | 制作年不詳 | 陶器 | 径21 | ド・モーガン財団

96. デザイン: ウィリアム・ド・モーガン | ラスター彩花器: コウノトリ | 制作年不詳 | 陶器 | 高19.1×径15.2 | ド・モーガン財団

97. デザイン: ウィリアム・ド・モーガン | ラスター彩花器: コウノトリ | 制作年不詳 | 陶器 | 高16.5×径16.5 | ド・モーガン財団

98. デザイン: ウィリアム・ド・モーガン | ラスター彩瓶: 鳥 | 1880年 | 陶器 | 高 13.3×径 10.2 | ド・モーガン財団

99. デザイン: ウィリアム・ド・モーガン、ジョー・ジャスター | ラスター彩花器: レイヨウ | 制作年不詳 | 陶器 | 高19.1×径12.7 | ド・モーガン財団

100. デザイン: ウィリアム・ド・モーガン | ラスター彩瓶: 鳥 | 制作年不詳 | 陶器 | 高16.5×径 8.9 | ド・モーガン財団

101. デザイン: ウィリアム・ド・モーガン | ラスター彩皿: 白鳥 | 制作年不詳 | 陶器 | 径21.6 | ド・モーガン財団

102. デザイン: シメオン・ソロモン、制作者不詳 | ステンドグラス:

聖ヨハネとニュー・エルサレム(ウィリアム・パージェスの書棚の窓) | 1862年頃 | 53×49.8 | バーケンヘッド・コレクション

103. シメオン・ソロモン | バッハの前奏曲 | 1868年 | 鉛筆、水彩、顔料・紙 | 43.2×65 | 個人蔵

104. シメオン・ソロモン | 法典を携えるアロン | 1875年 | 油彩・カンヴァス | 30.9×15.1 | サザンブトン市立美術館

106. アルバート・ジョセフ・ムーア | アプリコット | 1866年 | 油彩・カンヴァス | 42.5×28.5 | ハマスミス・フラム行政区

107. アルバート・ジョセフ・ムーア | 黄色いマーガレット | 1881年 | 油彩・カンヴァス | 64.1×50.1 | 郡山市立美術館

108. マリー・スパルタリ | 「小さな庭の、澄んだ泉の近くで」 | 1883年 | 水彩、顔料・紙 | 54×47 | プリ=ラファエライト・インコーポレイティッド

109. ウォルター・クレイン | 愛の聖域 | 1870年 | 油彩・カンヴァス | 77.2×55.3 | ウィリアム・モリス・ギャラリー

110. ウォルター・クレイン | ディアナとエンデュミオン | 1883年 | 水彩、顔料・紙 | 55.3×78.1 | ダンディー美術館

111. ウォルター・クレイン | 自由、「パリ・コミューンを記念して」

| 1896年、原版1887年 | 木版摺り・紙 | 50.8×30.8 | ハスラム & ホワイトウェイ

112. ウォルター・クレイン | 労働者の結束：世界の労働者に捧げる | 1896年、原版1889年 | 木版摺り・紙 | 50.8×30.8 | ハスラム & ホワイトウェイ

113. ウォルター・クレイン | 1895年五月祭の花環 | 1896年、原版1895年 | 木版摺り・紙 | 50.5×31.5 | ハスラム & ホワイトウェイ

114. ウォルター・クレイン | 平和の天使 | 1900年 | 油彩・カンヴァス | 152.4×81.3 | ウィリアム・モリス・ギャラリー

115. ジョン・ウィリアム・ウォーターハウス | 南の国のマリアナ | 1897年頃 | 油彩・カンヴァス | 134.5×86 | ハマスミス・フラム行政区

116. ジョン・ウィリアム・ウォーターハウス | フローラ | 1914年、またはそれ以前 | 油彩・カンヴァス | 103×68.5 | 郡山市立美術館

117. イーヴリン・ド・モーガン | フローラ | 1894年 | 油彩・カンヴァス | 198×86 | ド・モーガン財団

118. デザイン：メイ・モリス | 刺繍の壁掛け | 制作年不詳 | 絹・カンヴァス | 188×296 | ウィリアム・モリス・ギャラリー

同時開催：藤田嗣治展 人物と動物 出品リスト

凡例：No. 作家名 | 作品名 | 制作年 | 技法・材質 | サイズ(cm)

1. 藤田嗣治 | 動物群 | 1924 | 油彩・キャンバス | 97.0×145.5

2. 藤田嗣治 | 接吻 | 1904 | 水彩・紙 | 15.0×11.5

3. 藤田嗣治 | 赤毛の女 | 1917 | 水彩・紙 | 26.5×20.0

4. 藤田嗣治 | 鶴 | c.1918 | 水彩・金箔・紙 | 20.0×17.0

5. 藤田嗣治 | メキシコの少年 | 1933 | 水彩・紙 | 93.5×61.0

6. 藤田嗣治 | 殉教者 | 1934 | 水彩・金箔・紙 | 51.0×32.0

7. 藤田嗣治 | 房州白浜にて | 1935 | 水彩・紙 | 34.5×28.5

8. 藤田嗣治 | 君代のプロフィール | c.1938 | 水彩・紙 | 23.0×18.5

9. 藤田嗣治 | シャーマン氏像 | 1948 | 水彩・紙 | 30.0×20.0

10. 藤田嗣治 | 人形を持った少女 | 1951 | 水彩・紙 | 21.5×16.0

11. 藤田嗣治 | 芸者と泥棒 | 水彩・紙(額) | 34.0×41.0

12. 藤田嗣治 | シェロン氏像 | 1917 | コンテ・紙 | 30.5×23.5

13. 藤田嗣治 | 小鳥と少女 | インク・紙 | 16.5×9.5

14. 藤田嗣治 | カフェ・ドゥ・ラ・ロトンド | 1925 | 銅版・紙 | 19.0×14.5

15. 藤田嗣治 | 猫のいる自画像 | c.1926 | ドライポイント・紙 | 32.5×24.5

16. 藤田嗣治 | 少年像 | c.1929 | 銅版・紙 | 34.5×24.5

17. 藤田嗣治 | 二匹の猫 | 1931 | リトグラフ・紙 | 27.0×37.5

18. 藤田嗣治 | 人形 | 1946 | 木版・紙 | 23.0×17.0
19. 藤田嗣治 | グッバイ・ニューヨーク | 1950 | 木版・コラージュ | 21.5×22.0
20. 藤田嗣治 | 帽子をかぶった少女 | 銅版・紙 | 16.0×17.0
21. 藤田嗣治 | 顔(8枚組絵皿) | 1947 | 陶器 | 各φ23.0
22. 藤田嗣治 | エッフェル塔(皿) | 1947 | 陶器 | φ30.5
23. 藤田嗣治 | アダムとイヴ(皿) | 1947 | 陶器 | φ30.5
24. 藤田嗣治 | 燭台女(壺) | 1947 | 陶器 | φ15.5×(h)25.5
25. 藤田嗣治 | 猫とネズミ | 1947 | 陶器 | 20.0×33.0×6.0
26. 藤田嗣治 | キス・ミー (人形・頭) | c.1946 | 彩色・木 | 8.5×19.0×4.5
27. 藤田嗣治 | キス・ミー (人形・全身) | 1946 | 彩色・木 | 24.5×16.0×4.5
28. 藤田嗣治 | 葉書(澤鑿治宛)1905年3月23日 | 1905年3月23日 | 水彩・紙 | 9.2×14.2
29. 藤田嗣治 | 葉書(澤鑿治宛)1905年6月4日 | 1905年6月4日 | 水彩・紙 | 9.0×14.2
30. 藤田嗣治 | 葉書(澤鑿治宛)1905年6月11日 | 1905年6月11日 | 水彩・紙 | 9.0×14.0
31. 藤田嗣治 | 葉書(澤鑿治宛)1905年6月15日 | 1905年6月15日 | 水彩・紙 | 9.2×14.1
32. 藤田嗣治 | 葉書(澤鑿治宛)1905年6月18日 | 1905年6月18日 | 水彩・紙 | 9.0×14.1
33. 藤田嗣治 | 葉書(澤鑿治宛)1905年6月26日 夜 | 1905年6月26日 | 水彩・紙 | 9.1×14.2
34. 藤田嗣治 | 葉書(澤鑿治宛)1905年9月10日 | 1905年9月10日 | 水彩・紙 | 9.1×14.2
35. 藤田嗣治 | 葉書(澤鑿治宛)1905年9月17日 | 1905年9月17日 | 水彩・紙 | 9.1×14.1
36. 藤田嗣治 | 葉書(澤鑿治宛)1905年9月19日 | 1905年9月19日 | 水彩・紙 | 9.2×14.2
37. 藤田嗣治 | 葉書(澤鑿治宛)1905年9月29日 | 1905年9月29日 | 水彩・紙 | 9.0×14.1
38. 藤田嗣治 | 葉書(澤鑿治宛)1906年2月18日 | 1906年2月18日 | 水彩・紙 | 9.0×14.4
39. 藤田嗣治 | 葉書(澤鑿治宛)日付不明 | 1905-6年 | 水彩・紙 | 9.1×14.0
40. 藤田嗣治 | ポスター (3)時代の証人・画家展(ガリエラ美術館) | 1960 | リトグラフ・紙 | 72.5×47.5
41. 藤田嗣治 | ポスター (4)フジタ展(ペトリデス画廊) | 1964 | リトグラフ・紙 | 67.0×48.4
42. 藤田嗣治 | トランク(遺品) | | 40.5×65.5×22.5
43. 藤田嗣治 | 10人の子どもたち | 1924 | 油彩・キャンパス | 114.4×144.3
44. 藤田嗣治 | 馬図 | 1934 | 墨・紙本(屏風) | 168.0×169.2
45. 藤田嗣治 | 鯨と蛙の図 | | 墨・紙本(屏風) | 68.5×163.2
46. 高崎剛 | 軽業師 D | 1928 | 油彩・キャンパス | 92×28

所蔵：すべて目黒区美術館

スケッチブックの使い方

—描いたり歩いたり、そしてまた描いたり—

会期：2011年7月23日(土)～9月19日(月・祝)
会場：展示室 ABC、展示ロビー、エントランスホール
主催：(公財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館
担当学芸員：山田敦雄

澤部清五郎(1884～1964)と小川千麿(1882～1971)は、ともに幼いころから学んだ日本画や仏画の素養を基本に、明治後期、十代で浅井忠の門下となり、聖護院洋画研究所ほかで洋画を学んだ。その後、澤部は川島織物のデザイナーとしての仕事を主とし、小川は南画に転じ、洋画を専門とする画家とはならなかったが、それぞれに独自の境地をひらき長く活躍した(澤部については1992年に『絵筆のゆくえ—インテリアへの道 澤部清五郎展』として回顧展を開催)。本展では、目黒区美術館で収蔵する澤部のスケッチブックと、個人蔵の小川のスケッチブックを中心に展示した。二人はそれぞれ、十代から晩年近くまで、常に身近にスケッチブックをおいて研鑽を重ね、身近な風景やスケッチのための旅行先、さらにもとにフランスに渡りヨーロッパで絵画を学んだ頃のものなど、非常に多くのスケッチブックを残している。本展では、通常のリターン展等では、ごく一部が紹介されるに過ぎないスケッチブックに注目して、複製を用いてできるだけ多くのページを展示して、画家が日常的に描いたスケッチブックの魅力と、ふたりの卓越したスケッチの「冴え」を紹介しようと試みた。同時期に開催されたスケッチ、スケッチブックをテーマとするワークショップと連動して開催した。

●カタログ

会場配布物のみ

●広報印刷物

ポスターB3 / チラシA4

●関連催事

ワークショップや対談などは教育普及の項参照(p.89)



A4 チラシ

スケッチブックの使い方 出品リスト

■小川千麿

No.	作品名	制作年	寸法(cm)	技法・素材	所蔵者	備考
1~75	スケッチブック	1904頃~1960頃		鉛筆・色鉛筆・水彩ほか・スケッチブック	個人蔵	滞欧期(1913)11点を含む75点と約1900点の複製
76	フランクフルト風景	1913	19.5×17.4	水彩・紙	目黒区美術館蔵	
77	セーブル風景	1913	23.7×18.5	水彩・紙	目黒区美術館蔵	
78	フランクフルト風景	1913	23.8×32.0	水彩・紙	目黒区美術館蔵	
79	習作群 A	1914		水彩・紙	個人蔵	13点
80	習作群 B	1915		水彩・紙	個人蔵	12点
81	游踪集	1941		紙本着彩(画帖)三十面	個人蔵	
82	西洋大津絵	1916頃	63.0×30.0	木版・手彩色・紙	個人蔵	16点
83	(題名不詳)	不明	135.0×50.5	紙本着彩(軸装)	個人蔵	
84	漁人小燕	不明	130.5×32.5	紙本着彩(軸装)	個人蔵	
85	田園風景	不明	35.5×44.0	紙本着彩(軸装)	個人蔵	

■澤部清五郎

1~65	スケッチブック	1904頃~1960頃		鉛筆・色鉛筆ほか・スケッチブック	目黒区美術館蔵	滞欧米期(1909~13)8点を含む65点と約1800点の複製
66	ハドソン河	1910	22.5×31.2	油彩・ボード	目黒区美術館蔵	
67	ナハント海岸	1911	23.6×31.0	油彩・ボード	目黒区美術館蔵	
68	窓からのながめ(1)	1911	31.0×23.5	油彩・ボード	目黒区美術館蔵	
69	ハドソン河	1911~12	23.0×31.0	油彩・ボード	目黒区美術館蔵	
70	窓からのながめ(2)	1911	22.5×33.2	油彩・ボード	目黒区美術館蔵	
71	ヴァン・コートランド・パーク	1911	22.8×31.2	油彩・ボード	目黒区美術館蔵	
72	秋の風景	1911~1912	31.0×22.8	油彩・ボード	目黒区美術館蔵	
73	米国の婦人	1912	31.0×22.5	油彩・ボード	目黒区美術館蔵	
74	アトリエにて	1912	51.0×40.5	油彩・キャンバス	目黒区美術館蔵	
75	サンマルタンの橋	1912	40.0×26.5	水彩・紙	目黒区美術館蔵	
76	コルドバ	1912	40.0×26.5	水彩・紙	目黒区美術館蔵	
77	セゴビア	1912	40.0×26.5	水彩・紙	目黒区美術館蔵	
78	セゴビアの城門	1912	40.0×26.5	水彩・紙	目黒区美術館蔵	
79	セゴビアの家	1912	40.0×26.5	水彩・紙	目黒区美術館蔵	
80	セゴビアの暮	1912	30.3×23.0	水彩・紙	目黒区美術館蔵	
81	サンセバスチアンの家	1912	40.0×26.5	水彩・紙	目黒区美術館蔵	
82	ムードンの画室街	1912	27.0×35.0	油彩・ボード	目黒区美術館蔵	
83	セーヌ河畔	1912	15.2×22.0	油彩・板	目黒区美術館蔵	
84	初夏のカフェ	1912	32.5×24.7	油彩・ボード	目黒区美術館蔵	
85	ルクサンブル公園の冬	1912	35.0×27.0	油彩・ボード	目黒区美術館蔵	
86	(風景)	1912~13	35.5×25.5	水彩・紙	目黒区美術館蔵	
87	モナコのヨット	1912~13	29.3×45.0	水彩・紙	目黒区美術館蔵	
88	シエーナ	1913	45.0×29.3	水彩・紙	目黒区美術館蔵	
89	カプリ	1913	27.0×35.0	油彩・ボード	目黒区美術館蔵	
90	髪結える少女	1913	72.6×59.9	油彩・キャンバス	目黒区美術館蔵	
91	ルクサンブル公園の人形芝居	1913	27.0×35.0	油彩・板	目黒区美術館蔵	
92	巴里の朝霧	1913	27.0×35.0	油彩・ボード	目黒区美術館蔵	
93	パリの街角	1913	22.0×15.2	油彩・板	目黒区美術館蔵	
94	シンガポール、船上にて	1913	23.0×30.0	水彩・紙	目黒区美術館蔵	
95	裸婦	不明	65.2×50.2	油彩・キャンバス	目黒区美術館蔵	
96	習作	昭和初期か	32.2×41.0	油彩・板	目黒区美術館蔵	

DOMA秋岡芳夫展—モノへの思想と関係のデザイン

会期：2011年10月29日(土)～12月25日(日) 50日間

会場：展示室 ABC、展示ロビー、エントランスホール、ワークショップ

主催：(公財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会

助成：公益財団法人野村財団

研究助成：公益財団法人ポーラ美術振興財研究団

協賛：ライオン、清水建設、大日本印刷、損保ジャパン、日本テレビ放送網

協力：東北工業大学、北海道置戸町、岩手県洋野町、高根県益田市匹見町、株式会社イーストウエスト、株式会社ヒノキ工芸

後援：目黒区、社団法人日本インダストリアルデザイナー協会、一般財団法人クラフト・センター・ジャパン、社団法人日本クラフトデザイン協会

担当学芸員：降旗千賀子

秋岡芳夫(1920～1997)は、目黒区ゆかりの工業デザイナー。1953年に、河潤之介と金子至と KAK デザイングループを立ち上げ、日本の工業デザイン黎明期に、光学機器などにすぐれたデザインを残している。高度成長期には、本場のデザインの在り方を世に問うなど、確固たる考え方を貫いた。1980年代には、岩手県大野村や北海道置戸町の地域産業の開発などに、かかわり、日本のモノづくりのあり方を提案した。これまで、あまり知られていなかった秋岡芳夫について、2009年、ポーラ美術振興財団の研究助成を受けて本格的な調査を行い、その研究成果としての展覧会となった。童画、進駐軍の家具、工業デザイン、道具のコレクションなど、さまざまな仕事に関わりながら、常に生活スタイルを考え、新しい提案を次々に打ち出した秋岡芳夫の全貌を初めて紹介した。震災後、生活やモノの価値観が変わった今、秋岡芳夫の思想は、あらためて多くのデザイナーを志す人々の心に深く刻まれた。会期中は、ワークショップにて、秋岡芳夫の関係者の方々による講座が開かれ、活気のある展覧会となった。

●カタログ

寸法：26.0×19.0cm / ページ数：220ページ / デザイン：中野デザイン事務所

内容：ごあいさつ / 遊・学の人生デザイン [山下三郎] / 秋岡の手の中にあった小宇宙 [山中俊治] / 戦後日本のデザインと秋岡芳夫—デザインの内的発展へ向けて [向井周太郎] / 索引年表 / I 章・子どものための大人 / II 章・工業デザインの時代—KAK デザイングループ / III 章・消費者から愛用者へ—作り手と使い手を結ぶ、生活への提案 / IV 章・地域と手仕事—裏作工芸のすすめ / V 章・道具考—モノの図書館構想 / VI 章・嗜好と思考のトレーニング / 秋岡芳夫の創り方—余は如何にして秋岡芳夫になりし乎 [秋岡陽] / 秋岡芳夫と KAK デザイングループ [白井新太郎] / FD 中小企業デザイン機構初期事業から104会議室 [小畑廣永] / 秋岡さんが地域社会に残したもの [時松辰夫] / 秋岡芳夫とモノ・モノのこ—沢山の種を [山口泰子] / 秋岡芳夫と第三生産技術研究室 [舩岡和夫] / 紐とかれた箱 [降旗千賀子] / 略年譜 / 主要文献—秋岡芳夫と其の活動に関して / 出品目録

●広報印刷物

ポスター B2 (4 C) / チラシ A4 / DM (はがきサイズ) / デザイン：中野デザイン事務所

●関連催事

*ミュージアムコンサート

DOMA 秋岡芳夫展 関連催事「ショーロクラブ」

出演：弦楽ユニット ショーロクラブ

[秋岡政(バンドリン)、笹子重治(アコースティック・ギター)、沢田穰治(コントラバス)]

日時：10月30日(日)午後3～4時

参加者：100名

*ワークショップなどの催しは、教育普及の項参照(p.90)

●主要関連記事

浦川愛亜「関係をつなぐデザイン」『AXIS』株式会社アクシス 2011年10月 vol.153

佐野由佳「小特集 秋岡芳夫の〔目〕と〔口〕と〔言葉〕」『住む。』 泰文館 2011年11月 no.39

秋岡陽、須田マユミ「いっしょにつくり、遊び、教わった日々。interview 父・秋岡芳夫のこと」『住む。』 泰文館 2011年11月 no.39

岩本恵美「大人も夢中になる竹とんぼ」美・博ピックアップ 『朝日新聞』2011年11月16日
 岸桂子「メカから竹とんぼへ」@展覧会 秋岡芳夫展 『朝日新聞』2011年11月22日夕刊
 宝玉正彦「のこぎり、金づち・・・配置の妙」文化 『日本経済新聞社』2011年11月23日朝刊
 日野明子「あぐらOK 日本男児の椅子」いま風 ごほうび『読売新聞』2011年12月5日
 川上典季子「手の復権を訴えた デザインの先駆者」ART 『PEN』阪急コミュニケーションズ 2011年12月 no.304
 「秋岡芳夫の竹とんぼDAY S」Stardust『芸術新潮』新潮社 2012年1月 no.745
 高橋美礼「現代デザイナーの先駆者 秋岡芳夫の仕事を振り返る」『いけ花瀧生』瀧生華道会 2012年1月 no.621
 井上典子「いまこそ求められる、秋岡芳夫のまなざし」『コンフォルト』2012年2月 no.125



A 4 チラシ



会場写真 撮影：桜井ただひさ

秋岡芳夫展 出品リスト

凡例：出品番号 | 作品・資料名 | 制作年 | 技法／素材 | 寸法(センチ) | 所蔵先(記載のないものはすべて秋岡家蔵)

■ I 章 子どものための大人

I-1 [カードゲーム用折りたたみ椅子]

1946年 | ナラ(合板) | 51.2×43.5×77.5 | 家具の博物館

I-2-1 [TABLE, BRIDGE & CHAIRS, BRIDGE] 姿図

1946年 | 青焼／紙 | 20.5×29.0

I-2-2 [RACK, MAGAZINE] 姿図

1946年 | 青焼／紙 | 29.0×20.5

I-2-3 [BABY, CRIBS] 姿図

1946年 | 青焼／紙 | 20.5×29.0

I-2-5 [DESK, WRITING] 姿図

1946年 | 青焼／紙 | 20.5×29.0

I-2-6 [BASKET, WASTE PAPER] 姿図

1946年 | 青焼／紙 | 29.0×20.5

I-2-7 [CHAIRS LIVING R. WARM] 姿図

1946年 | 青焼／紙 | 29.0×20.5

I-3 DH 家具のための下図

1946年 | 鉛筆／紙 | 26.1×36.7

I-4 カードゲーム用テーブルと椅子(折りたたみ式)スケッチ

1946年 | 鉛筆／紙 | 26.1×36.7

I-5 [RACK, MAGAZINE] スケッチ

1946年 | ペン／トレーシングペーパー | 21.0×30.5

I-6 [BABY, CRIBS] スケッチ

1946年 | 鉛筆／紙 | 26.1×36.7

I-8 椅子 スケッチ

- I-9 19世紀初頭の椅子ほか スケッチ
1946年 | 着彩/紙 | 30.9×39.3
- I-10 ひじかけ椅子スケッチ
1946年 | 着彩/紙 | 30.8×39.7
- I-11 日本版『DEPENDENTS HOUSING』
編:GHQ DESIGN BRANCH STAFF. | 商工省工芸指導所 | 発行:
デペンデントハウス技術資料刊行会 | 1948年 | 26.5×36.5 | 小泉
和子生活史研究所
- I-13 [UNIT 4 FOR PUPP.]
1946年 | 着彩/紙 | 19.3×14.4(外袋)
- I-14 [ロクロノガングノタメノイシヨ。1 1946-2-15] | (82点)
1946年 | 着彩/紙 | 30.3×24.8
- I-15 ロクロ玩具のためのアイデアスケッチ | (7点)
1946年 | 着彩/紙 | 30.8×39.5(最大)
- I-20 作品(水族館)
1950年 | 着彩/紙 | 35.4×47.2
- I-21 [大きな風]
1950年 | 着彩/紙 | 35.4×46.8
- I-22 作品(ジャングルジム)
1950年 | 着彩/紙 | 34.5×47.7
- I-23 [不死鳥(フェニックス)とマッチ売り]
1950-1955年頃 | 着彩/紙 | 46.0×53.0
目黒区美術館
- I-24 作品(HERSHEY'S)
1951年 | 着彩/紙 | 72.2×106.1 | 目黒区美術館
- I-25 [小鳥たち]
1951年 | 着彩/紙 | 32.0×40.8 | 目黒区美術館
- I-26 [人魚姫]
1953年 | 着彩/紙 | 36.1×51.4
- I-27 [蟻の巣見つけたよ]
1954年 | 着彩/紙 | 55.7×74.4 | 目黒区美術館
- I-28 [飛行カバン] 下絵 アンデルセン童話
1954年頃 | 墨/紙 | 47.8×39.0
- I-29 作品(つばめ)
1946年頃 | 着彩/紙 | 27.6x40.0
- I-30 [Atomic Age]
1950 ~ 1955年頃 | 水彩、ガラス版/紙 | 16.2×23.2
- I-31 作品(鳥と顔)
1951年 | 着彩/ガラス | 15.3×23.0
- I-32 作品(桃色の動物)
1951年 | 着彩/紙 | 25.1×35.7
- I-33作品(馬と人)
1951年 | 墨/紙 | 33.5×48.2
- I-34 [太郎のロケット実験] 絵本のための草稿(未完)
1947年 | 着彩/紙 | 31.9×22.2
- I-35 [グリム童話 ものしりはかせ]
1947年 | 企画・文:豊坂徳衛、絵:秋岡芳夫 | 発行:組合書店 |
25.6×18.0
- I-36-1 [モノシリハカセ] 表紙草稿
1946年 | 着彩/紙 | 31.7×22.0
- I-36-2 [モノシリハカセ] 表紙草稿
1946年 | 着彩/紙 | 27.1×36.9
- I-36-3 モノシリハカセ] 表紙草稿
1946年 | 着彩/紙 | 26.3×36.8
- I-36-4 8 [モノシリハカセ] 本文草稿
1946年 | 着彩/紙 | 30.7×39.4(最大)
- I-37-1 装丁原画『一ばんつよいのはだれだ』世界童話異集
1948年 | 着彩/紙 | 24.3×34.4
- I-37-2 装丁原画『学校童謡劇集』
1949年頃 | 着彩/紙 | 24.3×36.2
- I-38-40 『鹿島鳴秋童謡曲集 第1集』と表紙草稿
1949年 | 著:鹿島鳴秋、挿絵:秋岡芳夫 | 発行:白眉社
- I-41 [音楽児童劇 虫の王子]
1950年 | 作・脚本:鹿島鳴秋、装丁:秋岡芳夫 | 発行:白眉社
- I-42 [ふらんす童話集]
1951年 | 著:井伏鱒二他、装丁:初山滋、挿絵:秋岡芳夫 | 発行:
河出書房
- I-43 [グリム童話集]小学校全集21
1952年 | 著:杉山産七、装丁:庫田、表紙絵・口絵・挿絵:秋岡
芳夫 | 発行:筑摩書房
- I-44 [ABCの歴史]
1953年 | 著:勝見勝、装丁・挿絵:秋岡芳夫 | 発行:さ・え・ら
書房
- I-45 [1年生のがくしゅうずかん]
1954年 | 装丁:秋岡芳夫 | 発行:学習研究社
- I-46 [現代百科 No.10 えほんがっこう]
1954年 | 挿絵:秋岡芳夫 | 発行:日本織物出版社
- I-47 [少年少女 学習百科大辞典 第四巻 世界の国々]
1956年 | 挿絵:秋岡芳夫 | 発行:学習研究社
- I-48 [2年の学習文庫-1 シャカいかずかん]

1956年 | 装丁：秋岡芳夫 | 発行：学習研究社

I-49 [4年生の飼育・かんさつブック]

1957年 | 装丁：秋岡芳夫 | 発行：学習研究社

I-50 [工作の友]

1958年 | 著：公楽源一郎、装丁：秋岡芳夫 | 発行：学習研究社

I-51 [現代人]

1953年 | 銅版画(メゾチント・エッチング) / 紙 | 17.0×16.8

I-52 [夜の楽士達]

1953年 | 銅版画(メゾチント) / 紙 | 12.2×17.5

I-53 [分裂現象]

1954年 | 銅版画(アクアチント、ドライポイント) / 紙 | 12.4×21.8

I-54 [壁のある道]

1954年 | 銅版画(アクアチント) / 紙 | 17.5×9.1

I-55 作品

1952年頃 | 銅版画(メゾチント、エッチング)、墨 / 紙 | 14.5×17.7

I-56,57 さかな

1950年代前半 | 鉄 | (大)9.0×38.0、(小)6.4×23.0

I-58 [がっけんくみき]

1956年～1957年 | デザイン：秋岡芳夫、制作：学習研究社(現：(株)学研ホールディングス)木 | 15.4×69.0×10.7(収納箱) | 置戸町森林工芸館

■II章 工業デザインの時代—KAK デザイングループ

II -1 [クライスラーキャビキット S-13]

1955年 | KAK + 佐藤電気産業株式会社 | 20.5×50.0×24.0

II -2 [クライスラーキャビキット5M-2]

1955年 | KAK + 佐藤電気産業株式会社 | 21.0×44.0×23.0

II -3 [クライスラーキャビキット H-22]

1955年 | KAK + 佐藤電気産業株式会社 | 21.5×57.5×28.5

II -4 [クライスラーキャビキット MS-200]

1956年 | KAK + 佐藤電気産業株式会社 | 14.6×44.0×22.6

II -5 [クライスラーキャビキット MS-300]

1958年 | KAK + 佐藤電気産業株式会社 | 17.5×34.5×32.3

II -6 [クライスラーキャビキット M-3]

制作年不明 | KAK + 佐藤電気産業株式会社 | 13.0×36.0×21.3 | オー・デザインコレクション

II -7 [アイデアを生かした家庭の工作]

1953年 | デザイン・製作：KAK グループ | 発行：雄鶏社 | 個人蔵

II -8 [高さの変る腰かけ] 1、2

1960年代 | KAK | 合板 | 32.0×32.8×39.0 | 個人蔵

II -9 [ガイド L-7] 露出計

1955年 | KAK + 成光電機工業株式会社(現：株式会社セコニック) | 5.4×4.3×2.3 | 個人蔵

II -10 [セコニック LV ペット] セコニック ペットシリーズ露出計

1955年頃 | KAK + 成光電機工業株式会社 | 6.8×3.8×2.0

II -11 [セコニックムービーペット] セコニック ペットシリーズ露出計

1955年頃 | KAK + 成光電機工業株式会社 | 6.7×3.8×1.9 | 個人蔵

II -12 [セコニックカラーメーター タイプ CT-2] 2色 色温度計

1955年 | KAK + 成光電機工業株式会社 | 10.5×6.4×2.8

II -13 [セコニックモデル21] 露出計

1956年 | KAK + 成光電機工業株式会社 | 7.9×5.4×3.0 | 個人蔵

II -14 [セコニックモデル21b] 輸出用露出計

1956年頃 | KAK + 成光電機工業株式会社 | 7.9×5.4×3.0 | 個人蔵

II -15 [ノーウッドディレクター エクスポジュールメーターモデル S] 露出計

1957年頃 | KAK + 成光電機工業株式会社 | 11.3×5.8×3.3 | 個人蔵

II -16製品名不明 セコニック露出計

1959~1961年頃 | KAK + 成光電機工業株式会社 | 8.5×4.9×3.5

II -17 [セコニックオートリーダー モデル38] 露出計

1961年 | KAK + 株式会社セコニック | 9.0×5.0×2.5 | 山鬼文庫

II -18 [セコニックオートリーダー 3 S4 モデル 162] 露出計

1961年頃 | KAK + 株式会社セコニック | 8.9×4.9×2.4

II -19 [セコニックプロジェクター 8] 8ミリ映写機

1958年 | KAK + 成光電機工業株式会社 | 26.0×19.4×29.0

II -20 [セコニックエルマチック 8 53B] 8ミリ撮影機

1958年 | KAK + 成光電機工業株式会社 | 15.0×7.0×15.0

II -21 [セコニック80P] 8ミリ映写機

1959~1961年頃 | KAK + 株式会社セコニック | 28.5×13.3×27.0

II -22 [ミノルタオートワイド]

1958年 | KAK + 千代田光学精工株式会社 | 5.6×13.6×8.2 | コニカミノルタホールディングス株式会社

II -23 [ミノルタ V2]

1958年 | KAK + 千代田光学精工株式会社 | 7.0×13.7×8.2 | コニカミノルタホールディングス株式会社

II -24 [ミノルタ V3]

1960年 | KAK + 千代田光学精工株式会社 | 7.2×13.7×8.5 | コニカミノルタホールディングス株式会社

- II -25 [ミノルタユニオマット II]
1961年 | KAK + 千代田光学精工株式会社 | 7.3×13.7×8.1 | コニ
カミノルタホールディングス株式会社
- II -26 [ミノルタハイマチック]
1962年 | KAK + 千代田光学精工株式会社 | 6.7×13.8×8.4 | コニ
カミノルタホールディングス株式会社
- II -27 [ミノルタズーム8] 8ミリ撮影機
1962年 | KAK + 千代田光学精工株式会社 | ダイキャストボディ
| 18.0×5.6×21.4 | コニカミノルタホールディングス株式会社
- II -28 [ミノルタミノルチナ8] 8ミリ撮影機
1964年 | KAK + ミノルタカメラ株式会社 | 18.4×4.8×11.8 | コ
ニカミノルタホールディングス株式会社
- II -29 [ミノルタオートズーム8] 8ミリ撮影機
1964年 | KAK + ミノルタカメラ株式会社 | 20.7×6.8×20.1 | コ
ニカミノルタホールディングス株式会社
- II -30 [ミノルタオートバック-8K5] 8ミリ撮影機
1966年 | KAK + ミノルタカメラ株式会社 | 19.0×7.7×17.1 | コ
ニカミノルタホールディングス株式会社
- II -31 [ミノルタオートバック-8 K11] 8ミリ撮影機
1967年 | KAK + ミノルタカメラ株式会社 | 19.4×7.7×17.1 | コ
ニカミノルタホールディングス株式会社
- II -32 [ミノルタオートバック-8 S3] 8ミリ撮影機
1967年 | KAK + ミノルタカメラ株式会社 | 19.3×6.2×16.4 | コ
ニカミノルタホールディングス株式会社
- II -33 [三菱鉛筆 uni]
1958年 | KAK + 三菱鉛筆株式会社 | 木・黒鉛 | 17.5 | 三菱鉛筆
株式会社
- II -34 [三菱鉛筆 uni] ダース箱
1958年 | KAK + 三菱鉛筆株式会社 | プラスチック、アルミ | 7.5
×21.4×2.2 | 三菱鉛筆株式会社・山鬼文庫
- II -35 [三菱鉛筆 Hi-uni] 3本セット箱
1967年 | KAK + 三菱鉛筆株式会社 | プラスチック、アルミ | 2.5
×18.4×1.1 | 三菱鉛筆株式会社
- II -36 [ゼンザプロニカ D] 試作機
1950年代後半 | 秋岡芳夫+プロニカカメラ株式会社
(現: 株式会社タムロン) | 13.6×8.9×8.6 | 株式会社タムロン
- II -37 [ゼンザプロニカ D] 市販機
1959年 | 秋岡芳夫+プロニカカメラ株式会社 | 13.6×8.9×8.6 | 株
式会社タムロン
- II -38 [ライラック ランサーマーク V MF39]
1960年 | KAK + 丸正自動車製造株式会社 | 205.0×64.5×99.0 |
浅間記念館(NPO 浅間ミーティングクラブ)
- II -39 [シルバービジョン ゲールペット]
(元: [ライラック モペット AS71]
1960年 | KAK + 丸正自動車製造株式会社) | 1961年以降販売 新
- 三菱重工株式会社
162.4×62.4×98.5 | 個人蔵
- II -40 トランジスタクロックラジオ
1961年 | KAK + 日本電気株式会社 | 6.8×26.2×14.0
- II -41 [NT-625 トランジスター 6] トランジスターラジオ
1959年 | KAK + 日本電気株式会社 | 2.6×6.7×10.6
- II -42 [NT-730 トランジスター 7] トランジスターラジオ
1961年 | KAK + 日本電気株式会社 | 2.7×13.0×8.4
- II -43 キング ベルト式タンク(現像用タンク)
1958年 | KAK + 株式会社浅沼商会 | (大)径14.0×20.5、(小)径
14.0×10.0 | 個人蔵
- II -44 [デンソク ミニコ] 膜厚計
1959年 | KAK + 電測工業株式会社 | 10.5×7.4×3.7
- II -46 [風向風力計] (5年の理科教材)
1964年頃 | KAK + 学習研究社 | 9.2×20.5×3.0(箱寸法) | (株)学
研ホールディングス
- II -47 [こまあそびセット1] ([2年のかがく]新年特大号)
1964年 | KAK + 学習研究社 | 径4.7×6.4 | (株)学研ホールディ
ングス
- II -48 [でんきしらべすたんぶせつと] ([1年のかがく]6号)
1964年 | KAK + 学習研究社 | 8.9×16.5×2.3 | (株)学研ホール
ディングス
- II -49 [日どけきたいようめがね] ([2年のかがく]4号)
1964年 | KAK + 学習研究社 | 15.5×14.5×10.0(株)学研ホール
ディングス
- II -50 [よく走るせん水せん] ([2年のかがく]夏の特別号)
1964年 | KAK + 学習研究社 | 7.5×31.5×5.7 | (株)学研ホール
ディングス
- II -51 [幼虫しいくケース] ([4年の科学]6号)
1964年 | KAK + 学習研究社 | 径12.0×7.1 | (株)学研ホールディ
ングス
- II -52 [発芽実験セット] ([5年の科学]4号)
1964年 | KAK + 学習研究社 | 径9.8×2.3 | (株)学研ホールディ
ングス
- II -53 [化学実験セット-2] ([5年の科学]11号)
1964年 | KAK + 学習研究社 | 木 | 7.8×16.6×7.8 | (株)学研ホー
ルディングス
- II -54 [水レンズセット] ([6年の科学]5号)
1964年頃 | KAK + 学習研究社 | 8.0×23.8×2.5(箱寸法) | (株)学
研ホールディングス
- II -55 [金属実験セット] ([6年の科学]11号)
1964年頃 | KAK + 学習研究社 | 21.7×16.6×0.9 | (株)学研ホー
ルディングス

II -56 [鉱物硬度計] (『中1の科学』3号)
1964年 | KAK + 学習研究社 | 7.5×15.5×2.0 | 個人蔵

II -57 [風速計] (『中2の科学』7号)
1965年 | KAK + 学習研究社 | 5.2×3.8×4.0 | 個人蔵

II -58 [けい帯用乾湿球湿度計] (『中2の科学』4号)
1964～1965年 | KAK + 学習研究社 | 7.1×21.9×2.3 | 個人蔵

II -59 [てんきしらべすたんぷせつと] (『1年のかがく』7号)
1965年 | KAK + 学習研究社 | 6.6×19.4×3.0 | (株)学研ホールディングス

II -60 [テスター] (『6年の科学』3号)
1965年 | KAK + 学習研究社 | 6.9×7.7×2.1 | (株)学研ホールディングス

II -61 [解ぼう器セット] (『6年の科学』臨時増刊号)
1966年頃 | KAK + 学習研究社 | 12.1×18.9×2.2 | 個人蔵

II -62 [こきゅう消化実験セット] (『6年の科学』-6 春の研究号)
1966年 | KAK + 学習研究社 | 3.5×8.0×11.0 | (株)学研ホールディングス

II -63 [歯車・かっ車セット] (『6年の科学』-11 秋の研究号)
1966年 | KAK + 学習研究社 | 5.2×17.6×2.0(カウンター時) | (株)学研ホールディングス

II -64 [水ぐるま] (『2年のかがく』10号2学期開始号)
1966～1967年 | KAK + 学習研究社 | 7.7×13.0×19.7 | 個人蔵

II -65 [せんぼうきょうかがみ遊びセット]
(『3年の科学』-3 冬から春の研究号)
1968年 | KAK + 学習研究社 | 6.0×28.3×6.2 | 個人蔵

II -66 [太陽熱湯わかし器] (『5年の科学』-8 夏の研究号)
1967年 | KAK + 学習研究社 | 25.0×30.0×25.0 | (株)学研ホールディングス

II -67 [風しらべひこうき] (『2年のかがく』-7 夏のはじめ研究号)
1967年 | KAK + 学習研究社 | 45.7×23.8×9.8 | (株)学研ホールディングス

II -68 [温度計] (『3年の科学』5号)
1967年 | KAK + 学習研究社 | 21.3×3.5×1.2 | (株)学研ホールディングス

II -69 [かぜじどうしゃ] (『1年のかがく』-9 夏休み特別号)
1967年 | KAK + 学習研究社 | 22.0×11.0×13.0 | (株)学研ホールディングス

II -70 [動く乗り物セット] (『3年の科学』-9 夏休み特別号)
1967年 | KAK + 学習研究社 | 17.3×27.0×12.3 | (株)学研ホールディングス

II -71 [風向計・風速計] (『5年の科学』-4 進級お祝い号理科教材)
1968年 | KAK + 学習研究社 | 5.3×29.0×25.3(風向計) / 22.0×25.0×17.2(風速計) | 個人蔵

II -72 [かんさつけーす] (『1年のかがく』-7 夏のはじめ研究号)
1968年 | KAK + 学習研究社 | 径13.9×14.2 | (株)学研ホールディングス

II -73 [太陽熱温水実験器] (『5年の科学』-5 1学期開始号)
1968年 | KAK + 学習研究社 | 15.5×20.4×18.7 | (株)学研ホールディングス

II -74 [ジェットボート・ふちんし] (『4年の科学』9号)
1967年 | KAK + 学習研究社 | 12.0×25.5×5.1 | (株)学研ホールディングス

II -75 [ゴムの力テストカー] (『3年の科学』-9 夏休み特別号)
1968年 | KAK + 学習研究社 | 15.4×17.4×5.8 | (株)学研ホールディングス

II -76 [いろ水じっけんセット] | (『1年のかがく』-10 2学期開始号)
1968年 | KAK + 学習研究社 | 6.0×18.8×7.7 | 個人蔵

II -77 [ふんすいじっけんせつと] | (『1年のかがく』-8 夏の研究号)
1969年 | KAK + 学習研究社 | 13.0×12.5 | (株)学研ホールディングス

II -78 [テストカー] (『3年の科学』-1 新年特大号)
1969年 | KAK + 学習研究社 | 23.0×27.0×10.5 | 個人蔵

II -79 [研磨セット] (『6年の科学』-9 夏休み特別号)
1969年 | KAK + 学習研究社 | 8.4×14.2×2.9 | 個人蔵

II -80 [実験カメラ] (『5年の科学』-1 新年特大号)
1970年 | KAK + 学習研究社 | 9.0×8.4×11.9 | 個人蔵

II -81 [てんびんセット] (『4年の科学』-10 2学期開始号)
1970年 | KAK + 学習研究社 | 5.5×30.0×14.5 | 個人蔵

II -82 [色水実験セット] (『3年の科学』-10 2学期開始号)
1970年 | KAK + 学習研究社 | 5.2×7.2×12.7 | 個人蔵

II -83 KAK 写真 | 撮影: KAK | プリント | 個人蔵

II -84-1-27 [学研テスト] | 1956～1960年 丁: 秋岡芳夫 | 発行: 学習研究社

II -85 [FD 契約書フォーマット]
1968年 | FD 中小企業デザイン機構 | A4判

II -86 [FD デザイン計算書フォーマット]
1968年 | FD 中小企業デザイン機構 | A4判(4種)

■第三章 消費者から愛用者へ
一作り手と使い手を結ぶ、生活への提案

III -1 [Total design とその実際]
1969年頃 | ペン/紙 | B5判(9点)

III -2 [Total design とその実際] 草稿
1970年 | ペン/紙 | B4判(6点)、B5判(2点) | 個人蔵

- Ⅲ -3 [会議によるデザインの必要(1),(2)]
1970年 | ペン/紙 | B4判(2点)
- Ⅲ -4 会議によるデザイン環境図
1969~1972年頃 | ペン/紙 | B4判(6点)
- Ⅲ -5 「1970年代のデザインの展望」
1971年 | ペン/紙 | 36.4×26.7(18点)
- Ⅲ -6-1 ことばによるアイデアスケッチ
1969年 | プロジェクトメンバー | ペン/紙、トレーシングペーパー | 29.7×21.0(18点) | 個人蔵
- Ⅲ -6-2 子どもの遊びとキーワードのプレゼンテーション
1969年 | 写真撮影：秋岡芳夫、 | キーワード：プロジェクトメンバー | 35mmモノクロスライド(31点)
- Ⅲ -6-3 子どもの活動領域
1969年 | プロジェクトメンバー | マーカー/紙 | 61.0×36.4(最大のもの) (5点)
- Ⅲ -6-4 子どものための家具アイデアスケッチ
1969年頃 | ペン/クロッキーブック | 36.0×26.5
- Ⅲ -6-5 子どものための家具アイデアスケッチ
1969年頃 | ペン/クロッキーブック | 21.7×42.0
- Ⅲ -7-1 [エバーウエアシリーズ エバーポット] 魔法瓶
1971年 | プロジェクトメンバー + 東新プレス工業株式会社 | 金属、プラスチック | 18.7×径14.0×27.0 | 個人蔵
- Ⅲ -7-2 [エバーポット] プレゼンテーション用レンダリング第3次案
1971~1972年 | プロジェクトメンバー | 着彩/紙 | 36.4×53.6(最大)
- Ⅲ -7-3 [エバーポット] プレゼンテーション用レンダリング第3次案選定8点
1971~1972年 | プロジェクトメンバー | 着彩/紙 | 53.8×38.7(最大)
- Ⅲ -7-4 [エバーポット] 以降の新展開のためのレンダリングとスケッチ
1971~1972年 | プロジェクトメンバー | 着彩/紙、トレーシングペーパーなど | 63.3×45.0(最大)
- Ⅲ -8-1 104XY プロジェクトプレゼンテーション用スライド
1972年 | プロジェクトメンバー | 35mm カラーズライド(約180点) | 個人蔵
- Ⅲ -8-10 車環境 6つの場面
1972年 | 着彩/イラストボード | 36.4×51.6
- Ⅲ -8-11 [巾の広い車は路面公害を起こす!巾のせまい車を作ろう!]
1972年 | 着彩/イラストボード | 31.7×33.2
- Ⅲ -9-1 漫画によるレンダリング(アクリルパネルのエッジライトを活かした間仕切りパネル)
1970年 | 着彩/紙 | 30.0×43.0
- Ⅲ -9-2 漫画によるレンダリング(万年カレンダー A,B)
1970年 | 着彩/紙 | 30.0×43.0
- Ⅲ -9-3 漫画によるレンダリング(オーナメント TYPE A,B,C,D)
1970年 | 着彩/紙 | 30.0×43.0
- Ⅲ -9-4 漫画によるレンダリング(アクリルカラー BOX)
1970年 | 着彩/紙 | 30.0×43.0
- Ⅲ -9-5 漫画によるレンダリング(アクリル角棒つなぎ：コートハンガー)
1970年 | 着彩/紙 | 30.0×43.0
- Ⅲ -9-6 漫画によるレンダリング(BOIN まど)
1970年 | 着彩/紙 | 30.0×43.0
- Ⅲ -9-7 漫画によるレンダリング(スケジュール時計)
1970年 | 着彩/紙 | 30.0×43.0
- Ⅲ -9-8 漫画によるレンダリング(照明器具、ポールディスプレイパネル、ペンダントディスプレイパネル)
1970年 | 着彩/紙 | 30.0×43.0
- Ⅲ -10 デザイナーの仕事・契約に関するイラスト(出典『デザイン戦術—中堅企業と工業デザイナー—』編：豊口克平、発行：ダイヤモンド社 挿図原画)
1965年 | ペン/紙
- Ⅲ -11 『割ばしから車(カー)まで』表紙草稿
1971年 | 着彩/紙 | 18.3×25.8
- Ⅲ -12 『割ばしから車(カー)まで』
1971年 | 著：秋岡芳夫 | 発行：柏樹社
- Ⅲ -13 紙工作
1969~1970年 | ケント紙など | 20.0(最大) | (約160点)
- Ⅲ -14 秋岡芳夫のメッセージとモノ・モノ
2011年 | 主催 グループモノ・モノ | 72.0×36.0×5.0
- Ⅲ -15 [今日のクラフト展—くらしの提案]
主催：財団法人クラフトセンタージャパン、提案：グループモノ・モノ
1971年10月
- Ⅲ -16 [素木(しらき)のモノ展]
主催 財団法人クラフトセンタージャパン、企画 グループモノ・モノ | 1974年1月
- Ⅲ -17 てば イタヤカエデ、桜皮 | 31.0×31.0×16.0 | 置戸町森林工芸館
- Ⅲ -18 てば イタヤカエデ | 径33.0×28.0
- Ⅲ -19 丸盆 ケヤキ | 径30.8×5.5
- Ⅲ -20 こね鉢 トチ | 径30.5×9.5 | モノ・モノ

Ⅲ -21 こね鉢 トチ | 径47.0×11.5 | 置戸町森林工芸館

Ⅲ -22 一文字盆 コエマツ | 10.4×38.2×2.2

Ⅲ -23 鉢袋 マタタビ | 26.5×16.5×8.5 | 置戸町森林工芸館

Ⅲ -24、-25 鬼おろし(大根おろし)
ホオ、タケ | 24.5×11.4×2.4、25.3×10.3×3.1 | 置戸町森林工芸館

Ⅲ -26 干菓子用の菓子型
木 | 48.3×10.4×2.0(最大) | 置戸町森林工芸館

Ⅲ -27 干菓子用の菓子型げんべら
木 | 25.0×4.5×4.0 | 置戸町森林工芸館

Ⅲ -28 おぼけ
明治以前 | ヒノキ | 径27.0×24.6 | 置戸町森林工芸館

Ⅲ -29 一夜漬け桶
アキタスギ、タケ | 径24.0×20.6 | 置戸町森林工芸館

Ⅲ -30 きりため
木 | 径48.5×34.5(収納時) (積み上げた高さ220.0)

Ⅲ -31 造酒屋の手桶
1890年頃 | スギ | 径36.0×23.7 | 置戸町森林工芸館

Ⅲ -32 桑摘み籠
イタヤカエデ | 径54.0×55.0 | 置戸町森林工芸館

Ⅲ -33 ては
1986年頃 | イタヤカエデ、桜皮 | 21.0×28.5×8.0(最大) | 置戸町森林工芸館

Ⅲ -34 箕
1985年頃 | スズタケ、フジヅル、桜皮 | 51.0×71.0×16.0 | 置戸町森林工芸館

Ⅲ -35 小物入れ
イタヤカエデ | 径13.0×6.3 | 置戸町森林工芸館

Ⅲ -36 籠灯
スギ | 径27.2×36.6 | 置戸町森林工芸館

Ⅲ -37 籠灯(復元品)
柴田慶信 | アキタスギ | 径27.6×36.2 | 置戸町森林工芸館

Ⅲ -38 面桶 小判型
江戸時代 | ヒノキ、桜皮 | 10.7×21.5×10.4 | 置戸町森林工芸館

Ⅲ -39 面桶 小判型
スギ、ヒノキ、桜皮 | 10.8×18.3×10.8 | 置戸町森林工芸館

Ⅲ -40 こきりこ
木 | 9.0×118.6×3.1 | 置戸町森林工芸館

Ⅲ -41 雪下駄
クリ | 23.0×10.3×7.1(C-0066-1の情報) | 置戸町森林工芸館

Ⅲ -42 矢立て、または釣りの餌入れ(おそらく蠟燭入れ)
木 | 34.0×6.8×3.0 | 置戸町森林工芸館

Ⅲ -43 栃の実の皮はぎ器
木 | 53.2×3.2×6.3 | 置戸町森林工芸館

Ⅲ -44 羽釜 蓋 西日本型
木 | 径53.5×28.0 | 置戸町森林工芸館

Ⅲ -45 こすき(雪おろしの道具)
ブナ | 99.0×27.5×2.0 | 置戸町森林工芸館

Ⅲ -46 堅杵
カシなどかたい木 | 径8.5×94.0(最大) | 置戸町森林工芸館

Ⅲ -48 杓子
木 | 90.4×24.8×2.1(最大) | 置戸町森林工芸館

Ⅲ -50 かば(組木)
山中組木工房 山中広吉 | 1970年代 | ホオ | 41.0×13.6×23.3 | 個人蔵

Ⅲ -51 さる(組木)
山中組木工房 山中広吉 | 1970年代 | ホオ | 31.0×11.0×18.5 | 個人蔵

Ⅲ -52 ぞう(組木)
山中組木工房 山中広吉 | 1970年代 | ホオ | 34.7×21.5×25.0 | 個人蔵

Ⅲ -53 ライオン(組木)
山中組木工房 山中広吉 | 1970年代 | ホオ | 39.0×16.0×18.5 | 個人蔵

Ⅲ -54 [昼寝のできる女の椅子] (現・家族の椅子)
1981年 | ナラ、布 | 46.0×160.0×64.0(3脚揃い) | モノ・モノ

Ⅲ -55 [あぐらのかける男の椅子] (現・男の椅子)
1983年 | ナラ、布 | 56.0×65.0×62.0 | モノ・モノ

Ⅲ -56 [割削クマゲラ] [ふくろう]
1978年頃 | 太田久幸 | ナラ | 径15.4×9.5×46.5、径8.0×8.0

Ⅲ -57 [木 GLASS]
1987年 | 菅井淳介 | ガラス、エンジュ (小)、イチイ(大) | 径17.6×20.5(大) | 作家蔵

Ⅲ -58 [B6判カード整理箱]
1982年 | 丹野則雄 | クルミ、コルク、カリン、ローズウッド | 17.6×21.5×16.0

Ⅲ -59 [コルクの筆箱]
1981年 | 丹野則雄 | ナラ、コルク、カリン、ローズウッド | 10.8×35.5×4.5 | 作家蔵

Ⅲ -60 [楊枝入れ]
1985年 | 丹野則雄 | ナラ、イタヤカエデ、カリン、シタン | 12.0×1.7×1.5 | 作家蔵

Ⅲ -61 [きつねロベロペー]
1977年 | 早見賢二 | ナラ | 40.0×40.0×34.0 | 作家蔵

Ⅲ -62 [森のさえざり]
1985年 | 三浦忠司 | ナラ | 30.0×30.0×52.0(最大) | 作家蔵

Ⅲ -63-1'9 『チャイルドブック』表紙
1970'72年頃 | 着彩/イラストボード | 34.0×56.0

Ⅲ -64 『チャイルドブックのせんのあそび』表紙原画
1971年 | 着彩/イラストボード | 34.0×56.0

Ⅲ -65 『チャイルドブックのあいうえお』表紙原画
1972年頃 | 着彩/イラストボード | 31.0×44.0

Ⅲ -66 『チャイルドブックのカラーあそび3』表紙原画
1970年 | 着彩/イラストボード | 22.0×62.0

Ⅲ -67 『チャイルドブック』表紙原画
1972年頃 | 着彩/イラストボード | 23.1×61.4

Ⅲ -68 『虹をかこうよ!虹に登ろう!虹を見よう!虹を呼ぼう!虹と遊ぼう!虹!虹!』草稿
| 1975年頃 | 着彩/紙 | 21.0×60.0 | (見開きサイズ、13点)

■Ⅳ章 地域と手仕事—裏作工芸のすすめ

Ⅳ -1 『工房生活のすすめ 工芸人間ただいま裏作中』 | 1979年 | 著: 秋岡芳夫 | 発行: みずうみ書房

Ⅳ -2 学校給食器セット
1982年 | 大野木工グループ |
けやき(汁椀)、陶器(飯碗)、ナンブアカマツ(大小皿、箸おき)、
径12.8×8.7(汁椀)、18.3×20.0×2.7(大皿)、径18.0×3.3(小皿)、径
7.0×2.5(箸おき)、径11.5×6.0(飯碗)
| 大野木工グループ

Ⅳ -3 保育食器セット
1994年 | 大野木工生産グループ
径11.5×5.9(汁椀)、径17.4×4.0(大皿)、径12.1×3.0(小皿)、径11.5
×5.9(飯碗) | 大野木工生産グループ

Ⅳ -4 大野木工
1980年~現在 | 木 | 工房蔵、個人蔵
大椀、丸皿 [大野産業デザインセンター] / 菓子器8寸、丸縁楕
円皿トレー1号、サンドイッチトレー1号、ミニトレー [大野民
芸家具組合・三本木工] / 角皿 [工房下川原] / デザートカップ、
コンポート、三点組小鉢、ぐい飲み [工房 森の詩] / シュプ
ールボール、どんぶり(4点) [佐賀工房] / トヨタ財団賞盃、組小鉢、
尺1寸盆、小鉢、菓子器、お茶漬け井、盛皿、銘々皿、杯、お重、
五ツ組小鉢、大椀 [佐々木工芸] / どんぶり [山道工房] / どぶ
ろく酒器セット、保育皿 [みのり工房] / ファミリートレー (1号) [り
んごう工房]

Ⅳ -5 大野木工工房マーク原案
1980年頃 | 鉛筆/紙

Ⅳ -6 ホッコイイメージイラスト
1982年 | ペン/紙 | B4判(21枚)、30.8×25.8(1枚)

Ⅳ -8 オケクラフトプロトタイプ
1983~1998年 | 木 | 置戸町森林工芸館
白樺ニマ(樺心持ちシリーズ)、白樺ニマ(樺心持ちシリーズ)、ま
り鉢(小)、まり鉢(大)、フリーボックス、フリーボックス、フリー
ボックス、アイスパール、ペン立て、だ円弁当箱(二段)、皿桶、
箱膳セット、大椀、おせち膳、箸入れ、サラダサーバー(穴あり)、
サラダサーバー(穴なし)、白樺ペン立て

Ⅳ -9 オケトグリーンビレッジ構想スケッチ
1993年 | 着彩/紙 | 30.3×41.2

Ⅳ -10 オケクラフト
1983年~現在 | 木 | 置戸町森林工芸館、工房蔵
イタメヘラ(大)、アイスクリームヘラ [アトリエもくれん] / 角
ボウル(カバコブ) [WINDY WOODS KINA] / 角盆 [WOOD+]
/ 2008年・北海道洞爺湖サミット北海道知事メッセージボード(レ
プリカ) [WOOD LANDER' S 木那] / ボウル ニレ [オケクラ
フト工房 髪切虫] / 合わせ小鉢、木皿(キハダ) [きたのき工房
Design & Craft] / 山げ桶径300、[クラフト工房 SOGA] / カレ
ースプーン(大)、パスタフォーク(クラフト工房 木奏) / ワインクー
ラー小 [CRAFT HOUSE いわふじ] / イタメヘラ(白樺)、お玉
(白樺) [工房あお] / 白樺ボウル [工房大崎] / 白樺浅鉢 [工
房清田] / ストライププラチトレイ [工房スノーグース] / 盛皿径 [工
房優木] / 多用鉢(小) [工房 ゆらぎ] / 新小椀、巾着ボウル、趣
木皿(大) [TORI 工房] / フライケース [木工工房弘] / 薫物(は
つり)、匙(さじ)、菓子皿(大中小)、箸置き(丸)、箸置きケース [木
工房ある] / さくらの鈴(L)、ニレの大皿 [レクラフト]

Ⅳ -11 101の椀(森の器)
1983年頃より製作 | 木 | 径10.8~12.0×7.5~6.5(57点) | 高根県
益田市匹見町

■Ⅴ章 道具考—モノの図書館構想

参考出品: 仕立て道具
合成砥石、合成砥石、ダイヤモンド砥石、研き物用桶、荒砥石、
中砥石、仕上砥石、平鉋刃、金床、平鉋裏刃、ポンチ、金槌、金
剛砂、平鑿、金鋸(平)、金鋸(棒)、平鉋、台直し鉋、玄能、油布
入れ、台直し鉋自作 | 個人蔵、置戸町森林工芸館

Ⅴ -1 4 突鑿 | 23.9、叩き鑿 | 17.0、叩き鑿 | 14.8、両刃鋸 | 66.6
| 置戸町森林工芸館

Ⅴ -5 前挽大鋸 - 鋏留式 - 木挽用
江戸中期 | 79.8 | 置戸町森林工芸館

Ⅴ -6 台切鋸 - 柚用 | 115.0 | 置戸町森林工芸館

Ⅴ -7 大鋸類 | 置戸町森林工芸館 | (5点)
前挽大鋸 - 木挽用、前挽大鋸 - 近江甲賀系 - 木挽用79.3 | 83.0~72.5

Ⅴ -8 鋸類 | 置戸町森林工芸館 | (12点)
手曲り鋸 - 柚用、雁頭鋸 - 柚用、舟手挽割鋸 - 舟大工用、挽割鋸、
縦挽鋸、縦、挽割鋸、雁頭鋸 - 柚用 - 使い減りしたもの |
102.0~46.0

Ⅴ -9 鋸類 | 置戸町森林工芸館 | (12点)
雁頭鋸 - 柚用、雁頭鋸 - 柚用、縦、挽割鋸 - 木挽用、雁頭鋸 - 柚用、
腰鋸 - 柚用、挽割鋸または前挽鋸 - 木挽用、雁頭鋸 - 柚用、雁頭鋸

- 杓用、雁頭鋸 - 杓用、雁頭鋸 - 杓用、廻挽鋸 | 106.8 ~ 6.5

V -10鋸類 | 置戸町森林工芸館 | (14点)

特殊弦架鋸、弦架鋸 - 小細工用、弦架鋸 - 薪挽用、竹挽用弦架鋸、弦架鋸 - 小細工用、竹挽用弦架鋸、特殊弦架鋸、竹挽用弦架鋸、竹挽用弦架鋸、籾、縦挽鋸、鋸類 | 79.3 ~ 18.6

V -11鉗、ヤットコ類1 | 置戸町森林工芸館 | (8点)

平鉗 鍛冶屋用、ヤットコ、プライヤー、ヤットコ ガラス加工用、釘抜き(エンマ)、レンチ 精密工作用、プライヤー、自転車店の道具(レンチの一種) | 30.0 ~ 17.5

V -12鉗、ヤットコ類2 | 置戸町森林工芸館 | (9点)

ペンチ、ヤットコ、釘切り、プライヤー 用途不明、釘切り、細密加工用工具、穴あけ具・用途不明、挟むもの、挟むもの | 24.8・11.0

V -13鉗、ヤットコ類3 | 置戸町森林工芸館 | (9点)

釘抜き(エンマ)、リング開け 時計用か、釘抜き(エンマ)、ヤットコ、穴あけ具・用途不明、ヤットコ、ペンチ、ヤットコ、ニッパー | 27.0・10.3

V -14鉗、ヤットコ類4 | 置戸町森林工芸館 | (7点)

釘抜き、ヤットコ、ニッパー、鉄砲(種子島)の鉛玉をつくるハサミ状の鑄型、ペンチ、爪切り、ヤットコ | 21.0・12.0

V -15鉗、ヤットコ類5 | 置戸町森林工芸館

釘抜き(大型)49.5

V -16反台鉋類 | 置戸町森林工芸館 | (12点)

反台鉋 - 小鉋、反台鉋、反台鉋 - 小鉋、反台鉋 - 豆鉋、反台鉋 - 小鉋、反台鉋 - 小鉋、反台鉋 - 豆鉋、反台鉋、反台鉋、反台鉋、反台鉋 - 小鉋、反台鉋 - 小鉋 | 24.1・5.2

V -17 鉋類 | 置戸町森林工芸館 | (12点)

面取鉋 - 瓢箪面、面取り鉋 - 瓢箪面、面取鉋 - 入れ子面取鉋、面取鉋 - 隅丸横削り面取鉋、内丸鉋 - 長台、内丸鉋、外丸鉋、内丸鉋、内丸鉋、外丸鉋、外丸鉋、面取鉋 - 二丁仕込面取鉋 - 両段匙面 | 30.5・18.0

V -18 鉋類 | 置戸町森林工芸館 | (3点)

平鉋・一枚鉋、長台鉋、平鉋・二枚鉋 | 39.5・27.3

V -19 金槌類1 | 置戸町森林工芸館 | (24点)

両口玄能、金槌・金工用、両口玄能・宮大工用、鋸鍛冶用金槌刃鉋、硝子屋金槌3点、唐紙金槌・金工用3点、鋸鍛冶用金槌・アサリ鉋、鋸目立用両刃鉋、リョウゾル・石工用、時計屋金槌3点、畳屋金槌・畳づくり用、畳屋金槌、箱屋金槌、四分一金槌、金槌・タイル用2本、金槌 | 35.0・22.8

V -20 金槌類2 | 置戸町森林工芸館 | (16点)

目釘抜、撞木、おやふく槌の頭、金槌・金工用3本、点検ハンマー、金槌・靴づくり用2本、材木屋金槌6点、刻印用金槌 | 48.2・14.0

V -21 鋏類 | 置戸町森林工芸館 | (20点)

塗師鋏、木鋏 - 小枝切鋏2点(國治工芸刃物製作所)、木鋏 - 小枝切鋏、握り鋏 - 矢羽根切り鋏、握り鋏 - 駕鋏、握り鋏 - 長刃・両丸型、握り鋏 - 守道鋏、握り鋏 - 刺繡鋏、握り鋏 - 長刃・片丸型、握り鋏 - 長刃(関西型)、握り鋏 - 爪段型、握り鋏 - 刺繡鋏 - 反刃、握り鋏 -

長刃、握り鋏 - 長刃・片丸型、握り鋏 - 長刃・両丸型、握り鋏 - 長刃(関西型)、握り鋏 - 爪型(関東型)、握り鋏 - 長刃・片丸型、握り鋏 - 長刃・両丸型、握り鋏 - 爪型(関東型) | 31.0・9.5

V -22和釘類 | 置戸町森林工芸館 | (8点)

和釘 蕨型、和釘 目鋸、和釘、和釘 - 船釘、和釘 - 巻頭釘、和釘 - 巻頭釘、和釘 - 巻頭釘、和釘 - 瓦釘、和釘(唐招提寺建立時)、和釘(唐招提寺建立時) | 25.0・7.0

V -23指物(弁当箱) | 置戸町森林工芸館 | (3点)

行楽用遊山弁当箱2点、提重弁当箱(月見用) | 43.5・23.5

V -24 指物道具 | 置戸町森林工芸館 | (28点)

平鉋、叩き鑿3点、鉛鑿、四方反鉋、外丸鉋、反台鉋 - 豆鉋、隈丸面取鉋6点、底漕鑿、鎌鑿、追入底漕鑿、薄鑿、打抜き鑿、面取鉋 - 銀杏面、面取鉋 - 底几帳面、面取鉋切面、胴付鋸、柄挽鋸、鴨居挽鋸、畔挽鋸、突廻鋸、欄間挽鋸 | 40.7・6.5

V -25剝物 | 置戸町森林工芸館 | (6点)

小鉢の荒くり木地2点、こね鉢、剝鉢(入れ子式)3点、漏斗 | 径30.8(最大)

V -26 剝物道具 | 置戸町森林工芸館 | (9点)

堀よき2点、手鋸 - 外側用、内側用、こさげ2点、前鉋 - 剝鉢用3点 | 73.5・13.2

V -27鍛冶道具 | 置戸町森林工芸館 | (11点)

そえ鉋(火箸)、平鉋(火箸)、平鉋(火箸)、金鉋(火箸)、金鉋、金鉋(火造鉋)、金鉋、金鉋(切鑿)、鉄工用鉋、銑 鋸仕上げ削り用、銑 仕上げ道具 生すき トンボ銑、金属銑 鋸目立て - 下駄づくり用、金鉋 | 61.0・26.7

V -28 盤搔

左久作 | 22.3 | 置戸町森林工芸館

V -29 生反(長柄を付けたもの)

左久作 | 67.5 | 置戸町森林工芸館

V -30 槍鉋 - 秋岡型 - 堅木用

左久作 | 75.5 | 置戸町森林工芸館

V -31 穴屋大工用道具一式(5本)

左久作 | 33.7・30.8 | 置戸町森林工芸館

V -32 刀の鞘づくり用道具一式(5本)

左久作 | 17.5・44.0 | 置戸町森林工芸館

V -33-1 平鑿10本組セット

市弘 | 38.0×36.5×3.7(箱寸法) | 個人蔵

V -33-2 下端定規

自作 | 42.3 | 個人蔵

V -33-3 両刃鋸

中屋雄造 | 51.2 | 個人蔵

V -33-4 横挽鋸

中屋雄造 | 66.8 | 個人蔵

V -33-5 縦挽鋸
中屋雄造 | 67.9 | 個人蔵

V -33-6 8玄能
23.7・29.8 | 個人蔵

V -33-9 11木スコヤ
自作 | 21.5・14.6 | 個人蔵

V -33-12 平鉋
千代鶴 | 27.0 | 個人蔵

V -33-13 切出し小刀
左久作 | 22.3 | 個人蔵

V -33-14 天然仕上砥石(鳴滝砥・あいさ)
20.1 | 個人蔵

V -33-15 天然仕上砥石(鳴滝砥・内曇)
20.5 | 個人蔵

V -33-16 天然仕上砥石(鳴滝砥・巣板)
26.4 | 個人蔵

V -33-17 小刀 | 14.0 | 個人蔵

V -34-1 樹の器(AKI-16)
1985～1990年頃 | 自作 | 28.0×24.0×17.0 | 置戸町森林工芸館

V -34-2 樹の器
1985～1990年頃 | 自作 | 27.5×23.8×9.4 | 置戸町森林工芸館

V -34-3 樹の器(AKI-28)
1985～1990年頃 | 自作 | 20.5×15.5×13.2 | カキ | 置戸町森林工芸館

V -34-4 樹の器(AKI-24)
1985～1990年頃 | 自作 | 41.5×22.5×12.0 | シイ | 置戸町森林工芸館

V -34-5 樹の器(AKI-1)
1985～1990年頃 | 自作 | 15.8×14.5×6.8 | クヌギ | 置戸町森林工芸館

V -34-6 樹の器(AKI-7)
1985～1990年頃 | 自作 | 32.0×27.0×25.0 | 置戸町森林工芸館

V -34-7 樹の器(AKI-8)
1985～1990年頃 | 自作 | 20.0×10.0×5.8 | ネムノキ | 置戸町森林工芸館

V -34-8 樹の器(AKI-15)
1985～1990年頃 | 自作 | 26.0×24.5×13.5 | カキ | 置戸町森林工芸館

V -34-9 樹の器(AKI-18)
1985～1990年頃 | 自作 | 25.5×23.0×10.8 | ヤマザクラ | 置戸町森林工芸館

V -34-10 樹の器(AKI-19)
1985～1990年頃 | 自作 | 22.8×22.8×8.5 | シイ | 置戸町森林工芸館

V -34-11 樹の器(AKI-23)
1985～1990年頃 | 自作 | 26.7×16.5×11.3 | エンジュ | 置戸町森林工芸館

V -34-12 樹の器(AKI-26)
1985～1990年頃 | 自作 | 63.5×11.5×9.0 | コナラ | 置戸町森林工芸館

V -34-13 樹の器(AKI-31)
1985～1990年頃 | 自作 | 15.5×15.0×7.0 | ヤマザクラ | 置戸町森林工芸館

■VI章 嗜好と思考のトレーニング

VI-1 竹とんぼ
1980・1997年 | 竹、木、鉛、銀、絹糸など | (約1500本)

めぐろの子どもたち展

平成23年度目黒区立幼稚園、小・中学校連合展覧会

会期：2012年1月14日(土)～1月29日(日) 14日間

会場：展示室 ABC、展示ロビー、エントランスホール、ワークショップ、区民ギャラリー

主催：目黒区、目黒区教育委員会、目黒区立幼稚園長会、目黒区立小学校長会、目黒区立中学校長会、目黒区特別支援学級設置校長会、目黒区教育会、(公財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館

担当学芸員：佐川夕子

本展は、区立幼稚園、小学校・中学校(特別支援学級を含む)の幼児・児童・生徒が平成23年度に授業中に創作した作品を展示し、区立学校における美術教育の成果を区民の方々に紹介するとともに、この鑑賞を介して子どもたちの情操を育むことを目的に開催した。

また、同時開催として、米国ジョージア州チェロキー郡の児童・生徒の絵画作品展を開催した。

●リーフレット

寸法：A3(六ツ折)

内容：ごあいさつ(主催者)／特別支援学級／幼稚園／小学校・園工／小学校・書写／中学校・美術／中学校・書写／米国ジョージア州チェロキー郡 児童・生徒絵画作品展／展示室案内

●広報印刷物

ポスターB3

●出品数

3,936点



リーフレット

メグロアドレス ー都会に生きる作家

会期：2012年2月7日(火)～4月1日(日) 48日間

会場：展示室 ABC、展示ロビー、エントランスホール、ワークショップ

主催：(公財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館

助成：(公財)花王芸術・科学財団

協賛：株式会社カシマ

協力：有限会社フォトグラファーズ・ラボラトリー、タイムアウト東京株式会社

担当学芸員：石崎尚

東京23区の中では住宅地のイメージが強い目黒区ではあるが、中日黒や自由が丘など若者が集う街では、独自の文化が発達している。また、音楽やデザインのクリエイターが事務所を構える場所でもあり、目黒通りにはインテリアショップが多いことでも知られている。メグロアドレスは、そうした創造的な地域でもある目黒から、若い世代のアーティストを発信する試みであった。現代の都市生活に影響を受けた、目黒と関わりのある6組のアーティストを紹介する展覧会となった。出品作家は、青山悟+平石博一、今井智己、須藤由希子、長坂常、南川史門、保井智貴。

●カタログ

サイズ：24.5×18cm / ページ数：118ページ / デザイン：川村格夫(ten pieces)

内容：「メグロアドレスの考え方」石崎尚 / 図版 青山悟+平石博一、今井智己、須藤由希子、長坂常、南川史門、保井智貴 / 「制作と発表を切り分け、そのあと、もう一度ひとつにする」田中功起 / 作家略歴・文献目録 / 作品リスト / 展覧会関連企画

●広報印刷物

ポスターB2、チラシA4

●関連催事

教育普及事業の項参照(p.92)

●主要関連記事

「メグロアドレスー都会に生きる作家 都市論と美術館論の交差するところ」小金沢智 (『評論の眼』2011年2月)



会場風景 (青山悟)



A4 チラシ

メグロアドレス 一都会に生きる作家 出品リスト

■青山悟+平石博一

A-01

Death Song

ミクストメディア

2012

映像編集：田中啓介(OLGA)

音響設定：平本正宏(Tekna TOKYO)

機材協力：SKIP シティ 彩の国ビジュアルプラザ、

東京芸術大学音楽学部音楽環境創造科

Courtesy: Artist and MIZUMA ART GALLERY

■今井智己

I-01

mental map studies(全12点)

・ Untitled(6点)

63.5×80cm | 発色現像方式印画 | 2010-11

・ Untitled(6点)

46.8×59cm | 発色現像方式印画 | 2010-11

■須藤由希子

S-01

W 邸—道路側から見た全体

25×58cm | 鉛筆、紙 | 2011

Courtesy: Artist and Take Ninagawa

S-02

W 邸—庭、左

23.5×72cm | 鉛筆、紙 | 2009

Courtesy: Artist and Take Ninagawa

S-03

W 邸—庭、右

26.5×51.5cm | 鉛筆、紙 | 2009

Courtesy: Artist and Take Ninagawa

S-04

W 邸—玄関側

140×120cm | 鉛筆、油彩、カンヴァス、石膏ジェッソ下地 | 2010

Courtesy: Artist and Take Ninagawa

S-05

W 邸—窓、二色椿側

25.7×30.6cm | 鉛筆、紙 | 2011

Courtesy: Artist and Take Ninagawa

S-06

W 邸—窓、玄関側

25.7×36.4cm | 鉛筆、紙 | 2011

Courtesy: Artist and Take Ninagawa

S-07

W 邸—冬の庭

60×140cm | 鉛筆、油彩、カンヴァス、石膏ジェッソ下地 | 2010

Courtesy: Artist and Take Ninagawa

S-08

W 邸—洗濯干し場

36.4×25.7cm | 鉛筆、紙 | 2011

Courtesy: Artist and Take Ninagawa

S-09

W 邸—猫のいる屋根

36.4×25.7cm | 鉛筆、紙 | 2011

Courtesy: Artist and Take Ninagawa

・須藤作品は9点全て個人蔵

■長坂常

N-01

関係しない関係

ミクストメディア | 2011

N-02

Flat Table #4 Extension

70×180×90cm | 木、エポキシ樹脂 | 2011

■南川史門

M-01

東京の印象(イエロー、パープル、グレー、ピンク、パール)

130×800cm | アクリル、カンヴァス | 2012

Courtesy: Artist and MISAKO&ROSEN

M-02

金、銀、ピンクのストライプ

130×231cm | アクリル、カンヴァス | 2011

Courtesy: Artist and MISAKO&ROSEN

M-03

ミラー

130×130cm | アクリル、カンヴァス | 2011

Courtesy: Artist and MISAKO&ROSEN

M-04

金、黒、緑(ストライプ)

162.5×130cm | アクリル、カンヴァス | 2011

Courtesy: Artist and MISAKO&ROSEN

■保井智貴

Y-01

untitled

49×21×62cm | 漆、麻布、岩絵の具、膠、黒曜石、etc | 2008

個人蔵

Courtesy: Artist and MEGUMI OGITA GALLERY

Y-02

untitled

49×19×60cm | 漆、麻布、岩絵の具、膠、黒曜石、etc | 2008

個人蔵

Courtesy: Artist and MEGUMI OGITA GALLERY

Y-03

calm

161×58×31cm | 漆、麻布、螺鈿、岩絵具、膠、黒曜石、琥珀、大理石、etc | 2009

Courtesy: Artist and MEGUMI OGITA GALLERY

Y-04

繰り返して春

166×60×32cm | 漆、麻布、ブロンズ、岩絵具、膠、黒曜石、琥珀、大理石、etc | 2012

Courtesy: Artist and MEGUMI OGITA GALLERY

Ⅱ. 教育普及事業

(1) ワークショップ活動

※挿入写真は、撮影：岡川順子

【平成21(2009)年度】

- ①線の迷宮〈ラビリンス〉・番外編 響きあい、連鎖するイメージの詩情—70年代の版画集を中心に ワークショップ
関連展示会は p.11参照
担当学芸員：降旗千賀子

<おとな中心のコース>

ア. 版画の宝石—本格派・木口木版画

講師：柄澤齊(版画家)

開催日：8月8日(土)、9日(日)、15日(土)、16日(日) 全4日間 午後2時～5時

参加者：大学生以上 9名(限定)

木口木版画を真剣に学びたい方を対象とした本格的コース。当館収蔵作家で、木口木版画の第一人者の柄澤齊氏に講師を依頼。詩人とのコラボレーションとしての詩画集も多く手がけられた柄澤氏に、版画と出版の話なども織り交ぜていただき内容の濃いワークショップとなった。多くの参加希望者があったが、限定9人に絞り、密度のある指導をしていただいた。



21-①-ア

イ. 今、そこにある道具！" で銅版画を体験

講師：高浜利也(版画家)

開催日：8月29日(土)、30日(日)、9月20日(日) 全3日間 午前10時30分～午後5時

参加者：小学校3年生以上27名

銅版画家の高浜利也氏を講師に招き、銅版画の原点に触れるワークショップを行った。ともすると、さまざまな道具や薬品をそろえて行う銅版画であるが、身近にある素材、例えば、釘、針、クレヨン、口紅、醤油、油などの様々な素材で描画して版を作りプレス機で刷って制作した。身の回りの道具を使って何が表現できるか、銅版画の新しい表現にチャレンジした。年齢は小学生から大人まで。



21-①-イ

ウ. 実演&お話 版画が刷られる仕組み+70年代から現代・版画工房からの視点

講師：加山智章(エディション・ワークス主宰)

開催日：9月6日(日) 午後1時～5時30分

参加者：高校生以上 44名

現代作家とのコラボレーションで数々のポートフォリオを制作されている工房エディション・ワークスの加山氏に刷りの実演をお願いした。木版、銅版、石版とさまざまな版種を鮮やかに刷り上げるプリンターの業に注目が集まった。さらに、現代の視点からの版画についてのお話をうかがった。

エ. おとなの鑑賞教室 版画を一緒に楽しみましよう

開催日：①8月13日(木)、②21日(金)、③27日(木) 各日午後7時～8時30分(閉館後に開催) 各1回

参加者：小学5年生以上 延べ53名

担当学芸員が版画を直接扱いながら、技法の話、紙の話、歴史の話、版画の見方などを解説した。少人数で、実際の版画を手にとっただけで、版画を見るコツや楽しみ方を紹介した。

<こどものコース>

オ. 黒から生れるコスモロジー メゾチント本格派

講師：榎本寿紀(ワークショップ・エドゥケーター)

開催日：8月12日(水) 午前10時30分～午後4時30分

参加者：小中学生 15名

ピカピカの銅板に無数の線を刻み込み、磨いてイメージを浮かき上がらせる技法、漆黒のメゾチント。展示作品をじっくり鑑賞しながら、黒から浮かび上がるイメージの魅力に触れながらメゾチントの魅力に触れ、各々が持ち寄った大切な宝物をメゾチントで表現した。



21-①-オ

カ. 展示室探検隊、版画を視たり、刷ってみよう!

講師：榎本寿紀(ワークショップ・エドゥケーター)

開催日：8月21日(金) 午前10時30分～午後4時30分

参加者：小中学生 24名

展示会の鑑賞と、大きなプレス機を自分でまわす版画の刷りの体験をあわせて行った。

<こどもスペシャルコース>

キ. 合体版画 宝物を探せ

講師：榎本寿紀(ワークショップ・エドゥケーター)

開催日：8月11日(火)、13日(木)、20日(木) 全3日間 午前10時30分～午後4時30分

参加者：小学1年生から中学生 20名

本格的なドライポイントに挑戦したコース。展示室で細密な線表現の作品を鑑賞した後、その中から気に入った作品を選び、そこからイメージをどんどん広げて新しい作品に発展させた。



21-①-キ

ク. ファミリーワークショップ《うつしとる、夏の思い出、版画集》

進行：T V T(トイコレクションボランティアチーム)

開催日：8月22日(土)、23日(日) 全2日間 午後1時～4時

対象・参加者：4歳以上2人一組の家族16組

夏の思い出をプレス機で紙に閉じ込めたり空押ししたりして、版画集を家族で作った。刷り上った後は、タイトルをつけ、表紙を飾り、手作りタトウの制作も行った。トイコレクションボランティアチームが今年もオリジナリティのあるプログラムを企画した。

ケ. 特別企画・スライドトーク 西洋版画《驚異の部屋へようこそ！》

講師：佐川美智子(町田市立国際版画美術館 学芸課長)

開催日：9月5日(土) 午後2時～4時

参加者：61名

同じ時期に、町田市立国際版画美術館で開催された版画展「驚異の部屋へようこそ！」について、担当学芸員を招いて出品作品の解剖図・図鑑など、好奇心を刺激する多様な西洋版画についてのレクチャーを開催した。

コ. 遊びの広場《ポケット版画集》

開催日：8月7日、14日、9月12～13日、19日、21～23日、26～27日 計10日間

午後1時～5時(受付は4時30分まで)

協力：目黒区美術館ボランティア会

参加者：延べ 217名

展示会会期中にだれでも参加できる遊びの広場を開催した。ゴム版、紙版画、ステンシルなどいろいろな型を用意して、馬車で刷り、それにペンでイメージを描き込み、東ねて小さな版画集を制作した。

②「木」の言葉を聞く

次年度に開催する秋岡芳夫展の予備調査も兼ねて木に関するワークショップを開催した。同時期開催：ベルナール・ビュッフエ展
担当学芸員：降旗千賀子

<こどものコース>

ア. 目をつむり、触ることから始めよう - 木と樹の命

講師：榎本寿紀(ワークショップ・エドゥケーター)

開催日：①2月20日(土)、②21日(日) 各日午前10時30分～午後4時30分

参加者：新小学1年生から中学生23名

当館所蔵のワークショップ教材の木の玉《そのときのきもち》(横尾哲生作)を手で鑑賞。目隠しをして入念に触り、いろいろな樹種の木目、触り心地、重さをじっくり味わった。その後、気になった木の玉を大きな紙の上のせ、そこから自由に色や形を伸ばして描くと、さまざまな色と形が元氣よく膨れ上がった。



21-②-ア

<こどもからおとなまでのコース>

イ. 木霊の声を聞きながら

講師：横尾哲生(美術家)

開催日：3月31日(水)、4月1日(木) 全2日間 午前10時30分～午後5時

参加者：新小学1年生から大人まで 20名

当館所蔵のワークショップ教材、さまざまな樹種で制作された木の玉《そのときのきもち》の作者横尾哲生氏を講師に招き、木の表情についてのお話をうかがった。普段、身近あるのにあまり深く味わうことがない、木のいろいろな匂い、表面、肌触りを細かく確かめながら、木の固まりを慎重に削って自分だけの形を作った。自然の表情を大事にしてそこから削っていくことで、ユニークな固まりができあがった。

ウ. 「木」と「紙」を知る・見る・触る

講師：担当学芸員 降旗千賀子
開催日：2月28日(日) 午後1時30分～5時
参加者：小学校4年生以上 30名

ワークショップ教材「素材の引き出し博物館-木、紙」を見ながら木と紙についてのレクチャーを行った。木の色、木の重さ、木の匂い、木の質感が全ての木ごとに違うことを、知識ではなくて実際に感じて確かめるため、《そのときの気持ち》という木の玉の作品をじっくり触った。

<おとなのコース>

エ. 「木」の椅子を語る-レクチャー

講師：鳥崎信(武蔵野美術大学教授名誉教授)
開催日：a. 4月10日(土) b. 4月11日(日) 各回午後2時～5時
参加者：a：64名、b：43名

数々の椅子の展覧会を仕掛け、椅子の研究家の第一人者、鳥崎信氏による、木の椅子についてのレクチャーを開催した。鳥崎氏の豊富な写真により、北欧からヨーロッパにおける木の椅子の文化についても触れ、日本と欧米の住空間の違いについても話が展開した。レクチャー会場には、先生のコレクションから、ハンス・ウエグナー《Y- Chair》、《The Chair》、松村勝男《食堂椅子》、ポーエ・モーエンセン《J-39》、をお借りして並べた。



21-②-エ

<おとなのコース>

オ. 「木」の文化-生活の中の工芸

講師：時松辰夫(アトリエとき代表)
開催日：3月20日(土)、21日(日) 全2日間 午前10時30分～午後5時
参加者：高校生以上 21名

工業デザイナー秋岡芳夫とともに、岩手県大野村、北海道置戸町の地域産業に関わった、大分県湯布院で木のクラフト工房を主宰される時松辰夫氏による、日本人と木の文化についてのお話と実習。初日は、日本古来の木の文化から、現代の木の器について語っていただいた。2日目は、目黒区ゆかりの工業デザイナー秋岡芳夫との交流により育んでこられた仕事についても触れて頂き、現代の木の文化について、木に実際に触れ、手触り、形を、刃物を使って制作も楽しんだ。



21-②-オ

【平成22(2010)年度】

①遊びのなかの色と形展 クルト・ネフとアントニオ・ヴィターリ ワークショップ

関連展覧会は p.45 参照
担当学芸員：降旗千賀子

ア. トイ・コレクションで遊ぶ

ナビゲーター：榎本寿紀(ワークショップ・エドゥケーター)
A-1. Let's enjoy 積み木のパーティ 7月25日(日) 午前10時30分～午後4時30分
参加人数：小学生9名、大人3名
A-2. 積んで・並べて・組み合わせ 未来の都市計画 8月6日(金) 午前10時30分～午後4時30分
参加人数：小学生15名、大人1名
A-3. クラーセンのウルトラ積み木で遊ぶ 8月20日(金) 午前10時30分～午後4時30分
参加人数：小学生9名

目黒区美術館所蔵のトイ・コレクションを、テーマを設け時間をかけてじっくりと遊んだ。A-1ではいろいろな積み木で出来る形を思い思いに楽しんだ。A-2はモザイクカードで道をつくることからはじめ、部屋いっぱい広がる都市をつくった。A-3は、ペアクラーセンデザインの積み木の造形の美しさを体験した。

イ. 積み木とトイのガクガクアニメーション

ナビゲーター：榎本寿紀(ワークショップ・エディタール)

B-1. 8月3日(火)、4日(水) 全2日間 午前10時30分～午後4時30分

参加人数：小中学生 10名

B-2. 8月10日(火)、11日(水) 全2日間 午前10時30分～午後4時30分

参加人数：小中学生 20名

B-1+2 合同上映会 8月13日(木) 午後3時～4時30分



22-①-イ

アントニオ・ヴィターリのアニメーション「キツネとガチョウ」を見た後、トイ・コレクションを使って短編アニメーション制作した。B-1では2グループに分かれ、それぞれ簡単なストーリーをつくり、積み木でキャラクターを演じさせてのコマ撮り撮影。B-2では、全員が思い思いに積み上げた積み木を一堂に登場させての撮影を行った。B-1-2をあわせて合同で上映会を行った。

ウ. 遊びの形—手の中の生きもの

講師：飛山裕幸(デザイナー)

開催日：8月7日(土)、8日(日)、21日(土) 全3日間 午前11時～午後5時

参加者：小学4年生以上一般 8名



22-①-ウ

北海道置戸町のエゾマツの木を使って、小さな生きものをつくった。木の匂いや肌触りを感じ、糸鋸で形を切り取り、紙ヤスリで丁寧に磨いていくと、なめらかな肌にエゾマツの木目が美しい愛着のある生きものたちができあがった。最後は、デジタルカメラで20コマ撮影し、簡単なアニメーションにまとめた。

<ワークショップ・セミナー>

エ-1. クルト・ネフとの出会い—フランスのネフさん宅を訪ねて

講師：小黒三郎(造形作家)

開催日：8月22日(日) 午後2時～4時

参加者：61名

日本中の子供が遊ぶ「組み木」で有名な小黒三郎氏は、ネフ社からもいくつかの製品を出していて、当館のトイ・コレクションにも収蔵されている。小黒氏は日本人の中でも最も早くネフ社へ旅し、クルト・ネフ氏をフランスの自宅を訪ねている。ネフ氏との出会いやエピソードについての話をうかがい、最近の活動のお話にも触れていただいた。

エ-2. ネフとヴィターリ、デザインと時代—スイスとドイツの造形

講師：向井周太郎(武蔵野美術大学名誉教授)

開催日：8月29日(日) 午後2時～4時

参加者：87名



22-①-エ-2.

スイスやドイツでは、ネフ、ヴィターリをはじめとして、手に包まれる感触の素敵な玩具がたくさん生産されてきた。ヴィターリの、時代を先取りする洗練された形も、60年代にはすでに生まれている。このコースでは、同時期ドイツ・ウルム造形大学で、デザインを学ばれた向井氏に、スイスやドイツのデザインエッセンスや時代的背景などを伺った。

エ-3. アントニオ・ヴィターリとの出会い—シャーフ社の仕事

講師：ゲルト・シャーフ(シャーフ社代表)、聞き手：小柳帝(ライター)

開催日：8月1日(日) 午後2時～4時

参加者：74名

ドイツで玩具メーカーを営むシャーフ氏は、ヴィターリの造形センスに惹かれ、1983年にいくつかの製品化に成功し、1996年までヴィターリの木の玩具を、世に送り出してきた。今回は、展覧会に合わせての来日が実現し、ヴィターリの魅力をたっぷり語っていただいた。聞き手は「EDU-TOY」の著者、小柳帝氏にお願いした。



22-①-オ

オ. ファミリーワークショップ 手の中の遊びのカタチ

進行：TVT(トイ・コレクション ボランティアチーム)

開催日：8月14日(土)、15日(日) 午後1時～4時

参加者：15家族30名

毎年好評のファミリーワークショップ。今年は、立体に挑戦した。展示室でヴィターリの作品「ノアの箱舟」を見ながら、動物の表現をじっくり鑑賞し、空想を膨らませた。その後、さま

さまざまな木端を用いて、自分たちの動物、それらが入る家をつくり、物語に膨らませていった。思わぬ造形の展開となり歓声がわいた。

② 春のワークショップ つつむ 【中止】

関連展示会は p.53参照

担当学芸員：佐川夕子

ア. 蕨の知恵“卵つと” <めぐろアートウイーク参加事業> 【東日本大震災の影響により実施中止】

講師：齋藤栄一+佐藤俊彦(庄内たがわ農業協同組合蕨工芸部会)

開催日：3月12日(土)・13日(日) [全2日間] 3/12=午前11時～午後5時、3/13=午前10時30分～午後2時30分

対象・定員：高校生以上一般 20名

イ. 心を“つつむ”～折形の魅力 【東日本大震災の影響により実施中止】

講師：山口信博(グラフィック・デザイナー、折形デザイン研究所主宰)

開催日：3月19日(土)・20日(日)・26日(土) [全3日間] 午後1時～4時

対象・定員：高校生以上一般 20名

ウ. 卵となかよし！ 蕨の匂いをかぎながら 【東日本大震災の影響により実施中止】

講師：榎本寿紀(ワークショップ・エデュケーター)

開催日：① 3月21日(月祝) ② 3月29日(火) ③ 3月31日(木) 各回午前10時30分～午後4時30分

対象・定員：新小学1年生以上一般 20名

上記ワークショップは、3月11日の東日本大震災などの影響により、すべて中止となった。

エ. 映画+トークの日 「包む」をめぐって

講師：押切隆世(映画監督)

日時：2月12日(土) 午後2時～3時30分

対象・定員：入館者対象、当日自由参加

【平成23(2011)年度】

① スケッチブックの使い方 ワークショップ

関連展示会は p.69参照

担当学芸員：降旗千賀子(ア～エ)、山田敦雄(オ、カ)

ア. 描きまくれ！夏のスケッチブック・ダイアリー

講師：榎本寿紀(ワークショップ・エデュケーター)

開催日：7月28日(木) 午前10時30分～午後4時30分、8月23日(火) 午後1時30分～4時30分 全2日間

参加者：小学1年生以上、一般20名

初日は、スケッチブックの展示会で約100年前に描かれたスケッチから、見ること、描きとめることの楽しさを体験した。次に鉛筆や色鉛筆による混色を試しながら、外で独自の視点や視線を探しながらスケッチの練習をした。2日目は約1ヵ月後にスケッチを持って再び集まった。夏休みの思い出についてプロジェクターを使って壁いっぱいに投影した。

<1日ワークショップ>

イ. 建築スケッチブック～まるごと総合庁舎！

講師：榎本寿紀(ワークショップ・エデュケーター)

開催日：8月4日(木) 午前10時30分～午後4時30分 ※目黒区総合庁舎南側エントランスホール集合、解散

参加者：小学1年生以上、一般23名

建築ガイドツアーでもおなじみの建築家・村野藤吾による目黒区総合庁舎(旧千代田生命本社ビル)の建築をくまなく探索。エントランスの天井モザイク、翼を広げた玄関、曲線の螺旋階段、中庭の見える和室や池の見える廊下から屋上庭園まで、建築を丸ごと「スケッチブック」1冊に描いた。

ウ. ページをめくるといろいろな窓の風景

講師：榎本寿紀(ワークショップ・エデュケーター)

開催日：8月11日(木) 午前10時30分～午後4時30分

参加者：小学1年生以上、一般28名



23-①-イ



23-①-ウ

ハート型や星型など、オリジナルの「窓」をカッターで切り抜き、その窓を持って区民センター公園内の風景をスケッチした。「窓」は友達同士と交換し、さまざまな形の窓から見える風景でスケッチブックは全ページ埋まっていった。

<ファミリーワークショップ>

エ. スケッチブックは思い出ノート—いろいろ発見してみよう!

講師：TVT(トイコレクション・ボランティアチーム)
開催日：8月14日(日)、21日(日) 全2日間 午後1時～4時
参加者：4歳以上の2名1組の家族11組

見るため、描くためのポイントをいくつか話し、美術館の周りでスケッチをした。スケッチする中、羽化中の蝉を発見。探せば近くに驚きの発見が待っていることを確認することとなった。初日に行ったスケッチの中から1枚を葉書にして同じグループの友達に送る。翌週には、それまで家で描いてきたスケッチの見せあひ。さらに送られてきた葉書の世界を広げて描く。最後はスケッチブックにリボンを通しポケットをつけ、表紙も描いて仕上げ、プロジェクターでミニ発表会を行った。



23-①-エ

<おとなのコース>

オ. とても小さなスケッチ旅行

講師：天野政雄(画家・目黒区美術家協会会員)
開催日：8月6日(土)、7日(日) 全2日間 午前10時～午後4時
参加者：高校生以上16名

身近な目黒を歩き、スケッチで風景を切り取った2日間のコース。初日は講師をお願いした天野氏の描きためたスケッチを見ながら、スケッチのコツをうかがい、「林試の森」でスケッチを楽しんだ。2日目は目黒川沿いで人工物をいれたスケッチを行った。最後は思い思いの場所で描かれたスケッチをじっくり鑑賞しながら、天野氏からアドバイスをいただいた。



23-①-オ

カ. 小川千穂(おがわせんよう)と澤部清五郎(さわべせいごろう)、100年前のスケッチブック

講師：前川公秀(佐倉市立美術館館長)、小川三郎(小川千穂遺族)
開催日：8月28日(日) 午後2時～4時
参加者：17名

開催中の展覧会「スケッチブックの使い方—描いたり歩いたり、そしてまた描いたり」の内容にあわせて、出品作家の小川千穂や澤部清五郎についての話を伺った。佐倉市立美術館館長前川公秀氏には二人が学んだ京都の画塾や当時の状況について、そして小川千穂遺族の小川三郎氏には、千穂の画業を渡欧前後を中心に伺った。

② DOMA秋岡芳夫展 ワークショップ&セミナー

関連展覧会は、p.72参照
担当学芸員：降旗千賀子

北海道 置戸が目黒にやってきた

ア. 白い木—エゾ松を割って私の箱をつくる

協力：オケクラフトセンター森林工芸館
講師・進行：置戸町の作り手たち
開催日：11月19日(土) 午前10時30分～午後4時30分、20日(日) 午前10時30分～午後4時 <2日間通して参加>
参加者：中学生以上21名

秋岡芳夫がその全体像を描き、1983年から活動を始めたオケクラフトの街、北海道の置戸町から作り手の方々に登場していただき、置戸の特産でもある美しい白いエゾ松の丸太を縦に割って美しい木目を楽しんだ後、オケクラフトの代表的な割り木工に親しみながら、自分たちだけの小さな小箱を制作した。

北海道 置戸町が目黒にやってきた

イ. すてきでしょ、小枝のバターナイフとフォーク

協力：オケクラフトセンター森林工芸館
講師・進行：置戸町の作り手たち
開催日：12月3日(土)、4日(日) 午前10時30分～12時/午後1時～2時30分/午後3時～4時30分(同内容を1日3回開催)
参加者：小学3年生以上141名



23-②-イ

北海道置戸町協力のワークショップ第二弾。作り手の方々の指導で、白樺、エゾ松などの小枝を使って、バターナイフやフォークを制作した。バターナイフが人気で、所要時間の30分～1時間があったという間に過ぎていった。自然の枝を利用したユニークなカトラリーが出来上がった。

岩手の山から大野木工が目黒にやってきた

ウ、どんぐりから器まで一森の生活から考えること

協力：岩手県洋野町

講師：大野木工生産グループ

開催日：11月13日(日) 午前10時30分～12時30分

参加者：入館者対象、小学1年生以上65名

秋岡芳夫と時松辰夫が関わった岩手県の北にある大野(現洋野町)では、赤松をつかった木工が盛んに行われている。器がどうやってできるのか、実演を見ながら、どんぐりが育つて器になるまでのお話のデモンストレーション。このプログラムは、大野木工生産グループが、大野の保育碗を使っている全国の保育所などに出張して行っている活動である。



23-②-ウ

岩手の山から大野木工が目黒にやってきた

エ、フォーラム つくること・つかうことの間

パネラー：中村隆、林郷亨(大野木工の作り手)、大熊健郎(クラスカ ギャラリー&ショップ ドー)、

山下三郎(東北工業大学名誉教授)

司会：後藤元一(環境デザイナー)

開催日：11月13日(日)午後2時～4時

参加者：48名

大野に東北工業大学の教授としてかかわった山下先生と、ギャラリー&ショップのディレクター大熊氏と、大野木工の作り手の方々が、生活の中の手仕事について、現状と何が必要か、今後の方向性などについて話し合った。



23-②-エ

オ、竹とんぼ—ミニマムマシンと手仕事の間に—

協力：国際竹とんぼ協会

ナビゲーター：片田邦雄とその仲間

開催日：11月6日(日)、12月10日(土)

午前11時～12時/午後1時～2時/午後2時～3時

<両日とも同内容を1日3回開催>

参加者：小学1年生以上85名

秋岡芳夫が80年代から作り続けた竹とんぼ。その単純な構造に隠された深遠な航空力学の世界を展示を通して鑑賞し、実際に竹とんぼをつくった。

カ、しぶや木工塾 公開制作

実演：しぶや木工塾

開催日：11月3日(木・祝)、4日(金)、5日(土)、6日(日)、12日(土)、26日(土)、12月10日(土)、11日(日)

午後1時～4時30分

参加者：各回15～50名

道具と手仕事をこよなく愛した秋岡芳夫は、自らも木工の名手として腕をふるった。その遺志を継ぐ「しぶや木工塾」の方々による公開制作を行った。来館者は、展示を鑑賞した後、ワークショップの公開制作を楽しみ、木工塾の方々との会話を楽しんでいた。

<特別講演会>

キ、「秋岡芳夫」という人

講師：時松辰夫(アトリエとき代表)

開催日：11月23日(水・祝) 午後1時30分～3時30分

参加者：105名

置戸町、大野村(現・洋野町)などで秋岡芳夫の思想と行動を間近にみてきた時松氏に、秋岡思想の本質を伺った。秋岡芳夫の残したモノ、残したモノが貴重な証言により明らかとなった。



23-②-キ

ク. モノ・モノサロンへ愛用すること

協力：グループ モノ・モノ

展示ロビーのモノ・モノサロンで開催

開催日・ゲスト：11月3日(木祝)富田一彦<プロダクトデザイナー、トミタデザイン主宰>/11月12日(土)竹原あき子<デザイン関係研究者、和光大学名誉教授>/11月19日(土)安次富隆<プロダクトデザイナー、SAAT デザイン主宰>/11月24日(木)高橋修一<建築家、「住まい塾」主宰>/12月 3日(土)徳重恵美子<テキスタイルアーティスト>/12月15日(木)立川裕大<デザインディレクター、(株)t.c.k.w 主宰>

時間：午後4時～5時30分 参加者：合計124名

1970年代、東京中野のマンションの一隅に、工業デザイナー秋岡芳夫を中心に、デザイナー、クラフトマン、商社マン、カメラマンに編集者や主婦が、集まって議論していたモノ・モノサロン。秋岡展の展示ロビーの一角に作られたこのサロンで、「愛用すること」をテーマに、自慢の愛用品をお持ちいただいたゲストによるトークを開催した。

ケ. トークセッション&秋岡家見学ツアー・新世代のデザイナーは「秋岡芳夫」に何をみたか？

コーディネーター/司会：藤崎圭一郎(東京芸術大学教授、デザイン・ジャーナリスト)

ゲスト：坪井浩尚(Hironao Tsuboi Design)、松尾伴大(参/Mail)、安西葉子(Drill Design)、大熊健郎(クラスカ ギャラリー&ショップ Do)

開催日：12月18日(日)対象：高校生以上43名

現在活躍中の若手デザイナーの方々に現代の視点から見た秋岡芳夫の仕事について語っていただいた。秋岡の事務所の元所員、金子富廣氏や同時代にソニーでデザインに携わっていた山本孝造氏にも参加していただき、世代を超えての討論がつついた。



23-②-ケ

③2012年春のワークショップー1

平成23年度のメグロアドレス展の会期中に単発で開催した。

担当学芸員：降旗千賀子

ア. 中世の華・羊皮紙に描くミニチュール2

講師：石原靖夫(美術家)

開催日：3月11日(日)、20日(火・祝)、25日(日)、31日(土) 全4日間 午前10時30分～午後5時(20日のみ午後6時まで)

参加者：専門家、経験者22名

1992年より「古典技法への旅」と題しラピスラズリからウルトラマリンブルーをつくる><テンペラ画を描く>などのワークショップを開催してきた人気のシリーズ。今回は、2008年の<羊皮紙に描くミニチュール>の第2回目、本格的にミニチュールを学びたい方を対象とし、小さな羊皮紙に卵の黄味と顔料を練って細密に描く本格的なコースで、美しい労作が完成した。今回は特に「羊皮紙」についての特別レクチャーも開催。



23-③-ア

イ. 特別レクチャー 「羊皮紙」の制作にあたって

講師：八木健治(羊皮紙工房主宰)

開催日：3月20日(火・祝) 午後4時～6時

参加者：30名+ミニチュール受講者20名



23-③-イ

④2012年春のワークショップー2 メグロアドレス

関連展示会は、p.83参照

担当学芸員：石崎尚

ア. 保井智貴トーク& calm プロジェクト報告会

開催日：2月11日(土) 午後3時～6時 参加者数：30名

出品作家の保井智貴が自作について語るとともに、様々なクリエイターとのコラボレーションである calm プロジェクトについての報告会を行った。会場では、calm に関わっている STORE と sakumotto が、目黒区美術館に1日だけの店舗をオープンした。

イ. 青山悟+平石博一ライブ

開催日：2月12日(日) 午後7時～8時 参加者：36名

出品作家の青山悟+平石博一によるライブを閉館後に開催した。本展には8ch サウンドとビデオインスタレーションを出品していますが、特別編成による一夜限りのライブとなった。

ウ. 南川史門フィルムスクリーニング

開催日：2月18日(土) 午後2時～3時 参加者：17名

出品作家の南川史門は、絵画と並行して映像作品も制作している。この上映会では、普段あまり見る機会のない彼の映像作品を、新作も含めて一挙に公開した。併せて作家のトークも行った。

エ. 青山悟+土屋誠トーク：明るい芸術、明るい未来

開催日：2月19日(日) 午後2時～4時 参加者：18名

本展では、初の試みとしてユニットでの作品発表を行い、同じく初めてとなるビデオインスタレーションを出品する青山悟。そのコラボレーションを行った理由や、音楽と刺繍作品の構造的な共通点など、作品の背後にある作家の思想を語っていただいた。

オ. フォーラム1「若手作家のグループ展を考える」

パネリスト：八巻香澄(東京都庭園美術館学芸員)、西川美穂子(東京都現代美術館学芸員)

聞き手：石崎尚(当館学芸員)

開催日：2月25日(土) 午後2時～4時 参加者：17名

公立美術館による若手作家のグループ展のテーマ設定や美術館としての限界など、若手作家グループ展の課題と可能性を討議した。

カ. フォーラム2「若手作家の技法と素材を考える」

パネリスト：斎藤敦(斎藤修復工房)、聞き手：石崎尚(当館学芸員)

開催日：2月26日(日) 午後2時～4時 参加者：17名

このフォーラムでは、現代美術作品の保存修復について、作家の創意と保存の観点を、どうやって折り合いをつけるべきなのか、修復家の立場から語っていただいた。

キ. うるう日ナイトツアー

開催日：2月29日(水) 午後6時15分～7時15分 参加者：3名

ク. アドレッシングツアー1(めぐろアートウィーク関連企画)

開催日：3月3日(土) 午後2時～5時 参加者：11名

目黒区内や目黒近郊のギャラリー巡りの第1回目として、中目黒の「The Container」と、恵比寿のNADiff Gallery を訪問し、NADiffでは、出品作家の南川史門氏に制作について話をうかがった。

ケ. アドレッシングツアー2(めぐろアートウィーク関連企画)

開催日：3月10日(土) 午後2時～5時 参加者：11名

happa ではオフィスをシェアしている出品作家の長坂常氏に、最近のプロジェクトについての話をうかがった。

コ. 絵手紙ワークショップ：春の草花を描く

講師：須藤由希子(美術家・出品作家)

開催日：3月17日(土) 午後2時～5時 参加者：小学生以上10名

出品作家の須藤由希子による絵手紙を作るワークショップを開催した。自分たちで春の草花持ち寄り、透明水彩絵の具で描いていった。

(2) アウトリーチ・トイの日

・アウトリーチ

【平成21(2009)年度】

① 〈トイでつくろう 大きな木のある公演〉

進 行：トイコレクション・ボランティア・チーム
開催日：5月30日
場 所：目黒区民センター児童館
参加者：49名

② 〈トイでつくる 色と形の万華鏡〉

進 行：トイコレクション・ボランティア・チーム
開催日：6月27日
場 所：油面住区センター児童館
参加者：13名

③ 〈氷の国のクリスマス〉

進 行：トイコレクション・ボランティア・チーム
開催日：12月19日
場 所：目黒区民センター児童館
参加者：71名

【平成22(2010)年度】

① 〈スイスイおよげ こいのぼり2〉

進 行：トイコレクション・ボランティア・チーム
開催日：5月15日
場 所：目黒区民センター児童館
参加者：20名

② 〈○△□、街の建築家になろう！〉

進 行：トイコレクション・ボランティア・チーム
開催日：6月26日
場 所：油面住区センター児童館
参加者：25名

③ 〈パッパ ずるずる パズルの日〉

進 行：トイコレクション・ボランティア・チーム
開催日：12月4日
場 所：目黒区民センター児童館
参加者：69名

【平成23(2011)年度】

① 〈つみきとロープであそぼ～1つの形しかない街ってどんなかな？〉

進 行：トイコレクション・ボランティア・チーム
開催日：5月14日
場 所：目黒区民センター児童館
参加者：42名

② 〈○△□の世界を作ろう！～パズル編〉

進 行：トイコレクション・ボランティア・チーム
開催日：6月18日
場 所：油面住区センター児童館
参加者：13名

③ 〈トイでつみきでクリスマスケーキを作ろう～パティシエ募集中～〉

進 行：トイコレクション・ボランティア・チーム
開催日：12月3日
場 所：目黒区民センター児童館
参加者：35名



(2)ーアウトリーチ③

・トイの日

【平成21(2009)年度】

開催日：8月1日・2日
参加者：223名

【平成22(2010)年度】

*「PLAY コーナー」実施の為、トイの日設定なし

【平成23(2011)年度】

開催日：7月23日・24日
参加者：214名



7月23日

(3) ギャラリーツアー（小学校の授業と連携）

【平成21(2009)年度】

① 上野伊三郎+リチ コレクション展

	開催日	学校名	参加者
1	5月21日	目黒区立下目黒小学校	42人

② 画材と素材の引き出し博物館

1	6月11日	目黒区立向原小学校	47人
---	-------	-----------	-----

③ 線の迷宮(ラビリンス)・番外編 (参加者 計403人)

1	9月1日	目黒区立月光原小学校	47人
2	9月2日	目黒区立五本木小学校	82人
3	9月3日	目黒区立原町小学校	63人
4	9月16日	目黒区立油面小学校	73人
5	9月18日	目黒区立下目黒小学校	44人
6	9月24日	目黒区立向原小学校	44人
7	9月25日	目黒区立下目黒小学校	50人

④ ベルナル・ビュフェ展 (参加者 計413人)

1	2月16日	目黒区立下目黒小学校	41人
2	2月17日	目黒区立原町小学校	42人
3	2月18日	目黒区立下目黒小学校	41人
4	2月23日	目黒区立上目黒小学校	55人
5	2月25日	目黒区立下目黒小学校	42人
6	2月26日	目黒区立下目黒小学校	50人
7	3月4日	目黒区立中根小学校	59人
8	3月9日	目黒区立下目黒小学校	31人
9	3月10日	目黒区立下目黒小学校	52人

【平成22(2010)年度】

① エミール・ガレの生きた時代

	開催日	学校名	参加者
1	4月30日	目黒区立油面小学校	67人

② 遊びのなかの色と形展 (参加者 計392人)

1	8月26日	目黒区立下目黒小学校	45人
2	8月27日	目黒区立菅刈小学校	45人
3	9月1日	目黒区立下目黒小学校	51人
4	9月3日	港区立港南小学校	110人
5	9月8日	目黒区立下目黒小学校	31人
6	9月9日	目黒区立中根小学校	76人
7	9月10日	目黒区立向原小学校	34人

③ 鉄を叩く一多和圭三展

1	12月10日	目黒区立向原小学校	47人
---	--------	-----------	-----

④ 包むー日本の伝統パッケージ展

1	2月24日	目黒区立上目黒小学校	43人
---	-------	------------	-----

【平成23(2011)年度】

① ラファエル前派からウィリアム・モリスへ (参加者 計150人)

	開催日	学校名	参加者
1	6月23日	目黒区立菅刈小学校	37人
2	7月8日	目黒区立下目黒小学校	50人
3	7月14日	目黒区立下目黒小学校	63人

② スケッチブックの使い方 (参加者 計321人)

1	7月29日	品川区立清水台小学校	13人
2	8月31日	目黒区立下目黒小学校	32人
3	9月1日	目黒区立下目黒小学校	21人
4	9月8日	渋谷区立西原小学校	91人
5	9月8日	目黒区立下目黒小学校	18人
6	9月9日	目黒区立油面小学校	66人
7	9月14日	目黒区立菅刈小学校	40人
8	9月15日	目黒区立向原小学校	40人

③ DOMA 秋岡芳夫展 (参加者 計153人)

1	12月14日	目黒区立菅刈小学校	31人
2	12月15日	目黒区立下目黒小学校	37人
3	12月16日	目黒区立下目黒小学校	49人
4	12月20日	目黒区立菅刈小学校	36人

④ メグロアドレス展 (参加者 計262人)

1	12月14日	目黒区立五本木小学校	33人
2	12月15日	目黒区立五本木小学校	54人
3	12月16日	目黒区立向原小学校	51人
4	12月20日	目黒区立菅刈小学校	24人
5	12月16日	目黒区立上目黒小学校	24人
6	12月20日	目黒区立中根小学校	76人

⑤ 画材と素材の引き出し博物館

1	9月2日	品川区立清水台小学校	12人
---	------	------------	-----

(4) 目黒区総合庁舎建築ガイドツアー

共催：目黒区

村野藤吾が設計した目黒区総合庁舎(旧千代田生命本社ビル)の見所を、目黒区美術館建築ボランティアが案内した。①通常コース、②コンバージョンコース、③和室集中コースの3つのコースで実施した。

【平成21(2009)年度】

講師：目黒区美術館建築ボランティア

開催日：4月17日、5月1日、9日、24日

時間：午後1時30分～3時

参加者：245人

【平成22(2010)年度】

講師：目黒区美術館建築ボランティア

開催日：4月23日、30日、5月8日、16日

時間：午後1時30分～3時

参加者：268人

【平成23(2011)年度】

東日本大震災の影響で中止

(5) めぐるアートウィーク

同財団パーシモンホールとの連携事業
共催：目黒区教育委員会

【平成21(2009)年度】

ア. 目黒建築めぐり塾

①東京大学駒場キャンパス周辺

開催日：3月4日

ナビゲーター：永井達也氏(建築家・目黒21設計室)

東京大学駒場キャンパス案内：折茂克哉氏(東京大学駒場博物館助教)

参加者：25人

②日本民藝館と旧前田侯爵邸

開催日：3月14日

ナビゲーター：永井達也氏(建築家・目黒21設計室)

日本民藝館案内：杉山享司氏(日本民藝館学芸部長)

協力：日本民藝館、東京都教育庁文化財保護係、目黒区みどりと公園課

参加者：32人

イ. 「ベルナール・ビュフェ展」ギャラリーツアー

開催日：2月27日

参加者：25人

ウ. 「ベルナール・ビュフェ展」"新井満さんの文学と美術のお話 ビュフェとジオノ"

開催日：2月28日

参加者：147人

場所：目黒区民センターホール

【平成22(2010)年度】

ア. 目黒建築めぐり塾

①旧前田侯爵邸コース《洋館サロンコンサート》

開催日：3月5日

ナビゲーター：永井達也氏(目黒21設計室)

サロンコンサート出演：松本和将(ピアノ)、瀧村依里(ヴァイオリン)、金子鈴太郎(チェロ)

協力：東京都教育庁文化財保護係、目黒区みどりと公園課

参加者：31人

②東京大学駒場キャンパス・日本民藝館コース

開催日：3月11日

ナビゲーター：永井達也氏(目黒21設計室)

東京大学駒場キャンパス案内：折茂克哉氏(東京大学駒場博物館助教)

参加者：24人

【平成23(2011)年度】

ア. 目黒建築めぐり塾

①東京大学駒場キャンパス・日本民藝館コース

開催日：3月8日

ナビゲーター：永井達也氏(目黒21設計室)

東京大学駒場キャンパス案内：折茂克哉氏(東京大学駒場博物館助教)

参加者：20人

②旧前田侯爵邸(和館・洋館)コース

開催日：3月18日

ナビゲーター：永井達也氏(目黒21設計室)

サロンコンサート出演：吉田誠(クラリネット)、佐野隆哉(ピアノ)

協力：東京都教育庁文化財保護係、目黒区みどりと公園課

参加者：20人

イ. メグロ・アートウォーク

①アドレッシングツアー1

開催日：3月3日

場所：The Container、NADiff Gallery

参加者：11人

②アドレッシングツアー2

開催日：3月10日

場所：THERME GALLERY、happa

参加者：11人

(6) その他

【平成22(2010)年度】

①映画『死なない子供、荒川修作 CHILDREN WHO WON'T DIE』特別上映

出演：荒川修作、佐治晴夫(宇宙物理学者)、天命反転
住宅の住人たちほか

監督：山岡信貴／音楽：渋谷慶一郎／ナレーション＝
浅野忠信／上映時間＝80分

開催日：2010年 11月19日(金)・11月20日(土)／両日とも
午後7時～9時(上映後に山岡監督のアフタートークも開催)

会場：目黒区美術館本館2階展示室A内特設上映場

主催：(財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館

協力：株式会社 ABRF、有限会社リタピクチャル

*「鉄を叩く一多和圭三展」の会期中の2日間、閉館後に作品展示空間を会場とし上映を行なった。

Ⅲ.入館状況

【平成21(2009)年度】

展覧会名	会期	開催日数	入館者数		会場	備考
			総数	一日平均		
上野伊三郎+リチ コレクション展 ウィーンから京都へ、建築から工芸へ	21年4月11日～ 5月31日	45日間	7,631人	170人	A, B, C, E, L, W	
線の迷宮〈ラビリンス〉・番外編展	21年8月1日～ 9月27日	51日間	4,693人	92人	A, B, C, E, L, W	
‘文化’資源としての〈炭鉱〉展	21年11月4日～ 12月27日	47日間	6,192人	132人	A, B, C, E, L, W	
めぐろの子どもたち展	22年1月16日～ 1月31日	14日間	10,873人	777人	A, B, C, E, L, W, G	
ベルナール・ビュフェ展 -「木を植えた男」の著者 ジャン・ジオノとの出会い	22年2月11日～ 4月11日	42日間 (21年度)	7,961人 (21年度)	190人 (21年度)	A, B, C, E, L	全期間52日間 11,256人
合計		199日間	37,350人	188人		

協力事業

展覧会名	会期	開催日数	入館者数		会場	備考
			総数	一日平均		
区展(区民作品展)	21年10月6日～ 10月18日	12日間	4,433人	369人	A, B, C, E, L, W, G	

共催事業

展覧会名	会期	開催日数	入館者数		会場	備考
			総数	一日平均		
目黒区写真美術協会展	21年4月14日～ 4月19日	5日間	360人	72人	G	
目黒区書作家協会展	21年5月19日～ 5月24日	6日間	324人	65人	G	
目黒区美術家協会展	21年6月23日～ 6月28日	5日間	450人	90人	G	
目黒区美芸作家協会展	22年3月24日～ 3月28日	5日間	694人	139人	G	

注 A = 展示室A、B = 展示室B、C = 展示室C、E = エントランスホール、L = 展示ロビー、W = ワークショップ、G = 区民ギャラリー

【平成22(2010)年度】

展覧会名	会期	開催日数	入館者数		会場	備考
			総数	一日平均		
ベルナール・ビュフェ展 -「木を植えた男」の著者 ジャン・ジオノとの出会い	22年4月1日～ 4月11日 (会期は2月11日から)	10日間	3,295人	330人	A, B, C, E, L	全期間52日間 11,256人
エミール・ガレの生きた時代 -近代生活のエレガンス	22年4月17日～ 5月30日	39日間	12,007人	308人	A, B, C, E, L	
紅心 小堀宗慶展 -創作と審美眼の世界-	22年6月5日～ 7月11日	32日間	16,963人	530人	A, B, C, E, L	
遊びのなかの色と形展 -クルト・ネフ&アントニオ・ヴィターリ	22年7月24日～ 9月12日	44日間	8,364人	190人	A, B, C, E, L, W	
鉄を叩く-多和圭三展	22年11月13日～ 23年1月9日	43日間	3,231人	75人	A, B, C, E, L, W	
めぐろの子どもたち展	23年1月15日～ 1月30日	14日間	11,012人	787人	A, B, C, E, L, W, G	
包む-日本の伝統パッケージ	23年2月10日～ 3月31日 (会期は4月3日まで)	43日間	6,422人	149人	A, B, C, E, L	全期間46日間 7,147人
合計		225日間	50,282人	223人		

協力事業

展覧会名	会期	開催日数	入館者数		会場	備考
			総数	一日平均		
区展(区民作品展)	22年9月28日～ 10月10日	12日間	4,394人	366人	A, B, C, E, L, W, G	

共催事業

展覧会名	会期	開催日数	入館者数		会場	備考
			総数	一日平均		
目黒区写真美術協会展	22年4月13日～ 4月18日	5日間	307人	61人	G	
目黒区書作家協会展	22年5月25日～ 5月30日	5日間	419人	84人	G	
目黒区美術家協会展	22年6月22日～ 6月27日	5日間	500人	100人	G	
目黒区美芸作家協会展	23年3月23日～ 3月27日	5日間	594人	119人	G	

注 A=展示室A、B=展示室B、C=展示室C、E=エントランスホール、L=展示ロビー、W=ワークショップ、G=区民ギャラリー

【平成23(2011)年度】

展覧会名	会期	開催日数	入館者数		会場	備考
			総数	一日平均		
包む－日本の伝統パッケージ	23年4月1日～ 4月3日 (会期は2月10日から)	3日間	725人	242人	A, B, C, E, L	全期間46日間 7,147人
包む－日本の伝統パッケージ (「原爆を視る展」中止のため延長)	23年4月5日～ 5月22日	43日間	5,167人	120人	A, B, C, E, L	
ラファエル前派からウィリアム・モリスへ 同時開催：藤田嗣治 人物と動物	23年6月4日～ 7月14日	35日間	6,351人	181人	A, B, C, E, L, W	
所蔵作品展 スケッチブックの使い方 －描いたり歩いたり、そしてまた描いたり	23年7月23日～ 9月19日	51日間	2,925人	57人	A, B, C, E, L	
DOMA 秋岡芳夫 －モノへの思想と関係のデザイン	23年10月29日～ 12月25日	50日間	11,785人	236人	A, B, C, E, L, W	
めぐろの子どもたち展	24年1月14日～ 1月29日	14日間	10,254人	732人	A, B, C, E, L, W, G	
メグロアドレス－都会に生きる作家－	24年2月7日～ 3月31日	47日間 (23年度)	3,703人 (23年度)	78人 (23年度)	A, B, C, E, L	全期間48日間 4,003人
合計		243日間	40,910人	168人		

協力事業

展覧会名	会期	開催日数	入館者数		会場	備考
			総数	一日平均		
区展(区民作品展)	23年9月27日～ 10月9日	12日間	4,096人	341人	A, B, C, E, L, W, G	

共催事業

展覧会名	会期	開催日数	入館者数		会場	備考
			総数	一日平均		
目黒区写真美術協会展	23年4月13日～ 4月17日	5日間	312人	62人	G	
目黒区書作家協会展	23年5月25日～ 5月29日	5日間	350人	70人	G	
目黒区美術家協会展	23年6月22日～ 6月26日	5日間	400人	80人	G	
目黒区美芸作家協会展	24年3月27日～ 4月1日	5日間	846人	169人	G	

注 A = 展示室A、B = 展示室B、C = 展示室C、E = エントランスホール、L = 展示ロビー、W = ワークショップ、G = 区民ギャラリー

IV. 作品等貸出

[平成 21 (2009) 年度]

●作品貸出点数 作品=13点

作家名・作品名	展覧会名	貸出先	会期・貸出期間
飯田善國 「戦争A - 鎮魂歌・思い出す人々」 「戦争B - 文明の没落」	芥川沙織展	横須賀美術館 一宮市三岸節子記念美術館	会期：[横須賀] 平成21年2月28日～3月6日 [一宮] 平成21年5月16日～6月21日 貸出：平成21年2月5日～7月4日
岡鹿之助 「信号台」 浜口陽三 「パリの屋根」	日本の美術館名品展	主催：東京都美術館 美術館連絡協議会等 会場：東京都美術館	会期：平成21年4月25日～7月5日 貸出：平成21年4月1日～7月10日
川村清雄 「花」 「静物(紫陽花とチゴハヤブサ)」 「三色すみれ」 「いにしへの奈良の都」	花 —美と生命のイメージ展	横須賀美術館	会期：平成21年4月11日～5月31日 貸出：平成21年4月4日～6月3日
田中保 「金髪の裸婦」 今井俊満 「新緑」 白髪一雄 「天機星 - 智多星」	「4つの物語」 コレクションと日本近代美術	川村記念美術館	会期：平成21年6月27日～9月23日 貸出：平成21年6月11日～10月12日
中川紀元 「女と猫」 鈴木千久馬 「婦人」	絵の力 —絵の具の魔術—	武蔵野美術大学美術資料図書館	会期：平成21年7月8日～8月23日 貸出：平成21年7月1日～9月3日

●教育普及用教材貸出 引き出し=27点

画材の引き出し博物館 「BOX 1」より26点	夏休みこどもの美術館2009 「絵をつくる」—画材ができるまで」	名古屋市美術館	会期：平成21年7月18日～8月16日
画材の引き出し博物館 「BOX 1-8. 油絵具の昔と今 [油彩画]」	没後90年 村山槐多 ガランズの悦楽	渋谷区立松濤美術館	会期：平成21年12月1日～平成22年1月24日 貸出：平成21年11月25日～2月3日

[平成 22 (2010) 年度]

●作品貸出点数 作品=23点

作家名・作品名	展覧会名	貸出先	会期・貸出期間
村上友晴 「PSALM I」(8点組)	静けさのなかから —桑山忠明・村上友晴	名古屋市美術館	会期：平成22年4月24日～7月4日 (前期 [桑山忠明]：4月24日 ～5月30日 / 後期 [村上友晴]： 6月1日～7月4日) 貸出：平成22年4月2日～7月6日
東山魁夷 「樹根」	道 —心に刻まれた風景展	香川県立東山魁夷せとうち美術館	会期：平成22年4月17日～5月23日 貸出：平成22年4月10日～5月27日
木下晋 「無 I」 「無 II」 「無 III」 「旅立ち」	木下晋 —生命との対話—	あさご芸術の森美術館	会期：平成22年9月4日～10月17日 貸出：平成22年8月26日～10月21日
森田元子 「婦人」 高野三三男 「赤と黒のエチュード」	女性像の魅力	小松市立宮本三郎美術館	会期：平成22年9月25日～11月23日 貸出：平成22年9月14日～11月27日
藤田嗣治 「殉教者」	黄金美術展	ふくやま美術館	会期：平成22年10月9日～11月28日 (前期：10月9日～10月31日 / 後期：11月2日～11月28日) 貸出：平成22年9月30日～12月3日

作家名・作品名	展覧会名	貸出先	会期・貸出期間
古茂田守介 「裸婦(一)」、「母子」、「臥せる女」、「踊り子達」、「踊子と塑像」、「工房」、「母子」、「裸婦と静物」、「裸婦(B)」、「立像と葉」、「貝殻と裸婦」	古茂田家五人 美と表現の世界へ	セキ美術館	会期：平成22年10月20日～11月28日 貸出：平成22年10月1日～12月8日
東山魁夷 「樹根」	東山魁夷《晩照》《光昏》とその時代	市川市東山魁夷記念館	会期：平成22年10月29日～12月5日 貸出：平成22年10月22日～12月14日
篠田教夫 「海辺の断崖 II」	鉛筆画の世界展	中京大学アートギャラリー C・スクエア	会期：平成22年11月29日～平成23年1月8日 貸出：平成22年11月19日～平成23年1月14日
木下晋 「無 I」	光の絵画 vol.3 展	熊本市現代美術館	会期：平成22年12月11日～平成23年2月13日 貸出：平成22年11月20日～平成23年3月3日

●教育普及用教材貸出 引き出し=29点

画材の引き出し博物館 (引き出しケース2台・引き出し29セット) 「BOX 1」より29点	つくりかたから見る美術	群馬県立館林美術館	会期：平成22年6月26日～9月5日 貸出：平成22年6月16日～9月10日
---	-------------	-----------	---

[平成 23 (2011) 年度]

●作品貸出点数 作品=11点

作家名・作品名	展覧会名	貸出先	会期・貸出期間
村上友晴 「PSALM I」(8点組)	村上友晴展	京都精華大学 (会場：ギャラリーフロー ル)	会期：平成23年4月15日～5月21日 貸出：平成23年4月14日～5月26日
高島野十郎 「百合とヴァイオリン」 「牡丹花」	高島野十郎・里帰り展	石橋財団石橋美術館	会期：平成23年7月1日～8月21日 貸出：平成23年6月18日～8月30日
岡鹿之助 「信号台」 里見勝蔵 「雪景」		マリー・ローランサン美術 館 高梁市成羽美術館	会期：[マリー] 平成23年7月28日～10月13日 [高梁市] 10月22日～12月25日 貸出：平成23年7月22日～平成24年1 月18日
草間彌生 「終わりなき愛」	草間彌生 ボディ・フェスティバル in 60'S	ワタリウム美術館	会期：平成23年8月8日～11月23日 貸出：平成23年8月5日～11月28日
佐分眞 「男の肖像」	佐分眞展 一洋画界を疾走した伝説の 画家一	一宮市三岸節子記念美術館	会期：平成23年10月8日～11月23日 貸出：平成23年9月29日～11月30日
内田巖 「岩と水」 鈴木誠 「室内群像」	昭和モダン 藤島武二と新制作初期会員たち	神戸市小磯記念美術館 川越市立美術館	会期：[神戸市] 平成23年10月15日～平成24年 1月9日 [川越市] 平成24年1月28日～3月20日 貸出：平成23年10月4日～平成24年3 月28日
村山槐多 「スケッチブック」	村山槐多の全貌	岡崎市美術博物館	会期：平成23年12月3日～平成24年1 月29日 貸出：平成23年11月25日～平成24年 2月3日
幾嘸 「虹のエンバイラメント」	幾嘸 ふたたび虹のかなたに	東京都現代美術館	会期：平成24年2月4日～5月6日 貸出：平成24年1月23日～5月22日

V. 刊行

1 ピリエ(目黒区美術館ニュース)

目黒区美術館では、美術館活動の広報を目的に、美術館ニュース「ピリエ」を発行している。「ピリエ」(Piliers)は、フランス語で「柱、支柱」あるいは「支柱となる人、人物」のことで、当館のエントランスホール正面にある4本の柱を意味している。



発行：2009年12月15日
サイズ：29.6×21cm
ページ数：12頁

ピリエ NO.25, 26号



発行：2012年3月30日
サイズ：29.6×21cm
ページ数：12頁

ピリエ NO.27号

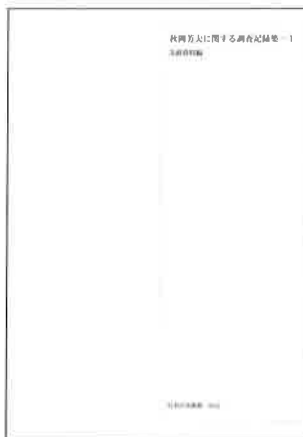
2 ‘文化’資源としての<炭鉱>展「夜の美術館大学」・講義録



発行：2012年3月25日
サイズ：20.9×14.7×1.5cm
ページ数：308頁

「夜の美術館大学」・講義録

3 秋岡芳夫に関する調査記録集-1 文献資料編



発行：2012年3月31日
サイズ：25.6×18.7×0.4cm
ページ数：46頁

秋岡芳夫文献編

4 目黒区美術館年報 平成18・19・20年度



発行：2010年3月31日
サイズ：A4
ページ数：144頁

目黒区美術館年報 平成18・19・20年度

VI. 区民ギャラリー

【平成21(2009)年度】

	展 覧 会 名	貸出期間	日 数	入場者
1	第44回目黒区民華道展 呈茶席	4/1 ~ 4/5	5	856
2	第11回ゆうの会 徹彩会合同展覧会	4/7 ~ 4/12	6	597
3	第8回春水会展	4/14 ~ 4/19	6	277
4	目黒区写真美術協会展	4/15 ~ 4/19	5	360
5	ルコンテ 六水会 合同絵画展	4/21 ~ 4/27	7	235
6	雨恋制作委員会	4/22 ~ 4/27	6	320
7	東京製本倶楽部	4/29 ~ 5/6	8	1,171
8	えふけい会	5/12 ~ 5/17	6	611
9	目黒区書作家協会	5/20 ~ 5/24	5	324
10	第15回パステル会	5/26 ~ 5/31	6	453
11	Zou	5/26 ~ 5/31	6	155
12	FIGURE	6/2 ~ 6/7	6	120
13	E C L E C T I C 展	6/2 ~ 6/7	6	200
14	第19回 だん 展	6/9 ~ 6/13	5	300
15	I・NO・CHI	6/9 ~ 6/14	6	500
16	第12回緑が丘写真クラブ作品展	6/17 ~ 6/21	5	140
17	すいすい展	6/17 ~ 6/21	5	170
18	第17回目黒区美術家協会展	6/24 ~ 6/28	5	450
19	和紙ちぎり絵自由が丘教室作品展	6/30 ~ 7/5	6	318
20	舞の風	6/30 ~ 7/5	6	320
21	東京工業大学写真研究部	7/7 ~ 7/12	6	159
22	青砥 英規展	7/7 ~ 7/12	6	70
23	サクラアートサロン	7/15 ~ 7/20	6	300
24	第19回勤労者美術展	7/22 ~ 7/26	5	242
25	食べられた惑星とその狂った水は季節を巡る(藤田純平)	8/1 ~ 8/2	2	—
26	CRAWL Vol.07「オレの動物園」	8/4 ~ 8/9	6	400
27	目黒イーゼル会	8/4 ~ 8/9	6	250
28	第27回萌画会	8/11 ~ 8/16	6	519
29	18+ a	8/18 ~ 8/23	6	403
30	みんなのてんでこマイランド	8/25 ~ 8/30	6	—
31	山口実 自選展	9/1 ~ 9/6	6	432
32	第21回「えんたに」グループ展	9/8 ~ 9/13	6	230
33	hangabu	9/15 ~ 9/20	6	180
34	第12回孝彩会	9/15 ~ 9/20	6	238
35	大重玉×長友心平	9/22 ~ 9/27	6	150
36	水彩画合同展	9/22 ~ 9/27	6	300
37	森芳範 植物染色展 (本館と同時開催)	9/29 ~ 10/3	5	74
38	けやきの会・道草作品展 第32回あお展~ 22人×一尺~	9/29 ~ 10/3	5	100
39	区民作品展	10/6 ~ 10/18	13	1,745
40	第20回一樹会記念展	10/20 ~ 10/25	6	280
41	目黒区文化祭 第47回自主グループ連合会作品発表会	10/27 ~ 11/1	6	472
42	川俣正コールサイン・プロジェクト	11/4 ~ 12/27	54	—
43	第7回 遊子舎 水彩画展	1/5 ~ 1/11	7	250
44	水耀会展 第51回ユネスコ美術展	1/5 ~ 1/11	7	285
45	めぐろの子どもたち展	1/16 ~ 1/31	16	10,873
46	第9回 春水会展	2/2 ~ 2/7	7	330
47	第3回 リヒト会展	2/2 ~ 2/7	7	600
48	第9回 ものがたり展	2/9 ~ 2/14	6	—
49	写真教室アルトフォーカス	2/16 ~ 2/21	6	369
50	Moku 展	2/16 ~ 2/21	6	90
51	らゆう会	2/23 ~ 2/28	6	400
52	めぐろアートウィーク	3/2 ~ 3/7	6	397
53	SHOKO&BRYANT's RAW VISION	3/9 ~ 3/14	6	520
54	第15回 美芸展	3/24 ~ 3/28	5	694
	合 計		327	18,356

*「めぐろの子どもたち展」は本館の入場者数に含まれるため、ギャラリーの日数、入場者の合計にカウントしていない。

*「川俣正コールサイン・プロジェクト」は本館の展覧会事業なので、ギャラリーの日数にカウントしていない。

*その他「—」についてはND(ノー・データ)。

【平成22(2010)年度】

	展覧会名	貸出期間	日数	入場者
1	第45回日黒区文化祭 日黒区民の華道展・呈茶席	3/30～4/4	6	703
2	P.Quilt Kon 作品展	4/6～4/11	6	200
3	第1回 祐天寺アトリエ彩屋展	4/6～4/11	6	260
4	第1回 恍心会 仏像彫刻・木彫刻教室展	4/13～4/18	6	338
5	日黒区写真美術協会展	4/13～4/18	6	307
6	書友会 書道展	4/20～4/25	6	250
7	アトリエ・アートキッズ&スペース展覧会	4/20～4/25	6	—
8	澤井恭子社中いけばな池坊展	4/27～5/2	6	165
9	第20回記念 だん展	5/4～5/9	6	300
10	自由が丘フォトクラブ 写真展	5/4～5/9	6	350
11	第1回TKフォトクラブ作品展示会	5/11～5/16	6	400
12	えふけい会 スケッチ展	5/11～5/16	6	450
13	並河座展12	5/18～5/23	6	220
14	日黒区書作家協会展	5/25～5/30	6	419
15	彩美会展	6/1～6/6	6	256
16	第16回パステル会展	6/1～6/6	6	384
17	ガラスアピール2010展	6/8～6/13	6	246
18	第10回 JASS 水墨画作品展	6/8～6/13	6	420
19	碑文谷彫 作品展	6/15～6/20	6	350
20	第19回 翠粋酔展	6/15～6/20	6	100
21	第18回 日黒区美術家協会展	6/22～6/27	6	500
22	第28回 萌画会展	6/29～7/4	6	663
23	第12回 ゆうの会・徹彩会合同展覧会	7/6～7/11	6	693
24	第11回 サクラアートサロン会員展	7/13～7/19	7	150
25	第20回 日黒区勤労者美術展	7/21～7/25	5	183
26	岡田邦明写真展「ロマネスクの博物誌」	7/27～8/1	6	237
27	水稲会展	7/27～8/1	6	175
28	日韓美術交流展 2010 Tokyo	8/3～8/8	6	259
29	CRAWL Vol.08「8」	8/10～8/15	6	400
30	旧三商大学写真展 一創立75周年記念展・第60回展一	8/17～8/22	6	200
31	山崎方石篆刻展	8/17～8/22	6	396
32	4 A P	8/24～8/29	6	180
33	目黒イーゼル会展	8/24～8/29	6	250
34	RAY ART SCHOOL Exhibition 2010 レイアートスクール作品展2010	8/31～9/5	6	500
35	第21回「一樹会展」	9/7～9/12	6	200
36	北欧モダンチェア100展	9/14～9/20	7	1,000
37	区民作品展 (本館と同時開催)	9/28～10/10	13	1,827
38	東京手描友禪青年部展覧会 第32回あお展～22人×一尺～	10/13～10/17	5	269
39	けやきの会・道草作品展	10/13～10/17	5	80
40	第46回 U.A.L 美術展	10/19～10/24	6	493
41	水彩合同展 (むくの会・木曜会・みずゑの会)	10/19～10/24	6	260
42	日黒区文化祭 第48回自主グループ連合会作品発表会	10/26～10/31	6	385
43	ゲッスイトリエンナーレ in 2010	11/2～11/7	6	700
44	日黒区文化祭 第51回ユネスコ美術展	11/9～11/14	6	315
45	第7回「ATELIER EBI・OMO」展	11/16～11/21	6	300
46	おりのわ東京ー2010ー	11/23～11/28	6	300
47	和紙ちぎり絵 自由が丘教室作品展	11/23～11/28	6	174
48	ネイキッド	11/30～12/5	6	100
49	第13回緑が丘写真クラブ作品展	11/30～12/5	6	200
50	第10回蒼天画展	12/7～12/12	6	100
51	現代裂織の発見 裂織：アート&クラフト展	12/14～12/19	6	510
52	An atlas	1/5～1/10	6	150
53	平成22年度 めぐろの子どもたち展 (本館と同時開催)	1/12～1/30	19	11,012
54	写真教室アルトフォーカス第3回受講生作品展	2/1～2/6	6	381
55	第8回遊子舎水彩画展	2/1～2/6	6	200
56	鳥田いずみ写真展「Photographic Records」	2/8～2/13	6	128
57	市口清一 1999-2010	2/15～2/20	6	200
58	やのやへの	2/22～2/27	6	180
59	早稲田大学芸術学校10期写真専攻卒展「おらんとす」	2/22～2/27	6	250
60	めぐろアートウィーク 東京都立芸術高等学校美術科作品展	3/1～3/6	6	839
61	第13回孝彩会展	3/8～3/13	6	105
62	第2回 アトリエ彩屋展	3/8～3/13	6	95
63	第57回国公立展	3/15～3/21	7	257
64	第16回美芸展	3/23～3/27	5	594
65	第13回 ゆうの会・徹彩会合同展覧会	3/29～4/3	6	647
	合計		390	22,143

*「めぐろの子どもたち展」は本館の入場者数に含まれるため、ギャラリーの日数、入場者の合計にカウントしていない。

*「一」についてはND(ノー・データ)。

[平成23(2011)年度]

	展 覧 会 名	貸出期間	日 数	入場者
1	第13回 ゆうの会・微彩会合同展覧会	4/1 ~ 4/3	3	647
2	第46回目黒区民の華茶道展・呈茶席 (東日本大震災の影響により中止)	4/5 ~ 4/10	6	—
3	第10回春水会展	4/12 ~ 4/17	6	279
4	目黒区写真美術協会展	4/12 ~ 4/17	6	312
5	座標	4/19 ~ 4/24	6	120
6	第4回リヒト会水彩画展	4/19 ~ 4/24	6	120
7	第29回萌画会展	4/26 ~ 5/1	6	496
8	第17回パステル会展	5/3 ~ 5/8	6	458
9	えふけい会 スケッチグループ展	5/3 ~ 5/8	6	350
10	並河座13	5/10 ~ 5/15	6	250
11	グラスアピール2011	5/17 ~ 5/22	6	249
12	目黒区書作家協会展	5/24 ~ 5/29	6	350
13	第21回だん展	5/31 ~ 6/5	6	230
14	千秋工房第4回生徒作品展	5/31 ~ 6/5	6	280
15	地・点からの発信	6/7 ~ 6/12	6	315
16	目黒イーゼル会	6/7 ~ 6/12	6	200
17	第10回ものがたり展	6/14 ~ 6/19	6	220
18	目黒区美術家協会	6/21 ~ 6/26	6	400
19	らゆう展'11	6/28 ~ 7/3	6	400
20	「Message」来本曜世・増田茂2人展	7/5 ~ 7/10	6	400
21	東京工業大学写真研究部 新人展	7/5 ~ 7/10	6	83
22	第5回国際交流展	7/12 ~ 7/18	7	1,000
23	第21回勤労者美術展	7/20 ~ 7/24	5	234
24	天野政雄個展 小さな小さな旅のスケッチ展	7/26 ~ 7/31	6	700
25	目黒区シルバー人材センター独自事業 日本画教室15周年記念展	8/2 ~ 8/7	6	300
26	CRAWL Vol.09「未来博」	8/9 ~ 8/14	6	400
27	18+∞展	8/16 ~ 8/21	6	400
28	第61回旧三商大写真展「音」	8/23 ~ 8/28	6	250
29	水耀会展	8/23 ~ 8/28	6	250
30	マザーズキルト展	8/30 ~ 9/4	6	474
31	アトリエ・アートキッズ&スペース展覧会	8/30 ~ 9/4	6	—
32	第47回 U.A.L 美術展	9/6 ~ 9/11	6	150
33	第20回翠粋展	9/6 ~ 9/11	6	120
34	東京手描友禅 青年部展覧会 第33回あお展	9/13 ~ 9/19	7	322
35	□展	9/13 ~ 9/19	7	150
36	区民作品展 (本館と同時開催)	9/24 ~ 10/10	14	1,810
37	目黒区文化祭 第49回目黒区自主グループ連合会作品展	10/12 ~ 10/16	5	300
38	第22回一樹会展	10/18 ~ 10/23	6	200
39	RAY ART SCHOOL Exhibition 2011 レイアーツスクール作品展2011	10/25 ~ 10/30	6	700
40	「ふるさとの田んぼと水」 子ども絵画展2011	11/1 ~ 11/6	6	250
41	井上慎 画業70年展	11/8 ~ 11/13	6	299
42	東日本大震災復興支援・有山岱泉の色紙、短冊展	11/15 ~ 11/20	6	560
43	水彩合同展	11/15 ~ 11/20	6	300
44	アート&クラフト 裂織展&小品展2011 ~私の発見~	11/22 ~ 11/27	6	500
45	「真善忍」国際美術展	11/22 ~ 11/27	6	200
46	第40回在日朝鮮学生美術展覧会	11/29 ~ 12/4	6	1,530
47	第12回サクラアートサロン会員展	12/6 ~ 12/11	6	250
48	第八支部連合美術展	12/13 ~ 12/18	6	300
49	駒澤大学書道部 第45回書作展	12/20 ~ 12/25	6	161
50	宗國仙嬌 墨彩と素描展	1/5 ~ 1/9	5	205
51	平成23年度 めぐろの子どもたち展 (本館と同時開催)	1/11 ~ 1/31	21	10,254
52	武蔵野美術大学映像学科写真コース3年展「13人」	2/1 ~ 2/5	5	183
53	小松浩子 写真展 プロイラースペース時代の彼女の名前	2/7 ~ 2/12	6	70
54	写真教室アルトフォーカス 第4回受講生作品展	2/14 ~ 2/19	6	292
55	第11回 JASS 水墨画作品展	2/14 ~ 2/19	6	350
56	東京総合写真専門学校2011年度展	2/21 ~ 2/26	6	273
57	第58回国公立展	2/28 ~ 3/4	6	211
58	めぐろアートウィーク 東京都立芸術高等学校美術科作品展	3/6 ~ 3/12	7	1,067
59	春水会展	3/13 ~ 3/18	6	350
60	水彩画二人展 山下節夫 小川和子	3/13 ~ 3/18	6	300
61	第27回私立中高美術部合同展覧会	3/20 ~ 3/25	6	243
62	自由ヶ丘フォトクラブ写真展	3/20 ~ 3/25	6	300
63	第17回美芸展	3/27 ~ 4/1	6	594
	合 計		377	22,707

*「めぐろの子どもたち展」は本館の入場者数に含まれるため、ギャラリーの日数、入場者の合計にカウントしていない。

*「—」についてはND(ノー・データ)。

VII. ボランティア

生涯学習の振興に向けてボランティア活動の重要性が指摘される中、地域においても美術館を通しての社会奉仕活動を希望する人々が多く存在するようになってきている。美術館としてもそのような要望に応え、また住民のニーズを把握し、美術・文化活動の地域への振興を図っていくためにボランティア活動を積極的に援助し、活用していく必要がある。

目黒区美術館では、昭和62年11月の開館時よりボランティアを受け入れ、現在はラウンジ(喫茶コーナー)の運営、ワークショップ、アウトリーチ、目黒区総合庁舎建築ガイドツアー、広報活動補助等を中心に幅広い活動を目指している。

1 ボランティア数 98名(平成23年)

2 活動内容

(1) ラウンジ運営ーラウンジ営業部

活動時間：展覧会会期中の午後12時30分～4時30分

(ラウンジの営業時間は、午後1時から4時まで)

当番：原則として毎日2名

(2) ワークショップ活動ー学芸部トイコレクション班

【平成21年度】

① トイの日

開催日：8月1日・2日

参加者：223名

② 「線の迷宮(ラビリンス)・番外編 響きあい、連鎖するイメージの詩情」展

ファミリーワークショップ〈うつつとる、夏の思い出、版画集〜♪〉

日にち：8月22日・33日

参加者：34名

【平成22年度】

① トイの日 *「PLAY コーナー」実施の為、トイの日設定なし

② 「遊びのなかの色と形展ー Kult・ネフ&アントニオ・ヴィターリ」展

ファミリーワークショップ〈手の中の遊びのカタチ〉

開催日：8月14日・15日

参加者：30名

【平成23年度】

① トイの日

開催日：7月23日・24日

参加者：214名

② 「スケッチブックの使い方ー描いたり歩いたり、そしてまた描いたり」展

ファミリーワークショップ〈スケッチブックは思い出ノートーいろいろ発見してみよう！〉

開催日：8月14日・21日

参加者：22名

(3) アウトリーチ活動(出張美術館)ー学芸部トイコレクション班

【平成21年度】

① 〈トイでつくろう 大きな木のある公演〉

進行：トイコレクション・ボランティア・チーム

開催日：5月30日

場所：目黒区民センター児童館

参加者：49名

② 〈トイでつくる 色と形の万華鏡〉

進行：トイコレクション・ボランティア・チーム

開催日：6月27日

場所：油面住区センター児童館

参加者：13名

③ 〈氷の国のクリスマス〉

進行：トイコレクション・ボランティア・チーム

開催日：12月19日

場所：目黒区民センター児童館

参加者：71名

【平成22年度】

- ① 〈スイスイおよげ こいのぼり2〉
 進 行：トイコレクション・ボランティア・チーム
 開催日：5月15日
 場 所：目黒区民センター児童館
 参加者：20名
- ② 〈〇△□、街の建築家になろう！〉
 進 行：トイコレクション・ボランティア・チーム
 開催日：6月26日
 場 所：油面住区センター児童館
 参加者：25名
- ③ 〈パッパ ずるずる パズルの日〉
 進 行：トイコレクション・ボランティア・チーム
 開催日：12月4日
 場 所：目黒区民センター児童館
 参加者：69名

【平成23年度】

- ① 〈つみきとロープであそぼ〜1つの形しかない街ってどんなかな？〉
 進 行：トイコレクション・ボランティア・チーム
 開催日：5月14日
 場 所：目黒区民センター児童館
 参加者：42名
- ② 〈〇△□の世界を作ろう！〜パズル編〉
 進 行：トイコレクション・ボランティア・チーム
 開催日：6月18日
 場 所：油面住区センター児童館
 参加者：13名
- ③ 〈トイでつみきでクリスマスケーキを作ろう〜パティシエ募集中〜〉
 進 行：トイコレクション・ボランティア・チーム
 開催日：12月3日
 場 所：目黒区民センター児童館
 参加者：35名

(4) 目黒区総合庁舎ガイドツアー—学芸部建築班

【平成21年度】	日にち	4/17	5/1	5/9	5/24
	参加者	14	61	58	112
【平成22年度】	日にち	4/23	4/30	5/8	5/16
	参加者	69	31	82	86
【平成23年度】	日にち	—	—	—	—
	参加者	—	—	—	—

*平成23年度は東日本大震災の影響で中止。

(5) チラシなどの発送作業—広報部

【平成21年度】

「上野伊三郎+リチ コレクション」展ほか、ポスター・チラシ等発送作業3回

【平成22年度】

「エミール・ガレの生きた時代」展ほか、ポスター・チラシ等発送作業4回

【平成23年度】

「ラファエル前派からウィリアム・モリスへ」展ほか、ポスター・チラシ等発送作業3回

(6) バスツアー

【平成21年度】

実施日：10月20日(火)

場所：ヴァンジ彫刻庭園美術館、ベルナール・ピュフェ美術館

参加者：34名

【平成22年度】

実施日：10月22日(金)

場所：松永記念館、平塚市美術館

参加者：39名

【平成23年度】

実施日：10月 21日(金)

場所：ホキ美術館、千葉市美術館

参加者：48名

(7) その他

曜日班別見学会、総会実施

VIII. 博物館実習

学芸員資格取得単位修得のため、当館において実習を希望したい旨の依頼が多くあることから、検討の結果、平成8年度を初年度としてこれを受け入れている。

実習期間、実習内容等については、担当学芸員との面接により決定する。

(提出書類)履歴書、アンケート、学長からの依頼書等。

大学名	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
青山学院大学			1
跡見学園女子大学		1	
学習院大学	1	1	1
神奈川工科大学	1		
京都造形芸術大学	1		
共立女子大学			1
工学院大学	1		1
静岡文化芸術大学			1
首都大学東京			1
女子美術大学		1	
成蹊大学			1
聖心女子大学		1	
清泉女子大学	1		
多摩美術大学	1	1	
中央大学			1
筑波大学・大学院	1	1	1
東京学芸大学	1		
東洋英和女学院大学			1
東洋大学		1	
名古屋芸術大学	1		
日本大学		1	
日本女子大学	1	1	2
法政大学			1
武蔵野美術大学	3	4	3
明治学院大学		1	1
八洲学園大学			1
合計	13	14	18

IX. 名簿

公益財団法人目黒区芸術文化振興財団 評議員・理事・監事名簿

(平成24年11月1日現在)

評議員

	役職	氏名	備考
1	評議員 (議長)	新井 篤美	早稲田大学招聘研究員
2	評議員	伊藤 昌明	目黒信用金庫理事長
3	〃	柏谷 秀男	弁護士
4	〃	田淵 保夫	目黒区書作家協会会長
5	〃	塩田 純一	美術評論家(新潟市美術館館長)
6	〃	井上 裕佳子	音楽関係通訳・翻訳家
7	〃	橘田 恵美子	目黒クラシック音楽家協会副会長
8	〃	箱守 栄一	慶応義塾大学院アートマネジメント分野非常勤 講師
9	〃	牧野 雅子	童謡の里めぐろ保存会
10	〃	杉岡 明美	目黒区合唱連盟

(以上10名)

理事

	役職	氏名	備考
1	理事長	清水 美知雄	(株)ワッティー代表取締役
2	副理事長	山下 直純	山下寝具(株)会長
3	常務理事	渡部 弘	(公財)目黒区芸術文化振興財団事務局長
4	理事	今中 美耶子	弁護士
5	〃	田中 晴久	目黒区美術館館長
6	〃	秋山 光文	お茶の水女子大学大学院教授
7	〃	中屋 早紀子	声楽家(聖徳大学音楽文化学科非常勤講師)
8	〃	三木 隆二郎	NPO 法人トリトンアーツネットワーク理事
9	〃	南 富士江	めぐろパーシモンホール館長

(以上9名)

監事

	役職	氏名	備考
1	監事	増 秀夫	東京税理士会目黒支部前支部長
2	〃	大竹 勲	前目黒区代表監査委員

(以上2名)

X. 施設

● 工事概要

建築

所在地：東京都目黒区目黒二丁目4番36号
地域・地区：住居地域・準防火地域・第3種高度地区
敷地面積：2,033.53㎡
建ぺい率：66.45%
容積率：199.61%
構造・規模：鉄骨鉄筋コンクリート造
地上3階・地下1階
建物高さ：17.89m
延床面積：4,059.21㎡

構造

主体構造：鉄骨鉄筋コンクリート造
その他：外壁花崗岩貼りジェットバーナー仕上げ(乾式工法)
工期：着工昭和60年12月2日
竣工昭和62年3月31日
設計・監理：株式会社日本設計事務所
建築：株式会社竹中工務店東京本店
空調設備：株式会社朝日工業社本店
衛生設備：足立工業株式会社東京支店
電気設備：中国電気工事株式会社東京支店
昇降機設備：横浜エレベータ株式会社

● 面積表

展示・教育普及

展示室A：319.10㎡
展示室B：170.46㎡
展示室C：65.80㎡
展示ロビー：44.80㎡
ワークショップ：148.47㎡
廊下・階段・その他：203.17㎡
小計：951.8㎡

区民ギャラリー

区民ギャラリー：379.53㎡
控室：14.5㎡
区民ギャラリーエントランス・階段・その他：198.82㎡
小計：592.85㎡

研究調査

資料室：102.79㎡
修復室：46.09㎡
小計：148.88㎡

収蔵

収蔵庫A：408.36㎡
収蔵庫B：53.85㎡
前室：48.53㎡
荷解室：62.58㎡
搬出入口：56.57㎡
展示用具室：73.40㎡
エレベーター・倉庫・その他：229.63㎡
小計：932.92㎡

管理

事務室：58.05㎡
館長室：32.47㎡
理事長室：24.58㎡
中央管理室：20.64㎡
休養室：24.29㎡
ワークショップ準備室：31.36㎡
映像準備室：14.40㎡
廊下・階段・その他：178.18㎡
小計：383.97㎡

ホール等

エントランス：169.85㎡
ラウンジ：55.84㎡
ベビーコーナー：5.27㎡
廊下・その他：343.58㎡
小計：574.54㎡

機械室等

機械室：277.14㎡
電気室：67.59㎡
エレベーター機械室・自家発電室・その他：129.52㎡
小計：474.25㎡

合計：4,059.21㎡

XI.沿革

昭和45年	長期計画基本構想で「芸術文化の振興の拠点として総合文化施設の設置」を決定
昭和54年 7月	長期計画実施計画で「美術館の設置」を決定
12月	美術館開設準備室設置
昭和55年 3月	目黒区美術博物館建設検討委員会設置
4月	「東京都目黒区博物館資料取得基金条例」施行
昭和56年 1月	目黒区美術博物館建設検討委員会答申「目黒区が建設する美術博物館の基本構想のあり方について」
3月	目黒区美術博物館建設専門委員設置
4月	目黒区美術博物館(仮称)設置の方針策定
11月	目黒区立美術館(仮称)資料収集委員会要綱を制定
昭和57年 2月	博物館併設構想から美術館単独構想へ変更
3月	第一回資料収集委員会開催-資料収集を開始
10月	区制施行50周年記念事業に位置づけ
昭和59年 2月	目黒区美術館(仮称)基本構想策定(58年6月策定開始)
10月	目黒区美術館(仮称)基本設計策定
昭和60年 3月	目黒区美術館(仮称)実施設計策定
6月	目黒区美術館開設準備委員・臨時委員設置
8月	目黒区美術館開設準備顧問就任 目黒区美術館マーク制作
11月	「プレビュー・目黒区美術館」展開催(11/12-11/17)
12月	目黒区美術館(仮称)新築工事起工式(12/12)

昭和61年 7月	美術館管理運営の財団委託方針決定
9月	「プレビュー・目黒区美術館2」展開催(9/9-9/15)
12月	目黒区美術館(仮称)新築工事定礎式(12/5)
昭和62年 3月	「目黒区美術館条例」公布
4月	目黒区美術館新築工事落成式(4/14)
10月	財団法人目黒区芸術文化振興財団設立(10/1)
11月	目黒区美術館開館(11/15)
平成23年 4月	公益財団法人目黒区芸術文化振興財団認可(4/1)

受賞 [平成21～23年度]

平成21年	「'文化'資源としての<炭鉱>展」(2009年) 美連協大賞(美術館表彰)／美術館連絡協議会
平成22年	「DOMA秋岡芳夫展」(2011年) 美連協大賞「奨励賞」(美術館表彰)／美術館連絡協議会
平成23年	建築ワークショップ「飛び出せ!私の家—こんな部屋があったらいいな」(2009年3月) 講師:石田潤/建築家 JIA ゴールデンキューブ賞 組織部門「優秀賞」/社団法人 日本建築家協会

XII.案内

観覧時間：午前10時～午後6時

(ただし入館は午後5時30分まで)

休館日：月曜日(祝日・休日の場合はその翌日)
年末年始

観覧料：展覧会ごとにその都度定める。

交通案内：

●JR山手線目黒駅(西口)、東急目黒線・都営三田線・東京メトロ南北線 目黒駅より徒歩10分

●バス、渋谷駅より東急 渋41-大井町駅行、田道小学校入り口 下車3分

目黒駅より東急、都営

黒01-大岡山小学校行	} 権之助坂下車 下車5分
黒02-二子玉川駅行	
黒06-三軒茶屋行	
黒07-荻巻営業所行	
東98-等々力行	



目黒区美術館年報 平成21(2009)・22(2010)・23(2011)年度

平成25(2013)年3月25日発行

編集・発行 - (公財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館

〒153-0063 東京都目黒区目黒2-4-36

TEL. 03-3714-1201(代)